

岐阜県文化財保護センター

調査報告書 第145集

六 里 遺 跡 II

2019

岐阜県文化財保護センター

ろく
六 里 遺 跡 II

2019

岐阜県文化財保護センター



平成 30 年度発掘区（東から）



溝出土土器（第 2 調査面）

序

大野町は濃尾平野の北西部に位置し、北は濃尾平野の縁辺を成す丘陵、東西を根尾川と揖斐川の両河川に挟まれています。町内には、国史跡野古墳群や県史跡上磯古墳群などの著名な古墳群や、古代の景観を色濃く残す条里地割などの数多くの歴史的な遺産に恵まれています。

このたび、岐阜県揖斐土木事務所が行う県単道路新設改良事業に伴い、大字麻生及び小衣斐に所在する六里遺跡の発掘調査を行いました。六里遺跡では、平成24年度に大野町教育委員会、平成26年度に当センターが調査を行い、今回が3度目の発掘調査となります。これまでの調査では、縄文時代晩期の土器埋設遺構や、古墳時代後期の集落跡、中世以降の耕作に伴う溝や畦畔などが見つかっていますが、今回の発掘調査でも、古墳時代後期から古代にかけての集落跡と中世以降の条里地割に伴う溝状遺構などを確認しました。

今回の調査によって得られた資料は、これまでの調査資料と合わせて大野町の歴史を考える上で様々な示唆を与えてくれるものと思います。本報告書が埋蔵文化財に対する認識を深めるとともに、当地の歴史的研究の一助となれば幸いです。

最後となりましたが、発掘調査及び出土遺物の整理・報告書作成に当たりまして、多大な御支援・御協力をいただきました関係諸機関並びに関係者各位、大野町教育委員会、地元地区の皆様に深く感謝申し上げます。

令和元年10月

岐阜県文化財保護センター
所長 小林 法良

例　言

- 1 本書は、岐阜県揖斐郡大野町大字麻生・小衣斐に所在する六里遺跡(岐阜県遺跡番号 21403-11625)の発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、県単道路新設改良事業主要地方道岐阜巣南大野線下磯～麻生工区に伴うもので、岐阜県県土整備部揖斐土木事務所から岐阜県教育委員会が依頼を受けた。発掘作業及び整理等作業は、岐阜県文化財保護センターが実施した。
- 3 宇野隆夫帝塚山大学教授の指導のもとに、発掘作業は平成 29・30 年度、整理等作業は平成 30 年度に実施した。
- 4 発掘作業及び整理等作業の担当は、本書第 1 章第 2 節に一括して掲載した。
- 5 本書の執筆・編集は小林新平が行った。
- 6 発掘作業における現場管理、掘削、測量、景観写真撮影、出土遺物の洗浄・注記などの支援業務と、整理等作業における作業管理、出土遺物の整理作業、挿図・写真図版作成などの支援業務は、株式会社ユニオンに委託して行った。
- 7 遺物の写真撮影は、アートフォト右文に委託して行った。
- 8 樹種同定は株式会社イビソク、放射性炭素年代測定（AMS 法）は、株式会社パレオ・ラボに委託してを行い、分析結果報告を第 4 章に掲載した。第 4 章第 1 節は小林が執筆した。
- 9 発掘調査及び報告書の作成に当たって、次の方々や諸機関から御指導・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である（敬称略・五十音順）。
井川祥子、内堀信雄、竹谷勝也、林正憲、藤澤良祐、渡邊博人、大野町教育委員会
- 10 本文中の方位は座標北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標系第VII系を使用する。
- 11 土層及び土器類の色調は、小川正忠・竹原秀雄 2007『新版土色帖』(日本色研事業株式会社)による。
- 12 調査記録及び出土遺物は、岐阜県文化財保護センターで保管している。

目 次

卷頭図版

序

例言

目次

第1章 調査の経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の方法と経過	3
第2章 遺跡の環境	8
第1節 地理的環境	8
第2節 歴史的環境	10
第3章 調査の成果	15
第1節 基本層序	15
第2節 遺構・遺物の概要	18
第3節 A地点の遺構・遺物	22
第4節 B・C地点の遺構・遺物	89
第5節 D地点の遺構・遺物	128
遺構一覧表、遺物観察表、発掘区全城図・分割図	
第4章 自然科学分析	211
第1節 分析の概要	211
第2節 出土柱材の樹種同定	211
第3節 放射性炭素年代測定	213
第5章 総括	215
第1節 土地利用の変遷	215
第2節 竪穴建物の検討	218
引用・参考文献	
写真図版	
報告書抄録	

挿図目次

図 1 遺跡位置図	1	図 43 SI 8 遺構図（3）	58
図 2 試掘調査坑位置、本発掘調査範囲図	2	図 44 SI 9 遺構図（1）	60
図 3 グリッド設定図	3	図 45 SI 9 遺構図（2）	61
図 4 大野町の地質（山地）	9	図 46 SI 9 遺構図（3）	62
図 5 大野町の地質（平地）	9	図 47 SI 9 遺構図（4）	63
図 6 六里遺跡周辺の遺跡	11	図 48 SI 10 遺構図（1）	65
図 7 過去の調査位置図と復原条里地割	14	図 49 SI 10 遺構図（2）	66
図 8 発掘区周辺の空中写真	14	図 50 SI 10 遺構図（3）	67
図 9 発掘区の土層断面	16	図 51 SI 10 遺構図（4）	68
図 10 六里遺跡土層柱状図	17	図 52 SB 1 遺構図	69
図 11 平面形状・底面形状・堆積状況模式図	19	図 53 SB 2 遺構図	71
図 12 領悊器坏蓋の分類	21	図 54 SB 3 遺構図	72
図 13 領悊器坏身の分類	21	図 55 SB 4 遺構図	73
図 14 SA 1・SA 2 遺構図	23	図 56 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物（2）	74
図 15 SA 3・SA 4 遺構図	24	図 57 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物（3）	75
図 16 SD 6・SD 8・SD 9 遺構図	26	図 58 SD25～SD33・SD35～SD40 遺構図	77
図 17 SD10・SD12 遺構図	28	図 59 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物（4）	78
図 18 SK23・SK33・SK38 遺構図	29	図 60 SK127・SK128・SK130 遺構図	79
図 19 A 地点第 1 調査面遺構出土遺物	30	図 61 SK131・SK132・SK143・SK157 遺構図	81
図 20 A 地点遺物包含層等出土遺物	31	図 62 SK162・SK435・SP 2 遺構図	83
図 21 A 地点遺物包含層出土遺物（1）	32	図 63 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物（5）	84
図 22 SI 1 遺構図（1）	33	図 64 SK448・SP 4・SP22 遺構図	85
図 23 SI 1 遺構図（2）	34	図 65 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物（6）	86
図 24 SI 2 遺構図	36	図 66 SP 4 出土遺物	86
図 25 SI 3 遺構図（1）	38	図 67 A 地点遺物包含層出土遺物（2）	88
図 26 SI 3 遺構図（2）	39	図 68 SA 5 遺構図	89
図 27 SI 4 遺構図（1）	40	図 69 SD17・SK51・SK52・SK54・SK55 遺構図	91
図 28 SI 4 遺構図（2）	41	図 70 SI 11 遺構図	92
図 29 SI 5 遺構図（1）	42	図 71 SI 12 遺構図（1）	94
図 30 SI 5 遺構図（2）	43	図 72 SI 12 遺構図（2）	95
図 31 SI 5 遺構図（3）	44	図 73 SI 12 遺構図（3）	96
図 32 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物（1）	45	図 74 SI 13 遺構図（1）	97
図 33 SI 6 遺構図（1）	46	図 75 SI 13 遺構図（2）	98
図 34 SI 6 遺構図（2）	47	図 76 SI 14 遺構図（1）	100
図 35 SI 6 遺構図（3）	48	図 77 SI 14 遺構図（2）	101
図 36 SI 7 遺構図（1）	50	図 78 SI 14 遺構図（3）	102
図 37 SI 7 遺構図（2）	51	図 79 SI 15 遺構図（1）	103
図 38 SI 7 遺構図（3）	52	図 80 SI 15 遺構図（2）	104
図 39 SI 7 遺構図（4）	53	図 81 SI 15 遺構図（3）	105
図 40 SI 7 遺構図（5）	54	図 82 SI 15 遺構図（4）	106
図 41 SI 8 遺構図（1）	56	図 83 SI 15 遺構図（5）	107
図 42 SI 8 遺構図（2）	57	図 84 SI 15 遺構図（6）	108

図 85	B・C地点遺構出土遺物（1）	109
図 86	B・C地点遺構出土遺物（2）	110
図 87	SB5 遺構図	111
図 88	SD42・SD46 遺構図	112
図 89	SD45 遺構図	113
図 90	B・C地点遺構出土遺物（3）	114
図 91	B・C地点遺構出土遺物（4）	115
図 92	SD48 遺構図	116
図 93	B・C地点遺構出土遺物（5）	118
図 94	SK209・SK237 遺構図	120
図 95	SK213・SK242・SK260・SK411 遺構図	122
図 96	B・C地点遺構出土遺物（6）	124
図 97	B・C地点遺物包含層等出土遺物	125
図 98	B・C地点遺物包含層出土遺物（1）	126
図 99	B・C地点遺物包含層出土遺物（2）	127
図 100	SD20・SK114・SK116・SK118・SK121 遺構図	129
図 101	D地点第1調査面遺構出土遺物	130
図 102	SI16 遺構図（1）	131
図 103	SI16 遺構図（2）	132
図 104	D地点第2調査面遺構出土遺物（1）	133
図 105	SI17 遺構図	135
図 106	SI18 遺構図（1）	136
図 107	SI18 遺構図（2）	137
図 108	SI18 遺構図（3）	138
図 109	SI19 遺構図（1）	140
図 110	SI19 遺構図（2）	141
図 111	SI19 遺構図（3）	142
図 112	SI20 遺構図	143
図 113	D地点第2調査面遺構出土遺物（2）	144
図 114	SB6 遺構図	145
図 115	SD49・SD50 遺構図	146
図 116	SD51・SK445～SK447 遺構図（1）	148
図 117	SD51・SK445～SK447 遺構図（2）	149
図 118	SD52・SK390・SK430 遺構図	151
図 119	D地点第2調査面遺構出土遺物	152
図 120	D地点第2調査面遺構出土遺物（4）	153
図 121	D地点遺物包含層等出土遺物	155
図 122	発掘区全域圖割付図（第1調査面）	188
図 123	発掘区全域圖割付図（第2調査面）	189
図 124	第1調査面 発掘区全域圖分割図1	190
図 125	第1調査面 発掘区全域圖分割図2	191
図 126	第1調査面 発掘区全域圖分割図3	192
図 127	第1調査面 発掘区全域圖分割図4	193
図 124	第2調査面 発掘区全域圖分割図1	194
図 125	第2調査面 発掘区全域圖分割図2	195
図 126	第2調査面 発掘区全域圖分割図3	196
図 127	第2調査面 発掘区全域圖分割図4	197
図 132	第1調査面 発掘区全域圖分割図5	198
図 133	第1調査面 発掘区全域圖分割図6	199
図 134	第1調査面 発掘区全域圖分割図7	200
図 135	第1調査面 発掘区全域圖分割図8	201
図 136	第2調査面 発掘区全域圖分割図5	202
図 137	第2調査面 発掘区全域圖分割図6	203
図 138	第2調査面 発掘区全域圖分割図7	204
図 139	第2調査面 発掘区全域圖分割図8	205
図 140	第3調査面 発掘区全域圖分割図9	206
図 141	第1調査面 発掘区全域圖分割図10	207
図 142	第2調査面 発掘区全域圖分割図9	208
図 143	第2調査面 発掘区全域圖分割図10	209
図 144	第2調査面 発掘区全域圖分割図11	210
図 145	曆年較正結果	214
図 146	土地利用の変遷（古墳時代後期）	216
図 147	土地利用の変遷（奈良時代）	217
図 147	土地利用の変遷（平安時代以降）	219

表目次

表 1	試掘・確認調査結果	2
表 2	六里遺跡周辺の遺跡一覧	12
表 3	種別ごとの遺構検出数	18
表 4	地点ごとの遺物出土点数	20
表 5	堅穴建物一覧表	156
表 6	堅穴建物付属遺構一覧表（1）	157
表 7	堅穴建物付属遺構一覧表（2）	158
表 8	堅穴建物付属遺構一覧表（3）	159
表 9	堅穴建物付属遺構一覧表（4）	160
表 10	掘立柱建物一覧表	160
表 11	掘立柱建物付属遺構一覧表	160
表 12	土坑列一覧表	161
表 13	土坑列付属遺構一覧表	161
表 14	溝状遺構一覧表（1）	161
表 15	溝状遺構一覧表（2）	162
表 16	溝状遺構一覧表（3）	163

表 17 土坑一覧表 (1)	163	表 35 出土土器観察表 (8)	180
表 18 土坑一覧表 (2)	164	表 36 出土土器観察表 (9)	181
表 19 土坑一覧表 (3)	165	表 37 出土土器観察表 (10)	182
表 20 土坑一覧表 (4)	166	表 38 出土土器観察表 (11)	183
表 21 土坑一覧表 (5)	167	表 39 出土土器観察表 (12)	184
表 22 土坑一覧表 (6)	168	表 40 出土土器観察表 (13)	185
表 23 土坑一覧表 (7)	169	表 41 出土土器観察表 (14)	186
表 24 土坑一覧表 (8)	170	表 42 出土土製品観察表 (1)	186
表 25 土坑一覧表 (9)	171	表 43 出土土製品観察表 (2)	187
表 26 土坑一覧表 (10)	172	表 44 出土石器観察表	187
表 27 柱穴一覧表	172	表 45 出土木製品観察表	187
表 28 出土土器観察表 (1)	173	表 46 出土金属製品観察表	187
表 29 出土土器観察表 (2)	174	表 47 樹種同定結果	212
表 30 出土土器観察表 (3)	175	表 48 測定試料及び処理	213
表 31 出土土器観察表 (4)	176	表 49 放射性炭素年代測定及び曆年校正の結果	213
表 32 出土土器観察表 (5)	177	表 50 六里遺跡における古墳時代後期から奈良時代の堅 穴建物一覧	218
表 33 出土土器観察表 (6)	178		
表 34 出土土器観察表 (7)	179		

插入写真目次

写真 1 A地点調査着手前状況（北から）	5	写真 5 D地点調査着手前状況（西から）	7
写真 2 B地点調査着手前状況（北東から）	5	写真 6 平成30年度調査作業風景	7
写真 3 C地点調査着手前状況（南から）	5	写真 7 光学顕微鏡写真	212
写真 4 平成29年度調査作業風景	5		

写真図版目次

図版 1 発掘区全景 (1)	図版 14 各遺構 (10)	図版 27 各遺構 (23)
図版 2 発掘区全景 (2)	図版 15 各遺構 (11)	図版 28 出土遺物 (1)
図版 3 発掘区全景 (3)	図版 16 各遺構 (12)	図版 29 出土遺物 (2)
図版 4 発掘区全景 (4)	図版 17 各遺構 (13)	図版 30 出土遺物 (3)
図版 5 各遺構 (1)	図版 18 各遺構 (14)	図版 31 出土遺物 (4)
図版 6 各遺構 (2)	図版 19 各遺構 (15)	図版 32 出土遺物 (5)
図版 7 各遺構 (3)	図版 20 各遺構 (16)	図版 33 出土遺物 (6)
図版 8 各遺構 (4)	図版 21 各遺構 (17)	図版 34 出土遺物 (7)
図版 9 各遺構 (5)	図版 22 各遺構 (18)	図版 35 出土遺物 (8)
図版 10 各遺構 (6)	図版 23 各遺構 (19)	図版 36 出土遺物 (9)
図版 11 各遺構 (7)	図版 24 各遺構 (20)	図版 37 出土遺物 (10)
図版 12 各遺構 (8)	図版 25 各遺構 (21)	図版 38 出土遺物 (11)
図版 13 各遺構 (9)	図版 26 各遺構 (22)	図版 39 出土遺物 (12)

第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯

六里遺跡は、揖斐郡大野町大字麻生・小衣斐・六里に所在し（図1）、平成26年度に岐阜県文化財保護センター（以下、「センター」という。）が同遺跡において発掘調査（以下、「平成26年度調査」という。）を実施し、縄文時代から中世にかけての遺構を確認した。

岐阜県揖斐土木事務所（以下、「揖斐土木事務所」という。）は主要地方道岐阜県南大野線と交差する麻生交差点を改良する事業計画（県単道路新設改良事業）を策定した。事業予定地は、遺跡地図変更前の六里遺跡の西に隣接していることから、遺跡の西への広がりを確認することを目的として平成27年度に大野町教育委員会が3箇所（図2：TP1～3）の試掘調査坑を設定し調査を実施した。その結果、TP1・2で遺構・遺物を確認したため、遺跡範囲が変更された（平成28年3月15日付け社文第51号の48）。さらに、遺跡の南北方向の広がりを確認するために、平成28年度には、大野町教育委員会が10箇所の試掘調査坑（図2：TP4～11・14）を設定し調査を実施した。その結果、TP5・6で遺構・遺物、TP4-2・TP7・11・14で遺物を確認した。平成27年11月4日及び平成28年2月13日に開催された平成27年度及び平成28年度岐阜県埋蔵文化財発掘調査検討会において、遺構が存在していると考えられる範囲は岐阜県発掘調査適用基準に基づき、記録保存のための発掘調査の実施



図1 遺跡位置図（平成30年度国土地理院発行1:25,000地形図「池野」「北方」）

2 第1章 調査の経過

が必要であるとの意見がまとめられた。本工事については、文化財保護法第94条第1項の規定に基づき、揖斐土木事務所長から岐阜県教育委員会教育長（以下、「県教育長」という。）あて埋蔵文化財発掘の通知（平成29年3月22日付け揖土第583号）が提出され、同法第4項の規定に基づき、県教育長は同事務所長あて発掘調査の実施を求める勧告（同年3月30日付け社文第64号の241）を通知した。同事務所長は県教育長に発掘調査の実施を依頼し、それを受けたセンターは同年5月8日から発掘調査を開始し、発掘調査着手の報告（平成29年5月15日付け文財セ第112号）を県教育長に提出した。

平成29年度には、平成26年度発掘区と平成29年度発掘区の間の遺構の遺存状況を確認するために岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課が2箇所の試掘調査坑（図2：TP15・16）を設定し調査を実施した。平成29年8月29日に開催した平成29年度第2回岐阜県埋蔵文化財発掘調査検討会において、遺構が存在していると考えられる範囲は岐阜県発掘調査適用基準に基づき、記録保存のための発掘調査の実施が必要であるとの意見がまとめられた。検討結果を受け、県教育長は揖斐土木事務所長あて発掘調査の実施を求める勧告（平成30年3月20日付け文伝第74号の209）を通知した。同事務所長は県教育長に発掘調査の実施を依頼し、それを受けたセンターは同年5月8日から発掘調査を開始し、発掘調査着手の報告（平成30年5月28日付け文財セ第98号）を県教育長に提出した。

発掘作業は平成29年度に1,479.2m²、平成30年度に469m²を実施し、整理等作業は平成30年度に実施した。

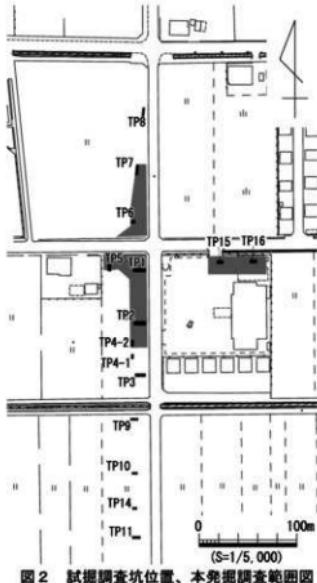


表1 試掘・確認調査結果

年度	試掘調査坑	検出遺構	出土遺物
平成27年度	TP1	堅穴建物跡	土師器、須恵器
	TP2	柱穴	山茶碗
	TP3	なし	なし
平成28年度	TP4-1	なし	なし
	TP4-2	なし	須恵器
	TP5	不明遺構	土師器、灰釉陶器
	TP6	ピット・不明遺構	土師器、須恵器
	TP7	なし	灰釉陶器
	TP8	なし	なし
	TP9	なし	なし
	TP10	なし	なし
	TP11	なし	灰釉陶器
	TP14	なし	灰釉陶器、土鍾
平成29年度	TP15	溝状遺構・土坑	土師器、山茶碗、中近世陶器
	TP16	土坑	中近世陶器

第2節 調査の方法と経過

1 調査の方法

発掘作業は、平成29年度に1,479.2 m²、平成30年度に469 m²を実施した。発掘区は、交差点を挟んで3箇所に分かれており、平成29年度に交差点北西側のA地点、同南西側のB地点、C地点、平成30年度に同交差点南東側のD地点の調査を実施した。南西側のB地点、C地点は連続する発掘区だが、B地点発掘区は北側の取水路と南側に隣接する耕作地との間に位置しており、耕作の関係で取水管を撤去する期間が限られたため、分割して調査を行った。

発掘区は、世界測地系を基にX=-59,500、Y=-49,000を原点として100m×100m四方の大グリッドを設定し、北西側をA、北東側をB、南東側をCとした。さらに、大グリッド内に5m×5mの小グリッド（以下、「グリッド」という。）を設け、北から南へAからT、西から東へ1から20とした（図3）。例えば、A地点の発掘区の北西隅グリッドの呼称はBBA4グリッドとなる。

表土掘削は、重機を用いて現代耕作土とその敷土及び造成土を掘削した。遺物包含層掘削・遺構検出・遺構掘削はスコップ・ジョレン・草刈り鎌などを用いて人力で行い、うち遺構掘削では、土層断面等必要な記録を作成した後に完掘した。また、遺構基盤層と遺構埋土の識別が困難な場合など、必

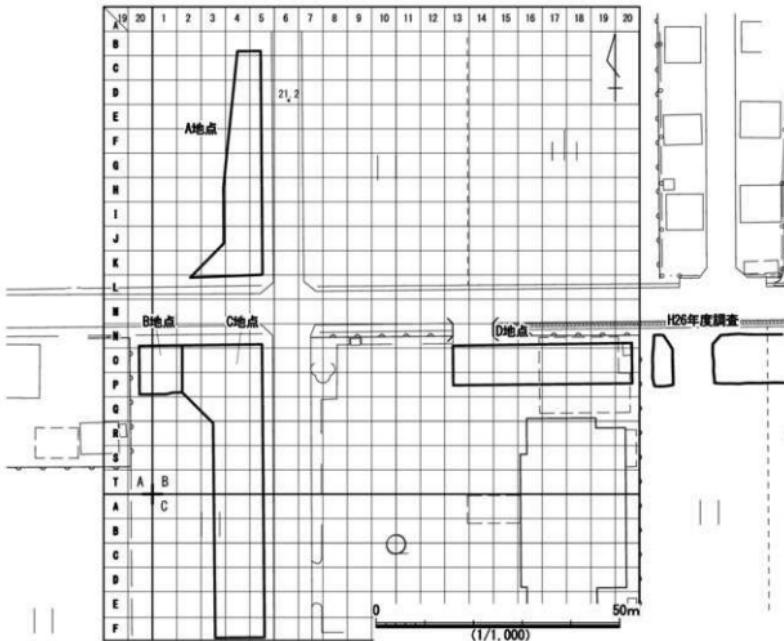


図3 グリッド設定図

4 第1章 調査の経過

要に応じてトレーンチ調査を実施し、遺構の掘り込みを把握した上で遺構埋土を掘削した。遺構番号は検出順の通番とし、S001番から番号を与えた。この番号は整理等作業時に遺構種別ごとに振り替えた。

個別の遺構実測図の作成は、三次元測量をもとに図化システムで行ったが、遺構断面図は手測りで実測した。図面の縮尺は20分の1を基本としつつ、実測対象に応じて適切な縮尺を選択した。

遺物包含層掘削及び遺構検出時に出土した遺物は、原則として層位、グリッド単位で取り上げた。遺構から出土した遺物は、埋土の半截前後で取り上げ方法を変えた。すなわち、半截前は検出面から約5cm下までをa層、約5cm～約10cm下をb層、というように、遺構内を約5cm単位で人工層位を設定して遺物を取り上げた。半截後は、分層した層位ごとに取り上げた。なお、残存状態の良いものや、遺物の出土位置が遺構の性格を検討する際に重要と考えられる場合は、出土状況の図面作成、若しくはトータルステーションによる出土位置の座標を測定した。

写真撮影は、一眼レフ35mmカメラ(リバーサルフィルム、モノクロフィルム)、中判カメラ(リバーサルフィルム、モノクロフィルム)、デジタルカメラで撮影した。また、各地点・各調査面の完掘後には、高所作業車による撮影又は、ラジコンヘリコプターによる空中写真撮影により景観写真撮影を行った。ただし、平成29年度発掘区B地点のみ脚立を用いて撮影した。

2 発掘作業の経過

発掘調査日誌から抜粋して、週ごとの調査経過を以下に記載する。

平成29年度

第1週(5/8～5/12) 5月8日からC地点の表土掘削を開始し、5月9日に終了した。5月11日からC地点第1調査面の調査を開始した。

第2週(5/15～5/19) 5月19日にB02～B04グリッドにかけて遺構検出作業を行い、SD45を検出した。

第3週(5/22～5/26) 5月22日にSD45の底から完形の須恵器が亜円碟とともに正位の状態で出土したため、出土状況の写真撮影と図化を行った。翌5月23日にSD45を完掘した。

第4週(5/29～6/2) C地点第1調査面の遺構掘削等を継続して実施した。

第5週(6/5～6/9) 6月5日にSD48を検出した。翌6月6日にSD48の底から完形の須恵器が逆位の状態で出土したため、出土状況の写真撮影と座標取り上げを実施した。

第6週(6/12～6/16) 6月12日にSD48を完掘した。

第7週(6/19～6/23) 6月20日にC地点第1調査面の景観写真撮影を実施した。6月22日からC地点第2調査面の調査を開始した。

第8週(6/26～6/30) 6月26日にSI14・SI15を検出し、掘削作業を開始した。

第9週(7/3～7/7) 7月5日にSI15のカマドの掘削を開始し、袖部周辺で土師器がまとまって出土したため、出土状況の写真撮影と図化を行った。同日、SK237を検出した。

第10週(7/10～7/14) 7月10日にSK237の底部から土師器や礫がまとまって出土したため、出土状況の写真撮影と図化を行った。7月13日にSI15床面で検出した付属遺構を掘削した。

第11週(7/18～7/21) C地点第2調査面の遺構掘削等を継続して実施した。

第12週(7/24～7/28) 7月24日に竹谷勝也氏(大野町教育委員会)による現地指導を受けた。

第13週（7/31～8/4）8月3日にC地点第2調査面の景観写真撮影を実施した。

第14週（8/7～8/10）8月8日からC地点の埋め戻しを開始し、8月10日に終了した。

第15週（8/14～8/18）夏期休業により作業を休止した。

第16週（8/21～8/25）8月21日に重機によるA地点の表土掘削を実施し、翌8月22日よりA地点
第1調査面の調査を開始した。

第17週（8/28～9/1）8月30日にSD12を完掘した。

第18週（9/4～9/8）9月5日にSD8を完掘した。

第19週（9/11～9/15）9月11日にA地点第1調査面の景観写真撮影を実施し、9月13日からA地
点第2調査面の調査を開始した。

第20週（9/19～9/22）9月19日にBK3～BK4グリッドでSB3を検出した。

第21週（9/25～9/29）9月26日にSI7の掘削を開始した。

第22週（10/2～10/6）10月4日に渡邊博人氏（各務原市教育委員会）による現地指導を受けた。10
月5日にSI9を検出し、掘削を開始した。

第23週（10/10～10/13）10月10日にSI10を検出し、掘削を開始した。同日、SI8のカマドの掘削作
業を開始した。焼土面から土器がまとまって出土したため、出土状況の写真撮影と図化を実



写真1 A地点調査着手前状況（北から）



写真2 B地点調査着手前状況（北東から）



写真3 C地点調査着手前状況（南から）



写真4 平成29年度調査作業風景

6 第1章 調査の経過

施した。

第24週（10/16～10/20）BB4～BB5グリッドからBH3～BH5グリッドにかけて、複数の竪穴建物が重複している状況を確認した。10月16日に宇野隆夫氏（帝塚山大学）による現地指導を受けた。

第25週（10/23～10/27）10月23日にSI2・SI3・SI4の掘削を開始した。

第26週（10/30～11/2）10月30日にB地点の表土掘削を実施し、同日終了した。翌10月31日からB地点第1調査面の調査を開始した。11月1日にA地点第2調査面の調査を終了し、翌11月2日に景観写真撮影を実施した。

第27週（11/6～11/10）11月9日にB地点第1調査面の調査を終了し、景観写真撮影を実施した。

第28週（11/13～11/17）11月13日からB地点第2調査面の調査を開始し、同日SI12の掘削を開始した。11月15日にA地点の埋め戻しを実施した。

第29週（11/20～11/24）11月20日から一次整理作業を開始した。同日、SI11の掘削を開始した。11月21日にB地点第2調査面の調査が終了し、景観写真撮影を実施した。

第30週（11/27～12/1）11月28日までB地点第2調査面の補足調査を実施した。11月29日にB地点の埋め戻しを実施した。

第31～33週（12/4～12/22）一次整理作業を継続して行った。

第34週（12/25）一次整理作業が終了した。

平成30年度

第1週（5/7～5/11）5月8日から重機によりD地点の表土掘削を開始し、5月11日に終了した。

第2週（5/14～5/18）5月14日から排水溝掘削を行い、5月15日に終了した。5月16日にB017グリッド以東については調査面が2面あることを確認したため、発掘区の東半部は2面調査を行うよう変更した。

第3週（5/21～5/25）5月21日に第1調査面の調査を終了し、5月22日に景観写真撮影を実施した。同日、第2調査面の調査を開始した。5月24日にB020グリッドで平成26年度調査のSD10の続きと考えられるSD51を検出した。また、SD51と重複するSI20を検出したほか、B019～B020グリッドでSB6を検出した。

第4週（5/28～6/1）5月28日にSD51の底から土器や亜円碟がまとまって出土したため、出土状況の写真撮影と図化を実施した。

第5週（6/4～6/8）6月7日にSD50・SI19を検出し、掘削作業を開始した。

第6週（6/11～6/15）6月14日に発掘区南に広がるSI18を検出し、掘削を開始した。SI23は検出時から焼土や遺物が露出していた。SD50の掘削を継続して行った。

第7週（6/18～6/22）6月21日にSI19の床面の精査を行い、柱穴や壁際溝などの遺構を検出した。6月22日にSI18のカマドの掘削を開始し、袖部周辺から土師器がまとめて出土した状況を確認したため、出土状況の写真撮影と図化を実施した。

第8週（6/25～6/29）発掘区南壁付近でSI17を検出し、掘削を開始した。6月28日に竹谷勝也氏（大野町教育委員会）による現地指導を受けた。6月29日にSI19の床面検出遺構を完掘し、竪穴部掘方を掘削して完掘状況の撮影を実施した。

第9週（7/2～7/6）7月2日にSI18のカマドから出土した遺物の取り上げを行った。同日、BP13

グリッドで遺構検出作業を実施し、SI16を検出した。7月3日にSI18を完掘した。7月4日～6日は台風7号に伴う大雨により現場作業を中止した。

第10週（7/9～7/13）7月11日にSD50を完掘した。

第11週（7/17～7/20）7月18日にSI16を完掘した。7月19日に第2調査面の景観写真撮影を実施した。

第12週（7/23～7/27）7月26日から27日にかけて補足調査を実施した。7月27日に宇野隆夫氏（帝塚山大学）による現地指導を受けた。

第13～14週（7/30～8/10）7月31日から一次整理作業を開始し、8月10日に終了した。



写真5 D地点調査着手前状況（西から）



写真6 平成30年度調査作業風景

3 整理等作業の経過

整理等作業は、センターにおいて平成30年9月3日から平成31年2月28日まで実施した。整理等作業時には、宇野隆夫氏（帝塚山大学）から遺跡全体の評価や総括に関する指導を受けた他、土師器に関する指導を内堀信雄氏（岐阜市教育委員会）、須恵器に関する指導を渡邊博人氏から受けた。また、出土柱材の放射性炭素年代測定は株式会社パレオ・ラボ、柱材の保存処理及び金属製品の保存処理は株式会社イビソクに委託して実施した。

4 調査体制

発掘作業及び整理等作業の体制は、以下のとおりである。

センター所長 羽田能崇（平成29年度）、野村幹也（平成30年度）

総務課長 加藤武裕（平成29・30年度）

調査課長 春日井恒（平成29・30年度）

調査担当係長 三輪晃三（平成29・30年度）

担当調査員 小林新平（平成29・30年度）

第2章 遺跡の環境

第1節 地理的環境

揖斐郡大野町は濃尾平野の北西部、岐阜県の南西部に位置する。面積は約 34.2 km²で、揖斐郡揖斐川町、同郡池田町、本巣市、瑞穂市、安八郡神戸町と接し、町域の東は根尾川、西は揖斐川に囲まれる。

大野町の地形は、北部の低山性山地と、町域の大部分を占める平野部に分けることができる。低山性山地は中生代のチャートや砂岩、石灰岩などで構成され、チャートなど浸食・風化の影響を受けにくい箇所の山腹斜面は急な傾斜となり、山地の下部では岩屑の堆積によって埋没谷となり緩斜面を形成したとされる¹⁾。

平野は、北部の山麓地帯では標高 30m、南部の根尾川・揖斐川合流地点では標高 15m 程で、平野はそれぞれ黒野低台地、氾濫盆状低地、揖斐川と根尾川によって形成された合成扇状地の 3 つに分類されている²⁾。黒野低台地は根尾川右岸の大野町黒野にみられ、古根尾川によって洪積世末期に形成された段丘面である。氾濫盆状低地は平野北西部の牛洞地区一帯に広がり、この低地で集水された水を水源とする三水川は今回の発掘区の東へ約 600m の位置を流下している。合成扇状地は平野の大部分を占めており、六里遺跡はこの合成扇状地上に立地している。合成扇状地の中でも、根尾川によって形成された扇状地は、本巣市山口付近を扇頂とする傾斜が緩やかな扇状地であり、根尾川緩扇状地という³⁾。また、揖斐川によって形成された扇状地は揖斐郡揖斐川町森前付近を扇頂とし、上位・中位・下位に区分されている。中でも、大野町は下位に区分されるため、大野町域の扇状地を指す場合は揖斐川下位扇状地という⁴⁾。なお、六里遺跡は根尾川緩扇状地と揖斐川下位扇状地の境界付近に位置しているが、六里遺跡周辺の用水の流水方向は西から東へと流れて三水川へと注いでいるため、遺跡は揖斐川低位扇状地上に立地していると考えられる。

六里遺跡の所在する一帯は、昭和 39 年から 60 年にかけて行われた圃場整備事業により現在では平坦な景観が広がるが、揖斐川下位扇状地は本来網状流路によって形成された旧河道や河間の低地と紡錘形の微高地によって成るとされ、かつては起伏のある地形であったと想定されている⁵⁾。また、平成 26 年度調査では、縄文時代晩期末以降に網状流路が埋没した後に、古墳時代以降の基盤となる土が堆積したことが確認されており、その際に前述の低地や微高地が形成され、現在の集落につながる景観が生まれたと考えられている⁶⁾。

注

1) 竹谷勝也 2011「第1章 調査の目的と背景」『大野町の条里 大野町遺跡詳細分布調査報告書 条里編・解説編』、大野町教育委員会

2) 大熊賢昭 1985「第1章 風土と生物」『大野町史 通史編』、大野町

3) 2) に同じ。

4) 2) に同じ。

5) 1) に同じ。

6) 岐阜県文化財保護センター 2018『六里遺跡・稻荷遺跡』

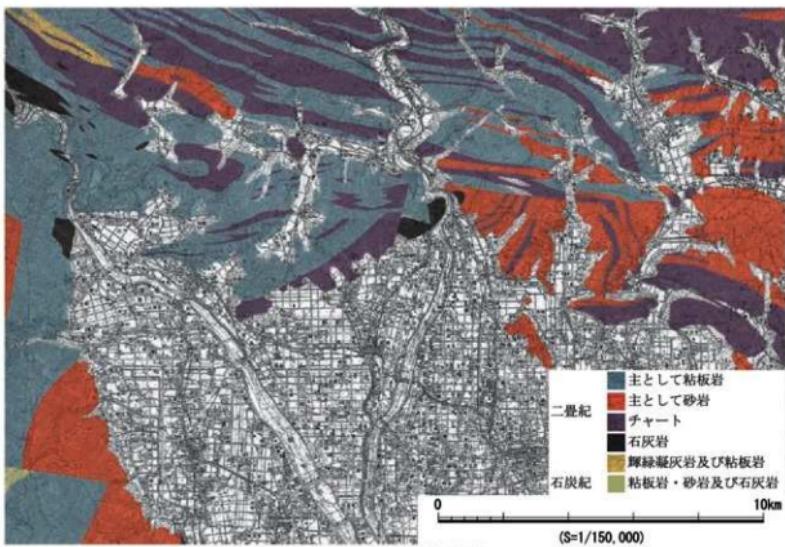


図4 大野町の地質（山地）

(小林勇他 1970『岐阜県地質鉱産図』岐阜県を再トレースし、平成14年発行国土地理院1:50,000地形図「大垣」に重ねて作成)

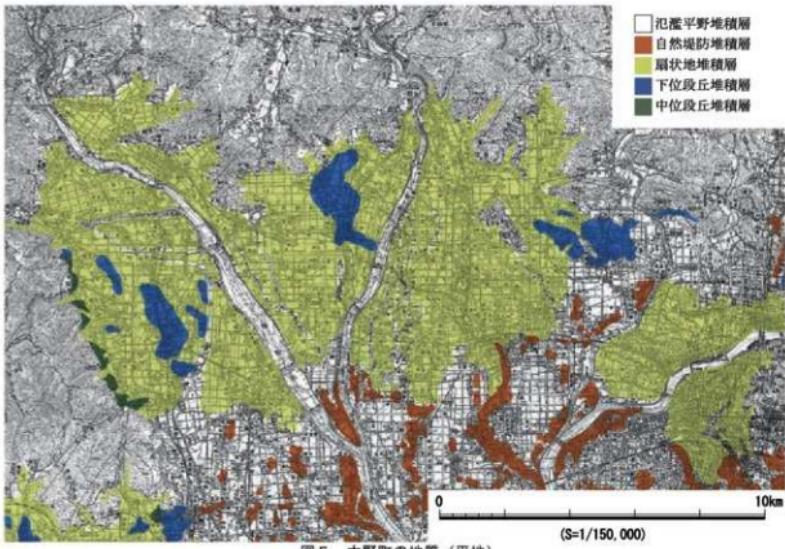


図5 大野町の地質（平地）

(小林勇他 1970『岐阜県地質鉱産図』岐阜県を再トレースし、平成14年発行国土地理院1:50,000地形図「大垣」に重ねて作成)

第2節 歴史的環境

六里遺跡周辺の遺跡について時代ごとに記述する¹⁾。

旧石器時代 旧石器時代の遺跡は確認されていない。

縄文時代 物干山遺跡（11）では縄文時代早期から前期の土器や石器が出土している。カイト遺跡（18）では縄文時代中期の堅穴建物の可能性がある遺構が確認された。また、六里遺跡（1）では平成26年度調査において、自然流路に挟まれた中州状の微高地で縄文時代晚期後半の土器埋設遺構を確認したほか、姥田遺跡（44）では縄文土器が出土している。

弥生時代 南山遺跡（68）ではバレススタイル土器や器台を含む多量の弥生時代後期の土器や木製品が出土している。また、法政寺・御屋敷遺跡（65）では高坏、台付甕などが出土している。

古墳時代 上磯古墳群（67）や国史跡として著名な野古墳群（26）など町内各所に遺跡が分布する。上磯古墳群は、前方後円墳と前方後方墳、大型円墳で構成される古墳群で、4世紀代に築かれた首長墓群とされる²⁾。野古墳群は、5世紀中葉から6世紀初頭にかけて築造された古墳群である。前方後円墳を含む複数の古墳が密集して分布しており、現状では9基の古墳が現存し、8基の古墳が消失していることが確認されている。この他、押ヶ谷古墳（5）、カツラ山古墳（19）等の北部山地に立地する古墳は、古墳時代中期以前の古墳と考えられている³⁾。古墳時代後期から終末期にかけては、北部山地の山麓から山腹にかけて直径5m～20m程度の古墳が數基から数十基密集して古墳群を形成している。平成8・9年度に大野町教育委員会によってカイト古墳群（17）、堂ヶ洞古墳群（12）、三ヶ原古墳群（8）の発掘調査が行われた。堂ヶ洞古墳群では22基の古墳が確認されているが、うち2基の古墳について調査が行われ、古墳からは7世紀前半の須恵器や金環、鐵鏹などが出土している。三ヶ原古墳群では16基の古墳が確認され、うち3基の古墳について調査が行われた。中でも、5号墳からは鉄刀や鉄製刀装具が出土したほか、7世紀前半から8世紀前半にかけての土師器の瓶や須恵器が出土している。カイト古墳群は7世紀中葉から後葉の古墳群で、64基の古墳のうち、37基の古墳について調査が行われた。中でも、17号墳は畿内型両袖式石室を持ち、他の小規模な古墳と規模が異なる。石室内からは、6世紀末頃の土師器が出土している。また、10号墳の石室内からは畿内からの搬入品である7世紀後半の暗文土師器が出土している。平野部の古墳群では、十二塚古墳群（30）があり、かつて12基の古墳が存在したとされている。うち1基では、平成18年度の砂利採取作業中に古墳の基底部が検出されたため緊急調査を実施し、石室内から7世紀前半の須恵器が出土している。集落跡では、古墳時代後期の堅穴建物が検出された姥田遺跡、同時期の溝が検出された大藪遺跡（43）のほか、六里遺跡では平成24年度の大野町教育委員会による調査及び平成26年度調査で、古墳時代中期から後期の堅穴建物や掘立柱建物を確認した。

古代 大隆寺跡（47）では美濃地域で多数確認されている川原寺式系の軒瓦が出土している。昭和43年の工場建設によって塔心礎が移動され、遺構の多くが破壊されたとされる⁴⁾。郡家遺跡（66）はその地名から大野郡郡家に比定されており、古代から中世にかけての遺物が採集されている。また、古代東山道が大野町南端の下磯地区に位置していたと推定されており、『和名類聚抄』の大野郡13郷の一つである駿家郷及び東山道大野駅が大野町内にあったと考えられている⁵⁾。カイト遺跡では9世紀前半の火葬墓及び火葬施設が検出され、須恵器の藏骨器の他、火葬施設から和同開珎が出土している。

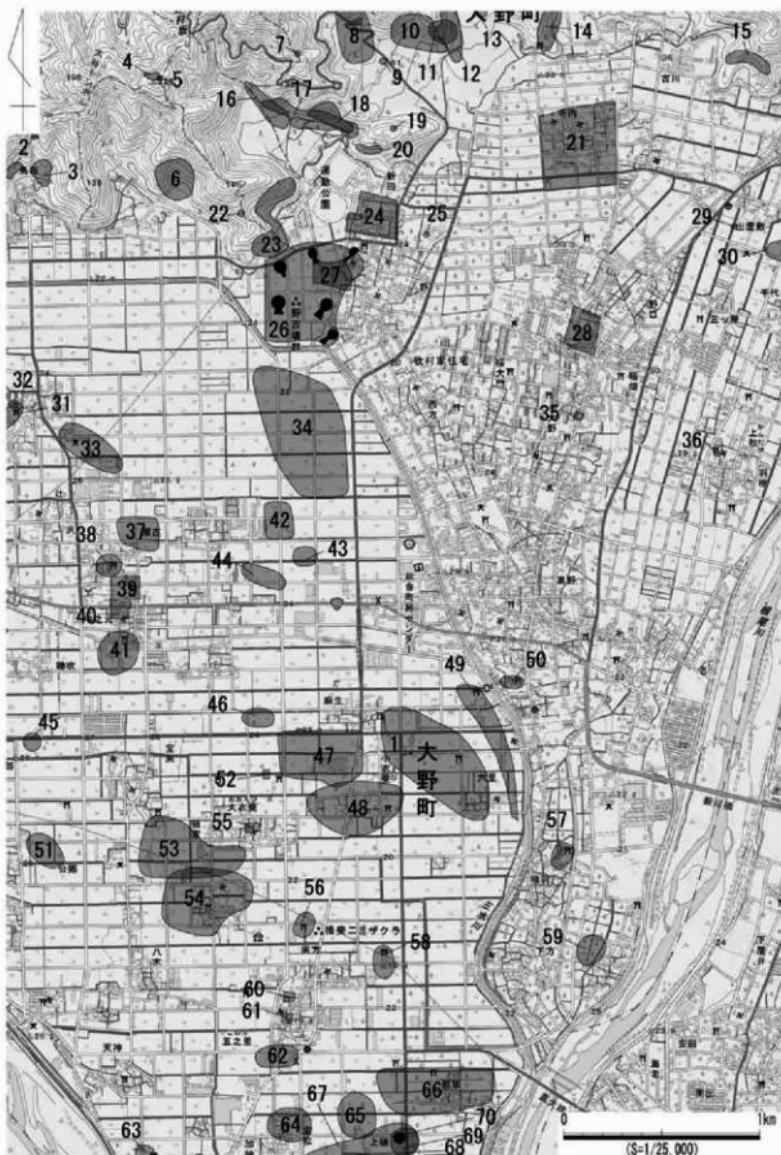


図6 六里遺跡周辺の遺跡（平成30年発行国土地理院1：25,000地形図「池野」「北方」を元に作成）

表2 六里遺跡周辺の遺跡一覧

番号	遺跡名	時代	種別	番号	遺跡名	時代	種別
1	六里遺跡	绳文～近世	集落跡他	36	専大寺跡	中世	社寺跡
2	中ノ洞古墳群	古墳	古墳	37	石原遺跡	平安～中世	散布地
3	岩子古墳群	古墳	古墳	38	宮通遺跡	平安～中世	散布地
4	南押ヶ谷古墳群	古墳	古墳	39	中之元城跡	中世	城館跡
5	押ヶ谷古墳	古墳	古墳	40	西尾氏の中之元陣屋跡	近世	城館跡
6	祖浜古墳群	古墳	古墳	41	金剛寺遺跡	平安～中世	社寺跡
7	鹿ヶ洞古墳	古墳	古墳	42	座倉遺跡	古墳～平安	集落跡
8	三ヶ原古墳群	古墳	古墳	43	大藪遺跡	古墳	集落跡
9	野村藩煙硝藏跡	近世	その他の遺跡	44	姥田遺跡	绳文・古墳	集落跡
10	物干山古墳群	古墳	古墳	45	公郷一ノ坪遺跡	奈良・中世	集落跡
11	物干山遺跡	绳文	散布地	46	天神遺跡	奈良～中世	散布地
12	堂ヶ洞古墳群	古墳	古墳	47	大陸寺跡	奈良～中世	社寺跡
13	宮西古墳群	古墳	古墳	48	小衣斐村ノ内遺跡	奈良～中世	散布地
14	宮東古墳群	古墳	古墳	49	稻荷遺跡	奈良～中世	集落跡・生産遺跡
15	西ノ洞古墳群	古墳	古墳	50	黒野八幡神社遺跡	奈良～中世	散布地
16	袖木洞・布賀利神社遺跡	奈良・中世	散布地・社寺跡	51	高見遺跡	奈良～平安	集落跡
17	カイト古墳群	古墳	古墳	52	大衣斐八幡神社遺跡	平安～中世	散布地
18	カイト遺跡	繩文・古墳・中世・近世 散布地・集落跡・社寺跡	古墳	53	三千仏遺跡	平安～中世	社寺跡
19	カソラ山古墳		古墳	54	領家実相院跡	奈良～中世	社寺跡
20	駒越古墳群	古墳	古墳	55	日根野氏の大衣斐陣屋跡	中世	その他の遺跡
21	寺内遺跡	古墳	集落跡・社寺跡	56	宇治宮遺跡	古墳・中世	集落跡
22	竹洞古墳	古墳	古墳	57	羽城跡	中世	城館跡
23	大平山古墳群	古墳	古墳	58	社宮司遺跡	平安～中世	散布地
24	野村藩邸跡	近代	城館跡	59	東ノ里遺跡	奈良・平安	散布地
25	室塚古墳	古墳	古墳	60	西尾氏の五之里陣屋跡	近世	その他の遺跡
26	野古墳群	古墳	古墳	61	徳永氏の五之里陣屋跡	近世	その他の遺跡
27	鐵田河内守邸跡	近世	城館跡	62	板井街道遺跡	弥生・古墳・平安	散布地
28	上ノ城跡	中世	城館跡	63	加納神明神社遺跡	奈良～平安	散布地
29	一ツ塚古墳	古墳	古墳	64	加納一ノ坪遺跡	弥生～中世	散布地
30	十二塚古墳群	古墳	古墳	65	法政寺・御星敷遺跡	弥生	集落跡
31	志名古墳群	古墳	古墳	66	郡家遺跡	中世	散布地
32	白山神社古墳	古墳	古墳	67	上磯古墳群	古墳	古墳
33	松山遺跡	弥生・中世	散布地	68	南山遺跡	弥生・古墳	集落跡
34	塙町遺跡	古墳～平安	集落跡	69	帷山古墳	古墳	古墳
35	下ノ城跡	中世	城館跡	70	雀山遺跡	弥生・古墳・平安	散布地

座倉遺跡（42）では竪穴建物、掘立柱建物等が確認された。条里に沿うように正方位を向く竪穴建物のカマド周辺から、10世紀前半頃のものと考えられる須恵器や縁釉陶器等が出土している。高見遺跡（51）では条里坪境に相当する溝が確認されているほか、石帯、土師器、須恵器、灰釉陶器などが出土している。稻荷遺跡（49）では平成26年度のセンターによる発掘調査で、奈良時代後半から平安時代前半の竪穴建物等を確認した。

大野町には、大野郡条里の条里地割が良好に遺存しており、町内には条里地割の名残である五之里や六里といった地名が残る。大野郡条里は、大野町から本巣市、瑞穂市にかけての平野部と、揖斐川町の山麓地域に比定されている⁶⁾。遺称地名や文献資料などの検討から、条里は揖斐川町の谷汲盆地が一条であること⁷⁾、五之里以北では、揖斐川町の清水が一里と考えられている⁸⁾。また、大野町の条里は北西から南東に進む平行式坪であるとされる⁹⁾。竹谷勝也氏の復原案によれば、今回の発掘区は十一条四里、十二条四里及び十二条五里が該当する¹⁰⁾。図7及び図8はこの復原案に現在の地

形図と発掘区を重ねた図であるが、A地点の発掘区内には十一条と十二条の境があり、この位置で条境の可能性がある溝（SD 9）を確認した。

中世・近世 遺物の散布は多くの遺跡で見られるが、平成24年度の大野町教育委員会による六里遺跡の調査で中世前期と考えられる堅穴建物が確認されているのが唯一の集落跡の調査例である。また、六里遺跡の平成26年度調査では中世以降の水田跡や溝を確認した。この他、中・近世の寺院跡や城館跡が確認されている。領家実相院跡（54）は養老2（718）年に創建され、建武2（1335）年に中興されたが、天文15（1546）年に斎藤道三の大規模な焼き討ちによって焼失したとされる¹¹⁾。領家実相院跡の周辺では須恵器・灰釉陶器が多く散布している。三千仏遺跡（53）では灰釉陶器や山茶碗が採集されており、地名から僧坊や寺院周辺の集落があったと考えられている¹²⁾。また、野村藩邸跡（24）は明治2年まで続いた大垣新田藩戸田淡路守氏良の藩邸跡とされる¹³⁾。

注

- 1) 各遺跡の記述については以下の文献を参考にした。

大野町教育委員会2006『大野町北部山麓古墳群発掘調査報告書』

2009『大野町遺跡詳細分布調査報告書 資料（考古）編』

2010『大野町史 増補編』

2011『大野の条里 大野町遺跡詳細分布調査報告書 条里編・解説編』

2012a『大野町埋蔵文化財試掘・確認調査等報告書－平成21～23年度－』

2012b『よみがえる古代の大野－大野町の条里と埋蔵文化財－』

大野町1985『大野町史 通史編』

岐阜県2003『岐阜県史 考古資料』

岐阜県教育委員会2002『岐阜県中世城館跡総合調査報告書第1集（西濃地区・本巣郡）』

岐阜県文化財保護センター2018『六里遺跡・福荷遺跡』

- 2) 大野町教育委員会2010『大野町史 増補編』

- 3) 大野町教育委員会2009『大野町遺跡詳細分布調査報告書 資料（考古）編』

- 4) 3) と同じ

- 5) 2) と同じ。

- 6) 竹谷勝也2011「第4章 大野郡の条里プラン」『大野の条里 大野町遺跡詳細分布調査報告書 条里編・解説編』、大野町教育委員会

- 7) 水野時二1971『条里制の歴史地理学的研究』、大明堂

- 8) 6) と同じ。

- 9) 7) と同じ。

- 10) 竹谷勝也2011「第2章 歴史地理学調査」『大野の条里 大野町遺跡詳細分布調査報告書 条里編・解説編』、大野町教育委員会

- 11) 2) と同じ。

- 12) 2) と同じ。

- 13) 岐阜県教育委員会2002『岐阜県中世城館跡総合調査報告書第1集（西濃地区・本巣郡）』

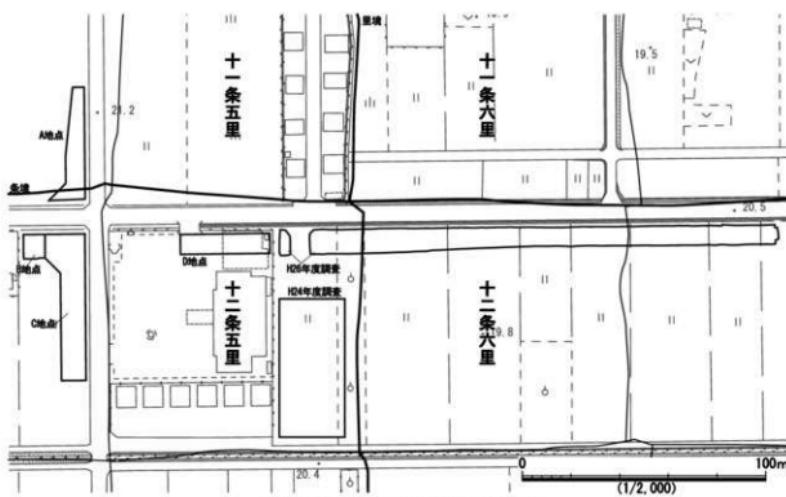


図7 過去の調査位置図と復原条里地割

(過去の調査位置図は岐阜県文化財保護センター 2018 を参考に、復原条里地割は大野町教育委員会 2011 をトレー
スして作成)

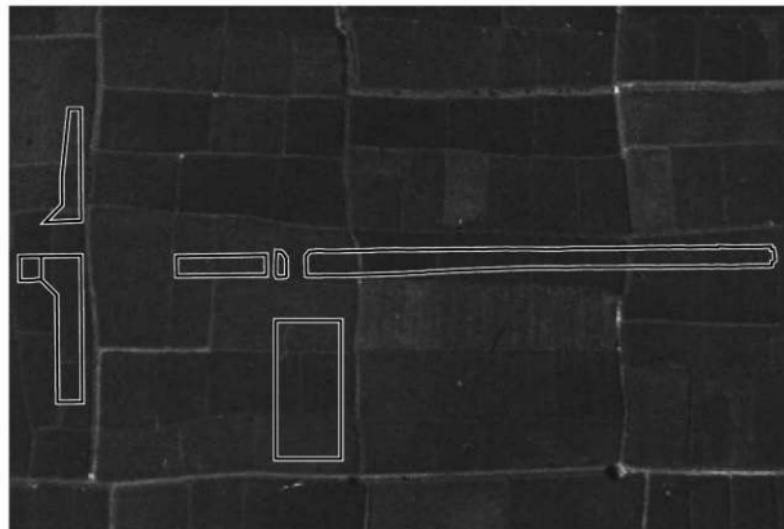


図8 発掘区周辺の空中写真（上が北）
(白枠は発掘区の位置、縮尺約1/2,000、昭和23年（1948）米軍撮影)

第3章 調査の成果

第1節 基本層序

基本層序は、平成27～29年度の試掘・確認調査の成果と各土層から出土した遺物、遺構の時期をもとに、平成26年度調査の基本層序に従い下記のとおり設定した。

- I層 発掘区全域で確認した圃場整備以降の土層である。土色・土質の違いから4層に細分した。I a層は、D地点発掘区に隣接する建物の駐車場造成に伴う造成土で、水田耕作土の上に盛土されている。土色は褐色（10YR4/4）の砂礫土である。I b層は現代の水田である。土色は褐灰色（10YR4/1）で、しまりはない。I c層は現代の水田敷土である。土色は黄灰色（2.5Y4/1）で、しまりがある。I d層は現代の水田を造成する際の盛土である。土色は黄灰色（2.5Y4/1）、暗灰黄色（2.5Y4/2）、黒褐色（2.5Y3/2）で、しまりがあり、礫を含む。B・C地点でのみ確認しており、田面を水平にするための盛土の可能性がある。I b層及びI c層は平成26年度調査でも確認している。I b層の上面は階段状に造成されており、東西方向は⑥から⑨にかけて、南北方向は④から①、④から⑤にかけて低くなっている（図10：①～⑨）。I b層・I c層・I d層は古墳時代から現代の遺物を含むが、I a層から遺物は出土しなかった。
- II層 平成26年度調査では、II層はII a層とII b層の2層に細分している¹⁾。今回の調査では、平成26年度調査の発掘区西端土層断面と対応するII a層及びII b層を確認した。II a層は圃場整備前までの水田耕作土と考えられ、発掘区全域で確認した。土色は黄灰色（2.5Y5/1）や暗灰黄色（2.5Y4/2）、オリーブ黒色（5Y3/2）で、部分的に明褐色（2.5YR5/6）や明黄褐色（2.5Y6/6）の細砂が層全体に混じる。古墳時代から近世の遺物を含む。II b層はA・B・C地点の発掘区全域とD地点の一部で確認した。II b層上面が第1調査面の遺構検出面である。土色は黒褐色（10YR3/2、2.5Y3/2）や灰色（5Y4/1）で、C地点南部では亜円礫が混じる。なお、D地点のB017グリッド以西ではII b層は確認できなかった（図10：⑧）。古墳時代から古代の遺物を含む。
- III層 今回の調査では確認していない。平成26年度の発掘区では、西部を除く全域で確認しており、埋土中から多量のプラントオバールが検出されたことから中世の水田層とされている。室町時代以前の遺物を含む。
- IV層 今回の調査では確認していない。平成26年度発掘区中央部東で確認されている。IV層上面は第2調査面の遺構検出面で、IV層には縄文時代晚期の遺物を含む。古墳時代の集落の基盤層を形成する堆積と考えられる。
- V層 平成26年度調査では、土色・土質の違いからV a層とV b層に細分している²⁾。今回の調査では、平成26年度調査の発掘区西端土層断面と対応するV b層を確認した。V b層上面は第2調査面の遺構検出面である。土色はオリーブ褐色（2.5Y3/3）や暗灰黄色（2.5Y5/2、2.5Y4/2）、灰色（10Y5/1）で、C地点南部では粘土、それ以外では砂質シルトである。V b層中から遺物は出土しなかった。また、V b層の上面で、平成26年度調査で確認されていない土層（図9：

16 第3章 調査の成果

A地点西壁5層、TP2南壁4層)をA地点の全域、C地点南部及びD地点B017グリッド以東で確認した。この土層の性格は不明であるが、第2調査面の遺構検出面であることや、無遺物層であること、Vb層の上に堆積していることなどから、Va層に対応するものと考えたい(図9・10)。土色は黒褐色(2.5Y3/2)(図9:A地点西壁5層)や黒色(2.5Y2/1)、黒褐色(10YR3/1)、黃灰色(2.5Y4/1)で、礫混じり粘土(図9:TP2南壁4層)である。Va層中から遺物は出土しなかつた。

VI層 今回の調査では確認していない。平成26年度調査では、縄文時代晚期の遺物包含層(VIa層)と、第3調査面の遺構面となる層(VIb層)に分けられる。

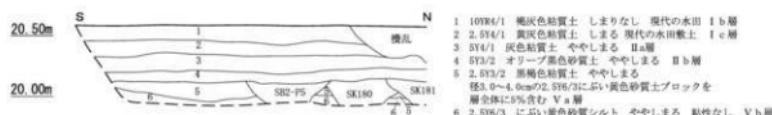
VII層 今回の調査では確認していない。河床礫層とされる。

注

1) 岐阜県文化財保護センター2018『六里遺跡・稻荷遺跡』

2) 1)と同じ。

A地点西壁(図10:②)



TP2南壁(Ⅱ層以下のみ)(図10:⑩)



図9 発掘区の土層断面

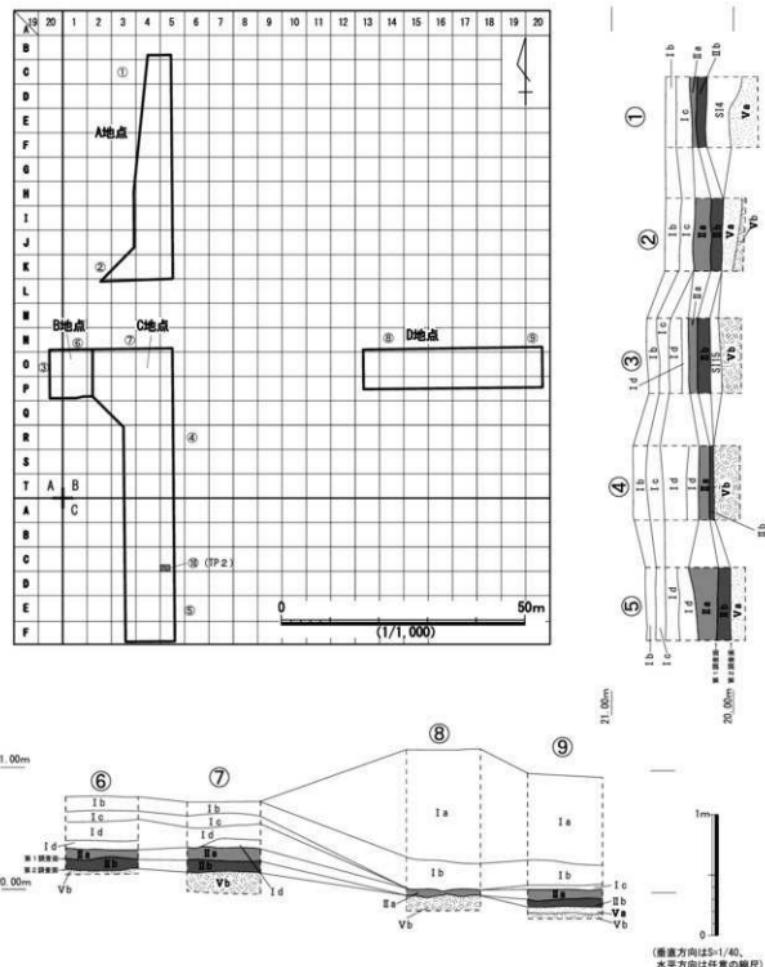


図10 六里遺跡土層柱状図

第2節 遺構・遺物の概要

1 遺構概要

(1) 概要

今回の調査では、古墳時代後期から古代の遺構を検出した。第1調査面では、中世以降の土坑列・溝等、第2調査面では古墳時代から古代の竪穴建物・掘立柱建物等を確認した。検出した遺構数は表3に示した。遺構の時期は、検出した調査面や出土遺物、遺構の重複関係から判断した。出土遺物が複数の時期にまたがる場合は原則として新しい時期を選択し、出土状況や出土量も判断材料としたが、時期不明とした遺構が多い。

なお、B・C地点では、第1調査面調査時に第2調査面の一部の遺構を掘削したため、第1調査面で調査した遺構であっても、出土遺物や重複関係、埋土の土色等から第2調査面に帰属させたものがある。

今回検出した遺構のうち、竪穴建物・掘立柱建物はすべて記述した。その他の遺構については、遺跡の性格を検討する上で重要なもののや、時代を特定できる遺物が出土したものについては記述し、それ以外は一覧表で示した。

(2) 遺構の分類

検出した遺構は、下記の要件に基づき分類し、原則としてA・B・C・D地点の順に発掘区の北西端から番号を付した。

竪穴建物（S I） 竪穴状の掘方を持ち、柱を据えるための穴である柱穴の存在から上屋を支える構造が想定されるもの。また、竪穴部掘方の大半が発掘区外に広がるため柱穴が確認できない場合であっても、カマドや壁際溝など竪穴建物の付属施設が確認されたものも竪穴建物に含めた。なお、床面で検出した柱穴や土坑は「（付属するSIの番号）-P●」、カマドや壁際溝は「（付属するSIの番号）-カマド、壁際溝●」と表記した。

掘立柱建物（S B） 柱穴が3基以上等間隔に並ぶ遺構のうち直角の配置が認められ、上屋構造を有すると推測できるもの。なお、掘立柱建物を構成する柱穴は「（SBの番号）-P●」と表記した。

土坑列（S A） ほぼ同じ規模の浅い土坑が3基以上直線的に並ぶことによって構成されるもの。

溝（S D） 上端の短軸に対して長軸（長さ）が5倍以上の細長く掘り込まれたもの。なお、5倍以上の長さがないものであっても、溝の底が土坑として連続して残存していると認められるものについては、溝に含めた。

単独柱穴（S P） 柱根や柱痕跡、柱あたり、礎板、礎板石が確認できるもの。または、建物に伴う柱穴と類似した形状・深さで、柱があった可能性が考えられるが、規則的に並ばないもの。

土坑（S K） 上記以外の掘り込みについて、すべて本類とした。

表3 種別ごとの遺構検出数

	SI	SB	SA	SD	SK	SP	合計
第1調査面	0	0	5	22	129	2	157
第2調査面	21	6	0	37	328	23	417
合計	21	6	5	59	457	25	574

(3) 遺構一覧表

各遺構の位置や規模などは、遺構種別ごとに作成した一覧表で示した。種別毎で一覧表の項目は異なるが、共通する項目の内容は次のとおりである。

検出面 遺構を検出した面について、略号で示した（「II b層上面」は「II b上」等）。

平面形状・底面形状・堆積状況・断面形状 図11の分類に基づき記載した。なお、平面形状・底面形状、断面形状、堆積状況については、下記分類に拠る。

平面形状・底面形状

a 円形（短径・長径の比が1:1.2未満） b 横円形（短径・長径の比が1:1.2以上）

c 方形（短軸・長軸の比が1:1.2未満） d 長方形（短軸・長軸の比が1:1.2以上） e 不定形

断面形状

下記で分類した底面と壁面の状況の組み合わせで表示する。

底面の状況 a:丸い b:平坦 c:尖る d:底面に小ピット e:二段 f:その他

壁面の状況 1:壁が外傾する 2:壁が直立 3:壁が内傾する 4:その他

堆積状況

a:単層 b:水平堆積 c:窪みのある堆積 d:柱痕跡がある堆積 e:柱痕跡が掘方底部に達しない

f:柱痕跡下部に堆積あり g:柱痕跡上部に堆積あり h:柱痕跡上下に堆積あり i:抜き取り痕あり j:その他

規模 () で示した数値は残存値の規模を示す。

重複関係 重複した遺構について、その遺構より新しい遺構の番号を「新」、古い遺構の番号を「旧」に記載した。

出土遺物 遺構内からの出土遺物の種別を下記略号で示した。

H-土師器、P-須恵器、K-灰釉陶器、Y-山茶碗、T-山茶碗以外の中近世陶磁器、D-土製品、

S-石製品、W-木製品、I-金属製品

平面形状・底面形状

a 円形



b 横円形



c 方形



d 長方形



e 不定形

堆積状況

a 単層



b 水平堆積



c 窪みのある堆積



d



e



f



g



h



i その他



図11 平面形状・底面形状・堆積状況模式図

2 遺物概要

(1) 概要

今回の調査では土師器、須恵器など土器類と、土製品、石製品、木製品、金属製品が出土した。出土点数は表4のとおりである。土器類は14,484点出土したが、そのうち古墳時代後期から古代にかけての土器類が大半を占める。遺物量に比例して、この時期の遺構数が最も多い。また、地点毎の遺物出土量は、A地点が48.4%、B・C地点が41.0%、D地点が10.6%である。D地点は面積が狭小であるため割合が少ないが、A地点の調査面積は488.7m²であるのに対し、B・C地点の調査面積は990.5m²と2倍近くあるにも関わらず、出土量はA地点がB・C地点よりも多い。これは、第2調査面の遺構密度がB・C地点よりもA地点が高いためと思われる。そのため、今回の発掘区では、集落域の中心は北部にあったと考えられる。出土遺物は遺跡の性格や遺構の時期などを検討する上で必要な遺物を中心に抽出し、掲載した。なお、土器類の年代観や器種分類は既存の編年には従ったほか¹⁾、土師器は内堀信雄氏・井川祥子氏、須恵器は渡邊博人氏、灰釉陶器・山茶碗・中近世陶磁器は藤澤良祐氏の指導を得たが、最終的な判断は筆者が行った。

表4 地点ごとの遺物出土点数

	土師器	須恵器	灰釉陶器	山茶碗	中近世 陶磁器	土器類 小計	石製品	土製品	金属製品	木製品	合計	地点毎 の割合
A地点	5,371	1,489	11	66	74	7,011	3	12	1	1	7,028	48.4%
B・C地点	3,611	1,751	86	383	102	5,933	3	9	3	3	5,951	41.0%
D地点	1,280	182	14	36	28	1,540	3	2	0	0	1,545	10.6%
合計	10,262	3,422	111	485	204	14,484	9	23	4	4	14,524	100.0%

※点数は接合後の破片数である。

(2) 出土遺物の分類

土師器 器種は甕、鍋、櫃、高坏などがあるが、そのほとんどが古墳時代後期である。

須恵器 器種は壺類、蓋類や瓶類が出土している。出土量の多い壺類は下記のとおり分類を行った。

壺蓋A類 返りを持たないもの。

壺蓋B類 口縁部内面に返りが認められるもの。

壺蓋C類 口縁端部を屈曲させるもの。

壺身A類 受け部があるもの。

壺身B類 受け部がないもので、高台がないもの。

壺身C類 受け部がないもので、高台があるもの。

灰釉陶器 器種は碗、小皿が、I層やIIa層から出土した。丸石2号窯式、虎渓山1号窯式が多い。

山茶碗等 器種は碗、小皿、片口鉢が、I層やIIa層から出土した。第3型式～第8型式が出土した。

中近世陶磁器 古瀬戸系施釉陶器、貿易陶磁器等がある。I層やIIa層から出土した。

土製品 瓦、土錐などがある。

石器・石製品 砥石と剥片が出土した。砥石は砂岩や凝灰岩製、剥片はチャート製である。

木製品 A地点第2調査面のSP4から柱材が出土したほか、先端に加工のある用途不明木製品が出土した。

金属製品 銭貨と鉄製品が出土した。

(3) 遺物観察表

本報告書に掲載した遺物の観察表は、種別ごとに作成し、遺物番号順に記載した。種別により一覧表の項目は異なるが、共通する項目の内容は次のとおりである。

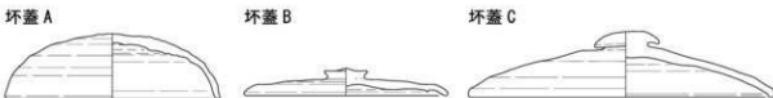


図12 須恵器坏蓋の分類 (S=1/3)

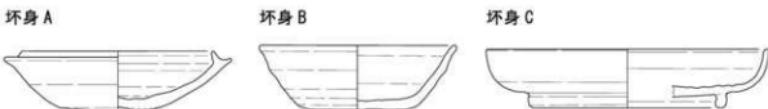


図13 須恵器坏身の分類 (S=1/3)

出土位置 複数のグリッド、遺構から出土した遺物が接合した場合は、すべての出土位置を表記した。

出土層位 出土した基本層序名を表記した。排水溝掘削等による出土遺物など、所属層位が不明確なものは、複数の層序を併記した。また、遺構出土の場合は、埋土を深さ5cmごとに人工分層し、その取上層位を上層から順に「a・b・c・」と表記し、土層観察用畦から出土したものは、その土層番号(1・2・3・)を表記した。なお、複数の土層から出土した遺物が接合した場合は、すべての層位を表記した。

大きさ ()で示した大きさは、土器の場合は復原長、その他製品については残存値を示す。

器面調整 磨滅等により不明な場合は、「不明」と記載した。

胎土・色調 胎土中の含有物は肉眼観察で判断した。色調は「新版標準土色帳」(小山・竹原2002)に基づき肉眼観察で判断し、見本に近い色調を記載した。

注

1) 土器類の器種分類や年代観については下記の文献を参考にした。

愛知県史編さん委員会2007『愛知県史 別編 窯業2 中世・近世 濱戸系』

愛知県史編さん委員会2015『愛知県史 別編 古代 猿投系』

内藤信雄・井川洋子1996『美濃における古代土師器煮炊具の様相』『鍋と甕 そのデザイン 第4回東海考古学フォーラム』東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会

各務原市教育委員会1984『美濃須衛古窯跡群資料調査報告書』

中村 浩2001『和泉陶色窯出土須恵器の型式編年』

渡邊博人1996『美濃の後期古墳出土須恵器の様相—蓋坏の型式設定とその編年試案—』『美濃の考古学』創刊号、美濃の考古学刊行会

渡邊博人2008『美濃須衛窯について』『日本考古学協会2008愛知県大会研究発表資料』日本考古学協会2008年度愛知大会実行委員会

第3節 A地点の遺構・遺物

1 第1調査面

(1) 土坑列

SA 1 (図14)

検出状況 BH 4～BI 5 グリッドのII b層上面で検出した。同規模の浅い穴が 0.6m～0.8m間隔で、ほぼ直線的に並ぶことから、一連の遺構と判断し土坑列とした。重複関係にある遺構は無く、平面形は明瞭であった。検出した範囲では長さは 5.58mあるが、発掘区外に広がる可能性が高い。土坑が並ぶ方向はN-62° -Eである。

土坑 9基の土坑を検出したが、いずれも浅い円形の穴である。埋土は単層で、鉄分の沈着が著しい。直径は 0.24m～0.41m、深さは 0.04m～0.11mである。

遺物出土状況 P 1 から須恵器 2点、P 2 から土師器 3点、P 5 から土師器 3点、P 6 から須恵器 1点、P 7 から土師器 1点、P 8 から須恵器 1点が埋土中から出土した。

出土遺物 いずれも小片であるため図示しなかった。

所属時期 II b層上面で検出し、耕作に伴う可能性があることから、中世以降と思われる。

SA 2 (図14)

検出状況 BI 4 グリッドのII b層上面で検出した。同規模の浅い穴が 0.6m～0.7m間隔で、ほぼ直線的に並ぶことから、一連の遺構と判断し土坑列とした。重複関係にある遺構は無く、平面形は明瞭であった。検出した範囲では長さは 4.25mあるが、発掘区外に広がる可能性がある。土坑が並ぶ方向はN-75° -Eである。

土坑 7基の土坑を検出したが、いずれも浅い円形の穴である。埋土は単層で、鉄分の沈着が著しい。直径は 0.23m～0.46m、深さは 0.02m～0.07mである。

遺物出土状況 P 1 から須恵器 1点、山茶碗 1点、P 2 から土師器 3点、P 4 から土師器 1点、P 5 から土師器 2点、P 7 から土師器 1点が埋土中から出土した。

出土遺物 いずれも小片であるため図示しなかった。

所属時期 II b層上面で検出し、耕作に伴う可能性があることから、中世以降と思われる。

SA 3 (図15)

検出状況 BJ 4～BJ 5 グリッドのII b層上面で検出した。同規模の浅い穴が 0.6m～0.7 m間隔で、ほぼ直線的に並ぶことから、一連の遺構と判断し土坑列とした。また、SA 4 とは 0.5m～0.6mの間を空け平行する。重複関係にある遺構は無く、平面形は明瞭であった。長さは 2.68mで、土坑が並ぶ方向はN-89° -Eである。

土坑 5基の土坑を検出したが、いずれも浅い円形の穴である。埋土は単層で、鉄分の沈着が著しい。直径は 0.24m～0.36m、深さは 0.03m～0.12mである。

遺物出土状況 P 1 から土師器 2点が埋土中から出土した。

出土遺物 いずれも小片であるため、図示しなかった。

所属時期 II b層上面で検出し、耕作に伴う可能性があることから、中世以降と思われる。

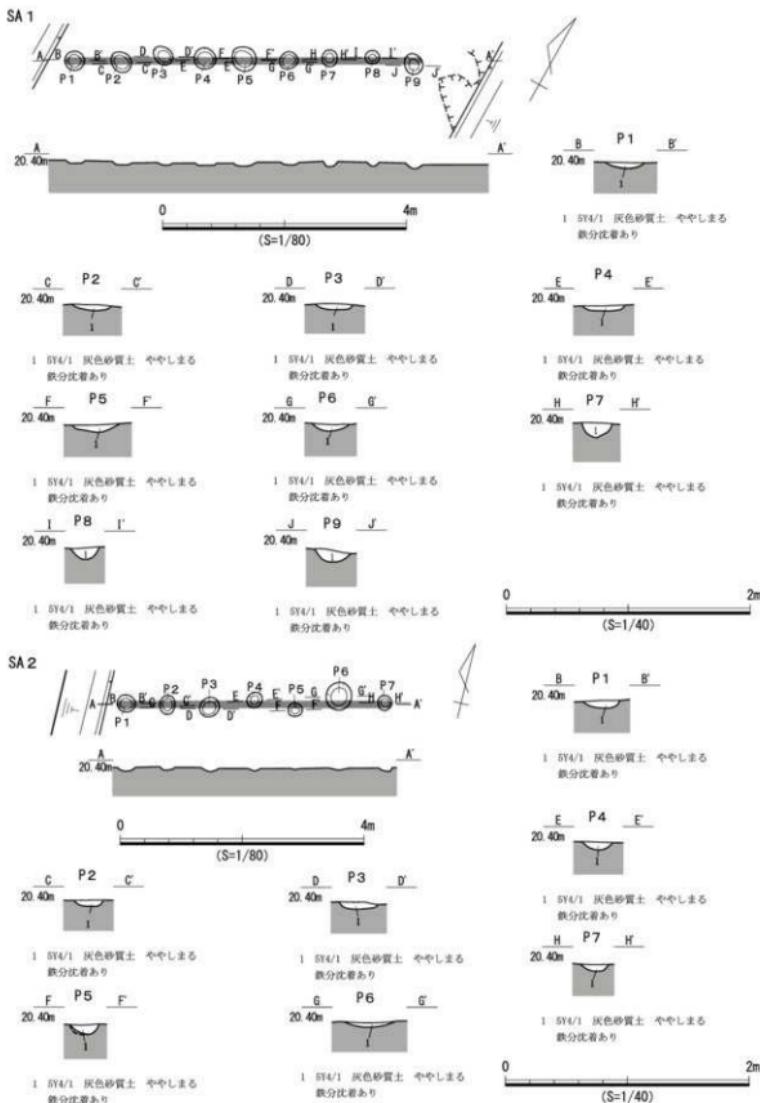


図14 SA 1・SA 2遺構図

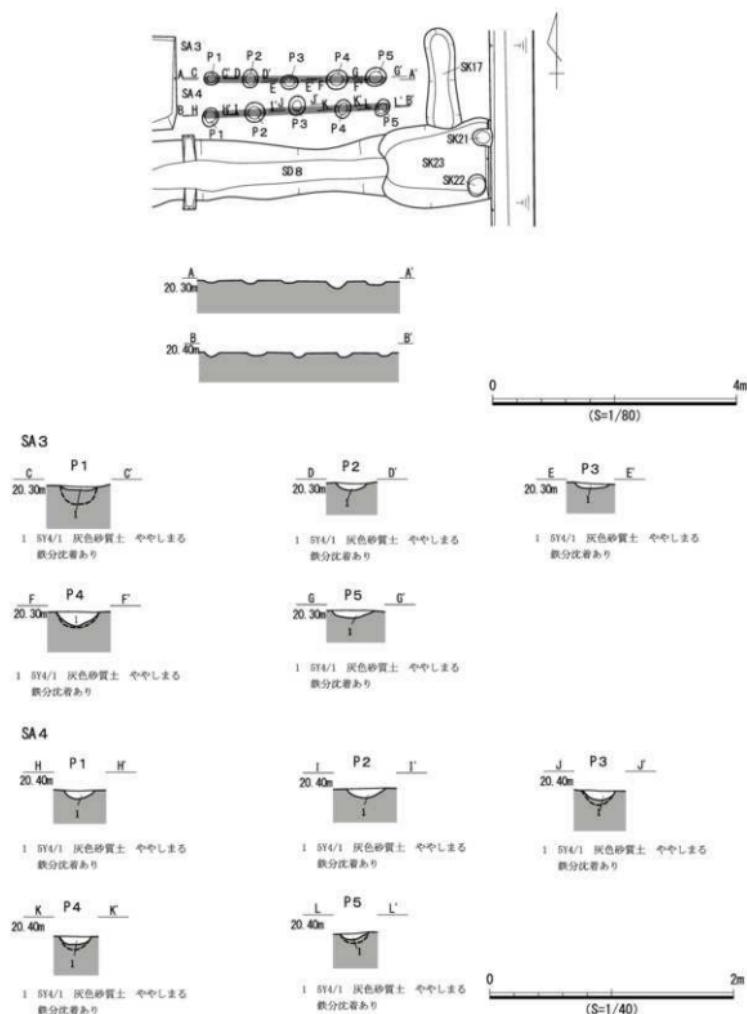


図15 SA3・SA4造構図

SA 4（図15）

検出状況 BJ 4～BJ 5 グリッドの II b 層上面で検出した。同規模の浅い穴が 0.6m～0.7m 間隔で、ほぼ直線的に並ぶことから、一連の遺構と判断し土坑列とした。SA 3 と並行し、土坑の間隔もほぼ同じであることから、SA 3 と SA 4 は関連性が強いと思われる。重複関係にある遺構は無く、平面形は明瞭であった。長さは 2.58m で、土坑が並ぶ方向は N-88°～E である。

土坑 5 基の土坑を検出した。平面形はいずれも円形である。埋土は単層で、灰色の埋土が堆積していた。直径は 0.3m～0.34m、深さは 0.05m～0.08m である。

遺物出土状況 P 2 から土師器 1 点、P 3 から土師器 1 点、P 4 から土師器 1 点が埋土中から出土した。

出土遺物 いずれも小片であるため、図示しなかった。

所属時期 II b 層上面で検出し、耕作に伴う可能性があることから、中世以降と思われる。

(2) 溝

SD 6（図16）

検出状況 BH 4～BH 5 グリッドの II b 層上面で検出した。直線的な東西方向の溝で、条里地割に平行する。西部は発掘区外へ続く。重複する遺構はない。SD 6 の遺構埋土は II b 層と異なるため、平面形は明瞭であった。

埋土 単層で、ブロック土が混じることから人為的堆積の可能性がある。なお、流水の痕跡は確認できなかった。

掘方 底面は比較的平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器 17 点が散在して出土した。

出土遺物 いずれも小片のため図示しなかった。

所属時期 II b 層上面で検出したことから中世以降と考えられる。

SD 8（図16・19）

検出状況 BJ 3～BJ 5 グリッドの II b 層上面で検出した。直線的な東西方向の溝で、SA 3・SA 4・SD 9・SD 12 と並行する。重複関係は、SK18・SK19・SK23 よりも古い。SD 8 の埋土は、重複する遺構及び II b 層と異なるため平面形は明瞭であった。

埋土 4 層に分層した。4 層はブロック土を少量含むが、1～3 層はブロック土を含まない堆積であるため、堆積状況は不明である。なお、流水の痕跡は確認できなかった。

掘方 底面は丸く、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器 53 点、須恵器 18 点が散在して出土した。

出土遺物 土師器等 4 点を図示した。1 は甕の口縁部である。2 は須恵器の壺身 A 類である。小型で、立ち上がりは短い。美濃須衛窯編年 III-3 期と考えられる。3 は壺身 C 類である。高台は低く、接地面は指ナデにより窪む。また、底部外面に「吉福」と墨書がある。美濃須衛窯編年 V-2 期と考えられる。4 は盤で、高台がやや外に開く形状である。美濃須衛窯編年 III-3 期と考える。

所属時期 II b 層上面で検出したことから、中世以降と考えられる。

SD 9（図16）

検出状況 BJ 3～BK 5 グリッドの II b 層上面で検出したが、発掘区西壁土層断面の観察から II a 層上面

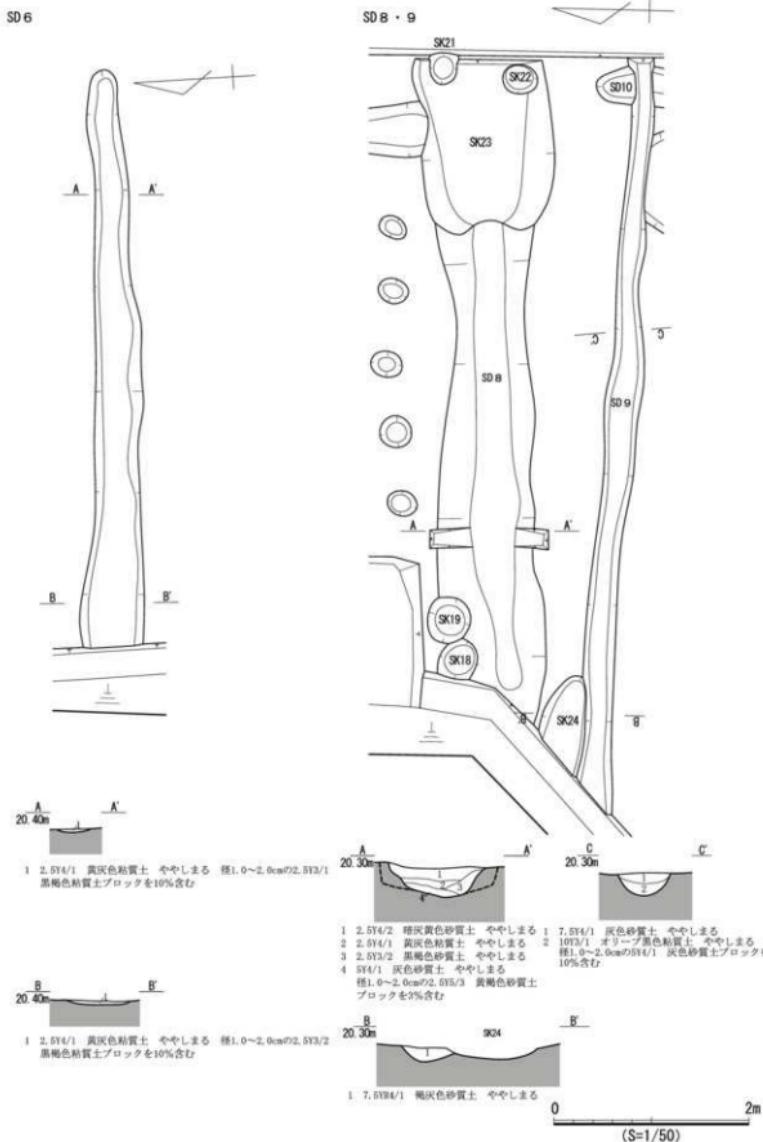


図 16 SD 6・SD 8・SD 9 遺構図

から掘り込まれている状況を確認した。重複関係は、重複するいずれの遺構よりも新しい。SD9の埋土は重複する遺構及びII b層と異なるため平面形は明瞭であった。SD8やSD12と同様で条里地割に平行する。

埋土 場所によって異なり、単層若しくは2層に分層した。ブロック土を含むことや、場所によって土性が異なることから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 底面は丸く、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器2点、須恵器3点が散在して出土した。

出土遺物 いずれも小片のため図示しなかった。

所属時期 SD9はII a層上面から掘り込まれており、米軍の空中写真にある東西方向の溝と位置が同じ可能性がある（図7・8）。そのため、圃場整備前まで使用されていた溝で、中世以降の条里地割に関連するものと推定される。

SD10（図17・19）

検出状況 BJ5～BK5グリッドのII b層上面で検出した。南北方向に直線的に掘削されており、条里地割に平行する。重複関係は、SD12・SK39よりも古い。

埋土 単層である。

掘方 底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器25点、須恵器10点、綠釉陶器1点、瓦1点が散在して出土した。

出土遺物 緑釉陶器等2点を図示した。5は猿投窯産の綠釉陶器で、高台高が低い。9世紀後半と考えられる。6は平瓦で、凸面布目瓦である。

所属時期 II b層上面で検出したことから、中世以降と考えられる。

SD12（図17・19）

検出状況 BK3～BK5グリッドのII b層上面で検出した。直線的で東西方向の溝であり、条里地割に平行する。重複関係は、SK37よりも古く、SD10・SD11・SD55・SK35・SK38よりも新しい。SD12埋土とII b層は異なるため、平面形は明瞭であった。

埋土 2層に分層したが、1層はブロック土を含まず、2層中にはブロック土を含む。埋土中に流水の痕跡は確認できなかった。

掘方 底面は平坦若しくは半円形である。壁面は緩やかに外傾するが、東半部の一部にはテラスが確認できる。

遺物出土状況 埋土中から土師器50点、須恵器30点が散在して出土した。

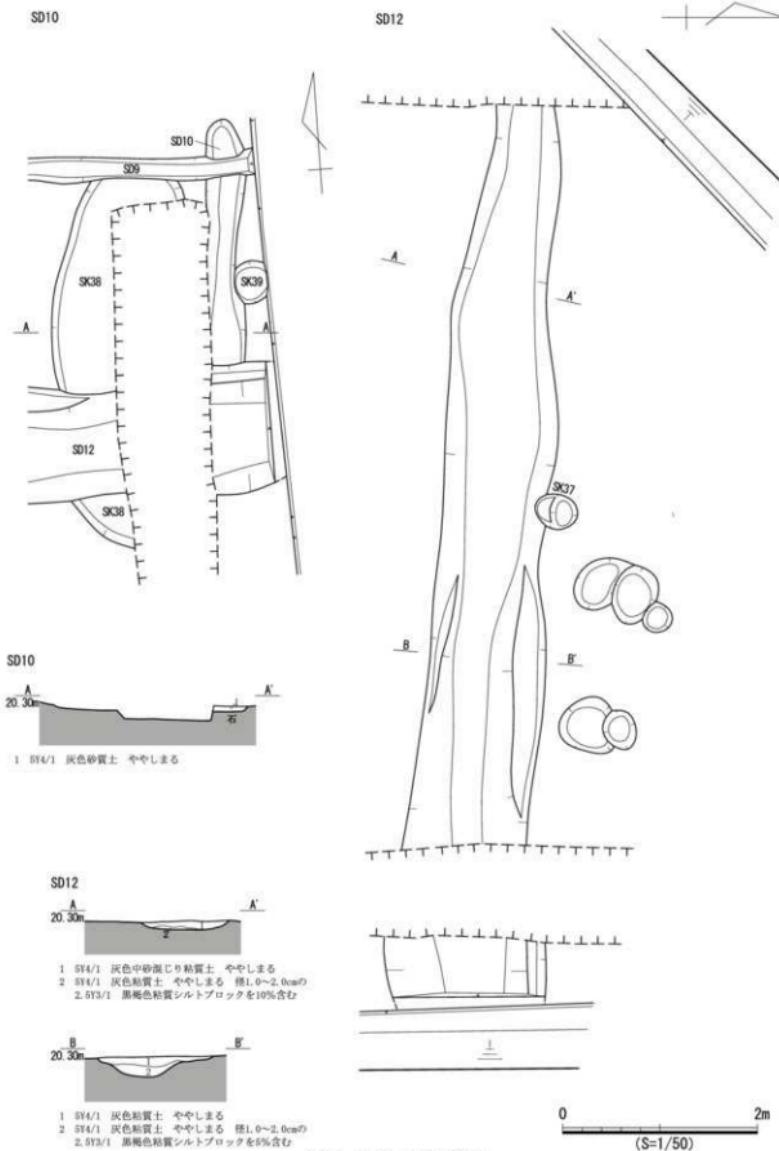
出土遺物 土師器甕等2点を図示した。7は土師器の甕の口縁部である。頸部がやや肥厚し、外面には縦方向のハケ目調整を施す。8は須恵器の鉢の底部である。底部と体部の境に稜が確認できる。7世紀代と考えられる。

所属時期 II b層上面で検出したことから、中世以降と考えられる。

（3）土坑

SK23（図18）

検出状況 BJ5グリッドのII b層上面で検出した。重複関係はSK17・SK21・SK22よりも古く、SD8よりも新しい。SK23の埋土と重複する遺構埋土は類似しており、平面形は不明瞭であった。



埋土 3層に分層した。レンズ状に堆積するが、3層が1層や2層に比べて厚く堆積しており、埋土中にブロック土を含むことから3層は人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は長楕円形である。底面は平坦で、壁面は緩やかに外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器8点、須恵器1点が散在して出土した。

出土遺物 小片のため図示しなかった。

所属時期 II b層上面で検出したことから、中世以降と考えられる。

SK33(図18・19)

検出状況 BK4グリッドのII b層上面で検出した。重複関係は、SK34よりも古く、SK32よりも新しい。SK33の埋土と重複する遺構埋土は類似しており、平面形は不明瞭であった。

埋土 2層に分層したが、ほぼ水平な堆積である。

掘方 平面形は円形で、底面は丸く、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、須恵器6点が散在して出土した。

出土遺物 9は須恵器の瓶類の底部である。胎土から、猿投窯産の可能性がある。

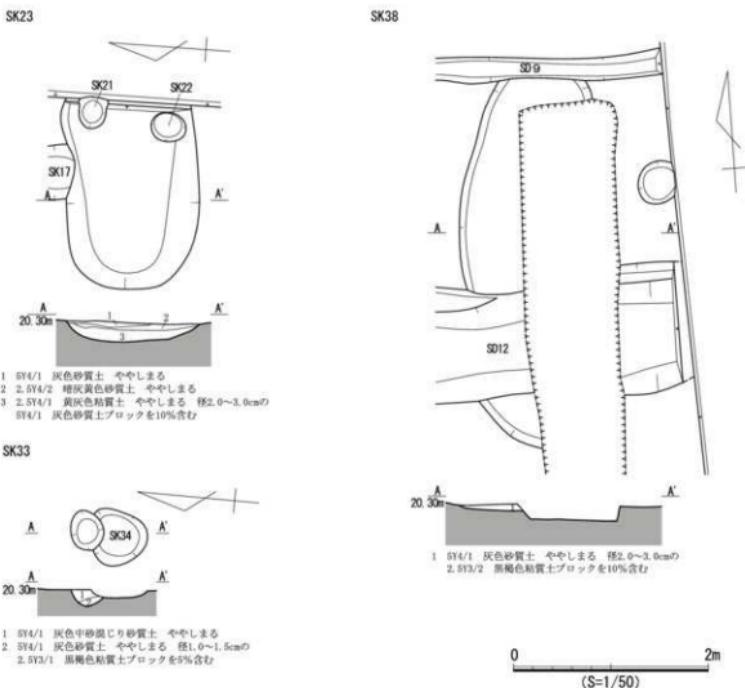


図18 SK23・SK33・SK38 遺構図

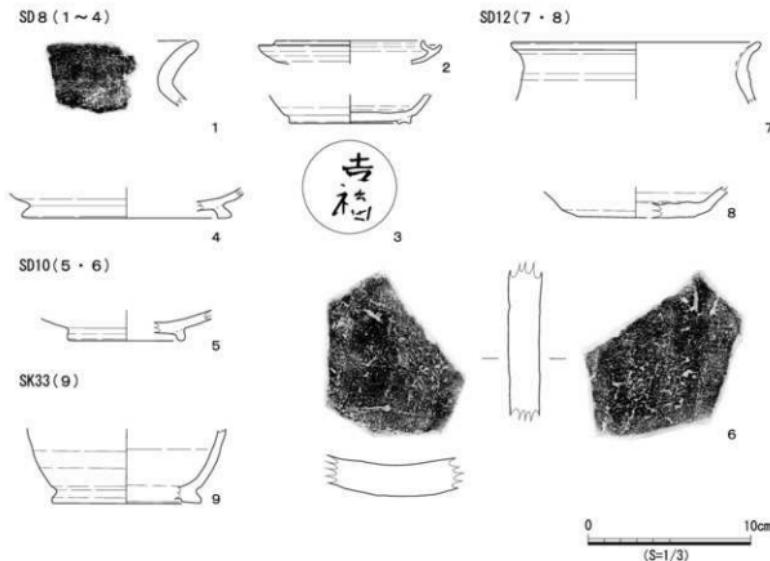


図19 A地点第1調査面遺構出土遺物

所属時期 II b層上面で検出したことから、中世以降と考えられる。

SK38（図18）

検出状況 BK 4～BK 5グリッドのII b層上面で検出した。南北方向に長軸があり、他の土坑にくらべてやや大型である。重複するいずれの遺構よりも古い。SK38の埋土と重複する遺構埋土は類似しており、平面形は不明瞭であった。

埋土 単層である。埋土中にはブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は長楕円形である。断面形は、底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器22点、須恵器10点、瓦1点が散在して出土した。

出土遺物 小片のため図示しなかった。

所属時期 II b層上面で検出したことから、中世以降と考えられる。

(4) 遺物包含層等出土遺物（図20・21）

表土や搅乱及びII a層から出土した遺物について説明する。

10～13は表土と搅乱から出土した遺物である。10・11は須恵器である。10は高环の坏部で、坏部の口縁部と底部の境には段が残る。11は盤の底部である。12・13は登窯期の擂鉢である。12は登窯第3小期、13は登窯第5小期に比定される。

14～23はII a層から出土した遺物である。14～19は土師器である。14～17は甕で、14～16は口縁端部

I層(10・12・13)・擾乱(11)



10



11



12



13

IIa層(14～23)



14



15



16



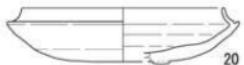
18



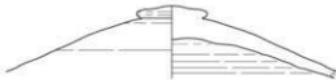
19



17



20



21



22



23

0 10cm
(S=1/3)

図20 A地点遺物包含層等出土遺物

を上方に摘み上げる。17は甕の口縁部から体部の破片で、外面に縦方向のハケ目調整、内面に横方向のハケ目調整を施す。18は伊勢型鍋の口縁部で、端部にはわずかに折り返しが確認できる。19は清郷型鍋である。20～27は須恵器である。20は壺身A類で、胎土から美濃須衛窯産と考えられる。21は壺蓋C類、22は壺蓋B類で、美濃須衛窯産と考えられる。23は壺身B類、24は鉢である。口縁部内面を回転ナデ調整し、わずかに瘤ませる。美濃須衛窯産と考えられる。25・27は盤である。26は甕の体部片で、外面に斜格子の叩き目、内面に同心円状の当具痕が残り、扁平に作られた把手が付く。28は灰釉陶器の碗で、ハケ塗りにより灰釉が施釉される。光ヶ丘1号窯式に比定される。29～31は山茶碗類である。29は小碗で尾張型第4型式、30は小皿で大畠大洞4号窯式に比定される。31は尾張型の山茶碗で、内面に黒い付着物が残る。第5型式に比定される。32・33は片口鉢である。32は体部から口縁

II a 層 (24 ~ 38)

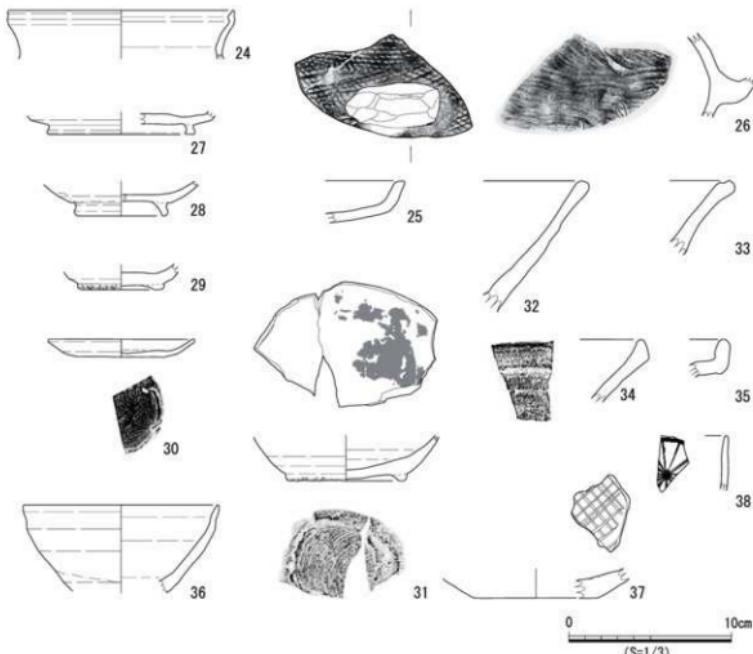


図21 A地点遺物包含層出土遺物（1）

部にかけて直線的に延びるが、33は口縁部がわずかに外反する。34・35は擂鉢の口縁部で、34は大窯第1段階、35は登窯第6小期に比定される。36は中国産の天目茶碗である。37は鉢皿で、内面はやや摩滅する。古瀬戸後II期に比定される。38は瀬戸美濃産の箱型湯呑で、外面に呉須による菊文が描かれる。第9小期頃と考えられる。

2 第2調査面

(1) 壺穴建物

SI 1 (図 22・23・32)

検出状況 BB 4～BC 5 グリッドのVa層上面で、掘方の南西部を検出した。重複関係は、SK125・SK448より古く、SI 2よりも新しい。検出時には SI 2 が新しいと判断し、先に SI 2 を掘削した。しかし、SI 2 の土層断面で SI 1 の掘方の立ち上がりが見えたため、SI 2 の土層観察用畔に沿ってサブトレンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認し（図 24：SI 2 遺構図 B-B' 断面、C-C' 断面）、先後関係の誤認と判断したため、SI 2 の掘削を中断して SI 1 を掘削した。これにより SI 1 の掘方西壁は確認できなかった（図 22：SI 1 遺構図 C-C'）。また、SI 1 が SK448 よりも新しいと考え調査を行ったが、

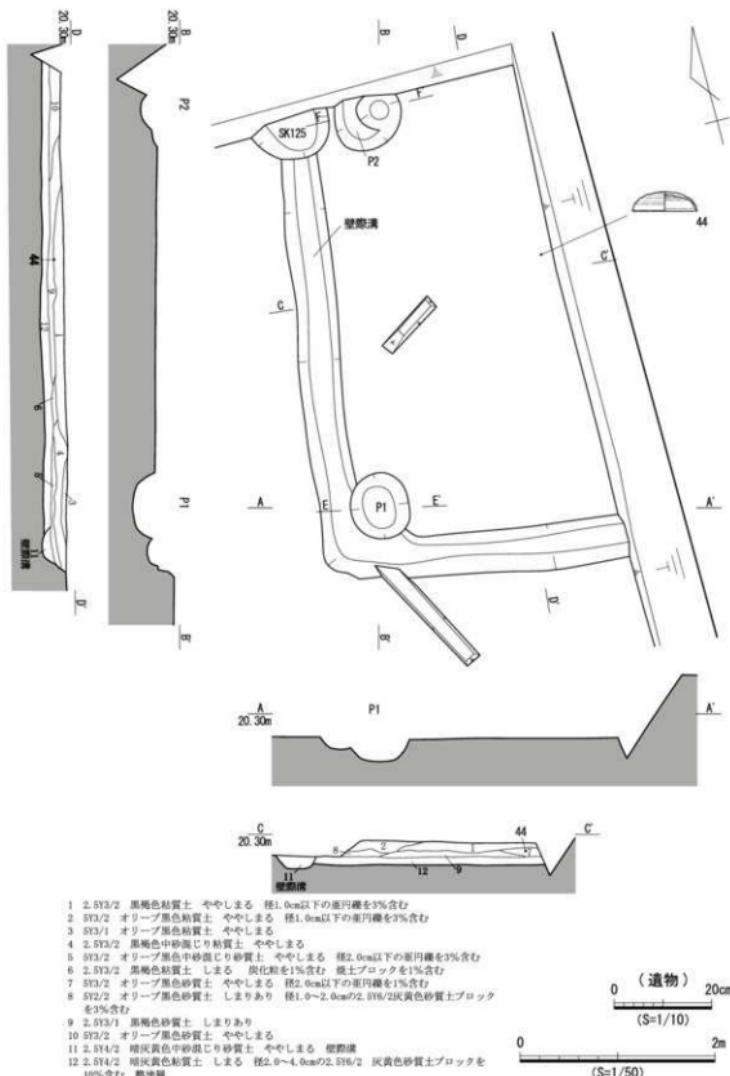


図22 SI 1遺構図(1)

P1 E E
20.30m



1. 2.SY3/1 黒褐色砂質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの
2. SY3/2灰黄色砂質土ブロックを10%含む
2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの
2. SY4/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
3. 2.SY4/2 灰黄色砂質土 ややしまる

P3 G G'
20.10m



1. 2.SY3/2 黒褐色中砂混じり粘質土、しまる
2. 2.SY4/2 灰黄色砂質土、しまりなし

P2 F F'
20.30m



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる 程1.0~3.0cmの
2. SY6/2灰黄色砂質土ブロックを10%含む
2. SY4/2 灰黄色砂質土 ややしまる

P4 H H'
20.10m



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる

SI1(箇方完掘状況)

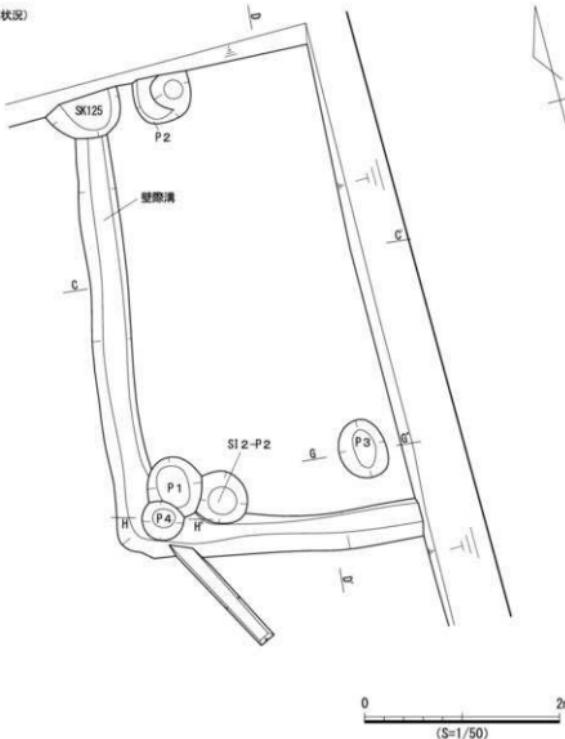


図23 SI1造構図(2)

SK448 の底面直上から出土した遺物は、SI 1 の床面から出土した遺物よりも新しいことが整理等作業時に判明し、先後関係を誤ったと判断した。SI 1 の埋土は、重複する遺構埋土やVa層と類似しており、平面形は不明瞭であった。直線的な二辺と隅部が確認できたこと、床面で柱穴の可能性がある遺構を検出したことから、堅穴建物の可能性がある。

規模・形状 長軸方位はN-8°-Eである。平面形は、検出した二辺が直線的で直交することから方形と思われる。検出した範囲から、長軸長が5.10m以上、短軸長が2.68m以上である。

埋土 SI 1 の埋土は5層～10層で、掘方の中央が壅む堆積である。また、上記のとおり SK448 との先後関係を誤っていたため、2～4層は SK448 の埋土と考えられる。1層は SI 1 及び SK448 の上に堆積していることから、掘方が埋没した後の壅みに溜まつた土か、浅い掘り込みの埋土の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層（12層）を掘方全体で確認した。整地層にはブロック土を多く含む。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴の可能性がある遺構1基、壁際溝1条、性格不明の土坑1基である。P 1 は掘方の隅部に近い位置にあることから柱穴の可能性があるが、他に明確な柱穴は確認できなかつた。また、壁際溝は P 1 よりも古く、P 1 が掘削された時点では埋まつていたと考えられる。そのため、壁際溝は壁材の据付掘方の可能性がある。また、整地層を除去したところ、掘方の底面から性格不明の土坑 P 3・P 4 を検出した。なお、カマドは検出できなかつた。

遺物出土状況 44は床面直上から逆位で出土した。その他、掘方の埋土から土師器147点、須恵器13点、P 1 から土師器1点、P 2 から土師器1点が散在して出土したが、遺構重複関係の誤認のため SK448 の遺物を含む可能性がある。また、当初 SI 2 として掘削し取り上げた遺物には、SI 1 出土とするべき遺物が含まれている。

出土遺物 土師器甕など7点を図示した。このうち41～43、45は、当初 SI 2 として取り上げたが、出土位置から SI 1 のものと判断した。39～43は口縁端部を摘み上げる土師器甕で、口縁部から頸部を肥厚させるものが多い。44は須恵器の坏蓋A類、45は須恵器の坏身A類で、美濃須衛窯編年のII期後半に比定できる。

時期 床面から出土した須恵器から6世紀末から7世紀前葉と考えられる。

SI 2（図24・32）

検出状況 BB 4～BD 4グリッドのVa層上面で検出した。掘方の中央から西部は発掘区外に広がり、東端は SI 1 によって削平される。重複関係は、SI 1・SK448 より古い。前述のとおり検出時には SI 2 が SI 1 や SK448 よりも新しいと誤認していた。SI 2 の埋土は、重複する遺構埋土やVa層と類似しており、平面形は不明瞭であった。向かい合う直線的な二辺が確認できたこと、床面で柱穴の可能性のある遺構や壁際溝を検出したことから、堅穴建物の可能性がある。

規模・形状 長軸方位はN-20°-Wである。東側が SI 1 と重複し、西側が発掘区外に広がるため、全形は不明であるが、平行する二辺があることから方形若しくは長方形の可能性がある。検出した範囲から、長軸長が4.86m以上、短軸長が0.98m以上である。

埋土 9～12層が SI 2 の埋土である。9・12層は水平に、10・11層は部分的に堆積している。また、9層は粘性が強く径1mm以下の亜円礫を含む土であるが、10層以下は均質である。

床面・掘方 整地層は確認できなかつたが、掘方底面で柱穴の可能性がある遺構や壁際溝を検出した

ため、掘方底面を床面とした。床面はほぼ平坦で、壁面はやや外傾する。なお、床面に硬化した状況は確認できなかった。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴の可能性がある遺構1基、壁際溝1条である。P1は床面で検出したが、掘方の隅部付近に位置することから、SI1の掘方底面で検出したP2とともに柱穴の可能性があると判断した。なお、カマドは検出できなかった。

遺物出土状況 掘方の埋土中から土師器36点、須恵器3点が散在して出土したが、遺構重複関係の誤認のため、SI1やSK448の遺物を含む可能性がある。また、付属遺構から遺物は出土しなかった。

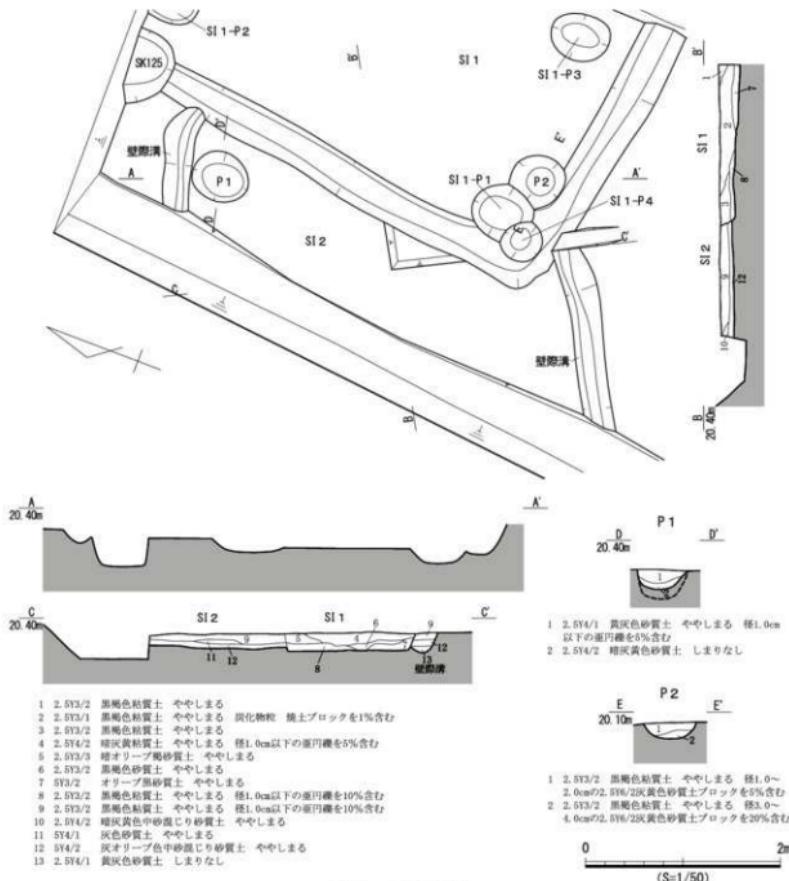


図24 SI2遺構図

出土遺物 土師器甕1点を図示した。46は口縁端部を摘み上げ、口縁部から頸部が肥厚する土師器甕である。

時期 重複関係からはSI1よりも古いが、出土遺物からは6世紀末から7世紀前葉と考えられ、SI1との時期差はあまりないものと思われる。

SI3（図25・26・32）

検出状況 BD4～5グリッドのVa層上面で検出し、掘方東部から南東部は発掘区外に広がる。重複関係は、SI4やSK453、SD22よりも古く、SK143やSK442よりも新しい。SI3埋土は、重複する遺構埋土や検出面と類似しており、平面形は不明瞭であったが、SI4を掘削後、その東壁に遺構の掘り込みがあることを確認したため、再度検出作業を行い、方形の竪穴状となることを確認した。また、SI4との間には土層観察用畔に沿ってサブトレーンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認した。なお、床面で柱穴の可能性がある遺構を確認したことから、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-33°-Wである。平面形は、検出した向かい合う二辺が直線的で平行することから方形若しくは長方形と思われる。検出した範囲の大きさは、長軸長は3.10m以上、短軸長は3.05m以上である。

埋土 埋土は7層に分層したが、壁面近くから中央部の順に埋まった後、全体を覆うように堆積している。埋土はブロック土を多く含む層が多いため、人為的堆積と思われる。

床面・掘方 床面はほぼ平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層（8層）を掘方全体で確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴状の穴3基、性格不明の土坑1基である。P1・P2は掘方の隅部に近い位置、土層断面に柱痕跡を確認したP3は中央部付近に位置しており、どちらかを柱穴とする可能性があると思われる。その他、床面でP4を検出したが、性格不明である。なお、壁際溝とカマドは検出できなかった。

遺物出土状況 埋土から、土師器43点と須恵器3点が散在して出土した。また、付属遺構から遺物は出土しなかった。

出土遺物 図示した遺物は、楕の把手1点（47）である。

時期 SI4との先後関係から、7世紀前半以前の遺構と考えられる。

SI4（図27・28・32）

検出状況 BD4～BE5グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、SD22・SK127・SK128・SK130よりも古く、SI6・SK143・SK442よりも新しい。SI4の埋土は重複する遺構埋土やVa層と類似しており、平面形は不明瞭であった。このため、掘削時には土層観察用畔に沿って、東辺を超えるようにサブトレーンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認した。なお、床面で柱穴を確認したことから、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-53°-Wである。平面形は、東辺よりも西辺が長くなる不整形である。検出した範囲では、長軸長は4.38m、短軸長は4.12mである。

埋土 埋土は15層に分層した。壁面近くから中央部の順に埋没する堆積で、埋土中にブロック土が多く混じる堆積があることから、人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層（17層）を掘方全体で確認し

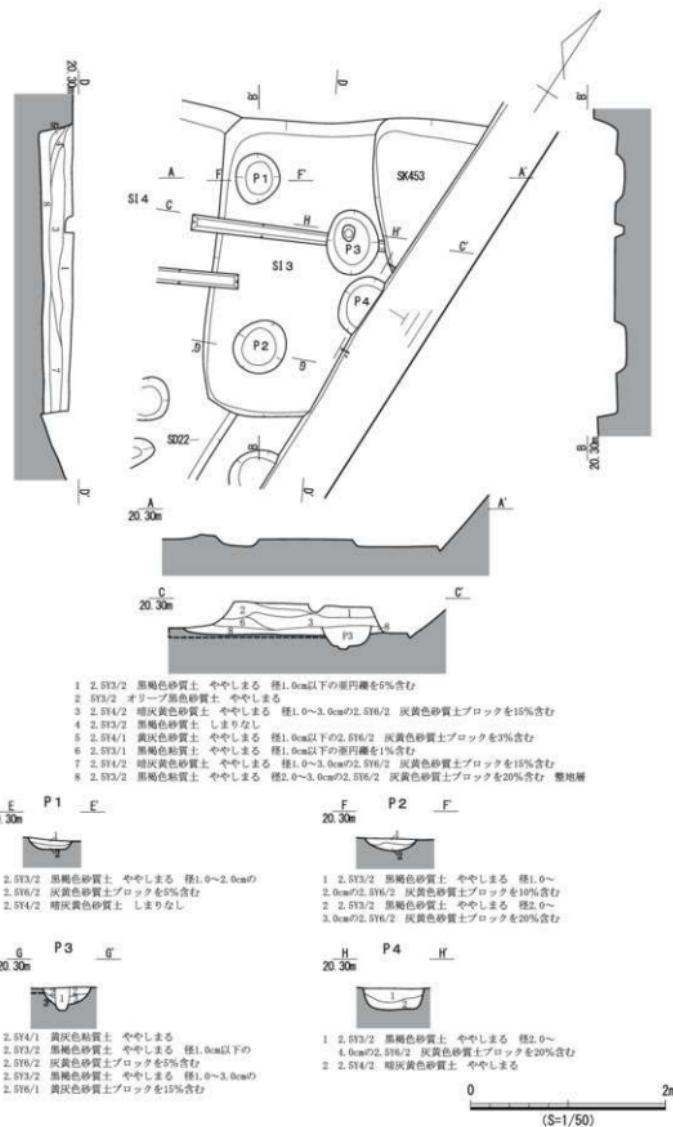


図25 SI 3造構図(1)

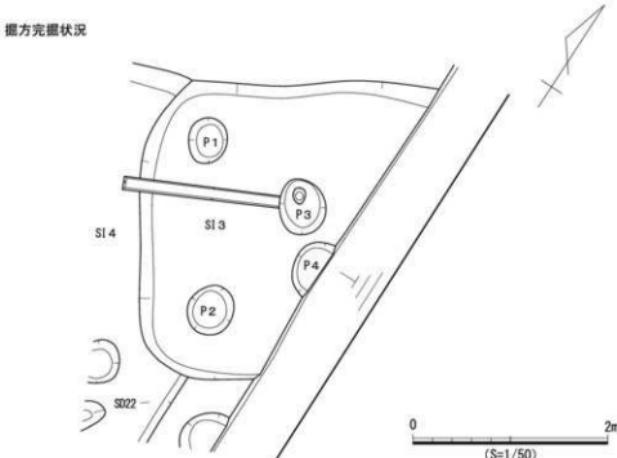


図 26 SI 3 遺構図(2)

た。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴2基と壁際溝1条である。P1は浅い穴、P2は柱痕跡を確認した。壁際溝は、南辺から西辺の一部にかけて確認した。掘方底面では、P3・P4・P5を検出したが、P3・P4では柱痕跡を確認したことと、P1・P2と合わせてそれぞれ掘方の隅部に近い位置で確認したため、この竪穴建物の柱穴と思われる。そのため、P3・P4は床面で見落としたと考えられる。P5は性格不明の土坑である。なお、カマドは検出できなかった。

遺物出土状況 埋土から、土師器46点と須恵器3点が散在して出土した。付属遺構から遺物は出土しなかった。

出土遺物 小片であるが、須恵器1点を図示した。48は畿内系の壺蓋A類で、7世紀前半頃のものと思われる。

時期 出土した須恵器から7世紀前半と考えられる。

SI 5 (図29・30・32)

検出状況 BF4～BG5グリッドのV a層上面で検出した。重複関係は、SI 7よりも古く、SI 6・SK133よりも新しい。SI 5の埋土は重複する遺構埋土及びV a層と類似しており、平面形が不明瞭であったため、掘削時には土層観察用畔に沿って、北辺と西辺を超えるようにサブトレンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認した。カマドの痕跡や床面で柱穴を検出したことから、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-24°-Wである。平面形は、東辺よりも西辺が長くなる不整長方形である。検出した範囲では、長軸長は4.76m、短軸長は3.76mである。

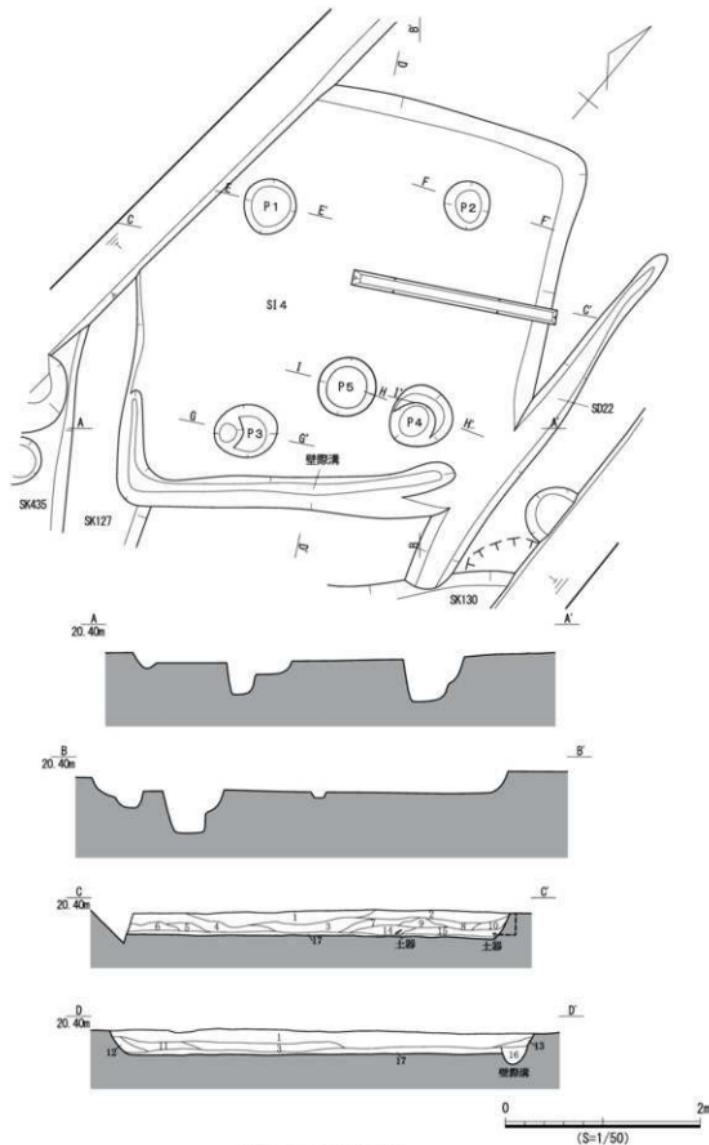


図 27 SI 4 遺構図 (1)

- 1 2.SY3/3 噴オーリーブ褐色砂質土、ややしまる 径1.0~2.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを3%含む
 2 2.SY3/2 黒褐色砂質土、ややしまる 径1.0cm以下の亜円錐を3%含む
 3 2.SY3/2 黑褐色砂質土、ややしまる 径1.0~2.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを1%含む
 4 2.SY3/2 黑褐色砂質土、ややしまる 径1.0cm以下の亜円錐を5%含む
 5 2.SY3/1 黑褐色砂質土、ややしまる
 6 2.SY3/2 黑褐色中砂混じり砂質土、ややしまる
 7 2.SY3/2 黑褐色砂質土、ややしまる 径1.0~2.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 8 2.SY3/2 黑褐色砂質土、ややしまる 径1.0~2.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 9 2.SY3/2 黑褐色砂質土、ややしまる 径1.0~3.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 10 19SY3/2 黑褐色砂質土、ややしまる 径1.0~2.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 11 2.SY3/1 黑褐色砂質土、ややしまる
 12 2.SY3/1 黑褐色砂質土、ややしまる
 13 2.SY3/2 灰黄色砂質土、ややしまる 径1.0~2.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 14 2.SY3/4 にぶい黒褐色土、しりあり 径2.0~3.0cmの2.SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを15%含む
 15 2.SY3/1 黑褐色砂質土、ややしまる
 16 2.SY3/1 黑褐色砂質土、ややしまる
 17 2.SY3/2 灰黄色中砂混じり砂質土、しまりなし 砂粒多い
 18 2.SY3/1 黑褐色砂質土、ややしまる
 19 2.SY3/2 灰黄色中砂混じり砂質土、しまりあり 砂層地

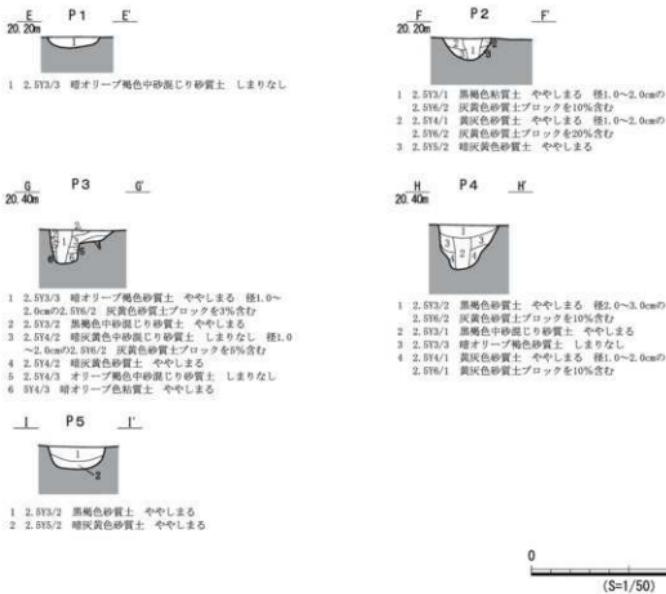


図28 SI 4 遺構図(2)

埋土 埋土は4層に分層した。東西の壁側から堆積し、次に北壁から東壁にかけて、その後中央から南壁にかけて堆積している。埋土中にはブロック土が含まれることから、人為堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層（5層）を掘方全体で確認した。整地層にはブロック土を多く含む。

付属遺構 床面で検出した遺構は、小穴5基、カマド1基で、P1・P2・P3・P4は竪穴の内部に位置することから、柱穴の可能性が考えられる。P3はやや深いが、その他の柱穴はいずれも浅い。いずれの柱穴からも柱痕跡は確認できなかった。カマドは北壁に設けられていたと思われ、北壁中央

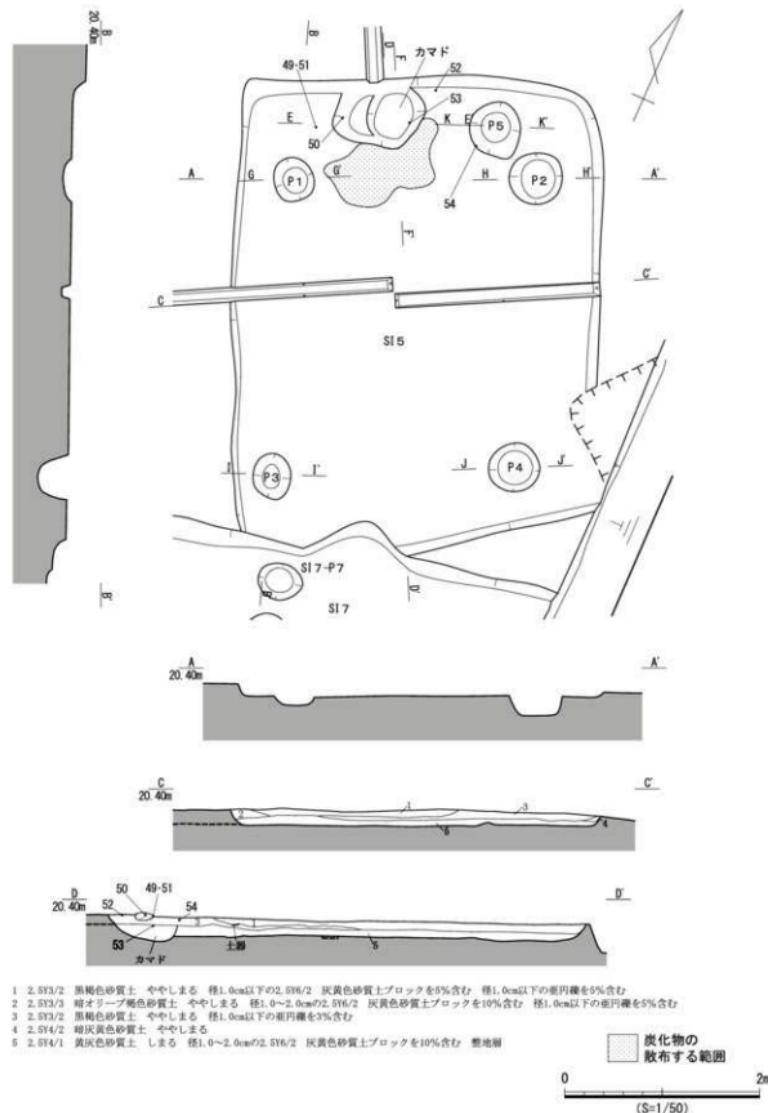


图 29 S15 遗构图(1)

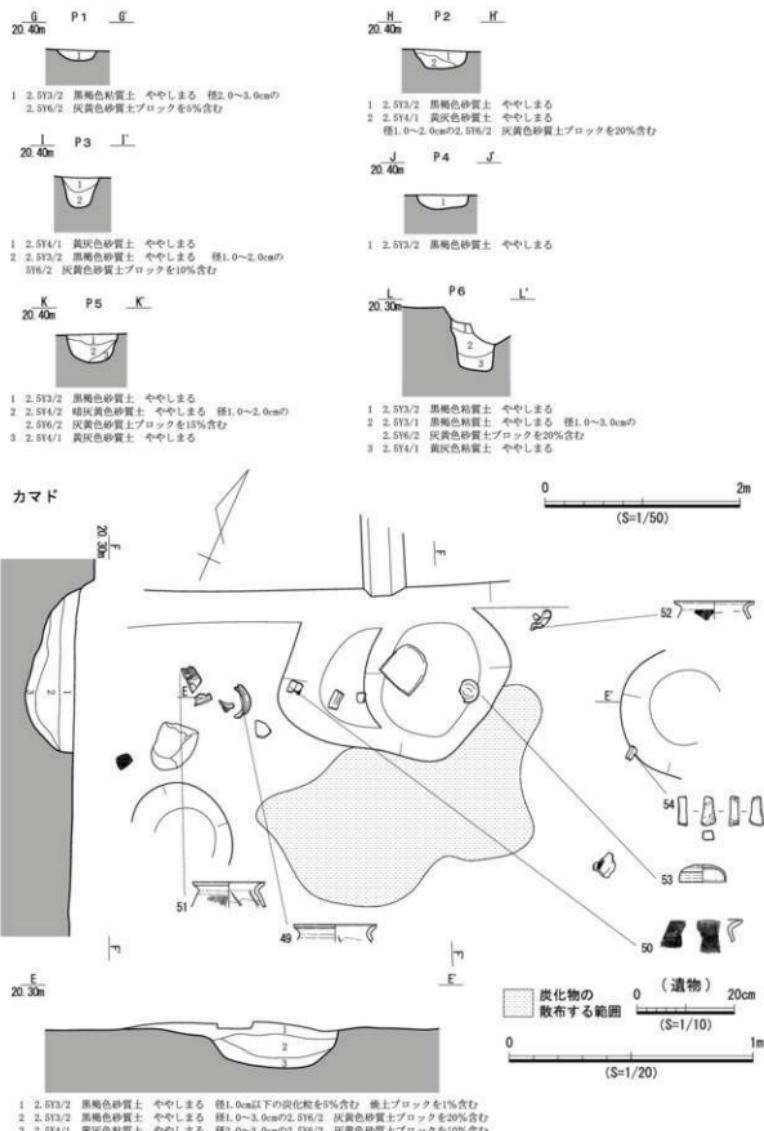


図30 SI 5 遺構図(2)

掘方完掘状況

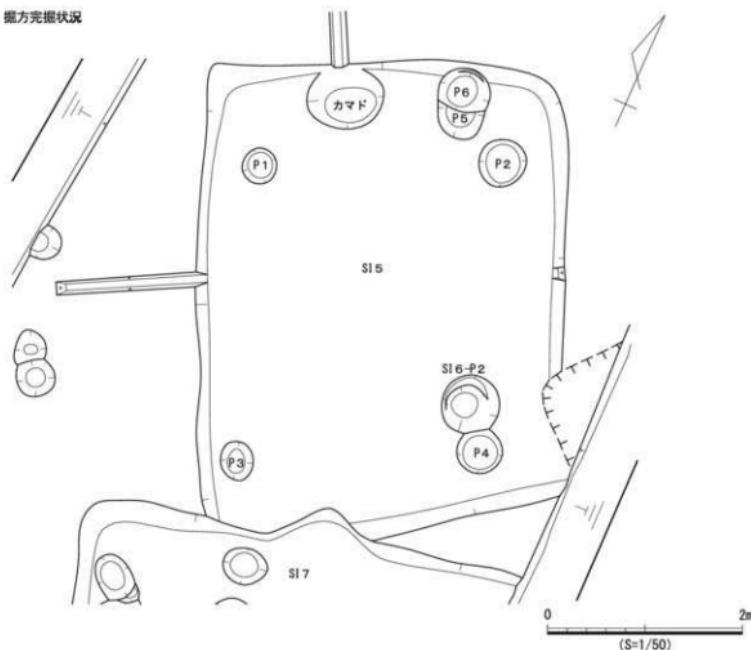


図31 SI 5遺構図(3)

に沿って埋土中に焼土粒を含む浅い掘り込みを確認し、その南側には炭化物が広がる。浅い掘り込みはカマドの掘方と思われるが、袖部等の構築材は確認できなかった。P 5はカマドの東側で検出したが、性格不明の土坑である。また、整地層掘削後に、性格不明の土坑P 6を検出したが、SI 5よりも古い遺構である可能性が高い。

遺物出土状況 壁穴北壁近くのカマド掘方周辺で土師器・須恵器がまとまって出土した。53はカマドの掘方埋土直上から逆位で出土した。その他、竪穴埋土中から土師器 129 点、須恵器 5 点、石製品 1 点、P 2 から土師器 2 点、P 5 から土師器 1 点、P 6 中から土師器 17 点が散在して出土した。

出土遺物 土師器甕等 6 点を図示した。49～52 は、口縁端部を外方に摘み上げる甕である。50 は口縁端部の摘み上げは短い。53 は猿投窓産の須恵器壺蓋 A類で、7世紀中葉のものと考えられる。54 は砾石である。

時期 竪穴北壁近くでまとまって出土した土師器や須恵器から、7世紀中葉と考えられる。

SI 6 (図33～35)

検出状況 BG 4～BG 5 グリッドのVa層上面で検出したが、他の遺構と重複しているため北西部のみ確認した。重複関係は、SI 5・SI 7・SI 8・SK133よりも古く、SK138よりも新しい。SI 5 底面において掘方の北東部を検出した。SI 6 の埋土は、SI 5 の埋土とは類似しており区別が困難であったが、他の

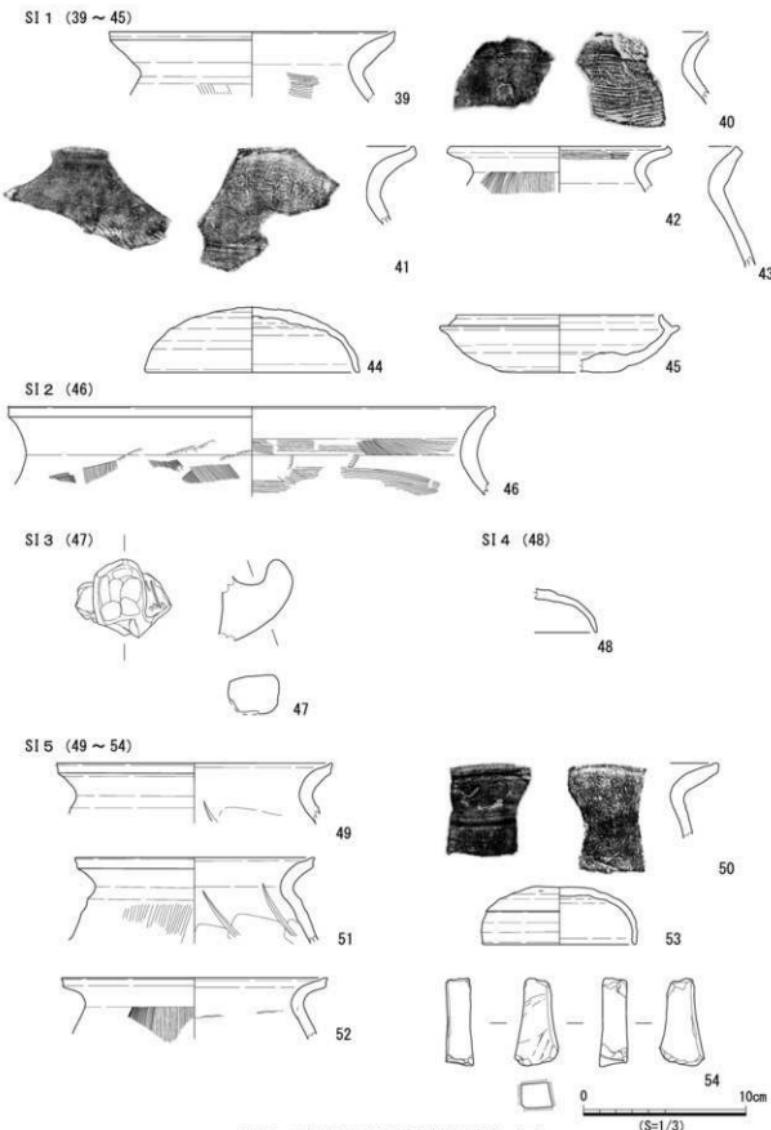


図32 A地点第2調査面遺構出土遺物(1)

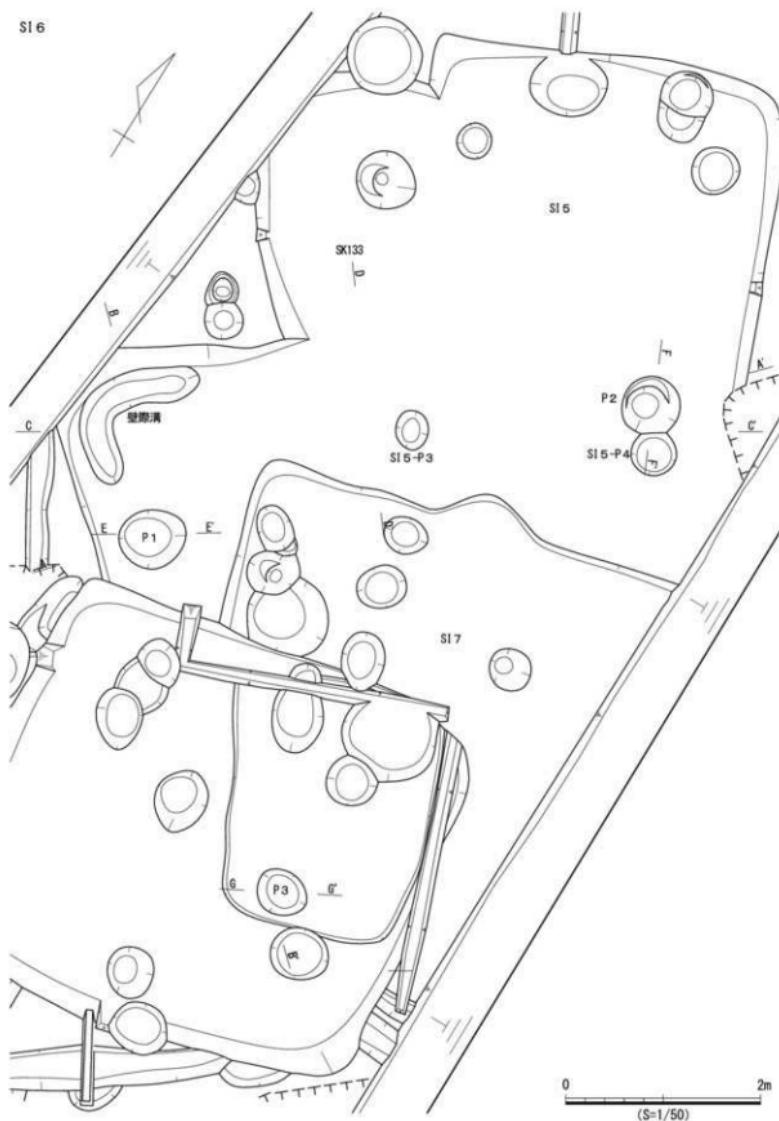


図33 SI6遺構図(1)

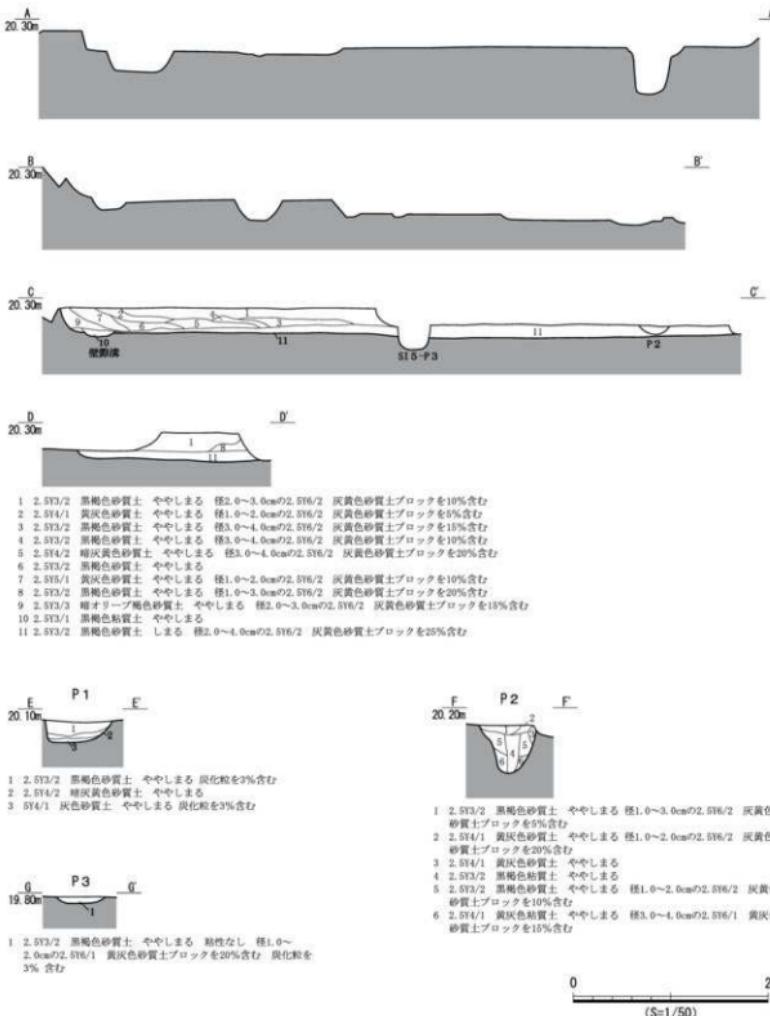


図34 SI 6遺構図(2)

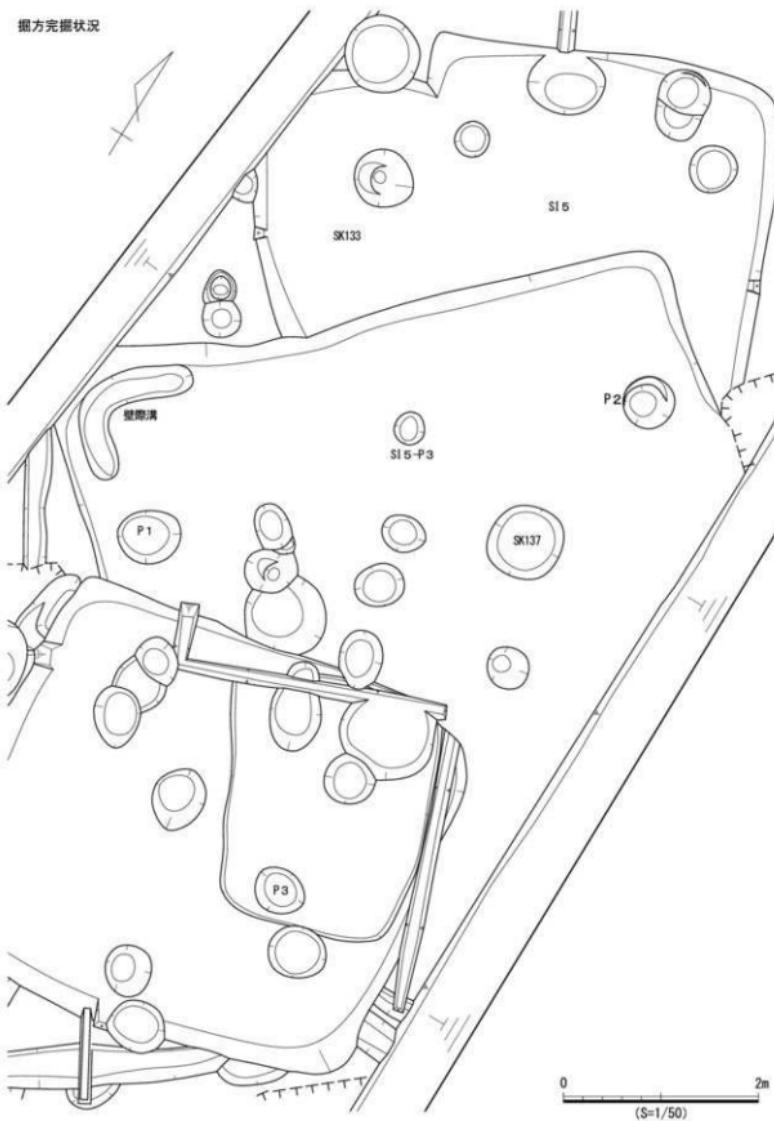


図35 SI 6遺構図(3)

遺構埋土やVa層とは異なり平面形が明瞭であった。平面形や床面で柱穴と思われる穴を検出したことから、堅穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-57°-Eである。掘方の平面形は、SI5底面で検出した状況から方形となるが、南東部は確認できなかった。検出した範囲から、長軸長が6.51m、短軸長が5.90m以上である。

埋土 埋土は9層に分層した。南西壁際から順次堆積して中央が窪地となり、最終的に1層により埋没しているが、埋土中にブロック土を含むことから、人為的堆積と考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層(11層)を掘方全体で確認した。整地層にはブロック土を含む。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴2基、壁際溝1条であるが、SI8-P6底面で検出した穴(P3)が位置的に柱穴となる可能性があるため、この遺構に付属するものと考えたい。P1~P3は、方形の掘方の隅部に位置することから柱穴と考えられる。P2では土層断面に柱痕跡を確認したが、P1・P3では確認できなかった。壁際溝は、掘方の北西隅で部分的に検出した。なお、カマドは確認できなかった。

遺物出土状況 掘方埋土中から土師器25点、須恵器1点、P1から土師器1点、P2から土師器2点が散在して出土した。

出土遺物 いずれも小破片のため図示しなかった。

所属時期 SI5やSI7との先後関係から、7世紀中葉よりも古い時期と考えられる。

SI7(図36~40、56)

検出状況 BG4~BH5グリッドのVa層上面で検出した。掘方の東部は発掘区外に広がり、南西部はSI8と重複する。SI8との重複関係は、平面形を検出した時点ではSI7が新しいと判断し、SI7から掘削を開始した。しかし、SI7床面においてSI8の北辺から東辺が見えたため、土層観察用畔に沿ってサブトレンチを掘削し南畔及び西畔を確認したところ、SI8の掘方から壁が立ち上がる判断した(図36:SI7A-A'断面、B-B'断面)。そのため、SI7の掘削を中断してSI8を完掘した後に、再度SI7を掘削した。ただし、後述するように出土遺物はSI8出土のものが古いという、時期が逆転した状態となっている。また、SI8北壁部分では、SI7を先行して掘削した際に焼土や炭化物など、カマドの存在をうかがわせるようなものが確認できなかったこと、他の遺構でも重複関係の誤認があり、遺構の識別が困難な場所であることなど、土層断面でのSI8壁面の確認が確実なものとは言い難い。なお、他の遺構については、SI5・SI6・SK137はSI7よりも古い。堅穴内でカマドや柱穴を確認したことから、堅穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-13°-Wである。平面形は、北辺から西辺の形状と一部のみ検出した南辺の形状から、不整な方形と考えられる。検出した範囲から長軸長が5.26m、短軸長が4.41m以上である。

埋土 埋土は21層に分層した。北壁側から埋没し、中央から南部がほぼ水平に堆積している。貼床層は確認できず、整地層も北壁のカマド周辺で確認した(図39:0-0'断面24層・25層)だけである。ブロック土を含む層が多いため、人為的堆積と考えられる。また、カマド付近では焼土ブロックや炭化物を含む土が堆積している。

床面・掘方 床面はカマド付近がやや高く、壁面はやや外傾する。床面に硬化する状況は確認できな

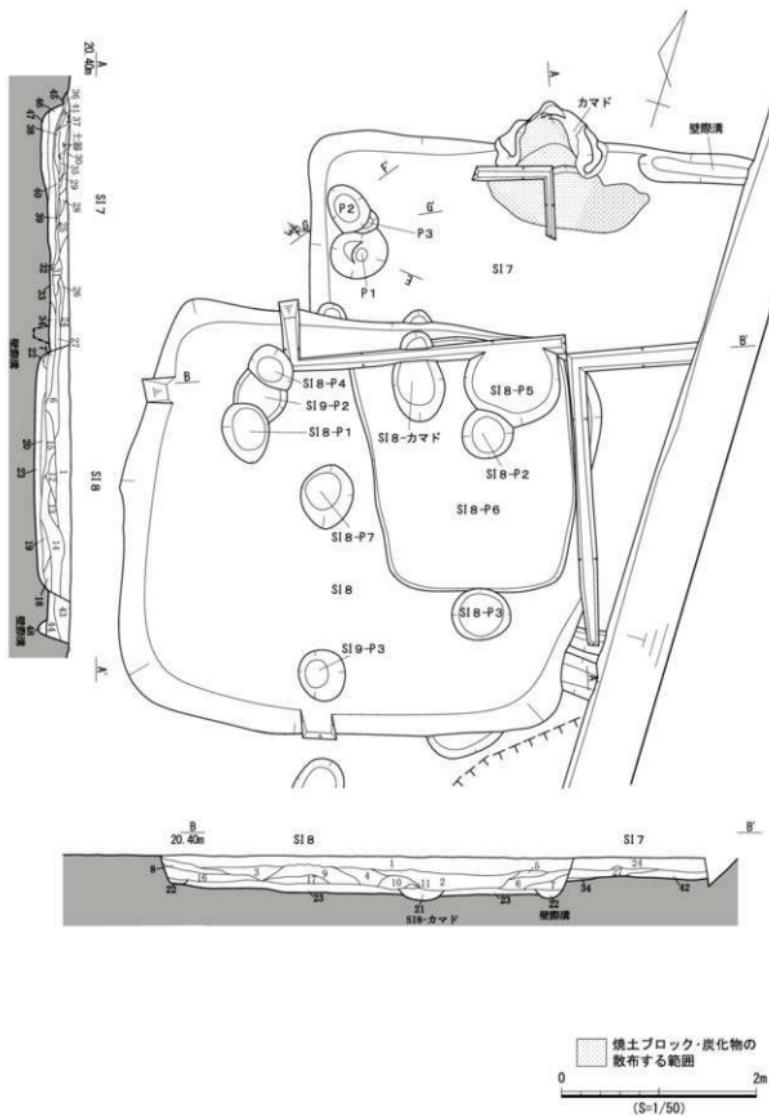


図 36 SI 7 造構図 (1)

1. 2. SY3/3 増オーブ褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 2. SY3/2 オリーブ褐色砂質土 ややしまる 鉄分多着多い
 3. 2. SY3/3 増オーブ褐色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cm以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 4. 2. SY3/1 黒褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを1%含む
 5. 2. SY4/1 黄灰色砂質土 ややしまる
 6. 2. SY4/2 灰暗黄色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cmの2. SY6/3 にぶい黄色砂質土ブロックを10%含む
 7. SY3/2 オリーブ褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを1%含む
 8. 2. SY4/2 灰暗黄色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cm以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 9. 2. SY3/3 増オーブ褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以上以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを3%含む
 10. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 11. SY4/1 灰色砂質土 ややしまる
 12. SY3/2 増オーブ黑色砂質土 ややしまる
 13. 2. SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 14. 2. SY4/1 黄灰色砂質土 ややしまる 徑1.0~3.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 15. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0~3.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを15%含む
 16. 2. SY3/2 黄灰色砂質土 ややしまる 徑1.0~4.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 17. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 18. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑2.0~4.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを25%含む
 19. 2. SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
 20. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 21. 2. SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 徑3.0~4.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む SIS-カマド埋土
 22. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 23. 2. SY4/1 黄灰色砂質土 ややしまる 徑1.0~3.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 24. 2. SY4/2 灰暗黄色砂質土 ややしまる
 25. 2. SY3/2 灰暗黄色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/3 黑褐色砂質土ブロックを5%含む
 26. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる カマド灰化土
 27. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の灰化粘土を5%含む
 28. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cmの2. SY6/3 黄褐色砂質土ブロックを10%含む 稕土ブロックを微量含む
 29. 2. SY4/1 灰暗黄色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/2 黄褐色砂質土ブロック15%を含む 灰化粘土を微量含む
 30. 2. SY4/2 灰暗黄色砂質土 ややしまる 稕土ブロックを5%含む
 31. 2. SY4/1 黄灰色砂質土 ややしまる 徑2.0~4.0cmの2. SY6/3 黄褐色砂質土ブロックを5%含む 稕土ブロック、灰化粘土を1%含む
 32. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑2.0~3.0cmの2. SY6/3 黄褐色砂質土ブロックを10%含む
 33. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cmの2. SY6/3 黄褐色砂質土ブロックを30%含む
 34. 2. SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
 35. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる カマド崩落土
 36. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 灰化粘土10%含む
 37. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 38. 2. SY4/3 オリーブ褐色砂質土 ややしまる 稕土ブロックを5%含む
 39. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/3 黑褐色砂質土ブロックを5%含む 灰化粘土を微量含む
 40. 2. SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 稕土を5%含む 灰化物層 カマド崩落土
 41. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/3 黑褐色砂質土ブロックを5%含む
 42. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0cm以下の2. SY6/3 黄褐色砂質土ブロックを5%含む
 43. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑1.0~2.0cmの2. SY6/2 黄褐色砂質土ブロックを10%含む
 44. 2. SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 徑2.0~4.0cmの2. SY6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 45. 2. SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 稕土を5%含む 灰化物層 カマド崩落土
 46. 2. SY3/2 黄灰色砂質土 ややしまる 灰化粘土
 47. 2. SY4/1 黄灰色砂質土 ややしまる 整地層
 48. 2. SY3/2 灰暗黄色砂質土 ややしまる

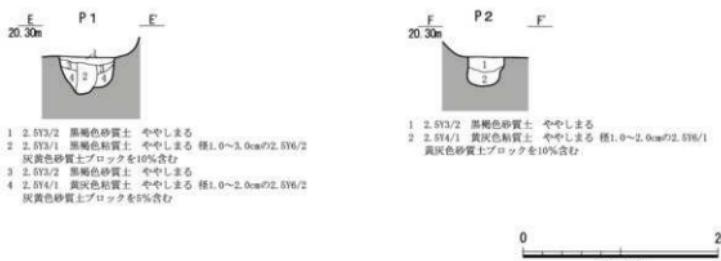
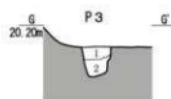
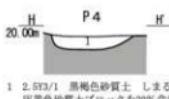


図37 SI7 遺構図 (2)

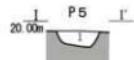
52 第3章 調査の成果



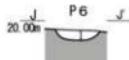
- 1 2.5Y3/2 黒褐色砂質土 ややしまる 径1.0cm以下の2.5Y6/2
灰黄色砂質土ブロックを20%含む
2 2.5Y4/1 黄褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2.5Y6/2
灰黄色砂質土ブロックを10%含む



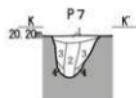
- 1 2.5Y3/1 黑褐色砂質土 しまる 径2.0~4.0cmの2.5Y6/2
灰黄色砂質土ブロックを20%含む



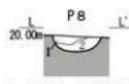
- 1 2.5Y3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~4.0cmの2.5Y6/2
灰黄色砂質土ブロックを20%含む



- 1 2.5Y4/1 黄褐色砂質土 ややしまる 径1.0cm以下の2.5Y6/1
黄灰色砂質土ブロックを15%含む



- 1 2.5Y3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~3.0cmの2.5Y6/3
に灰褐色砂質土ブロックを20%含む
2 2.5Y4/1 黄褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2.5Y6/3
に灰褐色砂質土ブロックを10%含む
3 2.5Y3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2.5Y6/2
灰黄色砂質土ブロックを10%含む
4 2.5Y3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~4.0cmの2.5Y6/2
灰黄色砂質土ブロックを30%含む



- 1 2.5Y3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
2 2.5Y4/2 灰褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2.5Y6/1
灰褐色砂質土ブロックを10%含む

0 2m
(S=1/50)

カマド遺物出土状況図

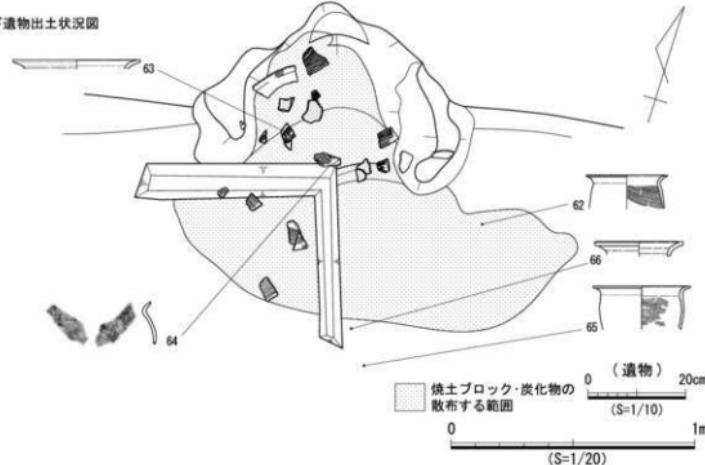


図 38 SI 7 遺構図（3）

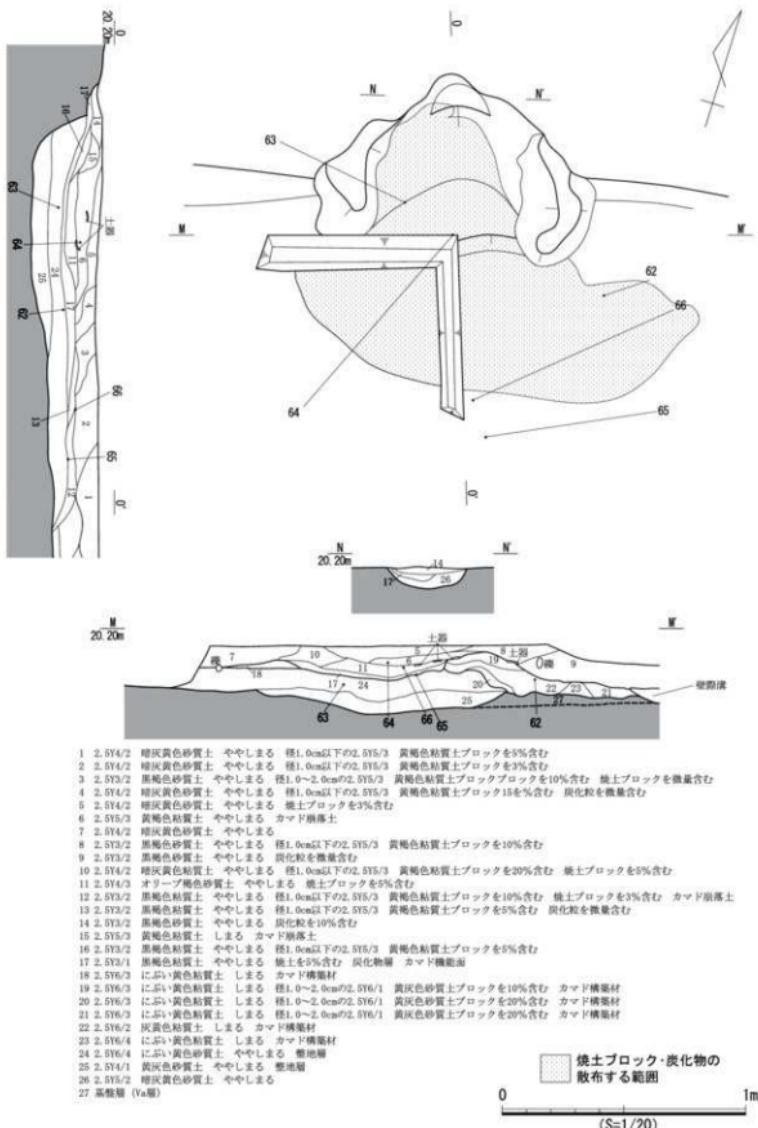


図39 SI 7 遺構図(4)

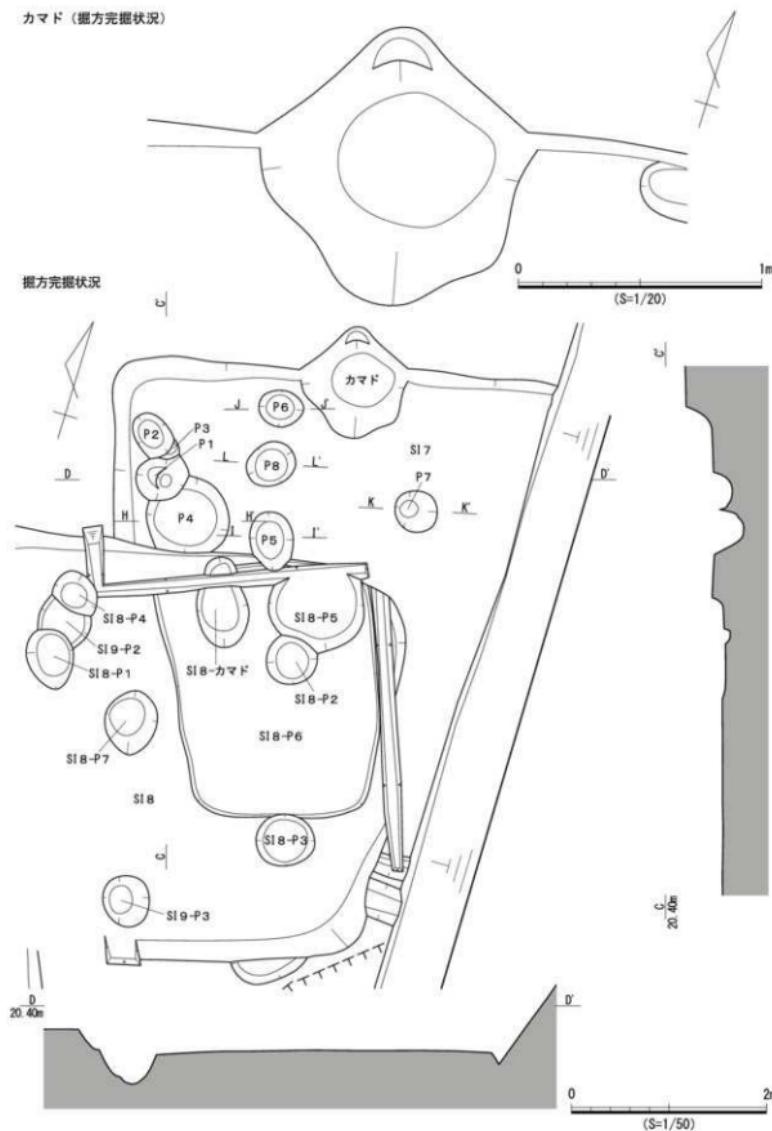


図40 SI 7遺構図(5)

かった。

付属遺構 床面で検出した遺構は、カマド1基、柱穴1基、性格不明の土坑2基、壁際溝1条である。カマドは北壁を一部回ませて設けられていた。カマドの上面では、焼土ブロックや炭化物を含む堆積があり、これらを除去したところ、燃焼部（図39：0-0'断面・N-N'断面14層）やカマド袖部（図39：M-M'断面18~23層）を検出した。カマドは、整地層により床面よりもやや高くした部分に構築されているが、右袖部下には整地層が確認できなかった。また、煙道部は北壁を抉って外部に出されており、煙道部の埋土には炭化物が混じる。P1は掘方の隅部に位置し、柱痕跡を確認したため柱穴と考えられる。壁際溝はカマドの東側で北壁に沿って検出した。P2・P3は性格不明の土坑である。また、カマド周辺の整地層を除去したところ、P4~P8を検出した。P7には柱痕跡が残る柱穴であり、他の建物遺構に伴う可能性がある。また、P4~6及びP8は性格不明の土坑である。

遺物出土状況 カマド内及び南側で土器片がまとまって出土し、63・64は外面を上に向けた状態であった。また、埋土から土師器105点、須恵器13点、カマドから土師器74点、須恵器6点、P2から土師器1点、P6から土師器2点が散在して出土した。

出土遺物 土師器など12点を図示した。55・56・57・62・63・64・65は土師器甕である。55は口縁部外面に沈線状の凹みが巡るが、口頸部の肥厚はない。56は口縁端部を摘み上げるように屈曲させ、外面に面を持つ。57は頸部が肥厚する。62は口縁端部の摘み上げが痕跡的となり、口頸部の肥厚もない。63は口縁部が強く開く器形で、口縁端部の摘み上げが認められない。64は頸部が肥厚しない。65は口縁部が強く外反する甕である。58・59は須恵器の壺蓋B類で、口縁部内面のかえりが長い。美濃須衛窯編年のIII-1期に比定できる。60は須恵器の高环脚据部、61は甕の口縁部、66は須恵器の甕の口縁部と思われる。

所属時期 出土した土器から7世紀中葉と考えられるが、重複するSI5よりも出土土器は新しい様相を示す。

SI8（図41~43、56・57）

検出状況 BG4~BH5グリッドのVa層上面で検出した。北東部はSI7と重複するが、前述のように平面形を検出した時点ではSI7が新しいと判断した。しかし、SI7掘削前の土層断面観察によりSI8が新しいと判断を変更し、SI7の掘削を中断した。SI7土層観察用畔に沿って掘削したサブトレンチを西へ延長するとともに、南北方向のサブトレンチも掘削して各辺の壁の立ち上がりを掘方底面から確認した上でSI8を掘削した。ただし、出土遺物はSI8のものが古い。他遺構との先後関係は、SD24・SD28・SD29・SK141よりも古く、SI6・SI9・SK138・SK139・SK140・SK142よりも新しい。SI8の埋土は、SD24・SD28・SD29・SK141の遺構埋土とは明瞭に異なるが、その他の重複する遺構埋土とVa層とは類似していたことから、平面形は不明瞭であった。カマドや壁際溝、柱穴を確認したため、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-8°-Wである。平面形は方形である。検出した範囲から、長軸長は4.80m、短軸長は4.28mである。

埋土 埋土は23層に分層した。東西及び北壁側から埋没する堆積となる。埋土中にはブロック土を多く含むことから、人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面は外傾する。床面ではカマド周辺から南半部にかけて硬化する状況

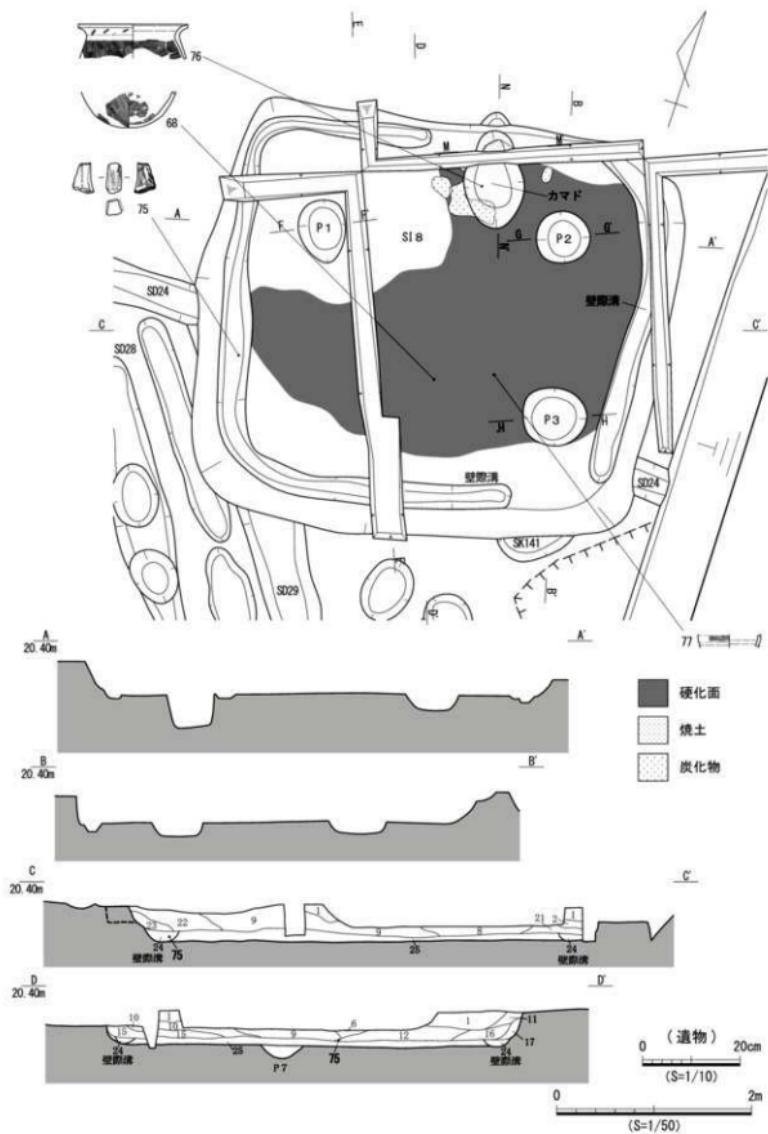


図 41 SI 8 造構図(1)

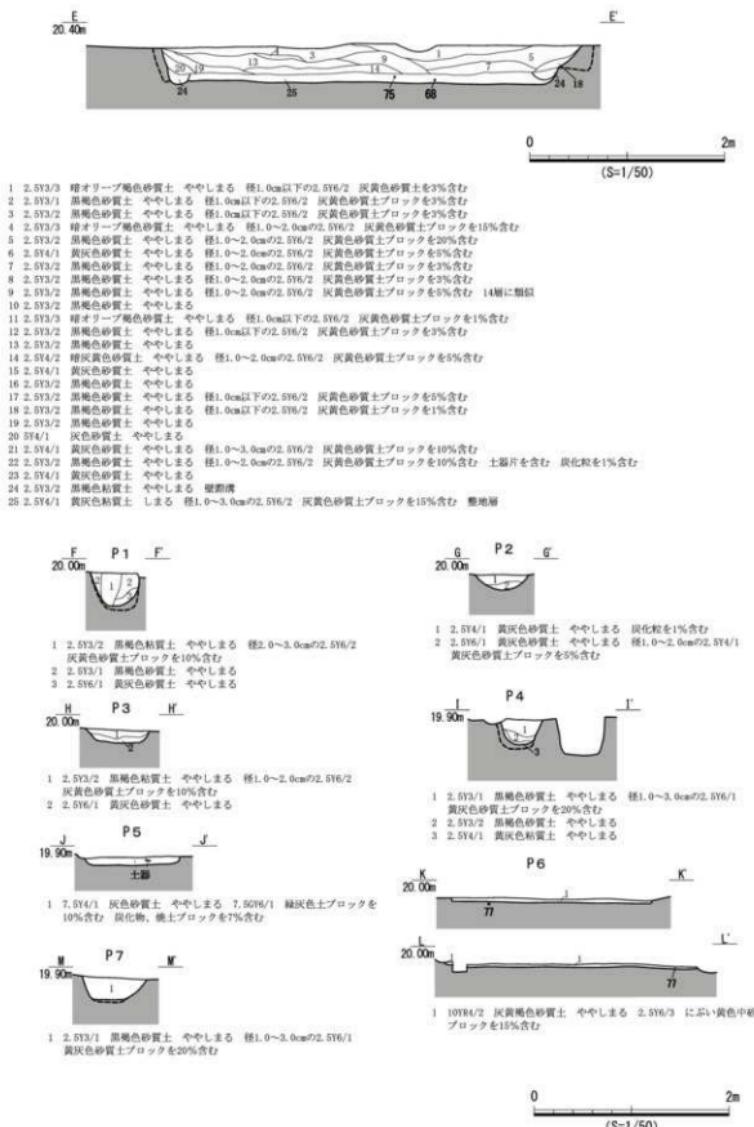


図42 SI 8 遺構図 (2)

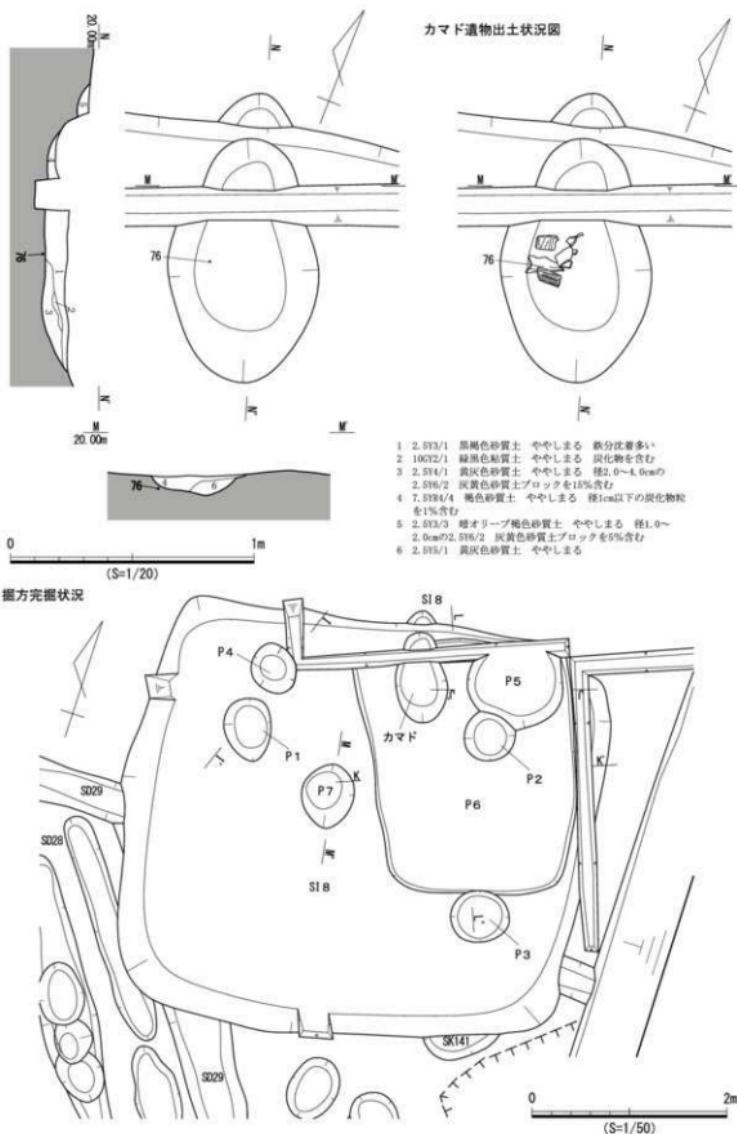


図 43 SI 8 遺構図 (3)

を確認した。また、しまりのある整地層（15層）を掘方全体で確認した。整地層にはブロック土を多く含む。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴3基、壁際溝2条、カマド1基である。P1・P2・P3は、堅穴掘方の隅部に位置することから柱穴と考えられるが、南西隅部では床面及び掘方底面で精査したが確認できなかった。壁際溝は北壁中央部と南東隅を除いて確認できた。カマドは東西方向のサブトレンチを掘削した際に、土層断面に炭化粒や焼土ブロックを含む層を確認したため、北壁に接して設置されたものと判断した。なお、袖部などの構築材は確認できなかったが、カマドの掘方と考えられる炭化物や焼土ブロックが堆積する土坑を確認した。カマド掘方の土坑は長楕円形で、焼土ブロックや炭化物が土坑を中心として散在している。整地層を除去したところ、掘方底面でP4・P5・P6・P7を検出した。P4・P7はやや深さのある土坑であるが、P5・P6は浅い性格不明の土坑である。P6は掘り残した整地層を土坑として掘り下げてしまった可能性がある。

遺物出土状況 76はカマド掘方の底面から外面を下に向かっていた状態で出土した。また、71は出土層位から、SI7に属する可能性がある。その他、カマド掘方の底面から土師器10点、堅穴掘方の埋土から土師器149点、須恵器14点、土製品1点、石製品1点、壁際溝から土師器7点、P6から土師器10点、須恵器1点が散在して出土した。

出土遺物 土師器甕など11点を図示した。67・76は口縁端部を摘み上げる土師器甕で、67の頸部は肥厚するが、76の肥厚は弱い。68は丸底甕の底部、69は瓶の把手である。70は壺の口縁部片と思われるが、小片のため詳細は不明である。71は須恵器壺蓋A類で、天井部はロクロ痕による凹凸が顕著であり、美濃須衛窯編年のIII-1期に比定できる。SI7として掘削を行った際に出土したものであるが、先後関係を変更したためSI8出土遺物に含めた。72は須恵器壺身A類で、立ち上がりは内傾し、端部は丸く收まる。73は壺の底部で、体部と底部の境に明瞭な稜がある。胎土から美濃須衛産のものと思われる。77は甕の体部で、外面に波状文を施す。74は管状土錐片である。75は砥石で、砥面が3面ある。

所属時期 SI7との先後関係が確実なものであれば、7世紀中葉以降となるが、カマドなどから出土した遺物は、7世紀前葉を中心とした時期のものである。

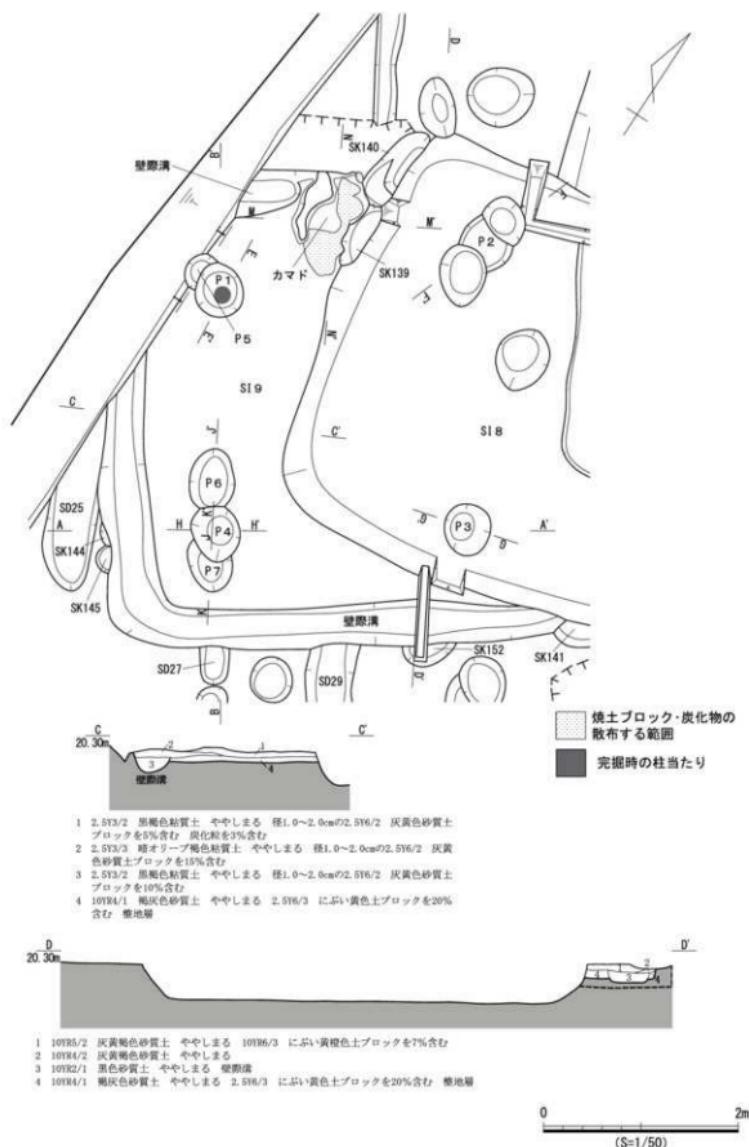
SI9（図44～47・57）

検出状況 BH4～BH5グリッドのVa層上面で検出した。掘方の東部はSI8によって削平される。重複関係は、SI8・SD24～SD29・SK139・SK140・SK144～SK146・SK152よりも古い。SI9の埋土は重複する遺構埋土及びVa層と類似し、平面形は不明瞭であったため、掘削時には南辺を超えるようにサブトレンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認した。カマドや柱穴、壁際溝を確認したことから、堅穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-53°-Wである。平面形は、検出した三辺から方形と思われる。検出した範囲から、長軸長が4.94m、短軸長が4.10m以上である。

埋土 埋土は2層に分層した。壁面から中央部の順に埋没する堆積で、埋土中にブロック土が混じることから、人為的堆積と考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。床面に硬化した状況は認められなかったが、ややしまる整地層（4層）を掘方全体で確認した。



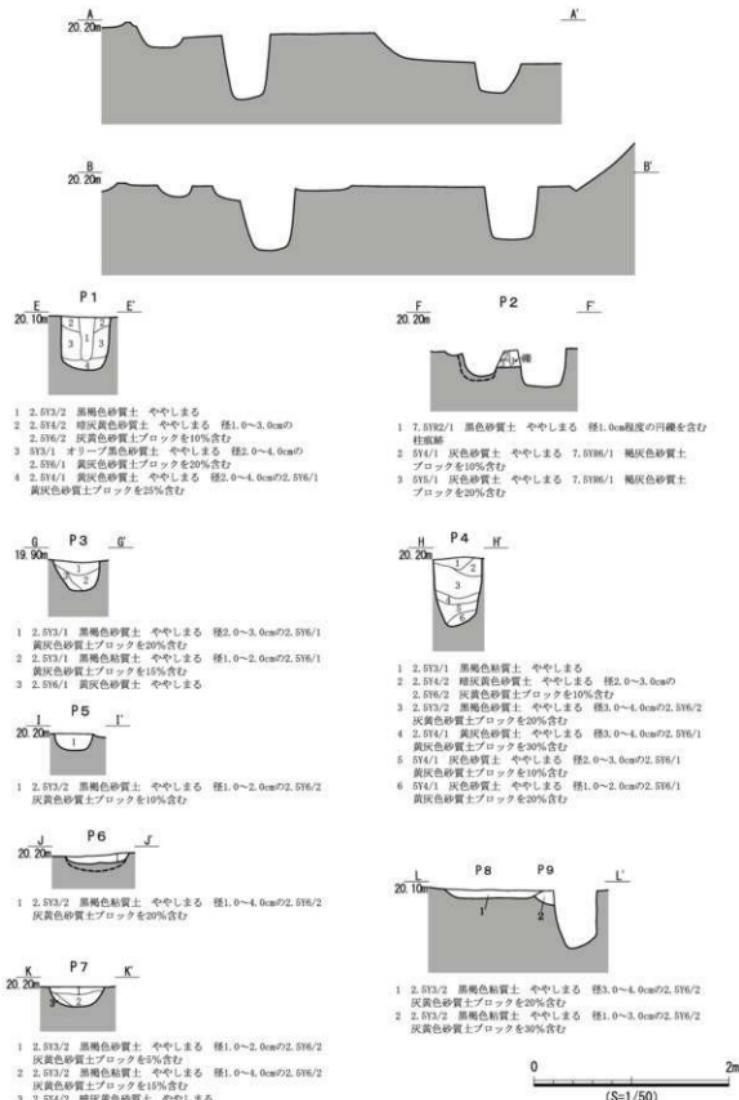


図45 SI 9遺構図(2)

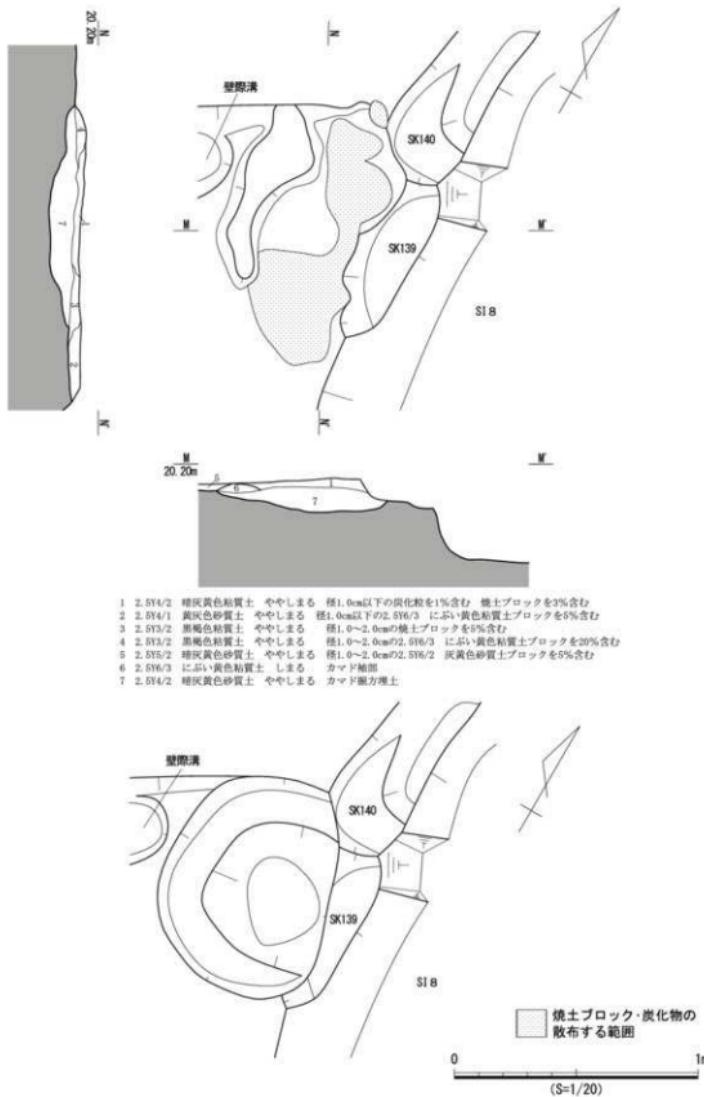


図 46 SI 9 遺構図 (3)

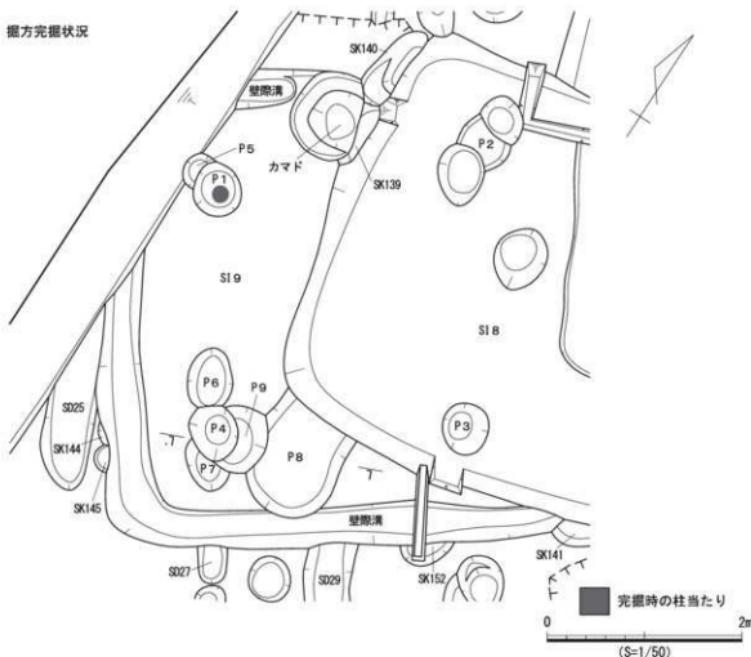


図 47 SI 9 遺構図 (4)

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴 2 基、壁際溝 1 条、カマド 1 基、性格不明の土坑 3 基である。カマドは北壁に構築されていた。カマドの袖部及び炭化物や焼土ブロックを確認したことから、カマドと判断した。カマド袖部は西側のみ残存しており、東側は SI 8 により削平されていた。なお、煙道部は確認できなかった。また、カマド袖部除去後にカマド掘方と思われる、暗灰黄色の埋土が堆積する土坑を検出した。柱穴は、P 1・P 4 及び SI 8 の掘方底面で検出した P 2・P 3 が掘方の隅部に位置すると思われるため、SI 9 の柱穴と判断した。なお、P 1 では柱痕跡を確認したが、その他の柱穴では確認できなかった。壁際溝は、掘方の西・南・北辺で確認した。その他、床面で P 5・P 6・P 7 を確認したが、いずれも性格不明の土坑である。また、整地層を除去したところ、掘方の底面で性格不明の土坑 P 8・P 9 を検出した。

遺物出土状況 穫穴埋土中から土師器 16 点、須恵器 4 点、カマドの埋土中から土師器 17 点、P 6 から土師器 1 点、壁際溝から土師器 7 点が散在して出土した。

出土遺物 穫穴埋土から出土した 78 は須恵器の壺蓋 A 類で、内外面にはロクロ痕が顕著である。7世紀前葉と思われる。また、壁際溝から出土した土師器 2 点を図示したが、79 は口縁端部を外方に摘み上げる甌、80 は甌の口縁部である。

時期 重複関係からは SI 8 よりも古いが、出土遺物の多くは 7世紀前葉であり、SI 8 との時期差はないものと思われる。

SI10 (図 48~51・57)

検出状況 BI4~BK5 グリッドの V a 層上面で検出した。重複関係は、SD 8・SD36~SD38・SD41・SP 4・SK19・SK159・SK162・SK407・SK408 よりも古く、SK160 よりも新しい。SI10 の埋土はブロック土を含み、重複する遺構埋土や V a 層とは異なるため平面形は明瞭であった。平面形状や床面で柱穴の可能性がある遺構を確認したことから、堅穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位は N-63° -E である。平面形は、東辺よりも西辺が長い不整方形である。検出した範囲から、長軸長が 5.14m 以上、短軸長が 4.52m 以上である。

埋土 埋土は 14 層に分層した。壁際から中央部の順に埋没する堆積で、埋土中にはブロック土を含むことから、人為的堆積であると考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、掘方の壁面はやや外傾する。床面に硬化した状況は認められなかつたが、しまりのある整地層（16 層）を掘方全体で確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴 3 基、壁際溝 1 条、性格不明の土坑 2 基である。P 1・P 2・P 3 は方形の掘方の隅部に近い位置で検出したことから、柱穴の可能性がある。なお、北西隅の柱穴は発掘区外になると思われる。壁際溝は東辺から南辺の一部にかけて検出した。P 4・P 5 は性格不明の土坑である。また、整地層掘削後に、掘方の底面で土坑 15 基を検出したが、いずれも性格不明である。なお、カマドは確認できなかつた。

遺物出土状況 83 は掘方中央部の床面直上から正位で出土した。その他、堅穴埋土中から土師器 43 点、須恵器 6 点、P 3 から土師器 1 点、P 4 から土師器 1 点、P 5 から土師器 3 点、P 10 から土師器 8 点、P 13 から土師器 1 点、P 15 から土師器 6 点、須恵器 1 点、P 16 から土師器 1 点、P 17 から土師器 3 点、須恵器 7 点、P 19 から土師器 4 点、P 20 から須恵器 2 点が散在して出土した。

出土遺物 堅穴埋土中及び付属遺構から出土した須恵器など 8 点を図示した。81~83 は堅穴埋土中から出土した。81 は須恵器の壺蓋 A 類で、胎土から美濃須衛窯産の可能性がある。82 は壺蓋 B 類である。口縁部内面に短いかえりを持つ。83 は壺身 B 類で、体部と底部の境はやや丸味を帯び、口縁部はわずかに外反する。82 とセットになる可能性があり、82 と 83 は美濃須衛窯編年 III-3 期に比定できる。84~88 は付属遺構から出土した。84 は瓶の把手である。85 は製塙土器の脚部である。上部は被熱のためか、赤褐色に発色している。86 は高杯脚部である。87 は口縁端部を上方に摘み上げる甌である。88 は須恵器の杯身 B 類で、美濃須衛窯編年 III-3 期に比定できる。

時期 83 が美濃須衛窯編年 III-3 期に比定できることから、7世紀後半と考えられる。

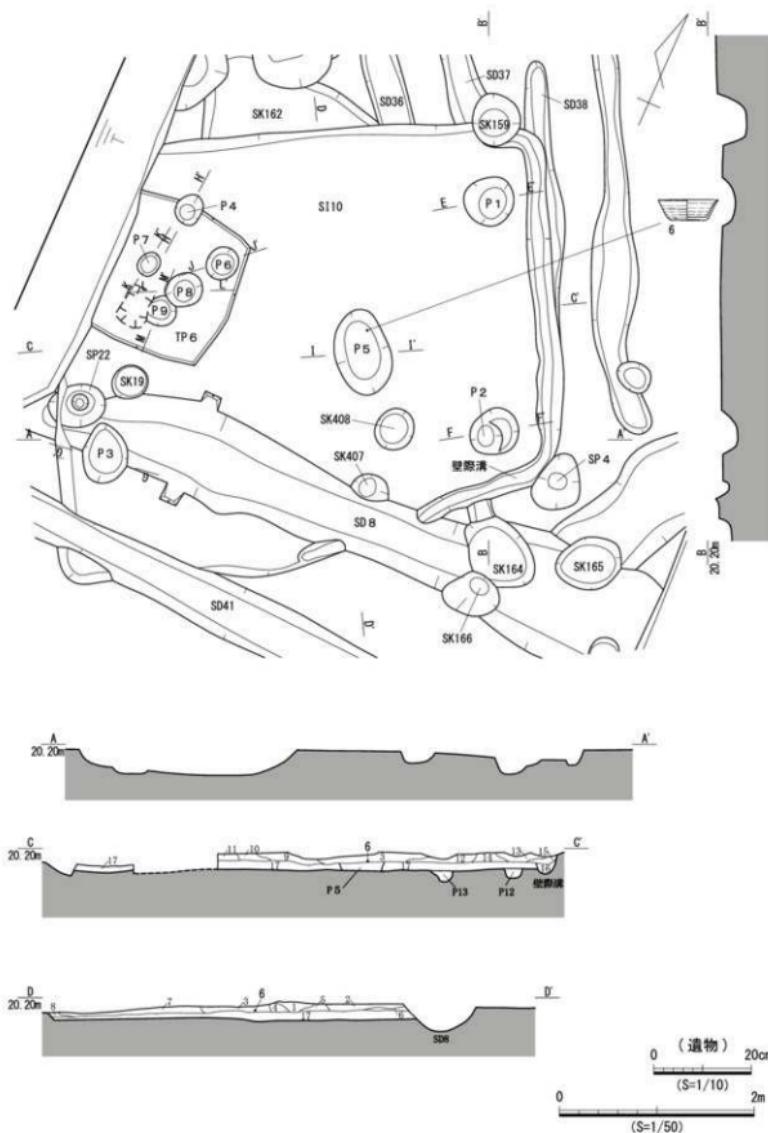
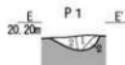


図48 SI10 遺構図(1)

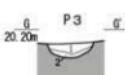
- 1 2.5Y3/2 黒褐色粘質土 ややしまる 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを3%含む
 2 2.5Y3/3 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 程1.0cm以下2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを3%含む
 3 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 4 2.5Y3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 灰化粒を5%含む
 5 2.5Y3/2 黒褐色粘質土 ややしまる 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 6 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる
 7 2.5Y3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 灰化粒を3%含む
 8 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを8%含む
 9 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを15%含む
 10 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 11 2.5Y3/3 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 程1.0cm以下の2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 12 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる
 13 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 14 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 15 2.5Y3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 16 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる 程1.0~3.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 17 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程2.0~4.0cmの10Y6/7 灰白色砂質土ブロックを20%含む



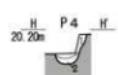
- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 灰化粒を1%含む
 2 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2
 灰黄色砂質土ブロックを10%含む



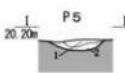
- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる
 2 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程1.0cm以下の2.5Y6/2
 灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 3 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる



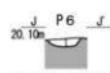
- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる
 2 2.5Y3/3 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 程1.0~2.0cmの2.5Y6/2
 灰黄色砂質土ブロックを10%含む



- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる
 2 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる
 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを15%含む



- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 しまる 灰化粒を3%含む
 2 10Y3/1 オリーブ黑色粘質土 ややしまる 程2.0~4.0cmの
 2.5Y6/2 灰黄色砂質土ブロックを20%含む



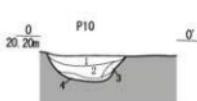
- 1 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる



- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2
 灰黄色砂質土ブロックを10%含む

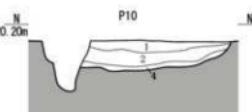


- 1 2.5Y4/2 噴灰褐色砂質土 ややしまる



- 1 2.5Y3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 程2.0~3.0cmの2.5Y6/2
 灰黄色砂質土ブロックを10%含む

- 1 2.5Y3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 灰分沈着多い
 灰化粒を5%含む
 2 2.5Y3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 灰分沈着多い
 3 2.5Y3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 灰分沈着多い
 4 2.5Y4/1 黄褐色砂質土 ややしまる 程2.0~4.0cmの2.5Y6/1
 黄灰色砂質土ブロックを20%含む



0 2m
 (S=1/50)

図49 SI10 遺構図(2)

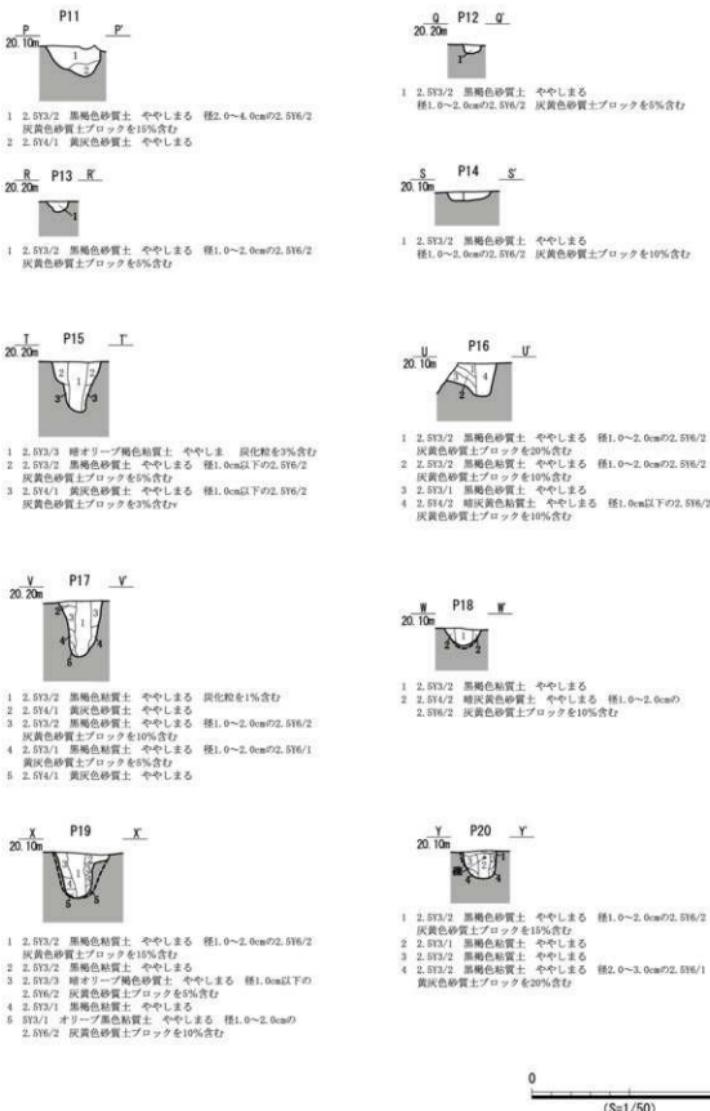


図 50 SI10 遺構図 (3)

掘方完掘状況

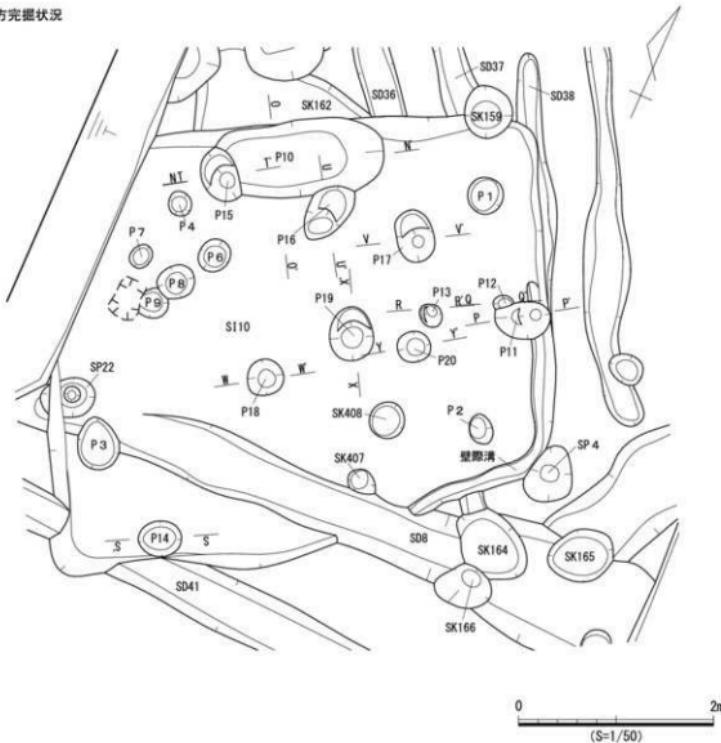


図 51 SI10 遺構図 (4)

(2) 堀立柱建物

SB 1 (図 52・57)

検出状況 BI4～BJ4 グリッドの Va 層上面で検出した。L 字形に並ぶ 4 基の柱穴を確認し、発掘区外に広がる堀立柱建物と判断した。重複関係は、SD31・SK162 などよりも古く、SD34 よりも新しい。各柱穴は比較的明瞭に確認できた。

規模・形状 枠行 2 間以上 (4.2m 以上、柱間 2.1m)、梁行 1 間以上 (2.29m 以上、柱間 1.7m) の側柱建物で、長軸方位は N-36°—W である。

柱穴 4 基の柱穴を検出したが、いずれも平面形は方形や不整形であった。各柱穴は、一辺 0.63m ~ 0.86m、深さ 0.38m ~ 0.60m である。P 1 ~ P 3 では柱痕跡が認められる他、P 2・P 3 では底面で柱当たりを確認した。

遺物出土状況 P 2 から土師器 1 点、須恵器 1 点、P 3 から土師器 2 点が出土した。

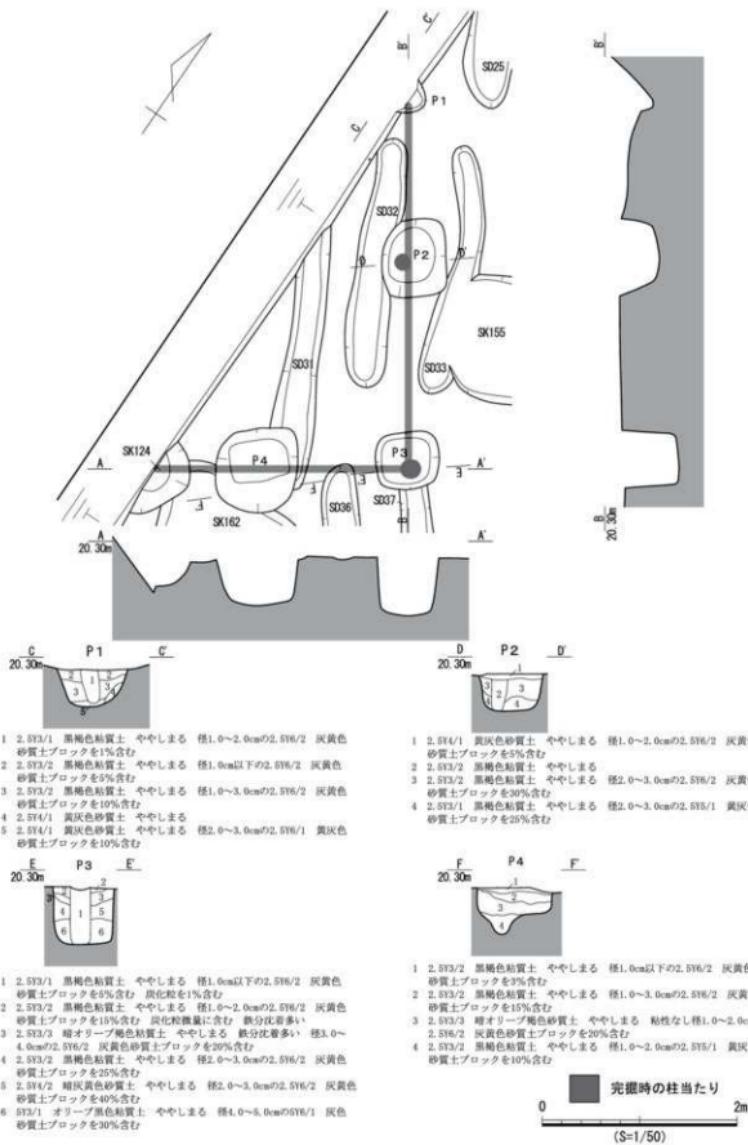


図52 SB 1遺構図

出土遺物 89はP2から出土した坏身B類である。胎土から美濃須衛窯産と推定され、7世紀後半から8世紀前半と思われる。

所属時期 P2から出土した須恵器から、8世紀前半以降と思われる。

SB2（図53・57）

検出状況 BK2～BK3グリッドのVa層上面で検出した。5基の小土坑がL字形に並ぶことから、発掘区外に広がる掘立柱建物の可能性があると判断した。重複関係は、SK180やSP6などよりも新しい。各柱穴は比較的明瞭に確認できた。

規模・形状 衍行2間以上（2.5m以上、柱間1.1m～1.2m）、梁間2間以上（1.8m以上、柱間0.8m）の側柱建物で、長軸方位はN-13°-Eである。

柱穴 5基の柱穴を検出したが、いずれも平面形は円形や梢円形であった。各柱穴は、直径0.26m～0.66m、深さ0.11m～0.21mである。いずれの柱穴からも柱痕跡や柱当たりは確認できず、柱穴と判断するには形状も含めて根拠が乏しい。P2は単層、その他はレンズ状に堆積するが、ブロック土を含む堆積があるため、人為的堆積の可能性がある。

遺物出土状況 P3から土師器2点、須恵器1点が出土した。

出土遺物 90はP3から出土した土師器の甕で、口縁端部を上方に摘み上げる。

所属時期 P3から出土した遺物から、7世紀以降と思われる。

SB3（図54）

検出状況 BK3グリッドのVa層上面で検出した。6基の柱穴がやや歪ではあるが長方形に並ぶことから、掘立柱建物と判断したが、発掘区外へさらに広がる可能性がある。重複関係はSB4よりも新しいが、ほぼ同じ位置で検出したことから、SB4を建て替えたものである可能性がある。なお、検出時はP1がSB4-P1よりも古ないと判断していたが、柱穴配置を検討する中で他の柱穴の重複関係とは逆になることから、検出時の誤認と思われる。

規模・形状 衍行2間以上（2.8m、柱間1.2m～1.3m）、梁行1間（1.7m、柱間1.4～1.8m）の側柱建物で、長軸方位はN-11°-Eである。

柱穴 6基の柱穴を検出したが、いずれも平面形は円形であった。各柱穴は、直径0.31m～0.42m、深さ0.15m～0.20mで、P1・P3・P4・P6では柱痕跡を確認した。

遺物出土状況 P4から土師器1点が出土した。

出土遺物 小片のため、図示しなかった。

所属時期 時期を特定できる遺物が出土していないが、Va層上面で検出したことから、古墳時代後期から古代のものと思われる。

SB4（図55）

検出状況 BK3グリッドのVa層上面で検出した。6基の柱穴がやや歪ではあるが長方形に並ぶことから、掘立柱建物と判断したが、発掘区外へさらに広がる可能性がある。重複関係は、SB3よりも古いが、ほぼ同じ位置で検出したことから、SB3建て替え前の掘立柱建物の可能性がある。

規模・形状 衍行2間以上（3.15m以上、柱間1.3m～1.5m）、梁行1間（1.9m、柱間1.6m）の側柱建物で、長軸方位はN-2°-Wである。

柱穴 6基の柱穴を検出したが、いずれも平面形は円形であった。各柱穴は、直径0.25m～0.50m、

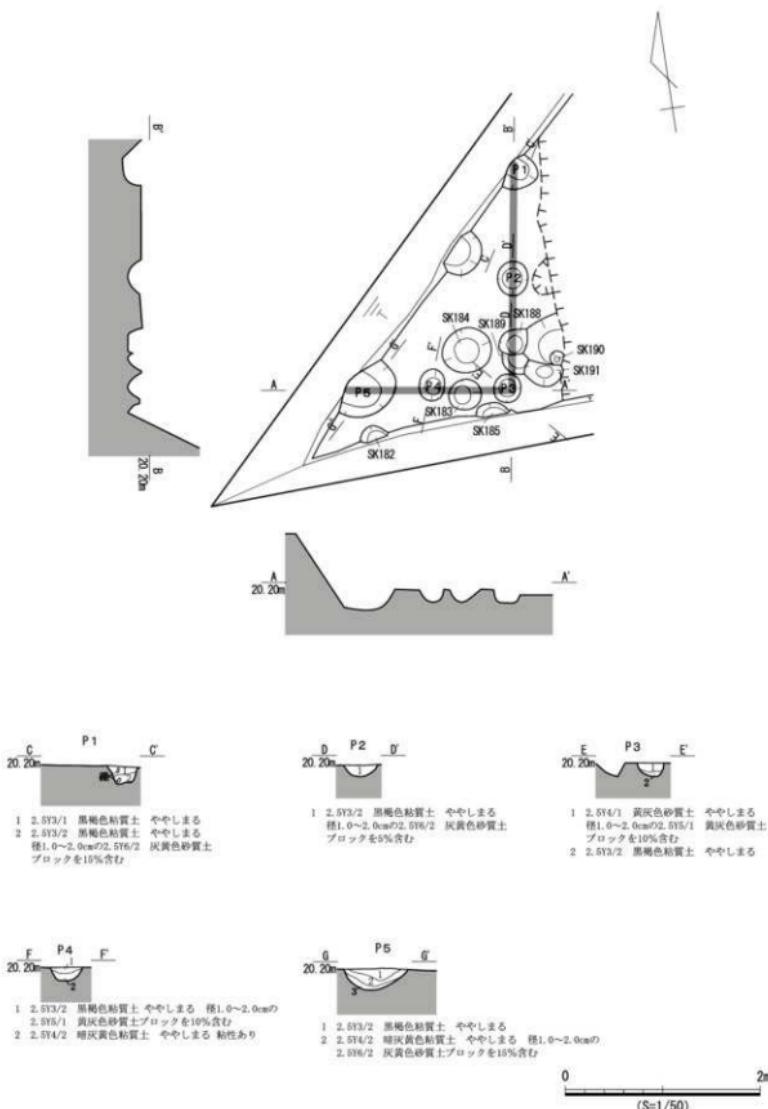


図 53 SB 2 遺構図

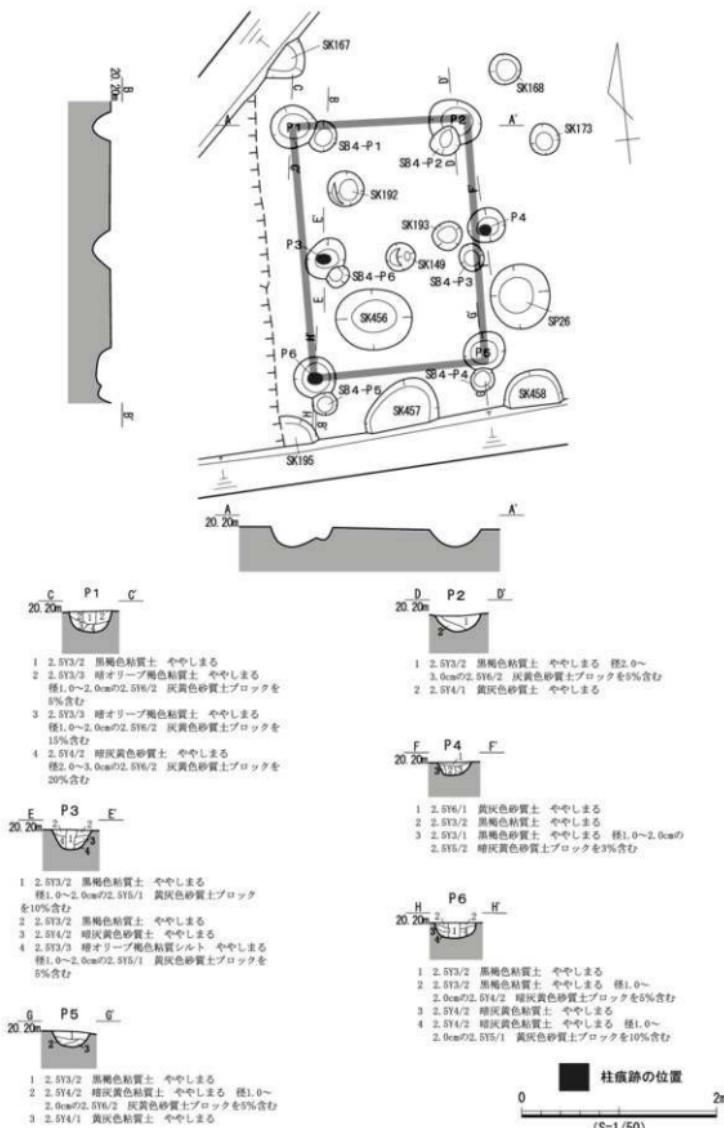


図54 SB3造構図

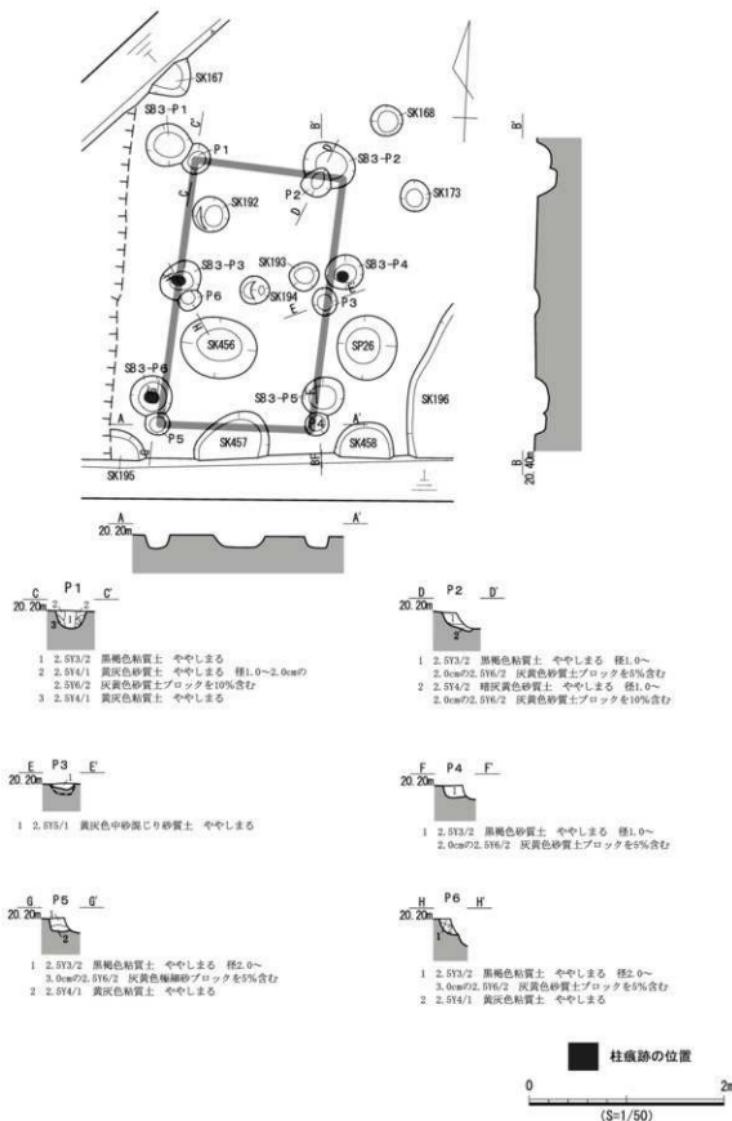
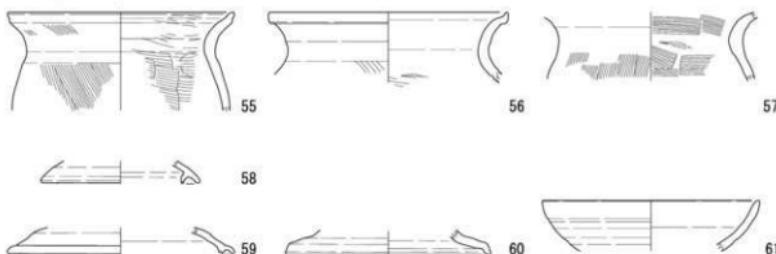
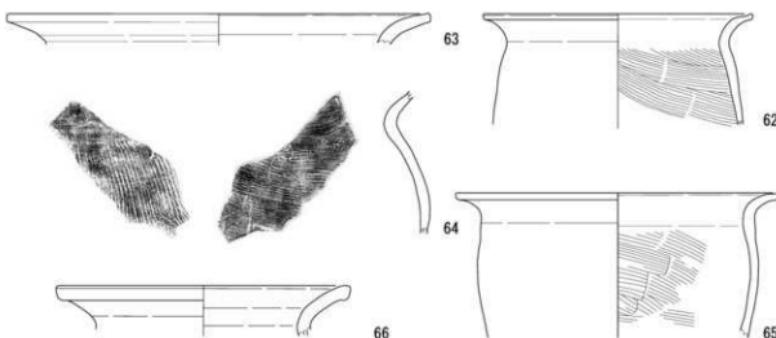


図 55 SB 4 遺構図

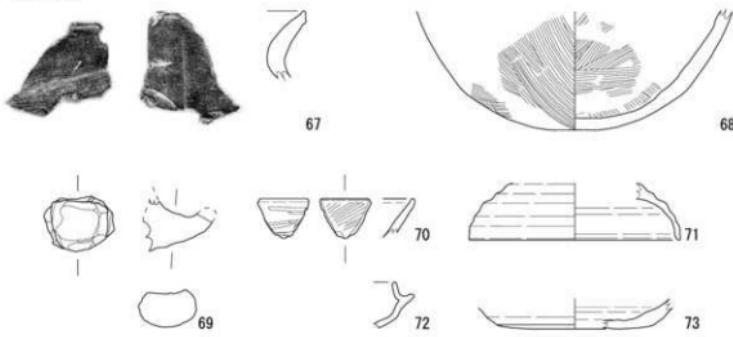
SI 7 (55 ~ 61)



SI 7 カマド (62 ~ 66)



SI 8 (67 ~ 73)



0 10cm
(S=1/3)

図 56 A 地点第2調査面遺構出土遺物 (2)

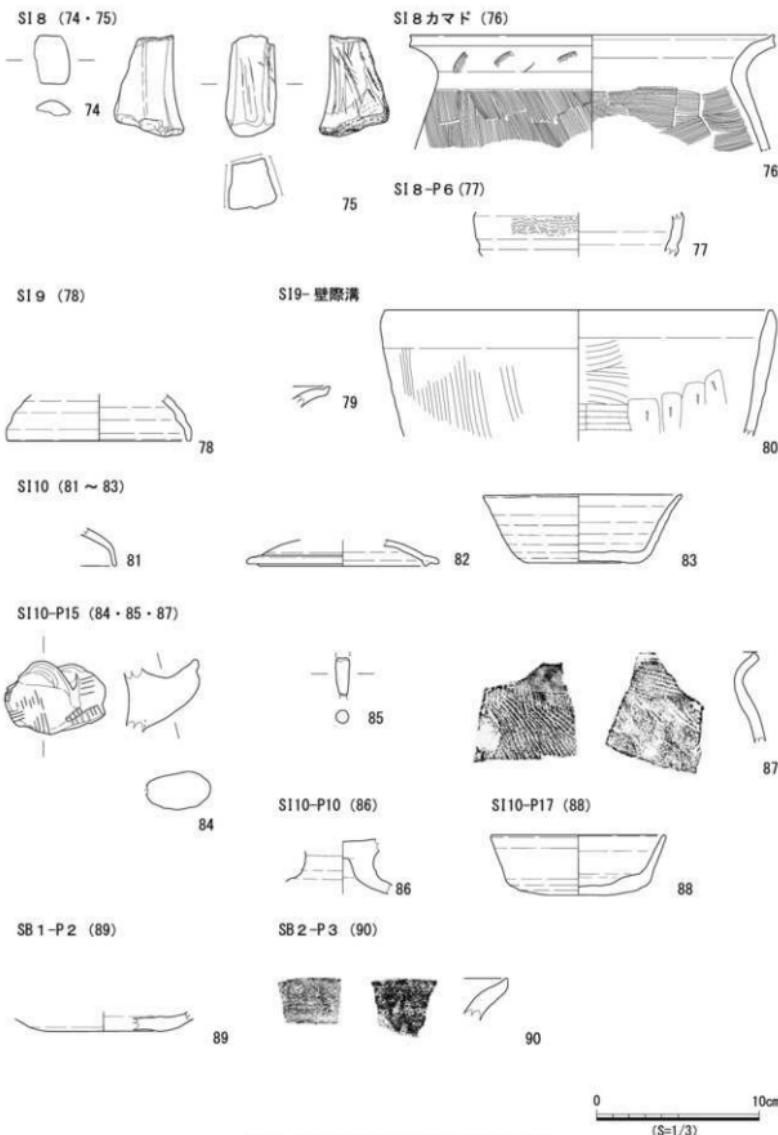


図57 A地点第2調査面遺構出土遺物（3）

深さ 0.04m～0.28mで、P 1 では柱痕跡を確認した。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 遺物が出土していないが、Va 層上面で検出したことから、古墳時代後期から古代のものと思われる。

(3) 溝

SD25～SD33、SD35～SD40（図 58・59）

検出状況 BH4～BJ5 グリッドのVa 層上面で検出した。北西から南東方向に長軸方位が揃う 16 条の溝が、0.1m～0.95m の間をあけて掘削されており、一連の溝群と思われる。それぞれの溝の重複関係をまとめると、SD8・SD24・SK23・SK155・SK157・SK162・SK409 よりも古く、SI8・SI9・SI10・SB1・SD37・SK143・SK144・SK145・SK153・SK160・SK161・SK163・SK409・SP23 よりも新しい。埋土の色調はいずれも IIa 層と類似しており、耕作に伴う溝の可能性がある。なお、重複する遺構埋土や Va 層と異なるため、平面形は明瞭であった。

堆積状況 埋土はいずれも単層の砂質土で、鉄分の沈着がみられる。流水の痕跡は確認できなかった。

掘方 断面形は、底面は平坦若しくは丸く、壁面は外傾する。

遺物出土状況 各溝から土師器や須恵器片が数点ずつ出土した。

出土遺物 土師器の甕など 4 点を図示した。91・92 は SD27 から出土した。91 は土師器の甕で、口縁端部を上方に摘み上げる。92 は製塙土器の脚部である。下部は被熱のため黒く変色している。93 は SD29 から出土した。須恵器の壺蓋 A 類で、美濃須衛窯編年の III-3 期と考えられる。94 は SD38 から出土した。須恵器の高杯で、脚裾部である。胎土から美濃須衛窯産と考えられる。

所属時期 SD36 が SD8・SK23 よりも古く、SD31 等が SB1 よりも新しいことから、8 世紀前半以降、中世までに掘削されたと考えられ、条里地割が施行される前段階の水田に伴う可能性がある。

(4) 土坑

SK127（図 60・63）

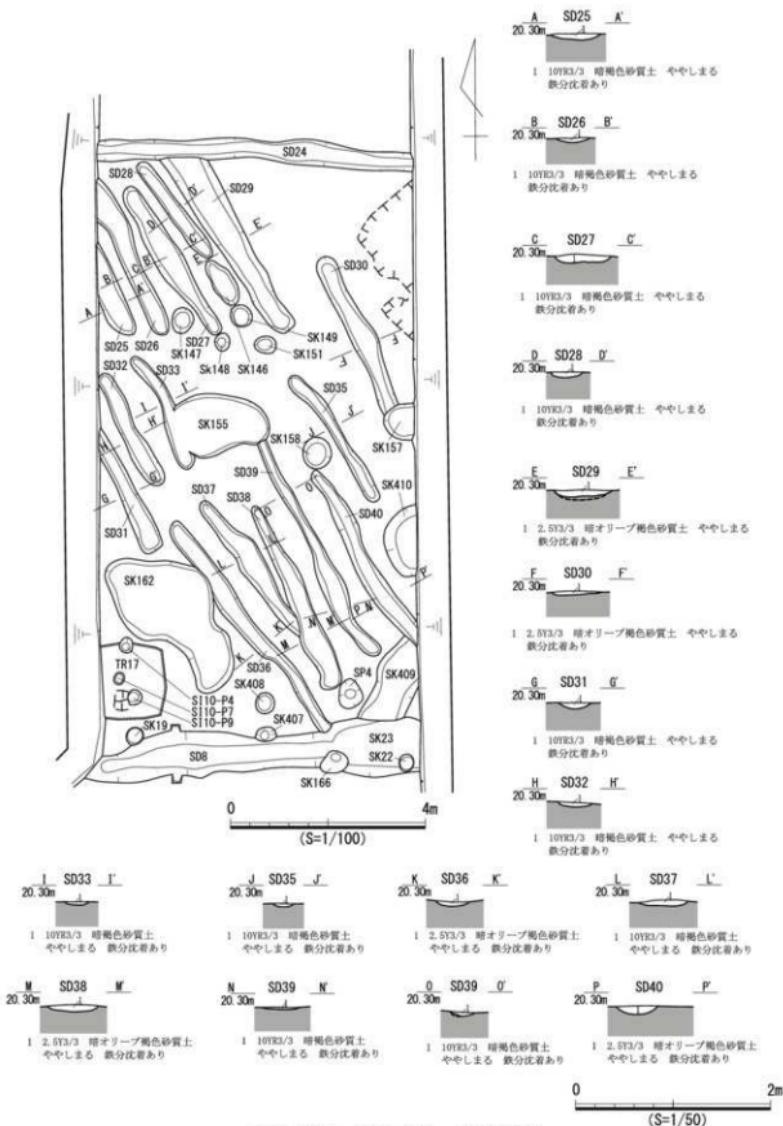
検出状況 BE4～BF4 グリッドのVa 層上面で検出した。重複関係は、SK128 よりも古く、SI4・SK132・SK435 よりも新しい。SK127 の遺構埋土と重複する遺構埋土及び Va 層は類似しており、平面形は不明瞭であったため、掘削時には土層観察用畦に沿って、南辺と東辺を超えるようにサブトレレンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認した。検出当初は遺構の規模から竪穴建物の可能性を想定したが、遺構の底面で柱穴・カマド等を確認できなかつたため、土坑と判断した。

埋土 2 層に分層した。2 層は壁際に堆積し、1 層は掘方全体に堆積する。

掘方 平面形は、遺構の西半部が発掘区外に広がるが、東半部の状況から不整方形と思われる。底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器 218 点、須恵器 28 点が散在して出土した。他の土坑と比べて遺物の出土量が多い。

出土遺物 土師器等 5 点を図示した。95・96 は甕の口縁部である。95 は口縁端部を上方に摘み上げ、頸部が肥厚する。96 は口縁端部の摘み上げが痕跡となり、頸部の肥厚もみられない。97 は須恵器の壺蓋 C 類である。天井部から口縁部にかけては直線的に開く。98・99 は壺身 B 類である。いずれも底部から口縁部にかけて直線的に開く。99 は底部外面に「×」のヘラ記号が残る。97～99 はいずれも美



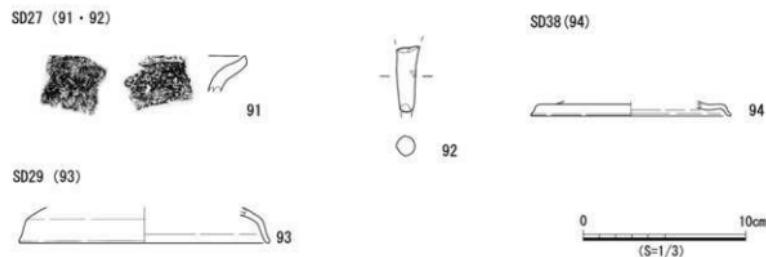


図 59 A 地点第 2 調査面遺構出土遺物 (4)

濃須衛窯編年のⅢ-3期と考えられる。

所属時期 出土した土器から、7世紀後葉と考えられる。

SK128 (図 60・63)

検出状況 BE4グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、SI4・SK127・SK435よりも新しい。SK128の遺構埋土は重複する遺構埋土及びVa層と類似していたことから、平面形は不明瞭であった。

埋土 2層に分層した。1層・2層ともに亜円碟を含み、2層上面の層界が乱れることから、人為的に埋め戻された可能性がある。

掘方 平面形は、遺構の西側は発掘区外に広がるため不明であるが、検出した範囲からすると梢円形又は隅丸方形と思われる。底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器172点、須恵器10点が散在して出土した。他の土坑と比べて遺物の出土量が多い。

出土遺物 100は土師器の甕である。体部外面は斜め方向のハケ目調整、内面は横方向にハケ目調整する。

所属時期 SK127との重複関係から、7世紀後葉以降と考えられる。

SK130 (図60)

検出状況 BE5グリッドのVa層上面で検出した。SK129やSK131など、重複するいずれの遺構よりも新しい。SK130の遺構埋土は重複する遺構埋土及びVa層と類似していたことから、平面形は不明瞭であったため、サブトレンチを設定し、掘方底面から壁の立ち上がりを確認した。検出当初は方形の掘方を持つことから堅穴建物と想定して掘削したが、柱穴やカマド等が確認できなかつたため大型の土坑と判断した。

埋土 5層に分層した。1層から4層は壁際から堆積し、5層は水平に堆積している。1層や2層、5層にブロック土を含むことから人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は、遺構の東側が発掘区外に広がるが、検出した範囲からすると不整形の可能性がある。底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 土師器2点が出土した。

出土遺物 小片のため、図示しなかつた。

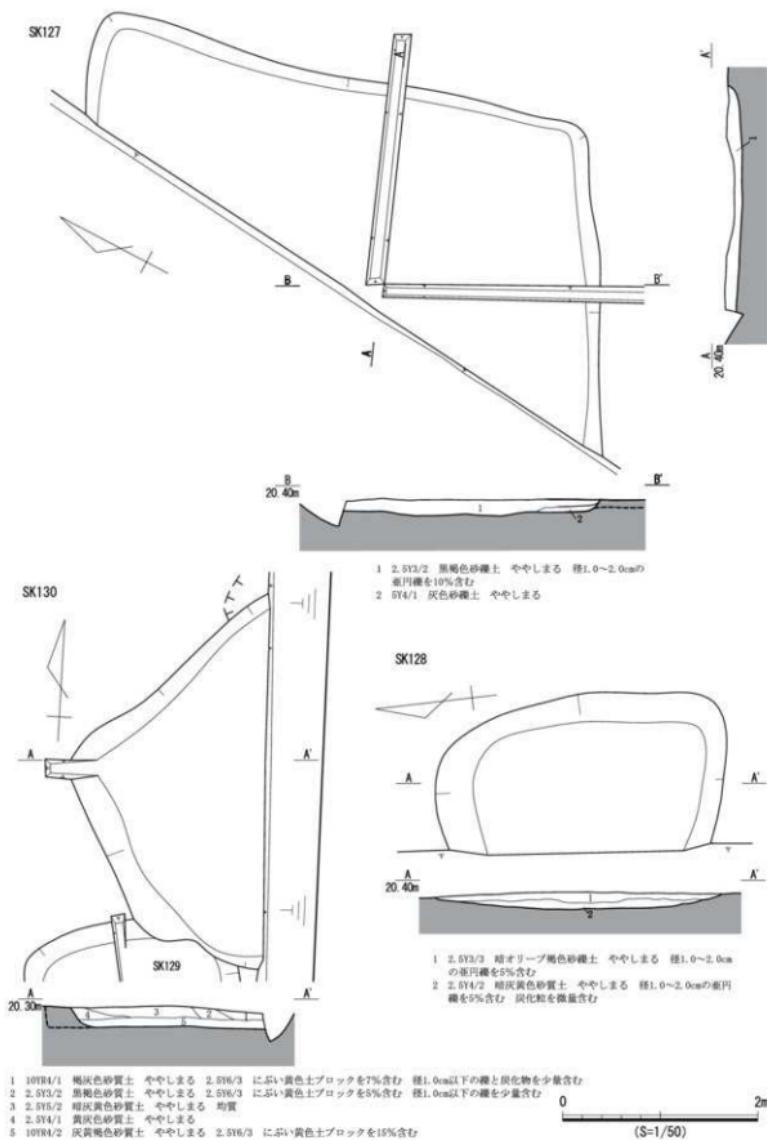


図 60 SK127・SK128・SK130 遺構図

所属時期 SK131との重複関係から、7世紀初頭より新しいと考えられる。

SK131（図61・63）

検出状況 BE 5 グリッドのVa層上面で検出した。SK130底面で検出したため、平面形は明瞭であった。

埋土 単層で、埋土中には直径1.0～2.0cmの亜円礫を含む。遺物出土状況から人為的に埋め戻された可能性がある。

掘方 平面形は円形である。底面は平坦で、西側壁面は直立気味であるが東側壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 101が掘方の中央からほぼ完形の状態で、横位で出土した。その他、土師器1点が出土した。

出土遺物 101は須恵器の短頸壺で、口頸部は直線的に立ち上がる。6世紀末から7世紀初頭と考えられる。

所属時期 出土遺物から、6世紀末から7世紀初頭と考えられる。

SK132（図61・63）

検出状況 BE 4～BF 4 グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、SK127よりも古く、SK435・SK438よりも新しい。SK132の埋土は重複する遺構やVa層と異なるため、平面形は明瞭であった。

埋土 5層に分層した。1層には焼土ブロックを少量含むほか、1層及び3層～5層にはブロック土を多く含むことから、人為的堆積と考えられる。

掘方 底面は丸く、壁面にはテラスを有する二段の掘り込みである。

遺物出土状況 埋土中から土師器30点、須恵器4点が散在して出土した。

出土遺物 102は須恵器の坏蓋A類である。天井部はヘラ切り後にナデ調整する。美濃須衛窯編年のⅢ～3期には降らないと考えられる。

所属時期 SK127との重複関係から、7世紀前半と考えられる。

SK143（図61・63）

検出状況 BD4 グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、SI 3・SI 4よりも古く、SD56・SD57・SK383・SK442・SK448よりも新しい。SK143の遺構埋土は、重複する遺構埋土及びVb層と類似していたことから、平面形は不明瞭であった。検出当初は竪穴建物の可能性を想定したが、遺構の底面ではSK383しか確認できず、柱穴やカマド等は確認できなかったため、土坑と判断した。また、検出時にはSK448よりも新しいと判断したが、重複するSK448の底面から出土する遺物はSK143から出土する遺物よりも新しいことが整理等作業時に判明したため、重複を誤っていたと考えられる。

埋土 埋土は10層に分層した。1・4・10層は水平に堆積しているが、その他はブロック状に堆積している。Vb層ブロックを多く含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は方形で、底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器28点、須恵器4点、山茶碗1点が出土した。なお、山茶碗は埋土の上層から出土したため、混入と思われる。

出土遺物 土師器の甕など2点を図示した。103は口縁端部を上方に挿み上げるように調整する。104は坏蓋A類で、口縁端部内面が面取り状に調整される。6世紀中葉に比定される。

所属時期 出土遺物とSI 3やSI 4との重複関係から、6世紀中葉の可能性がある。

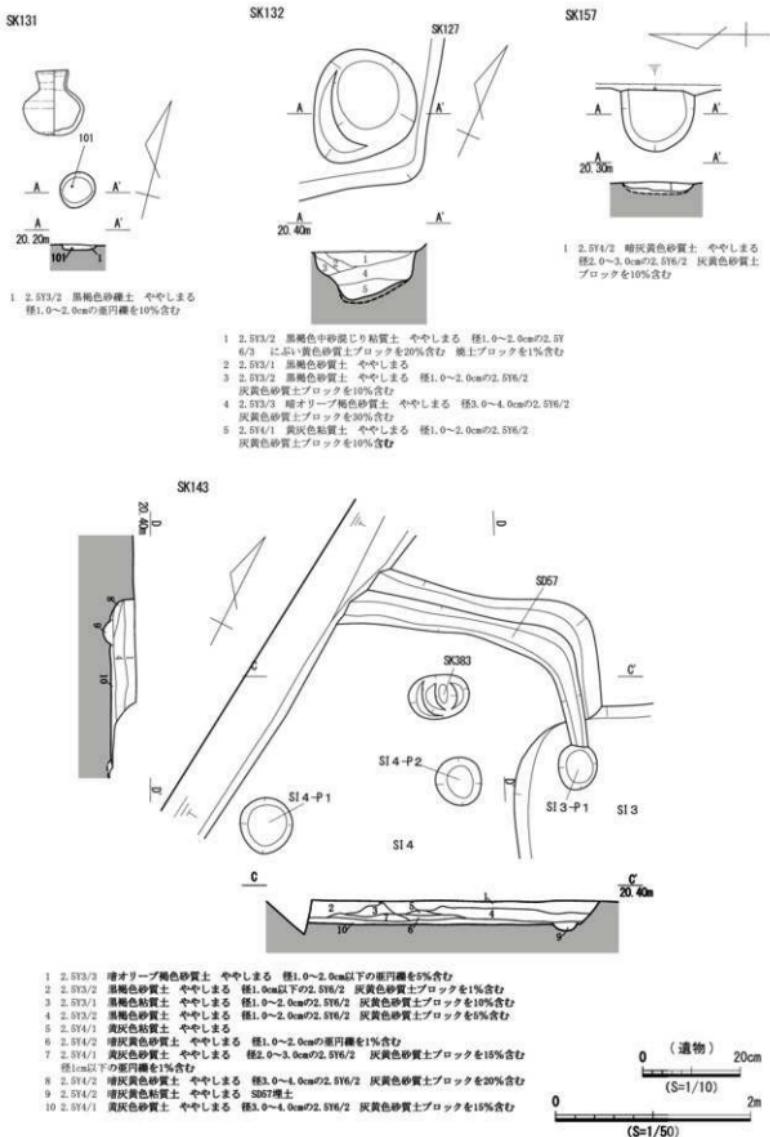


図61 SK131・SK132・SK143・SK157 遺構図

SK157（図61・63）

検出状況 BI 5 グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、検出時にはSD30よりも新しいと判断したが、SD30を含む溝群は8世紀前半以降、中世頃まで降る可能性があるため、重複関係を誤った可能性がある。平面形は不明瞭であった。

埋土 単層である。埋土中にブロック土を含むため人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は楕円形である。底面はやや起伏があり、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器2点、須恵器1点が出土したが、本来はSD30に伴う可能性がある。

出土遺物 105は須恵器の坏身A類である。胎土から美濃須衛窯産と考えられる。

所属時期 SD30との重複関係から古代以前と考えられる。

SK162（図62・63）

検出状況 BI 4～BJ 4 グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、SI10・SB 1・SD36・SK124よりも新しい。SK162の遺構埋土はSD36とは類似していたが、その他の重複する遺構埋土やVa層とは異なるため平面形は明瞭であった。

埋土 単層である。鉄分の沈着があり、SD30等の溝群の遺構埋土と類似する。

掘方 平面形は不定形である。底面はやや起伏があり、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器21点、須恵器5点が散在して出土した。

出土遺物 106・107は須恵器の坏身A類である。胎土からいざれも畿内系の須恵器と考えられ、口縁部が外反して立ち上がり、受け部は短い。

所属時期 SI10との重複関係から、7世紀後半以降と考えられる。

SK435（図62）

検出状況 BE4～BF 4 グリッドのVa層上面で検出した。掘方の西半部は発掘区外に広がる。重複関係は、SK127・SK128・SK132よりも古く、SK436・SK437・SK439・SD59よりも新しい。SK435の遺構埋土は重複する遺構埋土及びVa層と類似していたため、平面形は不明瞭であった。検出当初は遺構の規模から竪穴建物の可能性を想定したが、遺構の底面で柱穴やカマド等を確認できなかつたため、土坑と判断した。

埋土 埋土は6層に分層した。6層は底面に薄く堆積するが、1層～5層は壁際から順に堆積する。

掘方 平面形は方形と推定される。底面は平坦で、壁面は緩やかに外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器35点が散在して出土した。

出土遺物 小片のため図化しなかった。

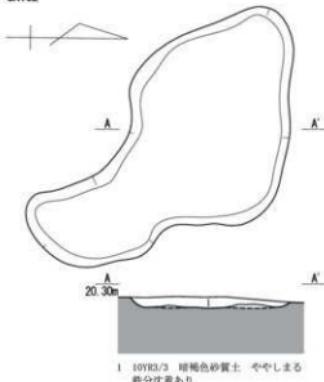
所属時期 SK127よりも古いことから、7世紀後葉より古いと考えられる。

SK448（図63・64）

検出状況 BC 4～BD 5 グリッドのVa層上面で検出した。検出時には重複するいざれの遺構よりも古いと考えていたが、整理等作業の段階で、SK448から出土した遺物はSI 1やSI 2等から出土した遺物よりも新しいことが判明したため、検出時の先後関係を誤っていたと考えられる。なお、検出当初は遺構の規模から竪穴建物の可能性を想定したが、遺構の底面ではSK450とSK451しか確認できず、柱穴やカマド等は確認できなかつたため、土坑と判断した。

埋土 7層に分層した。1層～3層は水平堆積、4層と5層は壁面際に堆積する。

SK162



SP 2



SK435

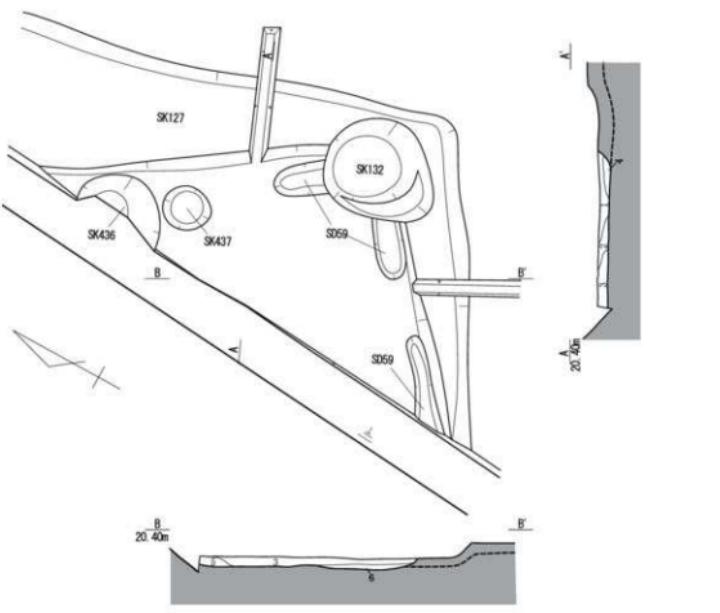
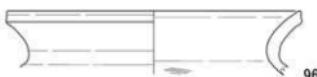
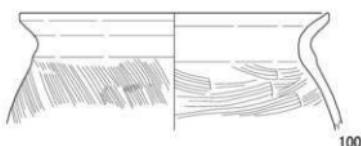


図 62 SK162・SK435・SP 2 遺構図

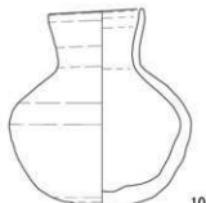
SK127 (95 ~ 99)



SK128 (100)



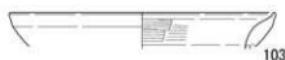
SK131 (101)



SK132 (102)



SK143 (103・104)



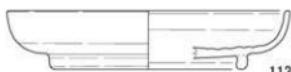
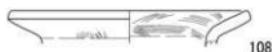
SK157 (105)



SK162 (106・107)



SK448 (108 ~ 113)



0 10cm
(S=1/3)

図63 A地点第2調査面遺構出土遺物（5）

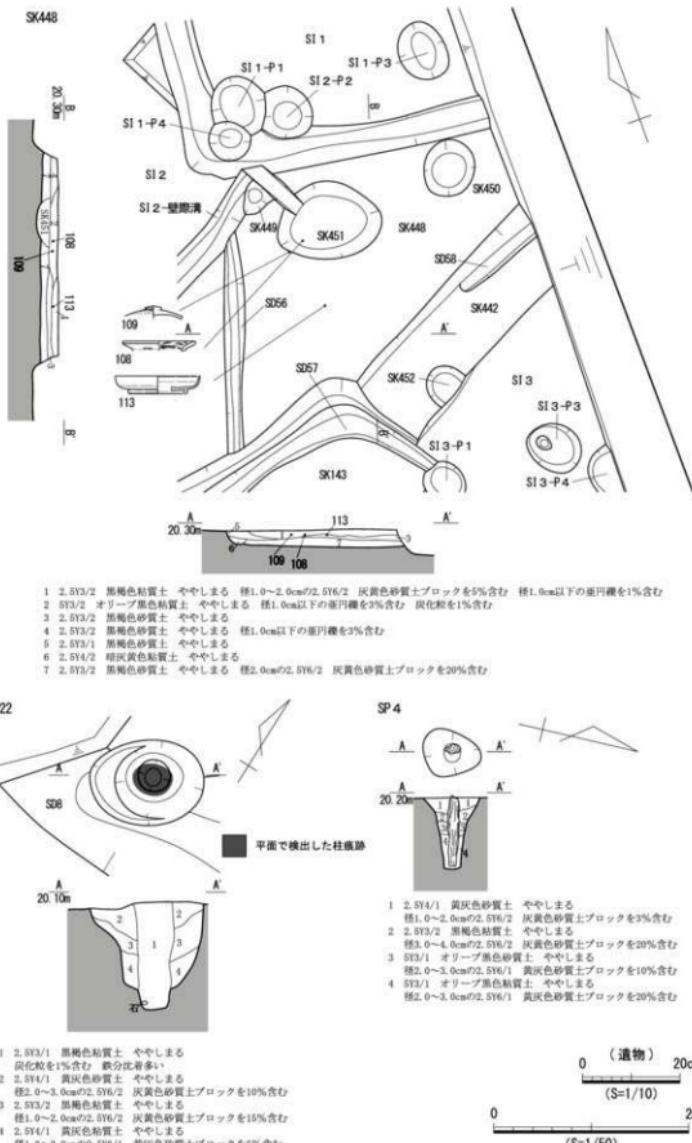


図64 SK448・SP 4・SP22 遺構図

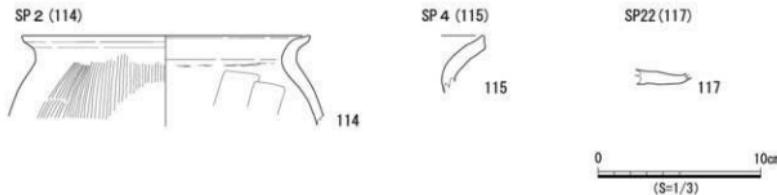


図 65 A地点第2調査面遺構出土遺物（6）

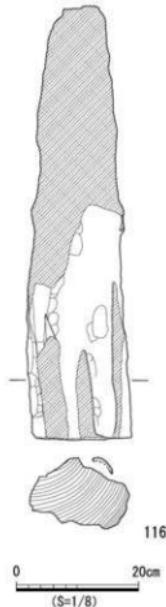


図 66 SP 4 出土遺物

掘方 平面形は方形である。底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 113 は掘方中央付近から高台部を上に向けた状態で出土した。また、埋土中から土師器 114 点、須恵器 37 点が散在して出土した。

出土遺物 土師器の甕など 6 点を図示した。108 は土師器の甕の口縁部で、内外面ともにハケ目調整を施す。109～113 は須恵器である。109・110 は坏蓋で、110 は口縁端部に返りを有する。111・112 は坏身 C 類である。底部から口縁部にかけて直線的に開く。113 は坏身 C 類で、腰部に丸味がある。109～113 は美濃須衛窯編年の III-3 期に比定される。

所属時期 出土した遺物から 7 世紀後葉と考えられる。

（5）柱穴

SP 2 (図 62・65)

検出状況 BF4 グリッドの Va 層上面で検出した。重複関係は、SK133 よりも古い。SP 2 の遺構埋土と重複する遺構埋土及び Va 層は類似しており、平面形は不明瞭であった。

埋土 5 層に分層した。1 層は黒褐色土で、ほぼ垂直に立ち上がることから柱痕跡と考えられる。2 層～4 層はブロック土を含む柱掘方埋土である。5 層は掘方の底面に水平に堆積していることから、柱を据える際に整地した土の可能性がある。

掘方 平面形は円形である。底面は段があり、壁面はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況 埋土中から土師器 13 点が出土した。

出土遺物 114 は土師器の甕である。体部外面は継方向のハケ目調整、内面は板ナデ調整する。

所属時期 他の遺構との重複関係から、7 世紀中葉よりも古いと考えられる。

SP 4 (図 64～66)

検出状況 BJ5 グリッドの Va 層上面で検出した。重複関係は、SI10 よりも新しい。SP 4 は重複する遺構が少ないため、平面形は明瞭であった。また、埋土上面で柱材を確認した。

埋土 4 層に分層したが、いずれも埋土中にブロック土を含む。

掘方 平面形は梢円形である。底面は平坦で、壁面は下部が垂直に立ち上がるが、上部は外傾して開

く。

遺物出土状況 埋土中から土師器1点、柱根1点が出土した。

出土遺物 115は土師器の甕である。口縁部端部は弱い摘み上げ状となる。116は柱根である。芯持材を用いており、上部は腐食が進む。この柱根を樹種同定した結果、カヤ材であり、放射性炭素年代測定の結果、6世紀後半から7世紀前半頃に伐採された可能性があることが確認された（第4章）。

所属時期 SI10との重複関係から、7世紀後葉以降と考えられる。

SP22（図64・65）

検出状況 BJ4グリッドのVa層上面で検出した。重複関係は、SD8よりも古く、SI10よりも新しい。SP22の遺構埋土とSI10の埋土は類似していたことから、平面形は不明瞭であった。

埋土 4層に分層した。1層は黒褐色土で粘性が強く、掘方底面から垂直に立ち上がることから柱痕跡と考えられる。2層～4層はブロック土を含む柱掘方埋土である。

掘方 平面形は円形である。底面には小ピットがあり、1層が小ピットの底面から立ち上がる。壁面は掘方上部ほど外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器1点、須恵器1点が出土している。

出土遺物 117は須恵器の坏身B類である。胎土から猿投窯産と考えられる。

所属時期 重複するSI10よりも新しいことから、7世紀後葉以降と考えられる。

（6）遺物包含層出土遺物（図67）

II b層から出土した遺物について説明する。

118～124は土師器である。118～121は甕の口縁部で、いずれも口縁端部を上方又は外方に摘み上げる。118は、体部外面に斜め方向のハケ目調整、内面に横方向にハケ目調整を施す。122は把手付鍋の体部で、把手の横断面は楕円形である。123は製塙土器の脚部である。124は皿で、外面に1段ナデ調整が施される。125～139は須恵器である。125・126は坏蓋A類である。125は天井部と口縁部の境に稜が残る。125は美濃須衛窯編年II期後半、126は美濃須衛窯編年III-3期に比定される。127は坏蓋C類で、胎土から美濃須衛窯産の可能性がある。128～132は坏身A類である。128は口径がやや小さく底部が平坦となるが、129は口径が大きい。128～130はいずれも美濃須衛窯産と考えられる。131・132は受部外面の直下をナデ調整する。畿内系の須恵器と考えられる。133・134は坏身B類である。いずれも底部と口縁部の境が明瞭で、口縁部にかけて直線的に開く。135は高坏の坏部から脚部にかけての破片で、畿内系の須恵器と考えられる。136は高坏の脚部で、外面のナデ調整が顕著である。137は短頸壺で猿投窯産と考えられる。138・139は盤である。口縁端部には平坦面がある。138は美濃須衛窯産と考えられるが、139は産地不明である。

II b 層 (118 ~ 139)

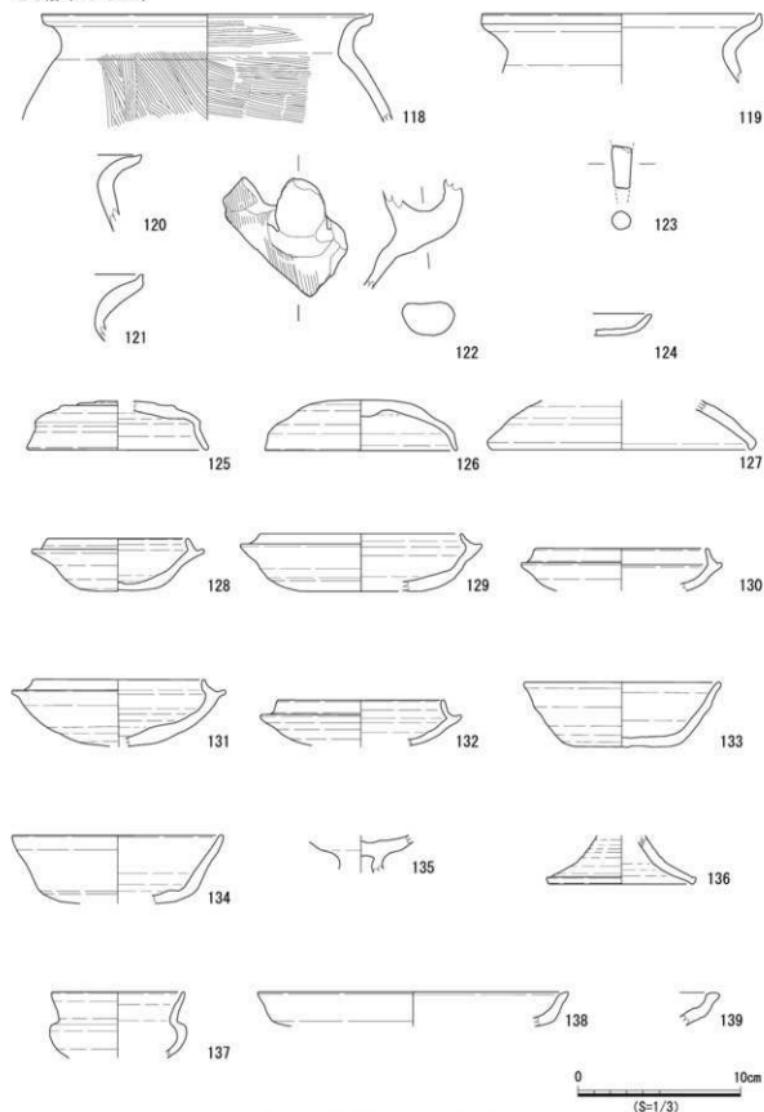


図 67 A 地点遺物包含層出土遺物 (2)

第4節 B・C地点の遺構・遺物

1 第1調査面

(1) 土坑列

SA5(図68)

検出状況 BR3～BR4グリッドのII b層上面で検出した。同規模の深い穴が0.6m～0.7m間隔で、ほぼ直線的に並ぶことから土坑列とした。重複関係は、SK76・SK81よりも新しい。重複する遺構埋土やVb層とは異なるため、平面形は明瞭であった。長さは3.45mで、土坑が並ぶ方向はN-81°-Wである。

土坑 6基の土坑を検出した。平面形はいずれも梢円形で、埋土は単層である。直径は0.28m～0.42m、深さは0.02m～0.10mである。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 II b層上面で検出し、耕作に伴う可能性があることから、中世以降と思われる。

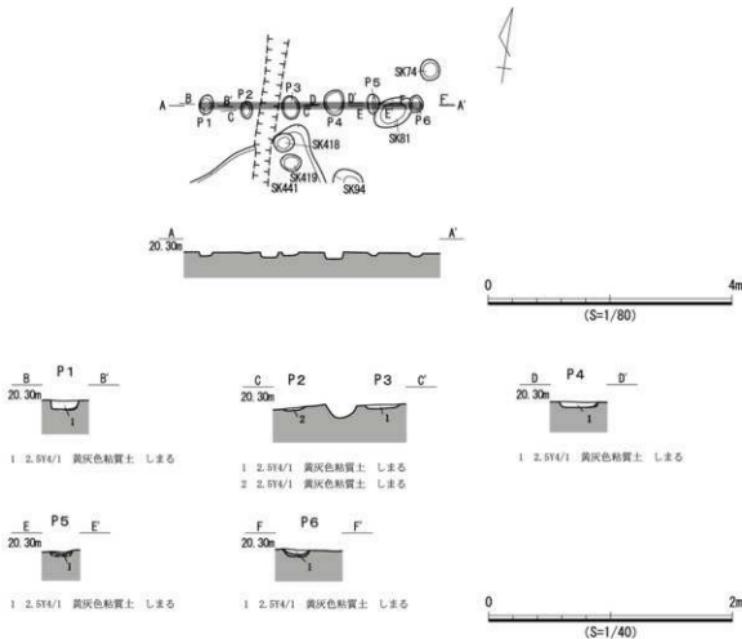


図68 SA5遺構図

(2) 溝

SD17 (図 69)

検出状況 BQ4～BR5 グリッドの II b 層上面で検出した。北西から南東方向に直線的に延び、南東部は発掘区外となる。重複関係は、SP1 よりも古い。重複する遺構が少なく、SD17 の平面形は明瞭であった。

堆積状況 単層で、ブロック土を多く含むため、人為的堆積の可能性がある。流水の痕跡は確認できなかった。

掘方 底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器2点が出土した。

出土遺物 小片のため図示しなかった。

所属時期 時期が特定できる遺物が出土していないが、II b 層上面で検出したことから、中世以降と思われる。

(3) 土坑

SK51 (図 69)

検出状況 B04 グリッドの II b 層上面で検出した。重複関係する遺構はない。SK51 埋土と II b 層は類似しており、平面形は不明瞭であった。SK52 や SK54 と規模や堆積状況が類似する。

埋土 2層に分層したが、水平に堆積する。埋土中にブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 II b 層上面で検出したことから、中世以降と思われる。

SK52 (図 69)

検出状況 B04～B05 グリッドの II b 層上面で検出した。重複する遺構はない。SK52 埋土と II b 層は類似しており、平面形は不明瞭であった。SK51 や SK54 と規模や堆積状況が類似する。

埋土 2層に分層したが、水平に堆積する。1層には亜円窓、2層にはブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 II b 層上面で検出したことから、中世以降と思われる。

SK54 (図 69)

検出状況 BP5 グリッドの II b 層上面で検出した。重複関係は、SK55 よりも新しい。SK54 埋土は II b 層及び SK55 埋土と類似することから、平面形は不明瞭であった。SK51 や SK52 と規模や堆積状況が類似する。

埋土 2層に分層したが、水平に堆積する。2層は埋土中にブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

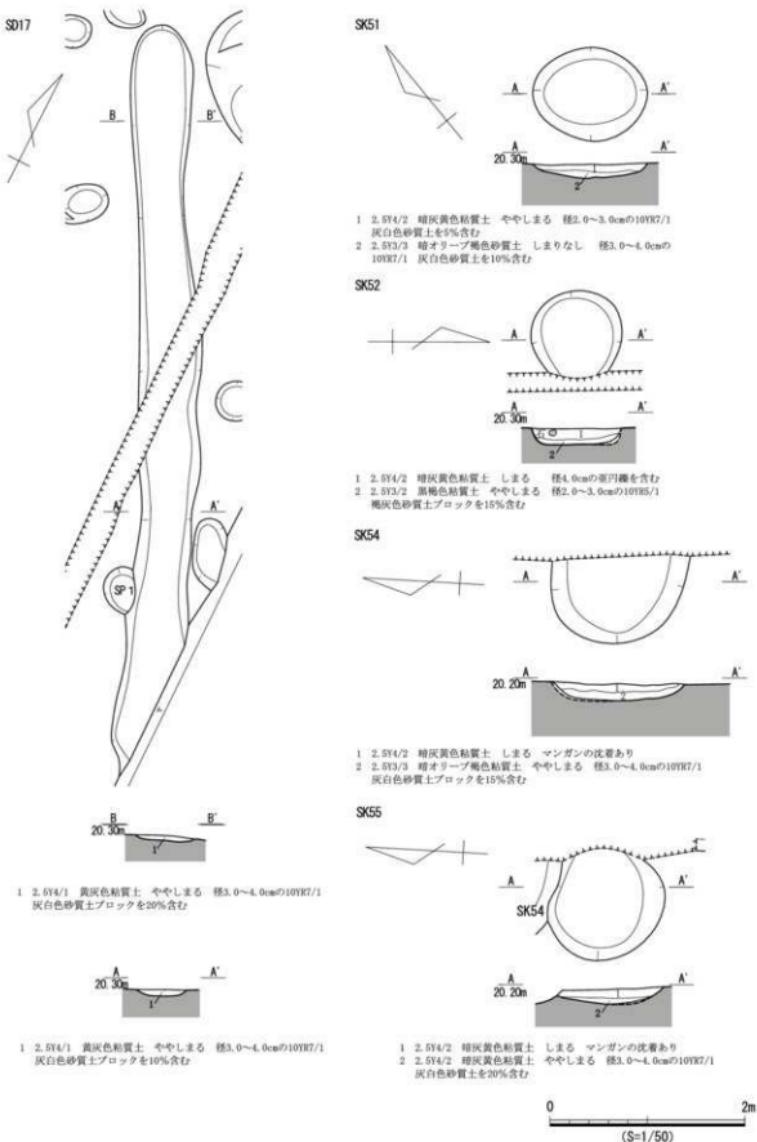


図 69 SD17・SK51・SK52・SK54・SK55 遺構図

所属時期 II b 層上面で検出したことから、中世以降と思われる。

SK55 (図 69)

検出状況 BP5 グリッドの II b 層上面で検出した。重複関係は、SK54 よりも古い。SK55 埋土は II b 層及び SK54 埋土と類似することから、平面形は不明瞭であった。SK51 や SK52 と規模や堆積状況が類似する。

埋土 2 層に分層した。水平に堆積する。2 層は埋土中にブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

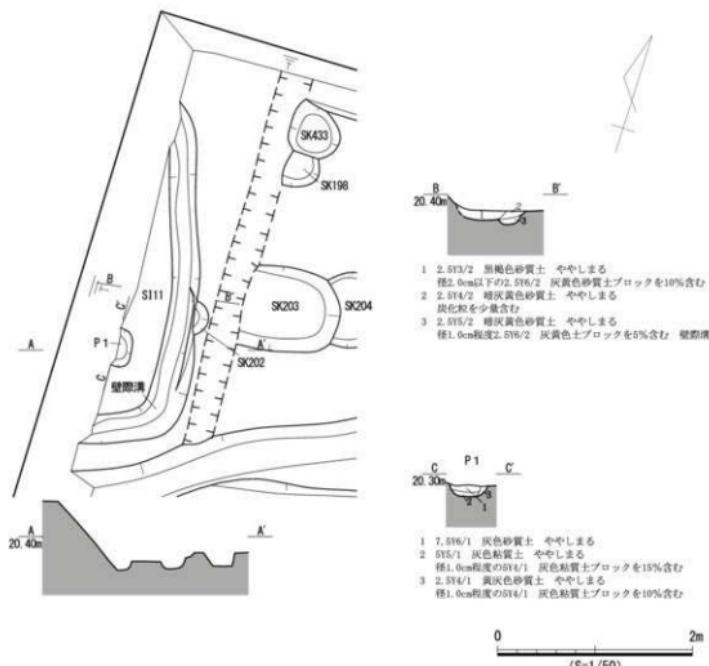
所属時期 II b 層上面で検出したことから、中世以降と思われる。

2 第2調査面

(1) 壴穴建物

SI11 (図 70)

検出状況 A020 グリッドの V b 層上面で検出した。掘方の大半は発掘区外に広がり、東辺から南辺の



一部を確認しただけである。重複関係は、SK202 よりも古い。SI11 の埋土は SK202 の埋土や V b 層と異なり、重複する遺構も少なかったため平面形は明瞭であった。床面で柱穴と考えられる遺構や壁際溝を確認したことから、竪穴建物の可能性がある。

規模・形状 長軸方位は N-24° -W である。平面形は、方形若しくは長方形と思われる。検出した範囲から、長軸長が 3.53m 以上、短軸長が 0.86m 以上である。

埋土 埋土は 2 層に分層した。1 層はブロック土を含む土であるため、人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面は外傾する。床面の硬化や整地層は確認できなかったが、掘方の底面で柱穴の可能性がある遺構や壁際溝を検出したため床面と判断した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴 1 基、壁際溝 1 条である。P 1 は掘方の隅部に近い位置で検出したため、柱穴の可能性がある。壁際溝は、東辺から南辺にかけて確認した。

遺物出土状況 竪穴掘方の埋土から土師器 4 点、壁際溝から土師器 1 点、須恵器 1 点が散在して出土した。

遺物 いずれも小破片のため図示しなかった。

所属時期 時期を特定できる遺物が出土しておらず、重複する遺構も時期不明であるが、SI 5 と長軸方位が類似する。

SI12 (図 71~73・85)

検出状況 A020~BP1 グリッドの V b 層上面で検出した。掘方の南部が SD45 により削平される。重複関係は、SD45・SK209・SK212 よりも古く、SD42・SD43・SK207 よりも新しい。SI12 の埋土はブロック土を多く含み、重複する遺構埋土及び V b 層と異なるため、平面形は明瞭であった。床面で柱穴・カマド・壁際溝を検出したことから、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位は N-76° -E である。平面形は、方形若しくは長方形と思われる。検出した範囲から、長軸長が 3.94m、短軸長が 1.52m 以上である。

埋土 埋土は 10 層に分層した。壁面近くから中央部にかけて埋没する堆積で、埋土中にブロック土が多く混じることから、人為堆積と考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。硬化した状況は確認できなかったが、ややしまる整地層（14 層）を確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴 2 基、カマド 1 基、壁際溝 1 条、性格不明の土坑 3 基である。カマドは東壁に設けられていた。カマドの上面では、焼土ブロックや炭化物を含む堆積があり、これらを除去したところ、カマド袖部（図 72：I-I' 断面 16・17 層・J-J' 断面 18・19 層）や焼土ブロック、炭化物が広がる範囲を検出した。また、カマド内部からは、支脚と考えられる円礫を検出した。P 1・P 3 は掘方の隅に近い位置にあることから、柱穴の可能性がある。なお、P 3 はやや深いが、P 1 は浅い。その他の柱穴は SD45 によって削平されたと考えられる。壁際溝は、竪穴掘方の北壁沿いで確認した。なお、P 2・P 4・P 5 は性格不明の土坑である。

遺物出土状況 141 はカマドの支脚と考えられる円礫に立てかけるようにして出土した。その他、竪穴埋土中から土師器 1 点、カマドから土師器 2 点、須恵器 7 点、P 2 から土師器 1 点が散在して出土した。

出土遺物 須恵器を 2 点図示した。140 は須恵器の坏蓋 A 類である。口縁部は丸く收まり、わずかに外

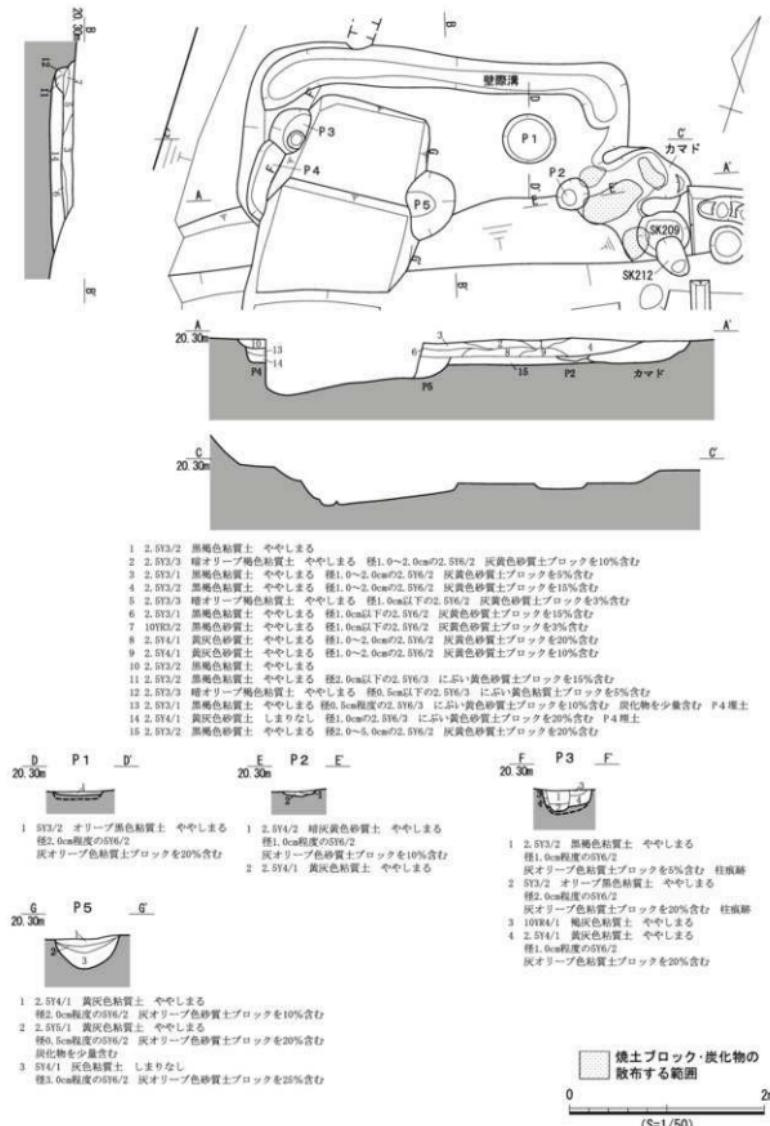


図 71 SI12 遺構図 (1)

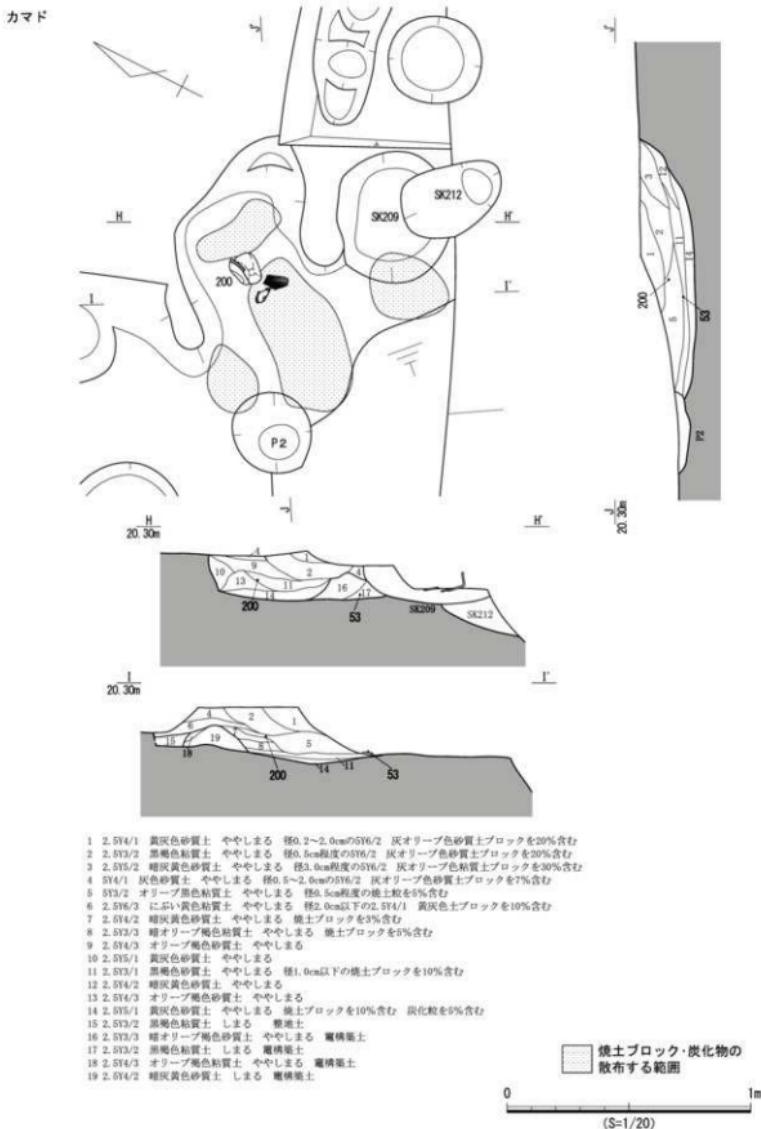
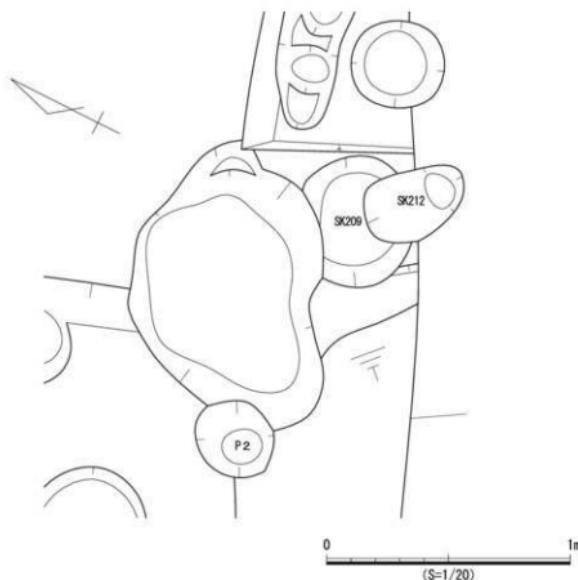


図 72 SII12 遺構図 (2)

カマド（掘方完掘状況）



掘方完掘状況

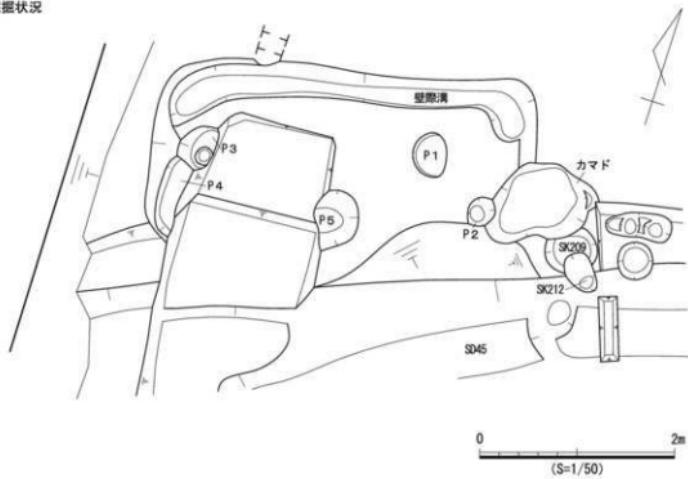


図 73 SI12 造構図(3)

反する。141は畿内系の坏身A類で、立ち上がりが短い。6世紀末から7世紀前葉のものと考えられる。
所属時期 カマドから出土した須恵器から、6世紀末から7世紀前葉と考えられる。

SI13(図74・75・85)

検出状況 B01～B02 グリッドのVb層上面で検出した。本遺構はB地点とC地点にまたがる。重複関係は、SK219・SK220・SK440よりも古く、SD42よりも新しい。SI13の埋土は重複する遺構埋土及びVb層と類似していたため、平面形は不明瞭であった。隅丸方形の掘方であることや、床面で柱穴を検

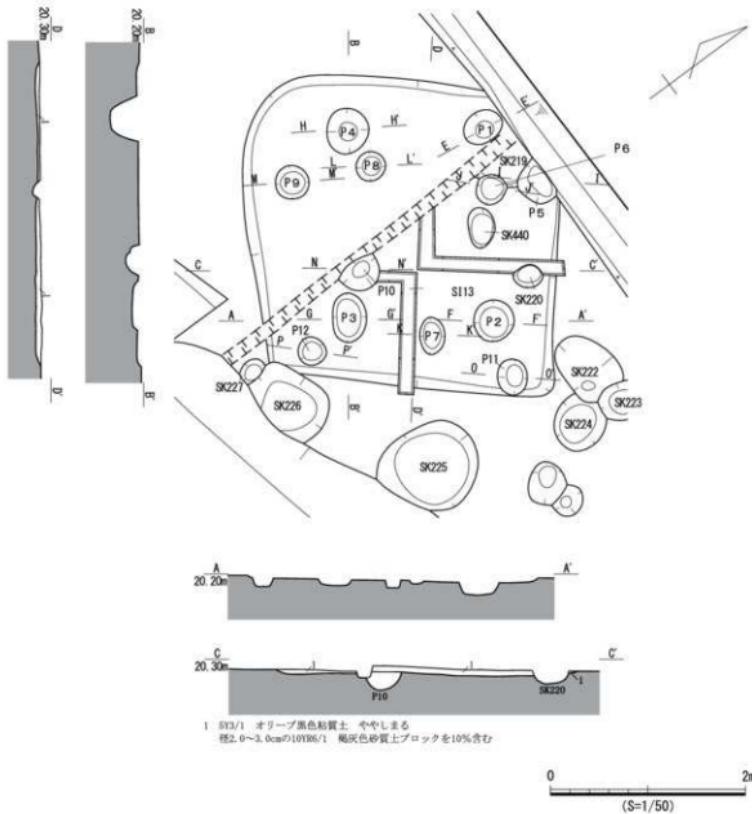


図74 SI13遺構図(1)

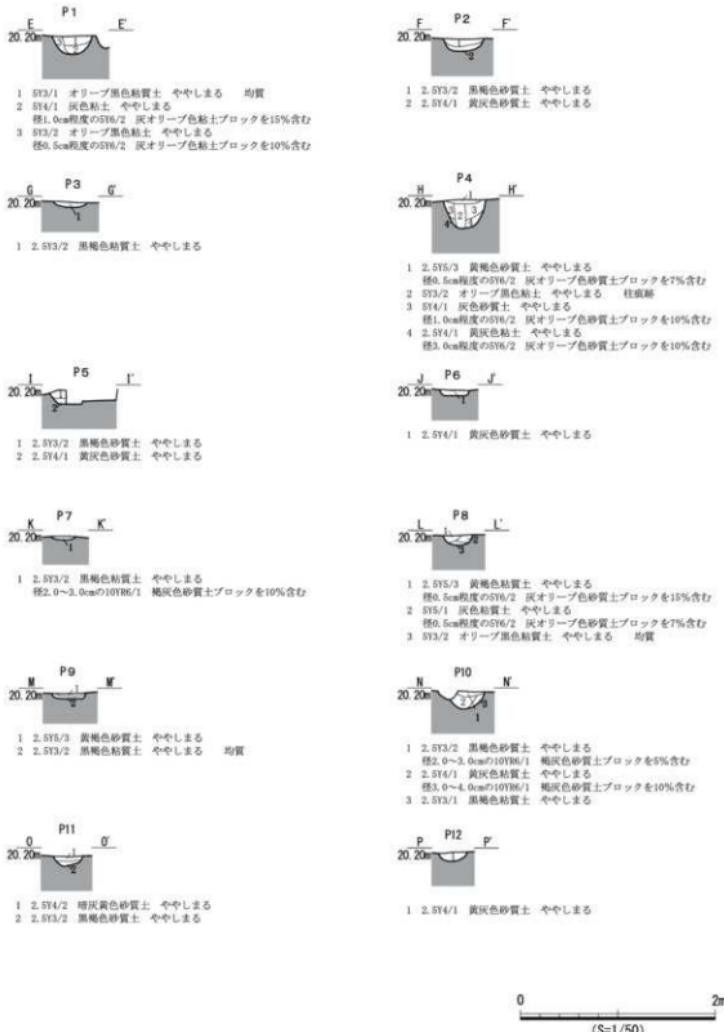


図 75 SII13 造構図 (2)

出したことから竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-52°-Wである。平面形は隅丸方形である。長軸長が3.16m、短軸長が3.11mである。

埋土 埋土は単層である。ブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。床面に硬化した状況は確認できなかった。なお、床面遺構掘削後に、整地層の有無や壁面を確認するためにサブトレーナーを入れたが、整地層は確認できなかった。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴4基、性格不明の土坑8基で、P1・P2・P3・P4は、掘方の隅部に近い位置にあることから、柱穴と考えられる。P1は土層断面に柱痕跡を確認したが、その他の柱穴では柱痕跡を確認することはできなかった。他にも、床面で土坑8基を検出したが、いずれも性格不明の土坑である。なお、カマドは確認できなかった。

遺物出土状況 竪穴埋土中から土師器13点、須恵器1点、P7から土師器1点が散在して出土した。

出土遺物 須恵器1点を図示した。142は美濃須衛窯産の鉢で、8世紀代の可能性がある。

所属時期 出土遺物から8世紀代と考えられる。

SI14（図76～78・85）

検出状況 B01～BP2グリッドのVb層上面で検出した。掘方の北東部を検出した。他遺構との重複関係は、SK237よりも古く、SK232・SK256よりも新しい。検出時にはSI14とSK237を一つの遺構と認識して掘削していたが、SI14の床面でSK237の掘方が見えたため、土層観察用畦に沿ってサブトレーナーを掘削して確認し、SK237の立ち上がりがあると判断した。そのため、SI14の掘削を中断してSK237を掘削した。SI14の埋土は、重複する遺構埋土と類似しており、平面形は不明瞭であった。平面形や床面で柱穴の可能性がある遺構を検出したことから、竪穴建物の可能性がある。

規模・形状 長軸方位はN-40°-Wである。平面形は、方形若しくは長方形である。

埋土 埋土は17層に分層したが、壁面近くから中央部の順に堆積している。埋土中にはブロック土を多く含むことから、人為的堆積と思われる。なお、17層は床面上に堆積するしまりのある土層であるが、この土層を除去して床面の遺構を検出したため、埋土と判断した。

床面・掘方 床面はほぼ平坦で、壁面は外傾する。しまりのある整地層（18層）を掘方全体で確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、土坑9基である。柱穴と断定できるものは確認できなかったが、隅部に位置するものが柱穴となると思われる。P6は他の土坑と比べて規模が大きいが、性格不明の土坑である。

遺物出土状況 144は床面上から正位で出土した。また、竪穴埋土中から土師器42点、須恵器8点、P6から土師器5点、P8から土師器3点が散在して出土した。

出土遺物 土師器等3点を図示した。143は土師器櫃の把手である。144は須恵器身A類で、美濃須衛窯編年II期後半に比定できる。145は高壺の坏部である。

所属時期 床面上で出土した須恵器から、6世紀末から7世紀初頭と考えられる。

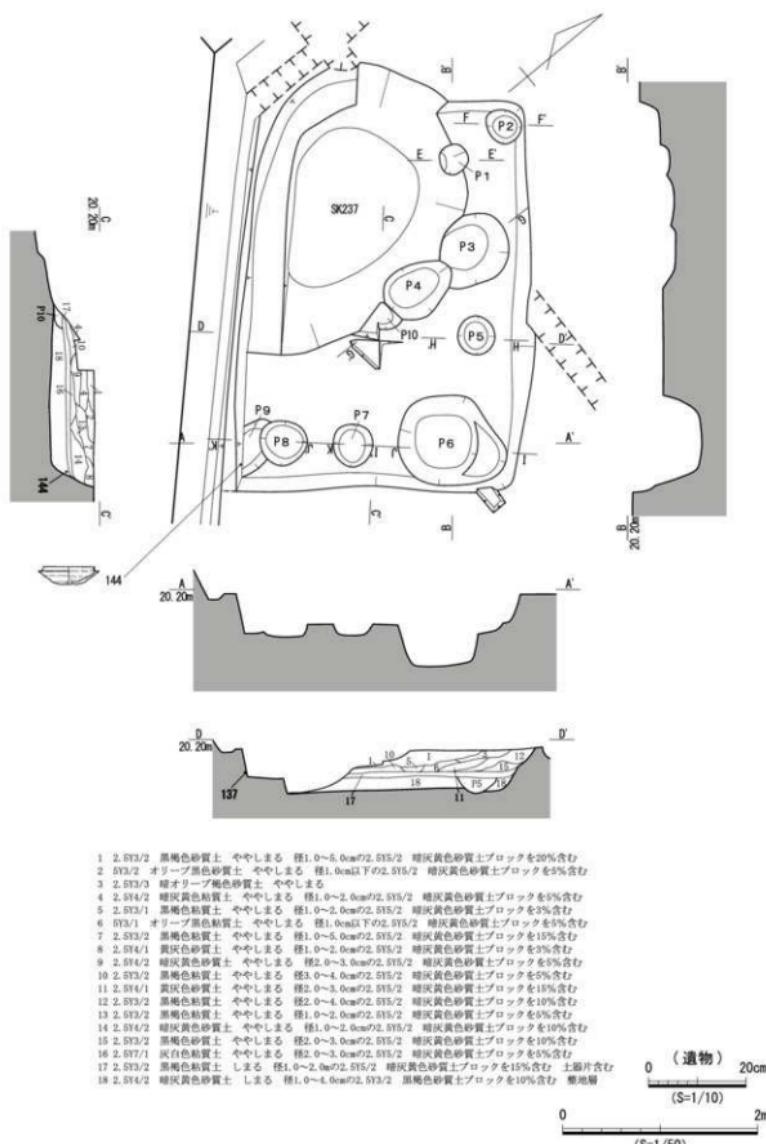


図 76 SI14 遺構図(1)

E P1 E



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/3 黄褐色砂質土ブロックを10%含む

F P2 F



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/3 黄褐色砂質土ブロックを10%含む

G P3 G



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる
径2.0~2.6cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを5%含む
2. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる
径1.0~1.6cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを15%含む
3. 2.SY5/2 瞬灰黄色砂質土 ややしまる

G P4 G



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる
径2.0~3.6cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを20%含む
2. 2.SY5/2 瞬灰黄色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/1 黄褐色砂質土ブロックを5%含む

H P5 H



1. 2.SY5/3 黄褐色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/3 黑褐色砂質土ブロックを5%含む

I P6 I



1. 2.SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを5%含む
径1.0cm以下の炭化粒を5%含む
2. SY3/2 オリーブ色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを20%含む
3. 2.SY3/1 黒褐色砂質土 ややしまる
径0.6cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを10%含む
4. 2.SY4/1 黄褐色砂質土 ややしまる
径0.6~4.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを30%含む
5. 2.SY3/1 黒褐色砂質土 ややしまる
径3.0~4.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを25%含む
6. 2.SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
7. 2.SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
径2.0~3.0cm/2. SY5/2 黄褐色砂質土ブロックを10%含む
8. 2.SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
径2.0~3.0cm/2. SY5/1 黄褐色砂質土ブロックを30%含む

J P7 J



1. 2.SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
2. 2.SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
径3.0~4.0cm/2. SY5/3 黄褐色砂質土ブロックを30%含む

K P8 K



1. 2.SY4/2 瞬灰黄色砂質土 ややしまる
2. 2.SY3/3 希オリーブ色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを20%含む
3. 2.SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを10%含む
土器片を含む
4. 2.SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる

G P10 G



1. 2.SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
径1.0~2.0cm/2. SY5/2 瞬灰黄色砂質土ブロックを10%含む
2. 2.SY5/2 瞬灰黄色砂質土 ややしまる

0 2m
(S=1/50)

図 77 SI14 遺構図(2)

掘方完掘状況

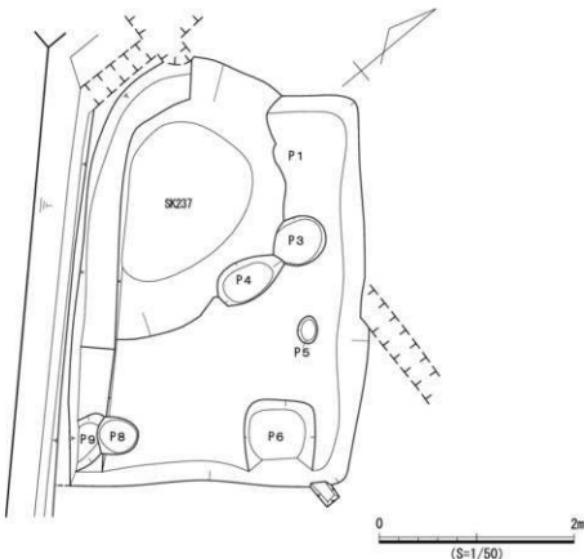


図 78 SI14 遺構図 (3)

SI15 (図 79~84、85・86)

検出状況 BP4～BQ5 グリッドのV b 層上面で検出した。重複関係は、SD46・SD47・SK58・SK60・SK413よりも古い。SI15 遺構埋土はブロック土が多く混じることから、重複する遺構埋土やV b 層と異なるため平面形は明瞭であった。また、TP 1 により北半部分が削平されていた。床面でカマド、柱穴、壁際溝を確認したことから、堅穴建物であると判断した。

規模・形状 長軸方位はN-2° -E でほぼ正方位を向く。平面形は方形で、長軸長が 4.48m、短軸長が 4.38m である。

埋土 埋土は 6 層に分層した。ほぼ水平に堆積しており、埋土中にブロック土を含むため人為的堆積と考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。床面で硬化した状況は確認できなかったが、ややしまる整地層(10・11・12 層)を掘方全体で確認した。なお、床面検出時には 12 層上面まで掘り下げていたが、土層観察用畦で壁際溝が 10 層上面から掘り込まれていることを確認し、床面を掘り過ぎたことが判明した。

付属遺構 12 層上面で検出した遺構は、柱穴 4 基、カマド 1 基、壁際溝 1 条、性格不明の土坑 7 基である。カマドは掘方の北壁に設けられている。検出時には、焼土ブロックや炭化物が混じる堆積を確認した。埋土を掘り下げたところカマド袖部(図 82 : Q-Q' 断面 37～45 層)を検出した。カマド袖部

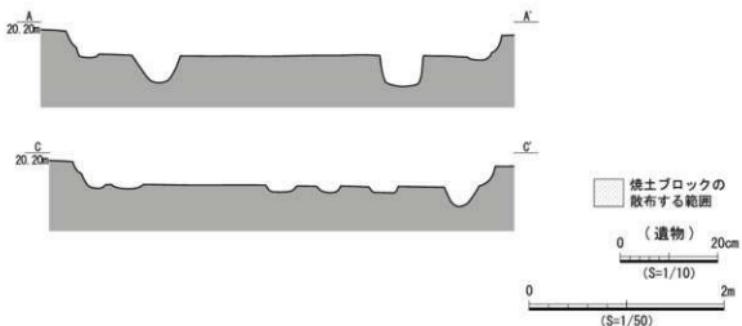
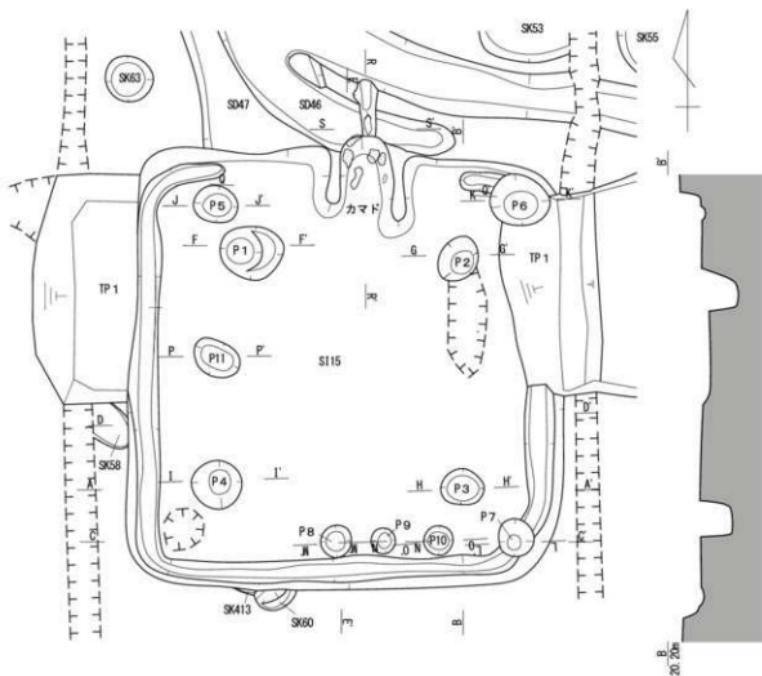
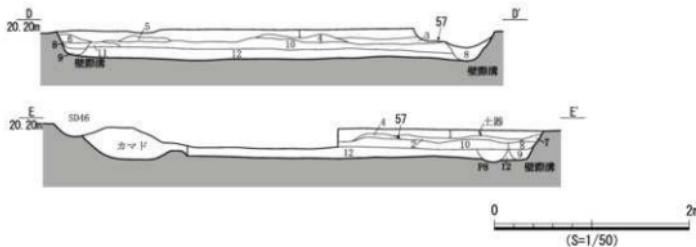


図 79 SI15 造構図 (1)



- 1 2.513/2 黒褐色砂質土 ややしまる 径2.0~4.0cmの2.514/2 堆灰黄色砂質土ブロックを15%含む 土器片を含む
- 2 2.513/3 塗オリーブ褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2.514/2 堆灰黄色砂質土ブロックを5%含む
- 3 2.513/2 黒褐色粘質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2.514/2 堆灰黄色砂質土ブロックを5%含む
- 4 2.513/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2.514/2 堆灰黄色砂質土ブロックを15%含む
- 5 2.513/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2.514/2 堆灰黄色砂質土ブロックを20%含む
- 6 2.514/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2.514/1 黄褐色砂質土ブロックを20%含む
- 7 2.514/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2.514/1 黄褐色砂質土ブロックを30%含む
- 8 2.513/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2.514/2 黄褐色砂質土ブロックを10%含む
- 10 2.514/2 堆灰黄色砂質土 ややしまる
- 11 2.515/1 黄褐色砂質土 ややしまる 径4.0~5.0cmの2.514/1 黄褐色砂質土ブロックを30%含む
- 12 2.513/2 堆灰黄色砂質土 しまる 径4.0~6.0cmの2.513/2 黑褐色砂質土ブロックを10%含む 整地層

図80 SI15 遺構図(2)

内側には焼土ブロックや炭化物が広がる。また、カマドの北側で掘方の外側に延びる煙道部を確認した。煙道部の埋土には焼土ブロックが混じる。カマド袖部除去後に確認した浅い掘り込みはカマド掘方の可能性がある。カマド掘方の南側は掘方掘削時に土手状に掘り残すことで造り出していたと考えられるが、このようなカマドを持つ窓穴建物は、本遺跡の中でもSI15のみである。なお、カマド袖部の上に整地層(図82:Q-Q'断面56~58層)が堆積するため、カマド構築後に整地したと考えられる。P1・P2・P3・P4は掘方の隅部に近い位置から検出したことから、柱穴と考えられる。なお、P1の土層断面では柱痕跡を確認したが、その他の柱穴では確認できなかった。壁際溝は、カマド周辺を除く各辺で検出した。P8~P10は南壁に沿って確認しており、入口施設に関係する可能性がある。P8は土層断面の観察から整地層(12層)の上面から掘り込まれていることを確認したため、整地する途中に掘削したと考えられる。他にも、P5~P7、P11を検出したが、いずれも性格不明の土坑である。

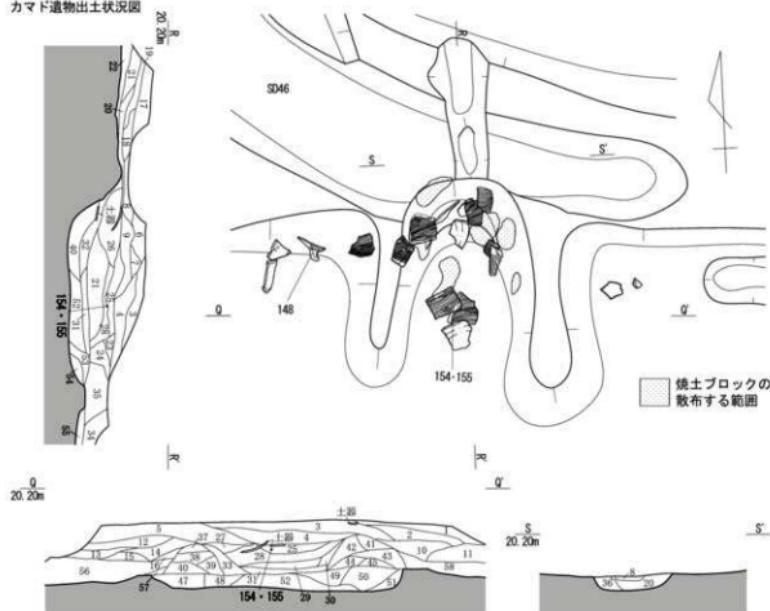
遺物出土状況 148はカマド袖部の外側で横位の状態で出土したほか、154、155はカマドの埋土中で重なるようにして出土した。その他、窓穴埋土中から土師器46点、須恵器3点、カマドから土師器24点が散在して出土した。

出土遺物 窓穴埋土中から出土した土師器甕等4点を図示した。146、148は土師器甕である。146は頸部が肥厚し口縁部を欠く。148は口縁端部を上方に摘み上げる甕である。149は土師器の瓶で、把手から胴部にかけて残存していた。外面は縦方向のハケ目調整、内面は不定方向のハケ目調整の後に指ナデにより調整する。体部内面は指オサエがある。147は須恵器の壺蓋A類で、器壁が薄く、天井部は回転ヘラケズリ調整する。美濃須衛窯編年のII期後半に比定される。また、カマドから出土した土師器2点を図示した。150は甕の胴部で、外面は縦方向にハケ目調整、内面は指ナデ調整する。151は瓶



図81 SI15 遺構図(3)

カマド遺物出土状況図



カマド（掘完状況）

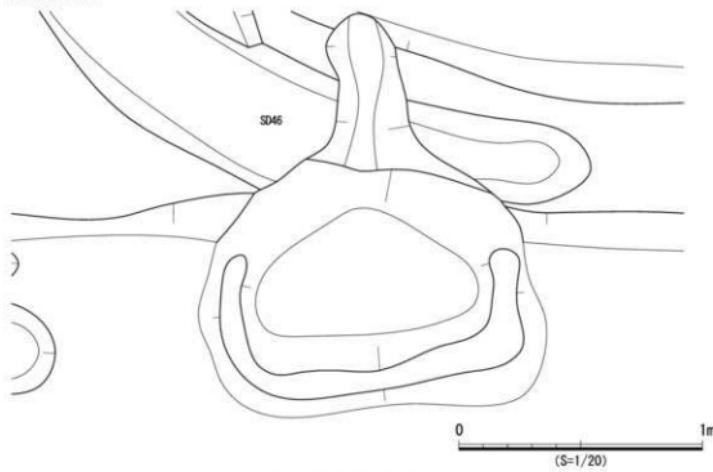


図 82 SI15 遺構図 (4)

カマド土層記述

- 1 SY3/2 オリーブ褐色粘質土 ややしまる 径1.0cm以下の2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む 径1.0cm以下の地土を1%含む
 2 SY4/2 噴灰黄色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 3 SY3/2 黒褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 4 SY3/1 オリーブ褐色粘質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 5 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0cmの10W71 褐白色砂質土ブロックを1%含む
 6 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径1.0cmの10W71 褐白色砂質土ブロックを1%含む
 7 SY3/2 オリーブ褐色粘質土 ややしまる 径1.0cmの炭化粒を1%含む
 8 SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる
 9 SY3/3 噴灰黄色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの地土ブロックを3%含む 炭化粒を5%含む
 10 SY4/1 黑褐色粘質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 11 SY4/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを15%含む
 12 SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む 径1.0cm以下の地土ブロックを1%含む
 13 SY3/2 噴オリーブ褐色土 ややしまる 径1.0cm以下の地土ブロックを5%含む 径1.0cm以下の地土ブロックを5%含む
 15 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径1.0cm以下の地土ブロックを1%含む
 16 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 17 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cm以下の地土ブロックを10%含む
 18 SY3/2 噴灰黄色粘質土 ややしまる
 19 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの10W51 噴灰黄色砂質土ブロックを5%含む 径2.0~3.0cmの地土ブロックを10%含む
 20 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 21 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径1.0cm以下の地土ブロックを20%含む
 22 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 23 SY4/2 噴灰黄色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 24 SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの10W61 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 25 SY4/2 噴灰黄色粘質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの地土ブロックを10%含む
 26 SY3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 径1.0cm以下の地土ブロックを5%含む
 27 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの地土ブロックを1%含む
 28 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径0~4.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色粘質土ブロックを10%含む
 29 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 30 SY3/2 噴灰黄色粘質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色粘質土ブロックを15%含む
 31 SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0cm以下の地土ブロックを3%含む
 32 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径3.0~4.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 33 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 34 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる
 35 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 36 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 37 SY3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 径1.0cm以下の2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを5%含む カマド構築土
 38 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを20%含む カマド構築土
 39 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む カマド構築土
 40 SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む カマド構築土
 41 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む カマド構築土
 42 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる カマド構築土
 43 SY3/1 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを15%含む カマド構築土
 44 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる カマド構築土
 45 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを20%含む カマド構築土
 46 SY3/2 黑褐色粘質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 47 SY3/2 噴オリーブ褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを20%含む
 48 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 49 SY3/2 噴灰黄色粘質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色粘質土ブロックを15%含む
 50 10W3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径2.0~3.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む
 51 SY3/1 黑褐色粘質土 ややしまる 径2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 52 SY5/2 河原土 オリーブ褐色粘質土 ややしまる
 53 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを5%含む
 54 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる
 55 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径0~4.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを25%含む
 56 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む 豊地層
 57 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む 豊地層
 58 SY3/2 黑褐色砂質土 ややしまる 径1.0~2.0cmの2. SY5/2 噴灰黄色砂質土ブロックを10%含む 豊地層

図 83 S115 遺構図（5）

の口縁部から胴部で、外面は斜め方向のハケ目調整、内面は横方向にハケ目調整する。

所属時期 カマドや堅穴埋土中から出土した土器師や須恵器から、6世紀末から7世紀初頭と考えられる。

(2) 挖立柱建物

SB5（図87）

検出状況 BS5 グリッドのV b 層上面で検出した。L字形に並ぶ4基の柱穴を確認し、発掘区外に広がる掘立柱建物と判断した。重複関係は、SK306 よりも新しい。各柱穴は比較的明瞭に確認できた。

規模・形状 枝行2間以上(2.66m以上、柱間1.2m)、梁行1間以上(1.4m以上、柱間1.2m)の側柱建物で、長軸方位はN-27° - Wである。

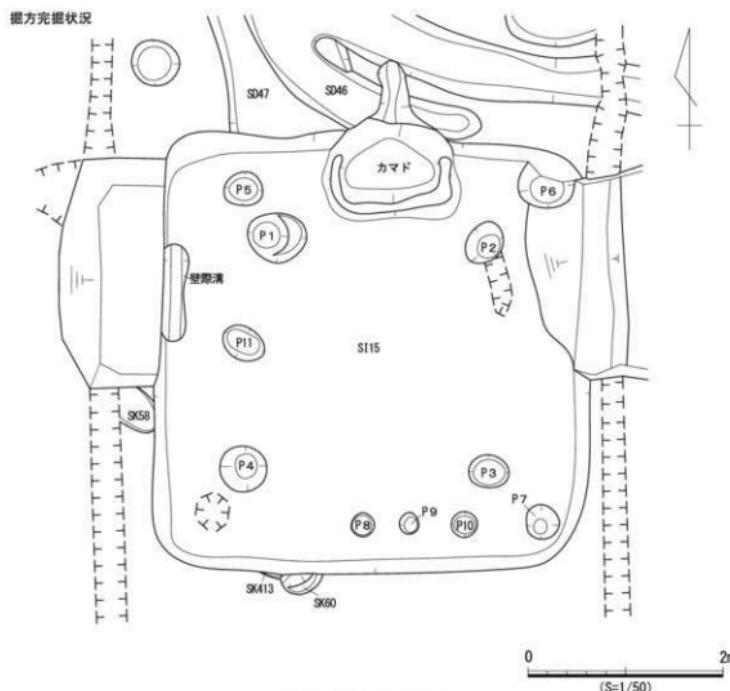


図 84 SI15 遺構図 (6)

柱穴 4基の柱穴を検出したが、いずれも平面形は円形や楕円形であった。各柱穴は、直径 0.27m～0.44m、深さ 0.31m～0.45mである。いずれの柱穴においても柱痕跡を確認した。

遺物出土状況 P 4 から土師器が 1 点出土した。

出土遺物 小片であるため図示しなかった。

所属時期 時期を特定できる遺物が出土していないが、V b 層上面で検出したことから、古墳時代後期から古代のものと思われる。

(3) 溝

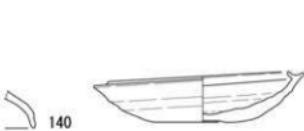
SD42 (図 88)

検出状況 AP20～B02 グリッドの V b 層上面で検出した。南西から北東に向かって直線的に続くが、SI13 と重複する位置で北へ向きを変える。重複関係は、SI12・SI13 よりも古い。重複関係にある遺構が少なく、SD42 の遺構埋土は V b 層と異なることから、平面形は明瞭であった。

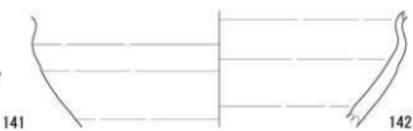
堆積状況 3 層に分層したが、1・2 層はブロック土を含むことから人為的堆積の可能性がある。なお、流水に伴う堆積は確認できなかった。

掘方 断面形は、底面は平坦である。壁面は、直立気味の部分が多いが、一部崩れたように傾斜する。

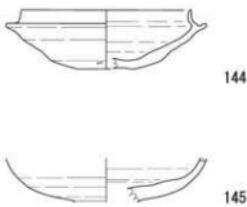
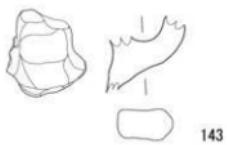
SI12- カマド (140・141)



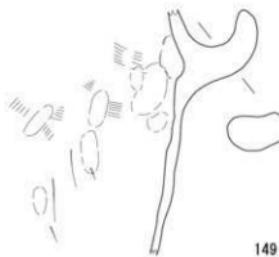
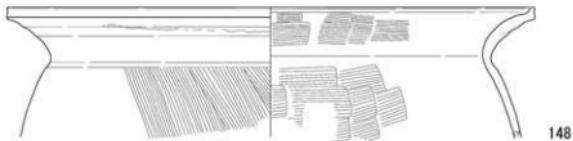
SI13(142)



SI14(143～145)



SI15(146～149)



0 10cm
(S=1/3)

図 85 B・C地点遺構出土遺物（1）

SI15 カマド (150・151)

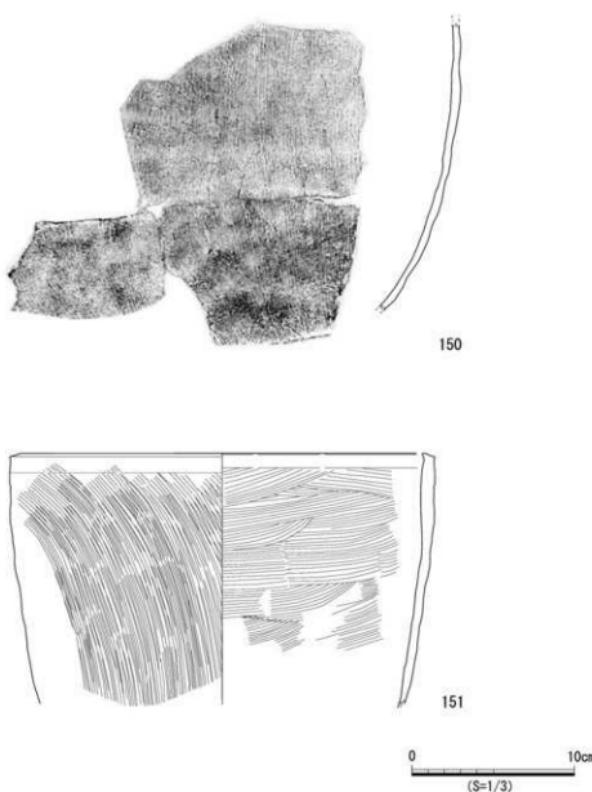


図 86 B・C地点遺構出土遺物（2）

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 SI12 との重複関係から、7世紀初頭よりも古いと思われる。

SD45 (図 89~91)

検出状況 A019~B04 グリッドの V b 層上面で検出した。溝の北西部と南東部は発掘区外に延びる。SD45 は第1調査面で掘削したが、発掘区北壁・西壁の土層断面観察から V b 層上面から掘り込まれていることを確認したほか、掘方の底面から古墳時代後期の遺物が出土していることから、本来ならば第2調査面調査時に掘削すべき遺構であった。重複関係は、SK43・SK264・SK401・SK402 よりも古く、SI12・SK211・SK213・SK261・SK411 よりも新しい。SD45 の埋土は V b 層及び重複する遺構埋土とは異なるため、平面形は明瞭であった。

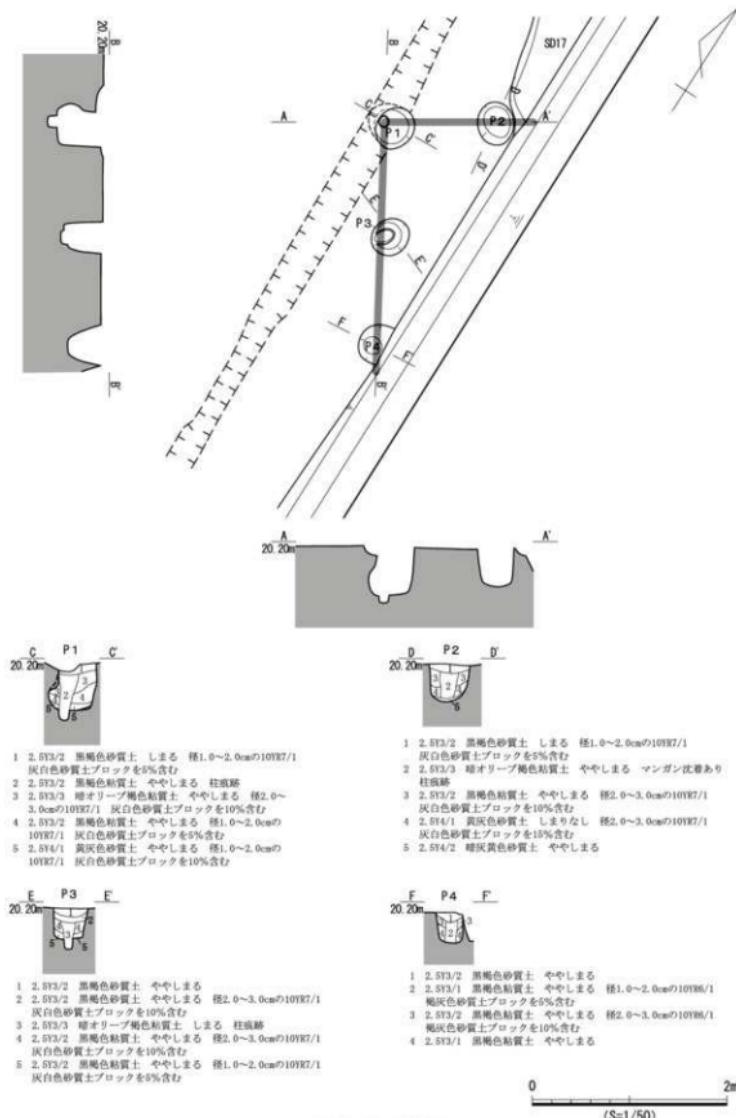


図87 SB 5 遺構図

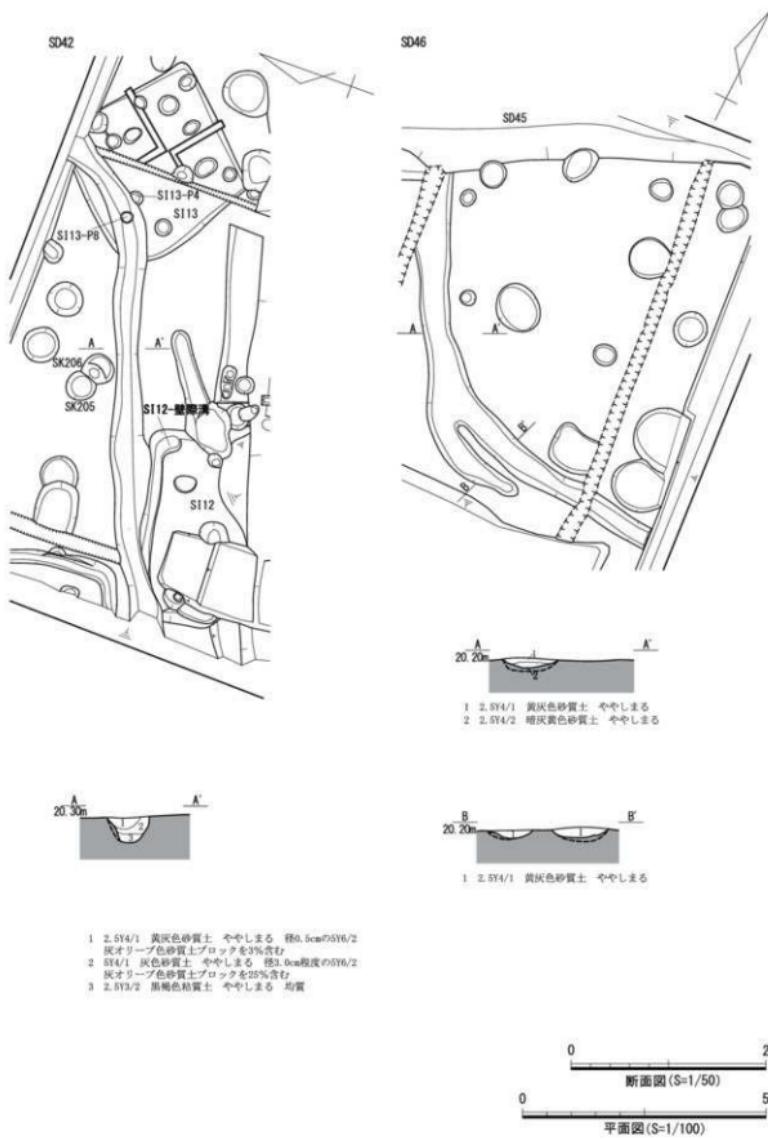


図88 SD42・SD46 遺構図

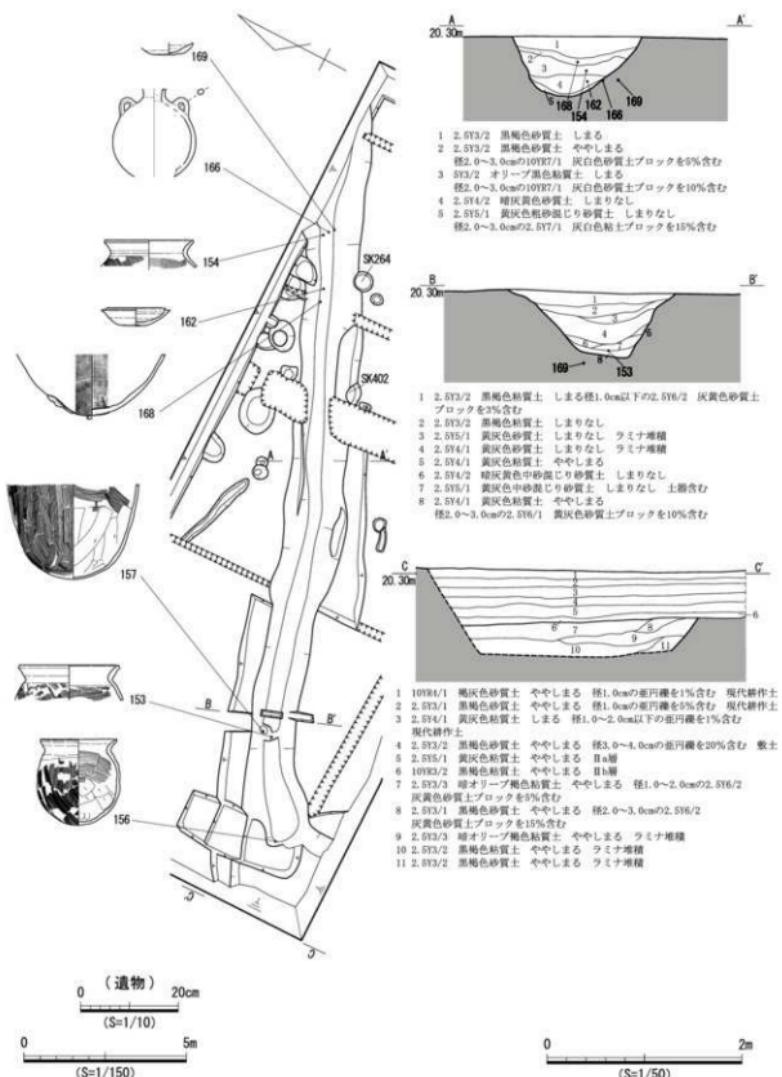


図 89 SD45 遺構図

SD45(152 ~ 157)

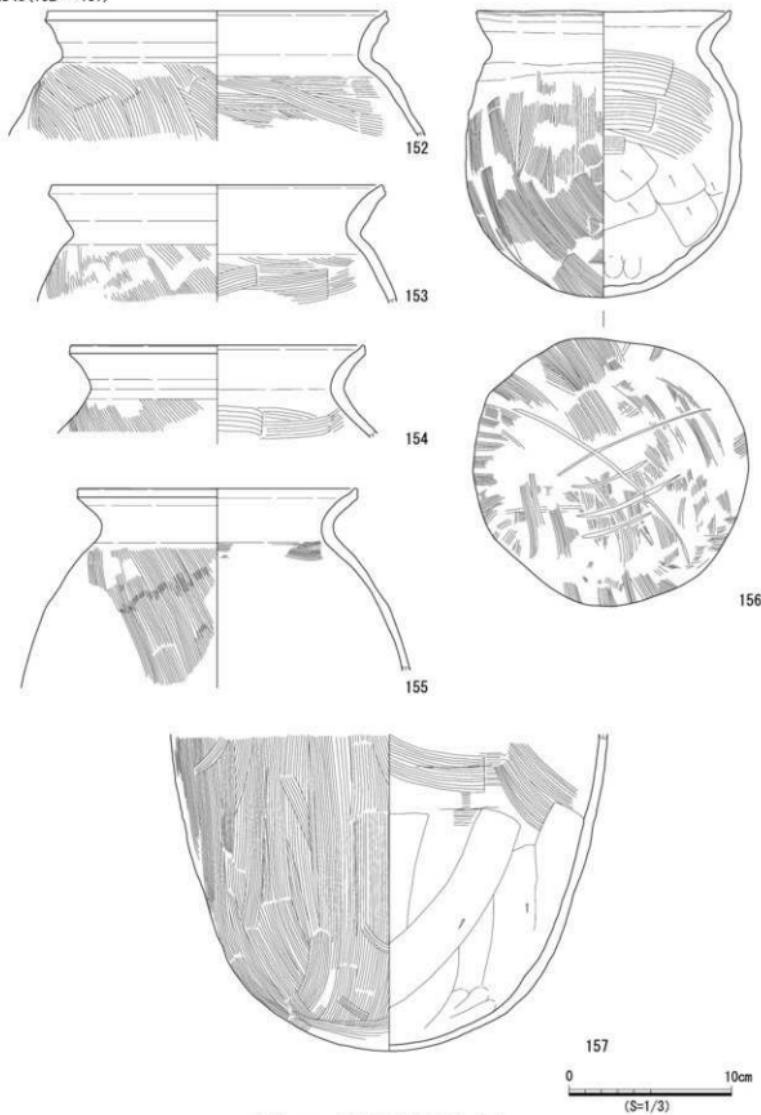


図 90 B・C 地点遺構出土遺物 (3)

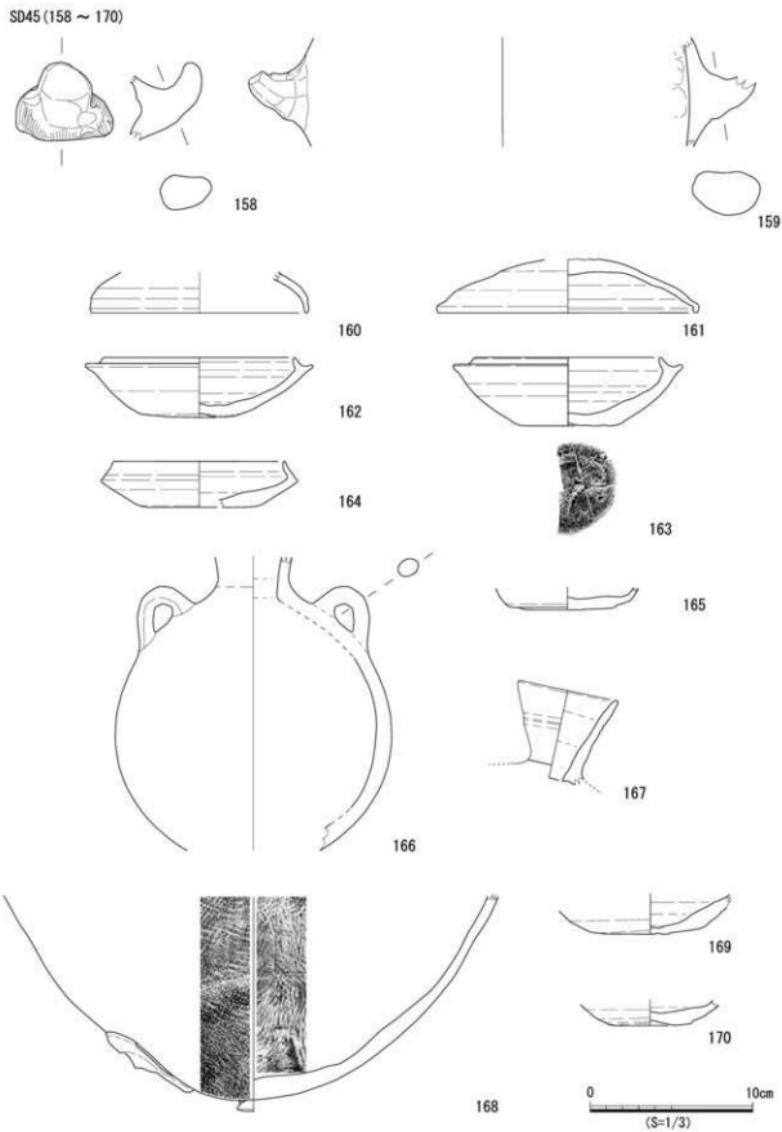


図 91 B・C地点遺構出土遺物 (4)

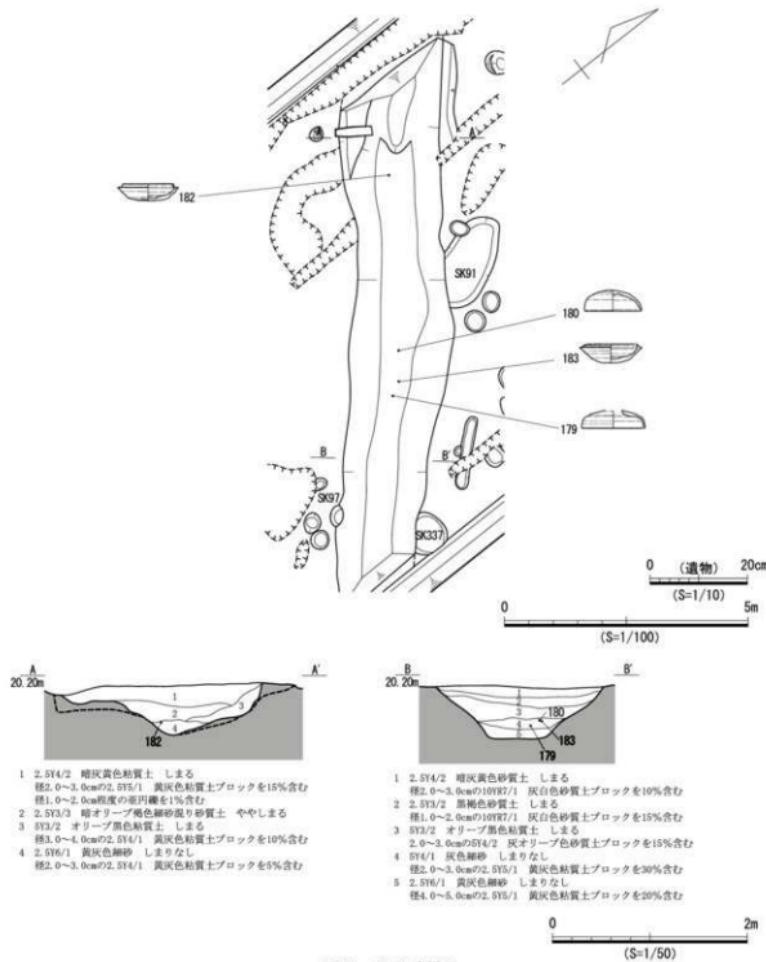


図 92 SD48 造構図

堆積状況 埋土上層はブロック土が多く含まれることから、人為的堆積の可能性がある。また、下層にはラミナの堆積を確認したことから、流水があったと考える。

掘方 断面形は、底面は平坦で、壁面はやや外傾する。底面レベルはあまり変化が無いが、溝の西部には部分的に深くなる箇所がある。

遺物出土状況 埋土中からは多数の土器が出土した。埋土上層は破片が多いが、下層からは完形に近

い土器も出土している。153・157は掘方が部分的に深くなる箇所で出土した。156は正位の状態で出土した。162は逆位で出土したほか、168は破片が重なるようにして出土した。他にも、埋土中から土師器175点、須恵器85点、山茶碗5点が散在して出土した。なお、山茶碗はいずれも埋土の上層から出土した。

出土遺物 土師器の甕等19点を図示した。152～156は土師器の甕で、いずれも口縁端部を摘み上げ状に調整し、外面は斜め方向のハケ目調整、内面は横方向にハケ目調整する。156は、外面は縦方向のハケ目調整の後に斜め方向にハケ目調整し、内面下半は斜め方向の板ナデとユビオサエにより調整する。また、底部外面には「×」のヘラ記号がある。157は長胴甕の底部と考えられる。外面は縦方向にハケ目調整し、内面上部は横方向若しくは斜め方向のハケ目調整、内面下部は斜め方向の板ナデにより調整する。158・159は甕の把手である。160は須恵器の坏蓋A類である。体部と口縁部の境に弱い稜が残る畿内系の須恵器である。6世紀末から7世紀初頭と考えられる。161は口縁端部が屈曲する坏蓋C類である。胎土から美濃須衛窯産と考えられ、7世紀後葉に比定される。162～164は坏身A類である。162・163は立ち上がりの内面が屈曲する畿内系の須恵器と考えられる。また、163の底部外面にはヘラ記号が確認できる。6世紀末から7世紀初頭と考えられる。164は受け部が極端に短い坏身A類と考えるが、产地等は不明である。165は坏身B類である。体部はナデ調整されるが、底部はヘラ切り後無調整である。また、体部と底部の境は段が残る。7世紀末から8世紀初頭と考えられる。166は提瓶である。胎土と焼成から、畿内系の須恵器と考えられる。167は横瓶で、頸部から口縁部にかけては直線的である。168は須恵器の甕で、底部の外面に陶器片が融着する。169は鉢の胴部から底部で、底部はケズリ調整する。170は山茶碗で、尾張型第6型式と考えられる。

所属時期 山茶碗が出土しているが、埋土中や掘方背面から出土する土器は6世紀末から8世紀初頭にかけての土器が主体となる。また、重複関係からSI12よりも新しいため、SD45は7世紀初頭以降に掘削され、8世紀初頭までにはほぼ埋没したと考えられる。

SD46（図88・93）

検出状況 B04～BP5グリッドのVb層上面で検出した。SD45と重複している箇所から南に延びるが、SI15掘方北側で東に曲がって二条に分かれ、北側の構は発掘区外へ延びる。重複関係は、SD45よりも古く、SI15・SD47・SP18・SK260～SK262よりも新しい。SD46埋土とVb層及び重複する遺構埋土は異なるため、平面形は明瞭であった。

堆積状況 A-A'断面では2層に分層したが、B-B'断面では単層であった。埋土中にはブロック土を含まず、流水に伴う堆積は確認できなかった。

掘方 底面は平坦で、壁面はやや外傾する。西から東にむけて緩やかに傾斜している。

遺物出土状況 埋土中から土師器21点、須恵器12点が散在して出土した。

出土遺物 須恵器の盤2点を図示した。171・172はともに高台の基部が細くなる。また、171は底部から口縁部にかけて強く屈曲する。8世紀代と考えられる。

所属時期 重複関係からはSD45よりも古ないと判断したが、出土した遺物は8世紀代のものであり、SD45とほぼ同じ時期に機能していたと考えられる。

SD48（図92・93）

検出状況 BS3～CA5グリッドのVb層上面で検出した。溝の東西が発掘区外に延びる。第1調査面

SD46(171・172)



SD48(173～188)

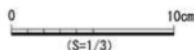


図93 B・C地点遺構出土遺物（5）

で掘削したが、掘方の底面からは古墳時代後期の遺物が出土していることから、本来ならば第2調査面調査時に掘削すべき遺構であった。重複関係は、SK91・SK97・SK337よりも古く、SK322・SK323・SK333・SK342・SK422よりも新しい。SD48の埋土はV b層及び重複する遺構埋土と異なるため、平面形は明瞭であった。

堆積状況 埋土上層にブロック土が多く含まれることから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 断面形は、底面は段がある箇所（図92：A-A'断面）と平坦な箇所（図92：B-B'断面）がある。壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土上層からは土器類の破片が多く出土しているが、下層や掘方底面からは完形に近い土器が出土した。180・183は正位で出土した。他にも、埋土から土師器122点、須恵器49点が散在して出土した。

出土遺物 土師器甕等16点を図示した。173～177は甕の口縁部である。いずれも口縁端部を摘み上げる。また、173・174・177は頸部が肥厚する。178は甕の把手である。179～188は須恵器である。179・180は坏蓋A類である。いずれも内・外面ともに回転ナデ調整する。181は坏蓋B類で、内面にかえりを持つ。182～187は坏身A類で、182・184は底部を回転ヘラケズリ調整するが、183はヘラ切り後に底部をナデ調整する。179～183はいずれも美濃須窯編年III-1期と考えられる。185・186は猿投窯産の坏身A類で、立ち上がりが長く、器壁が薄い。6世紀末から7世紀初頭と考えられる。187は畿内系の坏身A類である。立ち上がりが短く、底部が平坦である。188は坏身B類である。底部は平坦だが器壁はやや厚い。

所属時期 埋土中からは6世紀末から7世紀中葉にかけての土器が出土しており、7世紀中葉頃に廃絶したと思われる。

（4）土坑

SK209（図94・96）

検出状況 B01～BP1グリッドのV b層上面で検出した。SI12・SK212よりも新しい。当初はSI12のカマドとして掘削を始めたが、甕の破片が出土したため精査したところ、掘方を検出し、SI12のカマドよりも新しい遺構と判断した。SK209埋土と重複する遺構埋土及びV b層は異なるため、平面形は明瞭であった。

埋土 3層に分層したが、3層は壁際に堆積し、その上部に2層がレンズ状に堆積する。1層は一部しか確認していないが、水平堆積と思われる。2・3層にはブロック土や焼土ブロックを含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は円形である。底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

遺物出土状況 2層から口縁部から上胴部を欠損する土師器が、底部を南に向けた斜位で出土した。

出土遺物 189は甕の底部である。底部には帯状の粘土板を貼り付ける。外面は底部から胴部にかけて縦方向のハケ目調整、内面は横方向のハケ目調整の後に縦方向に板ナデ調整する。また、胴部には補修孔と考えられる穴が確認できる。

所属時期 SI12よりも新しいことから、7世紀前葉以降と考えられる。

SK213（図95・96）

検出状況 BP1グリッドのV b層上面で検出した。重複関係は、SD45・SK214・SK411よりも古い。SK213

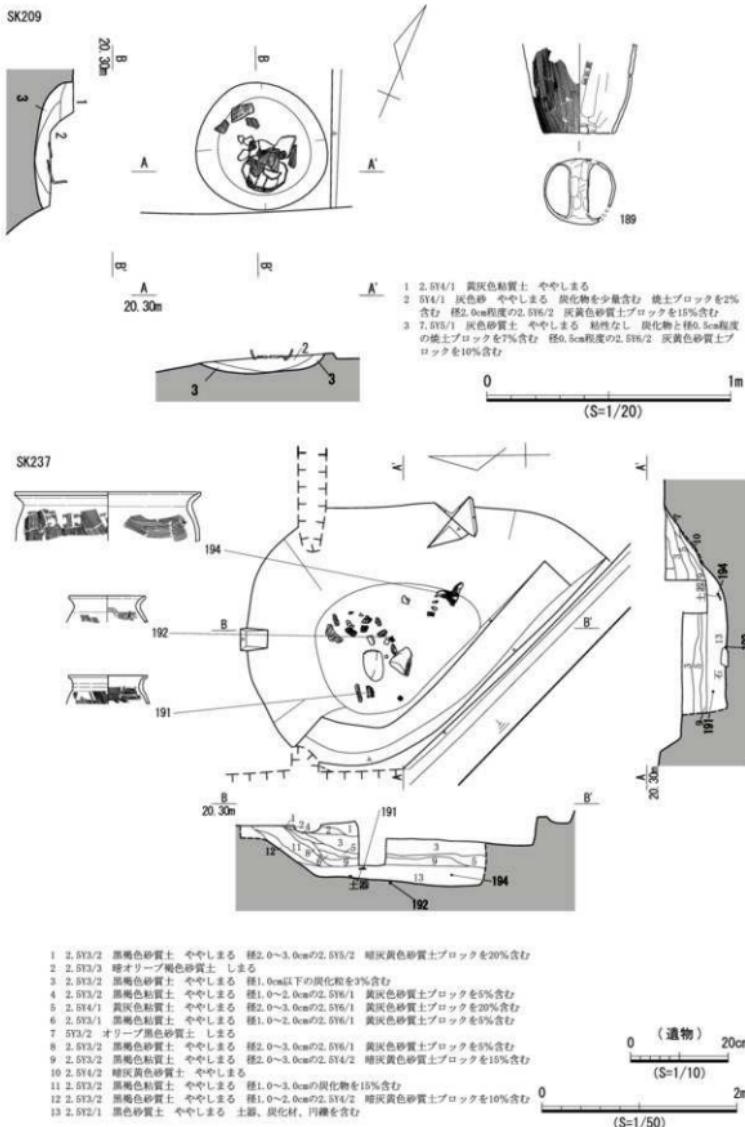


図 94 SK209・SK237 遺構図

埋土と重複する遺構埋土は類似していたことから、平面形は不明瞭であった。

埋土 3層に分層した。1層と3層にブロック土や炭化物を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は梢円形である。底面は段があるため、テラス部は別遺構の掘り込みの底面の可能性がある。壁面は緩やかに外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器1点が出土した。

出土遺物 190は瓶の口縁部である。口縁部端部は横ナデ調整することにより鋭く立ち上がる。外面は斜め方向のハケ目調整、内面は横方向にハケ目調整する。

所属時期 SD45よりも古いことから、8世紀初頭以前と考えられる。

SK237(図94・96)

検出状況 BP2～BQ2グリッドのVb層上面で検出した。重複関係は、SK235・SK236よりも古く、SI14よりも新しい。SK237埋土は重複する遺構埋土と類似していたことから、平面形は不明瞭であった。当初は、SI14を含めて一基の遺構として掘削していたが、SI14掘削途中に土層観察用畦でSK237の掘り込みを確認した。そのため、土層観察用畦に沿ってサブトレンチを掘削し、SK237の掘方底面からの立ち上がりを確認したことから、重複する2基の遺構であると判断した。掘方の南東部は発掘区外に広がる。

埋土 13層に分層した。1層や5層、9層にはVb層ブロックを多く含み、人為的に埋め戻された可能性がある。

掘方 遺構の南東部は発掘区外に広がるもの、検出した範囲の平面形は不整梢円形である。底面は平坦で、北壁・東壁は開く。なお、掘方に被熱痕は認められなかった。

遺物出土状況 13層から、土師器とともに炭化材片や円礫2個が出土したが、それらの出土状況に規則性は認められなかった。また、埋土中から土師器77点、須恵器7点が散在して出土した。

出土遺物 土師器の甕など5点を図示した。191～194は土師器の甕である。191は頸部が肥厚し、頸部外面は二段にナデ調整するほか、体部外面は斜め方向のハケ目調整、内面は横方向のハケ目調整の後にヘラ状工具の痕跡が残る。192～194は口縁端部を上方に摘み上げる。体部外面は斜め方向のハケ目調整、内面は横方向のハケ目調整を施す。194は、191～193に比べて口径が大型の甕である。これらの土師器は、6世紀末から7世紀代と考えられる。195は須恵器鉢の底部である。外面はナデ調整し、底部と胴部の境に段がある。7世紀後半頃に比定される。

所属時期 出土遺物及びSI14との重複関係から、7世紀後半と思われる。

SK242(図95・96)

検出状況 B03グリッドのVb層上面で検出した。重複関係は、SK241・SK243よりも新しい。SK242埋土は重複する遺構埋土及びVb層と異なるため、平面形は明瞭であった。

埋土 2層に分層した。レンズ状に堆積しているが、2層はブロック土を含むことから人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は円形である。底面は丸く、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器2点、須恵器1点が出土した。

出土遺物 196は土師器の甕である。口縁端部はやや外方に摘み上げるが、頸部は肥厚しない。

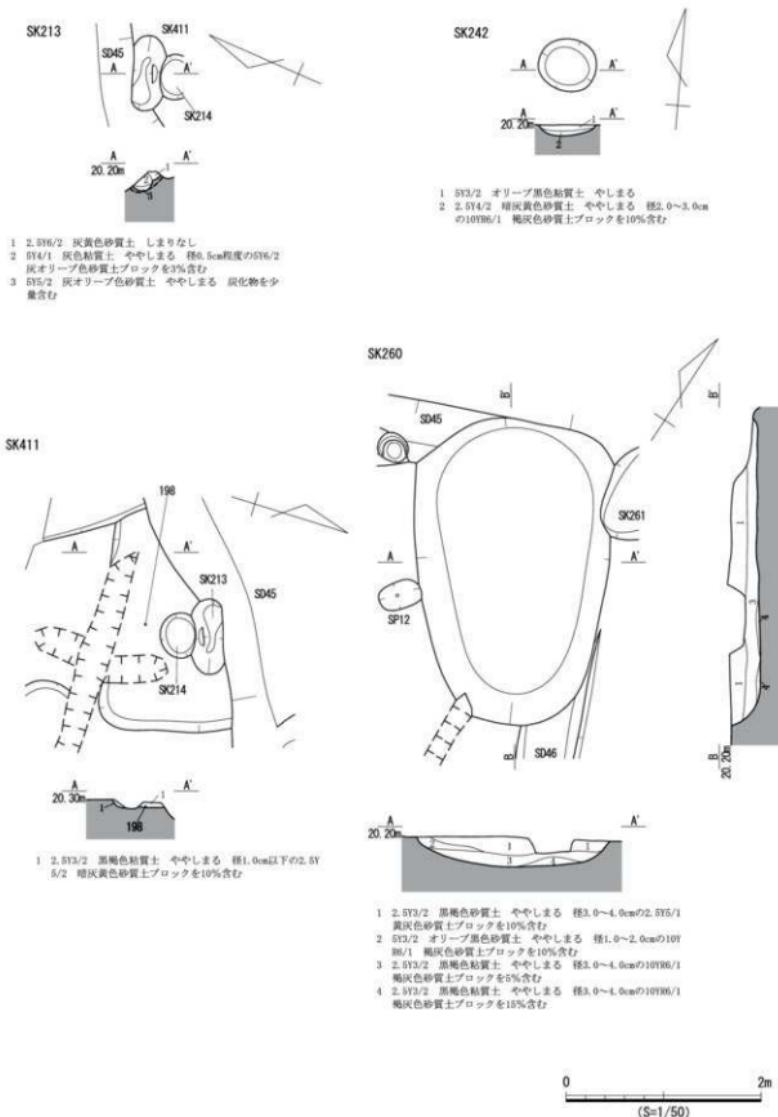


図95 SK213・SK242・SK260・SK411 造構図

所属時期 出土遺物から6世紀末と考えられる。

SK260（図95・96）

検出状況 B03・B04 グリッドのV b層上面で検出した。重複関係は、SD45・SD46・SD47・SK264よりも古く、SK262よりも新しい。SK260 埋土は重複する遺構埋土と異なるため、平面形は明瞭であった。

埋土 4層に分層した。いずれの土層にもV b層ブロックを含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は楕円形である。底面は平坦で、壁は緩やかに外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器7点、須恵器9点が散在して出土した。

出土遺物 197は須恵器の环身A類である。立ち上がりはやや内傾する。底部にはヘラ切り後に回転ナデ調整する。美濃須衛窯編年のIII-1期の可能性がある。

所属時期 出土遺物とSD45よりも古いことから、7世紀中葉と考えられる。

SK411（図95・96）

検出状況 BP1グリッドのV b層上面で検出した。重複関係は、SD45よりも古く、SK213・SK214よりも新しい。重複する遺構は少ないとから平面形は明瞭であった。SD45により大半が削平されているため、形状は不明である。

埋土 単層で、ブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は掘方東部に隅部が確認できることから方形若しくは長方形の可能性がある。底面は平坦で、壁面は緩やかに外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器が1点出土した。

出土遺物 198は土師器の高杯である。体部から脚部にかけて残存している。外面は縦方向のナデ調整、内面は指オサエする。また、脚部内面は黒色である。

所属時期 SD45よりも古いことから、8世紀初頭以前と考えられる。

(5) 遺物包含層等出土遺物（図97～99）

B・C地点では、第3章第2節で述べたとおり、第1調査面調査時に誤って第2調査面の遺物包含層まで掘削している箇所がある。そのため、遺物包含層出土遺物を層位的に分けることができないことから、本項では表土・搅乱及びII a層・II b層から出土した遺物を一括して説明する。

199～208はI層及び搅乱土中から出土した。199～202は灰釉陶器の碗である。199は灰釉がハケ塗りによって施釉され、施釉範囲は高台部にまで及ぶ。黒帯90号窯式に比定される。200は高台部が小型化し、扁平となる。丸石2号窯式に比定される。201は高台端部が丸く、灰釉が漬け掛けによって施釉される。折戸53号窯式に比定される。202は高台が低く断面三角形である。西坂1号窯式に比定される。203は尾張型山茶碗で、第5型式に比定される。204～208は古瀬戸から登窯期にかけての陶器である。204は折縁深皿で古瀬戸後期、205は御目付大皿で古瀬戸後IV期に比定される。206は筒型香炉で、体部外面に半菊文の一部が残る。登窯第7小期に比定される。207は灯明皿である。208は輪禿皿で、登窯第5小期に比定される。

209～249はII a層・II b層から出土した。209～217は土師器である。209・210は甕で、口縁端部を上方に摘み上げる。211は清郷型鍋で、口縁部の断面形状は三角形である。212・213は羽釜である。212では鶴が水平に、213では斜め上方に突出する。214～217は土師器皿である。214・215は手づくね成形、

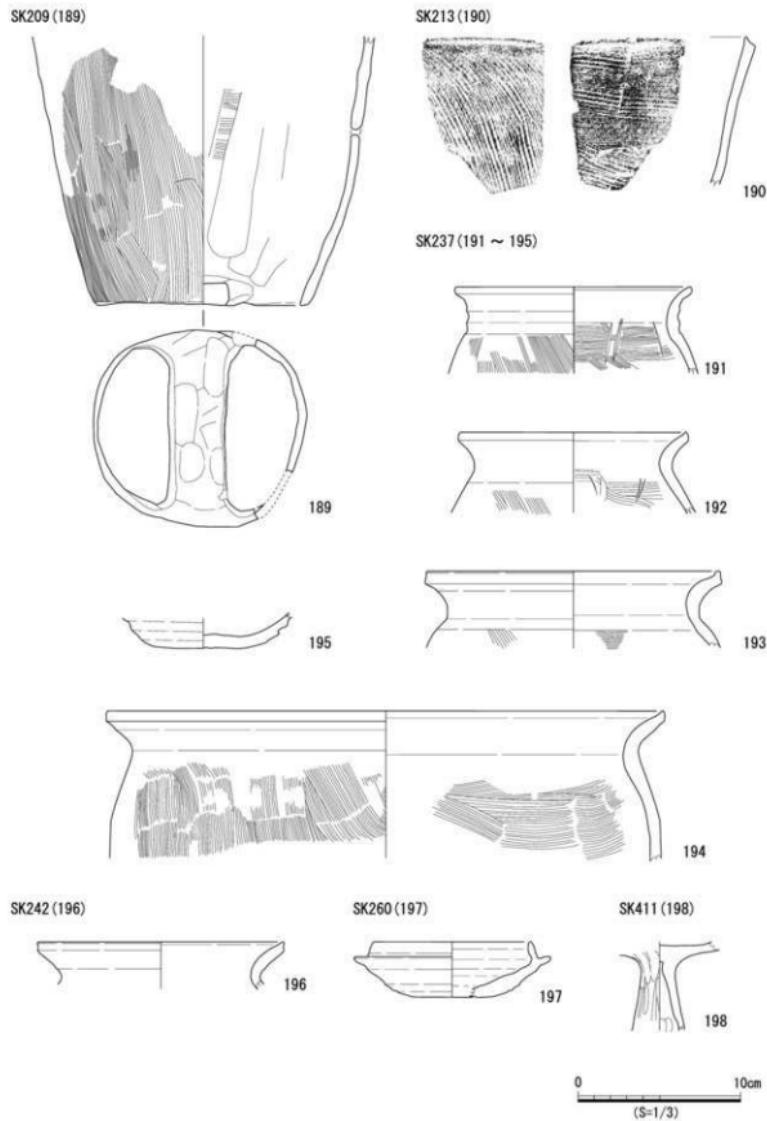
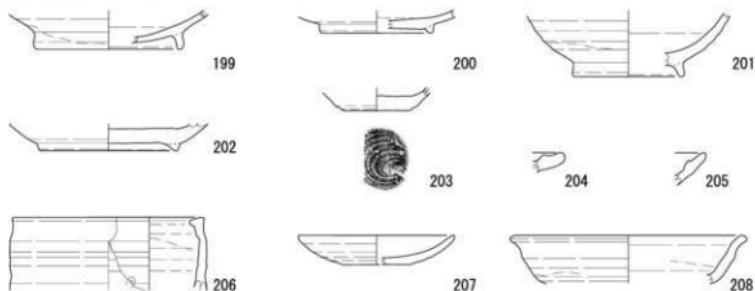


図 96 B+C 地点遺構出土遺物 (6)

I層・搅乱 (199 ~ 208)



IIa・IIb層 (209 ~ 223)

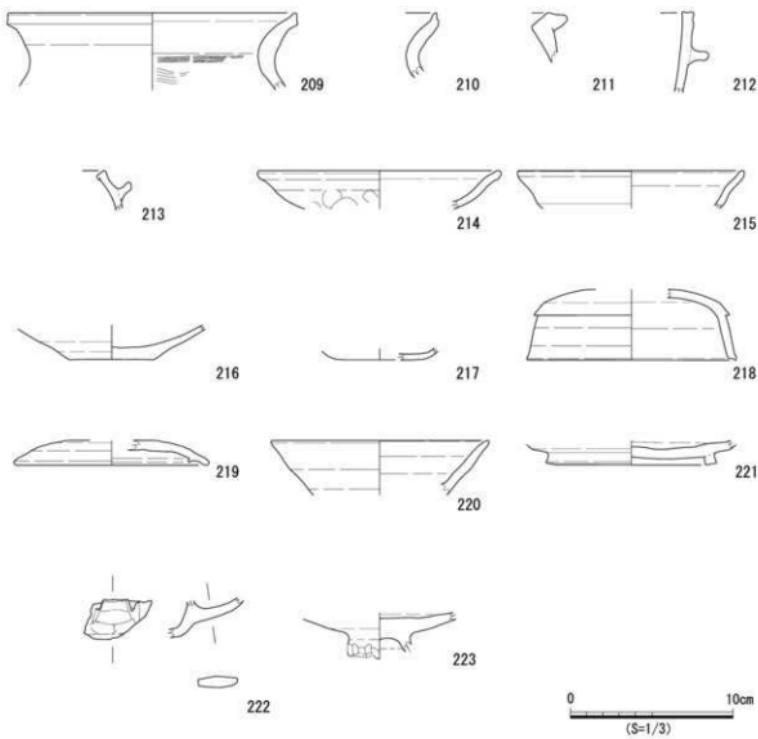


図 97 B・C地点遺物包含層等出土遺物

IIa・IIb層(224~249)

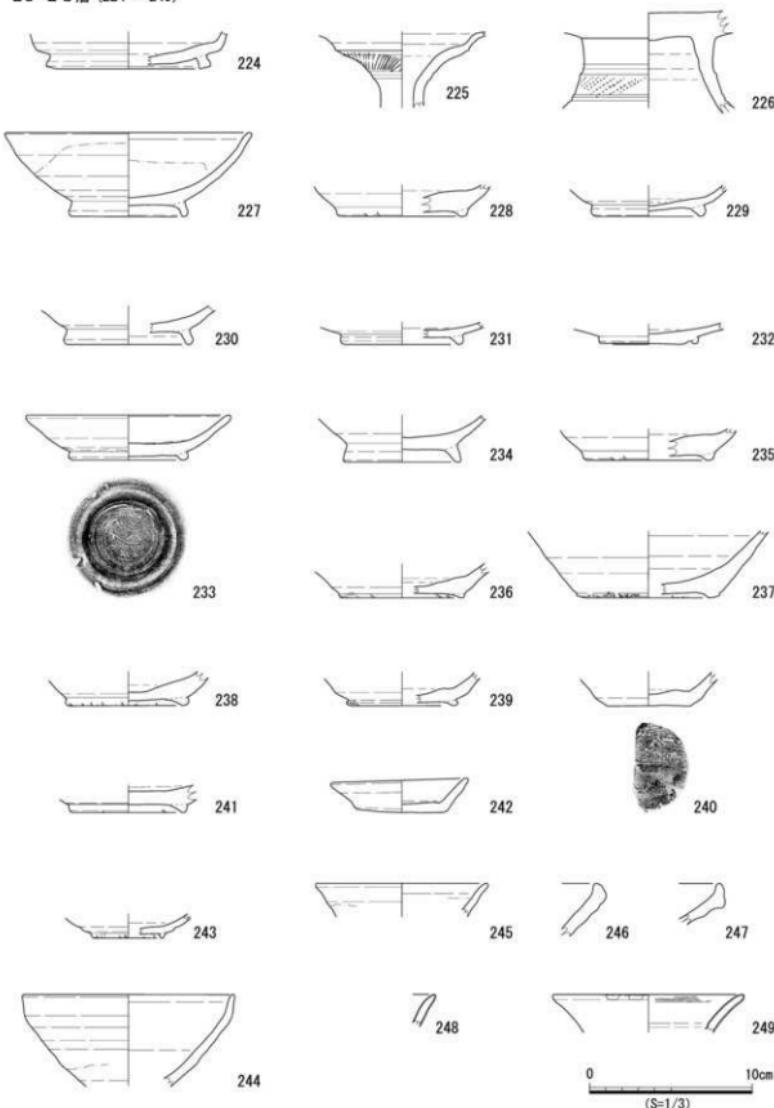


図98 B・C地点遺物包含層出土遺物(1)

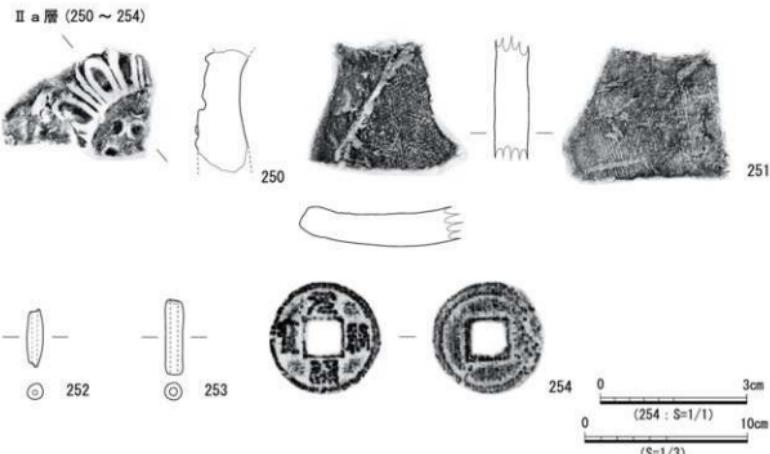


図99 B・C地点遺物包含層出土遺物（2）

216・217はロクロ成形であり底部に回転糸切り痕が残る。218～226は須恵器である。218は壺蓋A類で、天井部と口縁部の境に明瞭な稜がある。219は壺蓋B類である。美濃須衛窯編年III-3期に比定される。220は壺身の口縁部から体部にかけてである。壺身B類の可能性がある。221は壺身C類である。美濃須衛窯編年IV期以降と考えられる。222は双耳壺で、美濃須衛窯産と考えられる。223は高壺の壺部から脚部にかけてである。基部には人為的な打ち欠きが確認できる。224は盤で、腰部が鋭くケズリ調整される。美濃須衛窯編年V-1期に比定される。225は甌である。口縁部は外反し、頸部外面には列点文が施される。7世紀前半頃のものと考えられる。226は器台である。高壺の壺部から脚部にかけての破片の可能性もあるが、大型であることから器台と判断した。外面には列点文が施される。227・229～233は灰釉陶器である。227・230は碗で、227は口縁部が外反せずに直線的で、釉薬は口縁部付近のみに漬け掛けする。いずれも虎渓山1号窯式に比定される。229・231・232はいずれも碗で高台が低く、丸石2号窯式に比定される。233は皿で、体部が直線的であり、丸石2号窯式に比定される。228～243は山茶碗類である。228・229・231～235・238・241・243は東濃型山茶碗で、うち233は小碗であるが他は碗である。234は第3型式、235・238・241は浅間窯下1号窯式から窯洞1号窯式頃、243は大烟大洞4号窯式である。236・237・239・240・242は尾張型山茶碗で、242は小皿であるが他は碗である。236・237・239・242は第6型式、240は第7型式に比定される。244～247は古瀬戸から大窯期の陶器である。244は天目茶碗、245は縁釉小皿で、ともに古瀬戸後II期に比定される。246・247は擂鉢で、246は古瀬戸後IV期、247は大窯第1段階に比定される。248は白磁碗の口縁部である。249は青磁稜花皿で、口縁部内面に櫛描きの文様を施す。250～253は土製品である。250は運弁の形状から川原寺式軒丸瓦と考えられる。251は平瓦で、凹面には布綴じ目がある。252・253は管状土錐である。252は胴部中央に最大径があるが、253は直線的である。254は銅錢である。初鋤1086年の「元祐通宝」と考えられる。

第5節 D地点の遺構・遺物

1 第1調査面

(1) 溝

SD20（図100・101）

検出状況 BO17～BO20 グリッドのII b層上面で検出した、直線的で東西方向の溝である。重複関係は、SK118・SK121よりも新しい。SD20の埋土はII b層と異なり、平面形は明瞭であった。

埋土 A-A'断面、B-B'断面は単層である。C-C'断面は2層に分層した。2層は底部に部分的に堆積している。なお、流水の痕跡は確認できなかった。

掘方 底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器56点、須恵器6点が散在して出土した。

出土遺物 255は須恵器の壺身A類である。美濃須衛窯編年のIII-1期に併行すると考えられる。256は瓶類の底部と考えられる。胎土から猿投窯産と推定される。

所属時期 II b層上面で検出したことから中世以降と考えられる。

(2) 土坑

SK114（図100）

検出状況 BO18～BP19 グリッドのII b層上面で検出した。重複する遺構はない。SK114 埋土とII b層が類似していたため、遺構の平面形は不明瞭であった。SK116やSK121と規模が類似する。

埋土 2層に分層したが、ほぼ水平に堆積する。また、2層にはV b層ブロックが混じることから、人為的堆積の可能性がある。

掘方 平面形は円形である。底面は平坦で、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器が2点出土した。

出土遺物 小片のため図化しなかった。

所属時期 II b層上面で検出したことから中世以降と考えられる。

SK116（図100）

検出状況 BP19 グリッドのII b層上面で検出した。重複する遺構はない。SK116 埋土とII b層が類似していたため、遺構の平面形は不明瞭であった。SK114やSK121と規模が類似する。

埋土 単層である。

掘方 平面形は楕円形である。底面は丸く、壁面はやや外傾する。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 II b層上面で検出したことから中世以降と考えられる。

SK118（図100）

検出状況 BO19～BP19 グリッドのII b層上面で検出した。重複関係は、SD20よりも古い。SK118埋土とII b層は類似していたため、遺構の平面形は不明瞭であった。他の土坑と比較してやや規模が大きい。

埋土 単層である。

掘方 平面形は楕円形である。底面は丸く、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器10点が出土した。

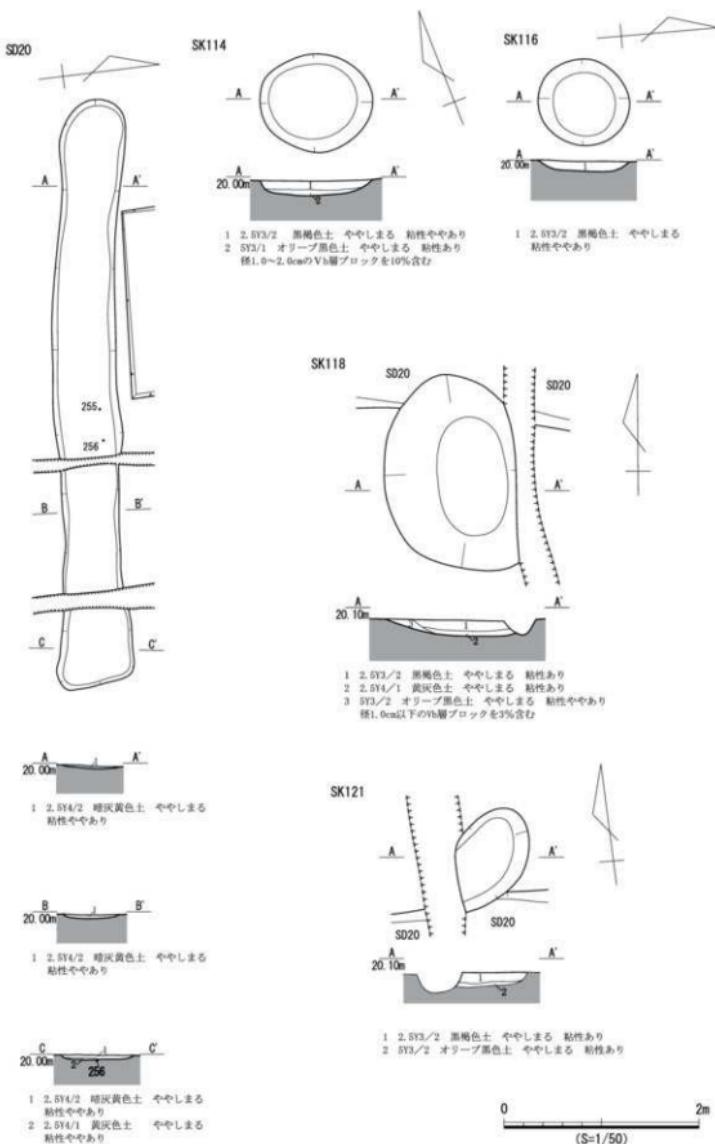


図100 SD20・SK114・SK116・SK118・SK121 遺構図

SD20(255・256)



図101 D地点第1調査面遺構出土遺物

出土遺物 小片のため図化しなかった。

所属時期 II b層上面で検出したことから中世以降と考えられる。

SK121(図100)

検出状況 BO19・20グリッドのII b層上面で検出した。重複関係は、SD20よりも古い。SK121埋土とII b層は類似していたため、遺構の平面形は不明瞭であった。SK114やSK116と規模が類似する。

埋土 2層に分層したが、ほぼ水平堆積である。

掘方 平面形は楕円形である。底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

所属時期 II b層上面で検出したことから中世以降と考えられる。

2 第2調査面

(1) 壴穴建物

SI16(図102~104)

検出状況 BP13~BP14グリッドのV b層上面で検出し、掘方の南西部は発掘区外に広がる。重複関係は、SK359よりも新しい。重複する遺構が少ないため、平面形は明瞭であった。床面でカマド、柱穴、壁際溝を確認したことから、竪穴建物であると判断した。

規模・形状 長軸方位はN=61°-Eである。平面形は、方形若しくは長方形である。検出した範囲から長軸長が2.96m以上、短軸長が1.47m以上である。

埋土 埋土は3層に分層した。ほぼ水平な堆積で、埋土にはブロック土を含むため、人為的堆積と考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層(11層)を掘方全体で確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴の可能性がある遺構2基、壁際溝1条、カマド1基、性格不明の土坑5基である。カマドは北東側壁面で検出し、上面で焼土ブロックや炭化物、カマド袖部を確認した。カマド袖部は整地層の上に構築されており、カマドの中央部では支脚に転用されたと思われる土師器(257)が出土した。なお、煙道部は確認できなかった。P1は掘方の隅部に位置し、やや深さのあるP2とともに柱穴の可能性があると思われる。壁際溝は掘方の北辺でのみ検出した。他にも、

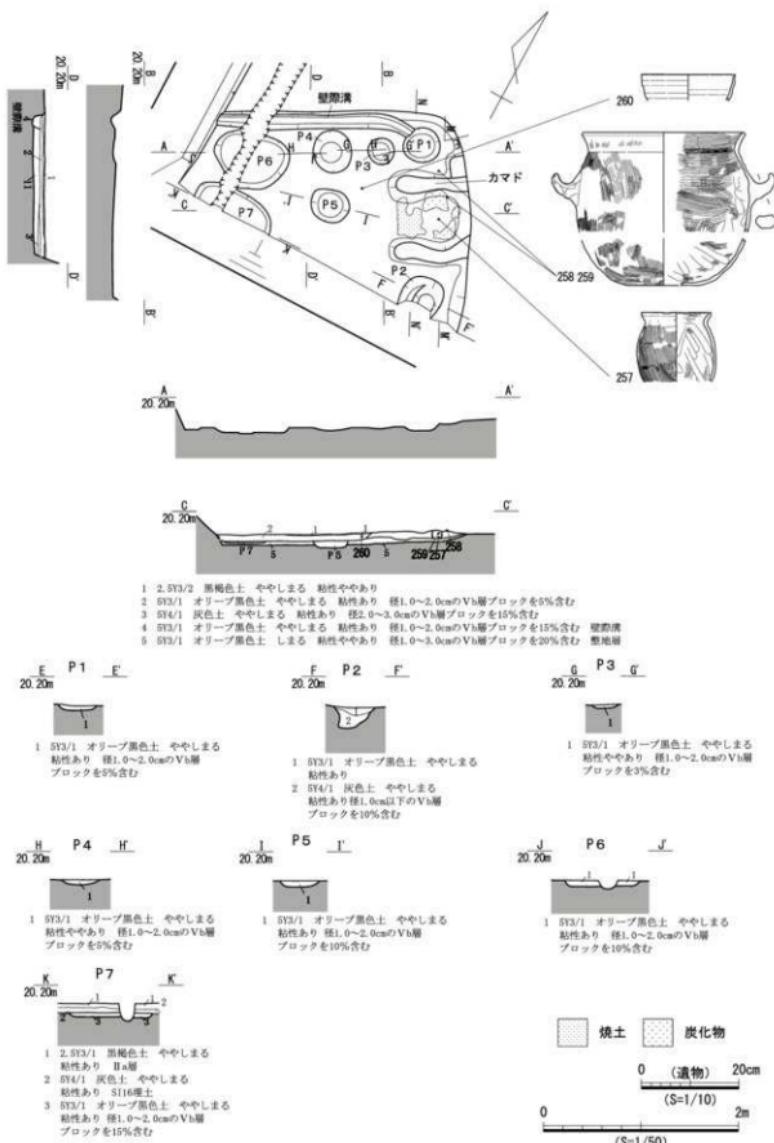
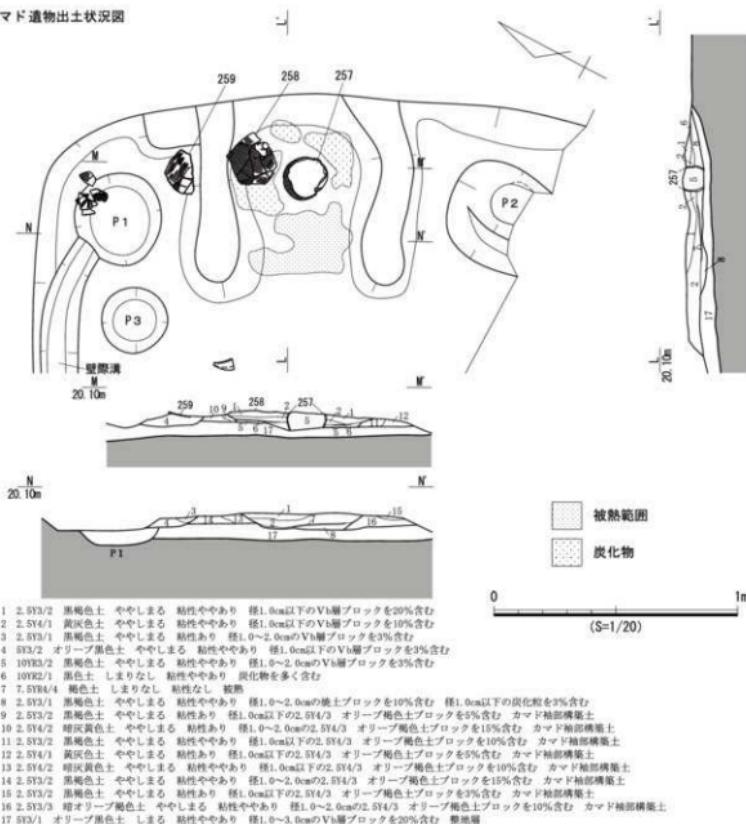


図 102 SII16 遺構図 (1)

カヌド遺物出土状況図



掘方完掘状况

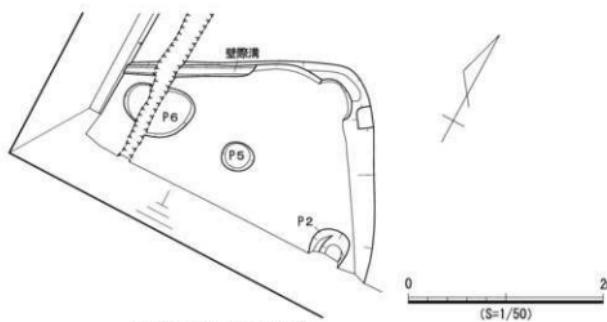
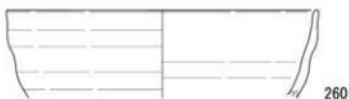


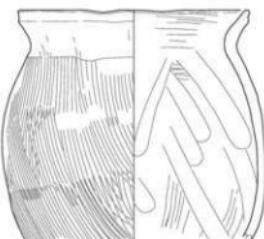
図 103 SI16 遺構図 (2)

SI16(260)

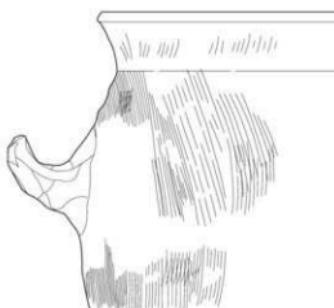


260

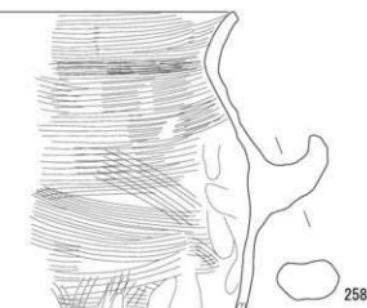
SI16 カマド (257 ~ 259)



257



258



259

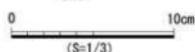


図104 D地点第2調査面遺構出土遺物（1）

床面からP3~P7を検出したがいずれも性格不明の土坑である。

遺物出土状況 257はカマドの中央部に正位で据えられた状態で出土しており、支脚に転用されたと考えられる。258は袖部の内側で把手を上に向かた状態で、259はカマドの外側で内面を上に向かた状態で出土した。また、260はカマド前面の床面上で外面を上に向かた状態で出土した。

出土遺物 土師器甕など4点を図示した。257は口縁部外面に強い横方向の調整を行い、口縁端部を丸く收め、頸部がやや肥厚する。258・259は把手付鍋で、同一個体と思われる。内・外面に粗いハケ目調整を施す。260は美濃須衛窯産の甕で、台が付く可能性がある。美濃須衛窯編年のIII-1期と考えられる。

所属時期 カマドや床面直上から出土した土師器及び須恵器から、7世紀中葉と考えられる。

SI17・SI21（図105・113）

検出状況 BP14～BP15グリッドのVb層上面で検出したが、北辺及び東辺の一部を確認しただけであり、大半は発掘区外に広がる。重複関係は、SK364・SK365・SK369よりも新しい。SI17・SI21の埋土は重複する遺構埋土及びV b層と異なり、平面形は明瞭であった。しかし、当初北辺側にテラス状の段がある1軒の竪穴建物を考えたが、段の延長上の東辺でプランの段差が認められたことや、北辺側の段と埋土9層上面がほぼ揃うこと、柱穴状の遺構を9層上面及び10層下面で検出したことから、2軒の竪穴建物と考えたい。

規模・形状 SI17の長軸方位はN-62° -Eで、SI21はN-73° -Eである。平面形は、いずれも辺が直線的となることから方形と思われる。なお、検出した範囲からSI17の長軸長が4.40m以上、短軸長が2.39m以上である。

埋土 埋土は10層に分層したが、SI17は1層～8層、SI21は9層と10層が該当する。SI21はほぼ水平に堆積し、SI17は壁際から堆積し、中央部が埋没する堆積である。いずれの土層にもブロック土を含むことから、人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 9層上面と北辺側のテラス部分の高さがほぼ揃うことから、この面がSI17の床面と考えられ、P 1とP 2を検出した。10層を除去した底面でP 3とP 4を検出しており、この面をSI21の床面と考えられる。

付属遺構 SI17の床面で2基の遺構を検出したが、P 1は隅部に近く深い穴であることから柱穴の可能性が高いと思われ、P 2は性格不明である。SI21の床面でも2基の遺構を検出したが、深さや竪穴内での位置関係からP 3は柱穴の可能性が高いと思われ、P 4は性格不明である。カマドは確認できなかった。

遺物出土状況 SI7の竪穴埋土中から土師器22点、須恵器1点、SI21の竪穴埋土中から土師器4点、須恵器4点がそれぞれ散在して出土した。

出土遺物 須恵器など4点を図示した。261はSI17から出土した畿内系の壺身A類で、7世紀前半頃のものと思われる。262～264はSI21から出土した。262は壺蓋A類と考えられる。胎土から畿内系の須恵器の可能性がある。263は高壺の壺部から脚部、264は脚部である。いずれも畿内系の高壺である。

所属時期 SI17とSI21に明確な時期差は確認できなかったが、いずれも7世紀前半頃と思われる。

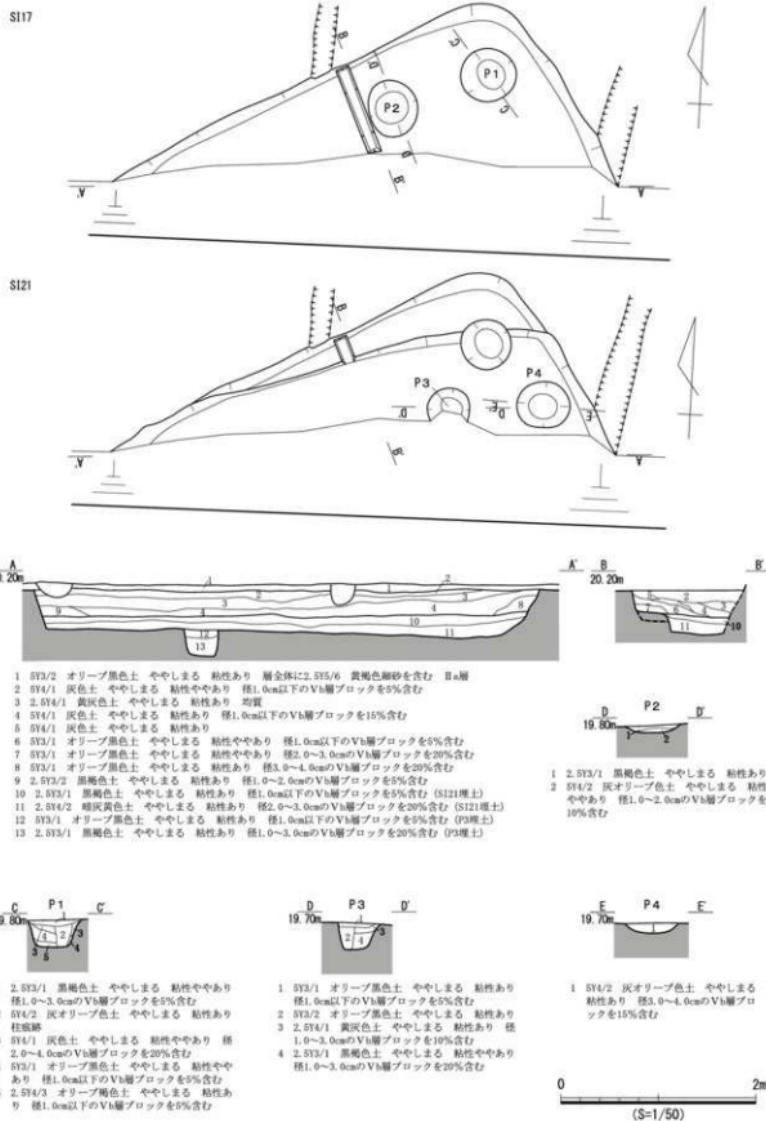
SI18（図106～108・113）

検出状況 BO16～BP17グリッドのV b層上面で検出したが、南半部は発掘区外に広がる。SI18の埋土はV b層と異なり、平面形は明瞭であった。床面で柱穴、カマド、壁際溝を確認したことから、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-79° -Eである。検出した各辺が直線的で、平面形は方形と考えられる。検出した範囲から、長軸長が4.50m、短軸長が2.31m以上である。

埋土 埋土は11層に分層したが、1層と2層は検出時に確認できなかった他の遺構の可能性がある。東西の壁面側がまず堆積し、その後中央から北壁にかけて堆積する。埋土中にはブロック土を含むため、人為的堆積と考えられる。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層（12・13層）を掘方全体で確認した。北辺でテラス状の段を検出したが、他の遺構を見落としていた可能性が高い。なお、床面を



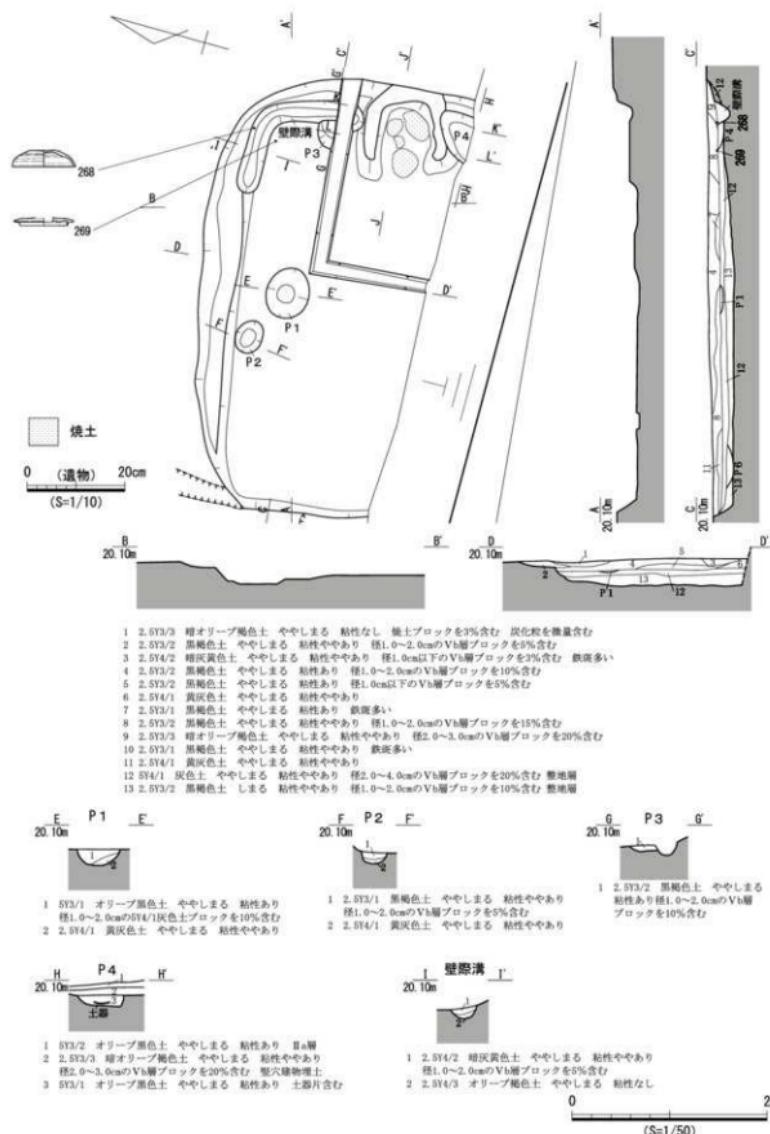


図 106 SI18 遺構図 (1)

カマド遺物出土状況図

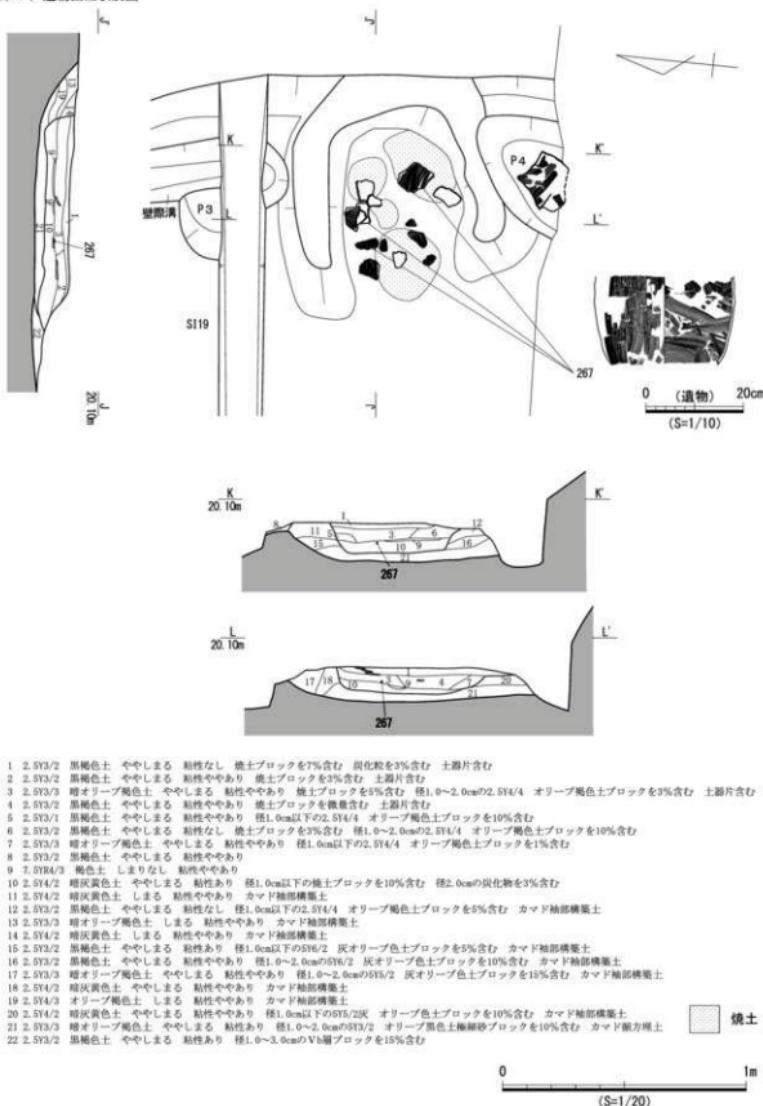


図 107 SI18 遺構図（2）

掘方完掘状況

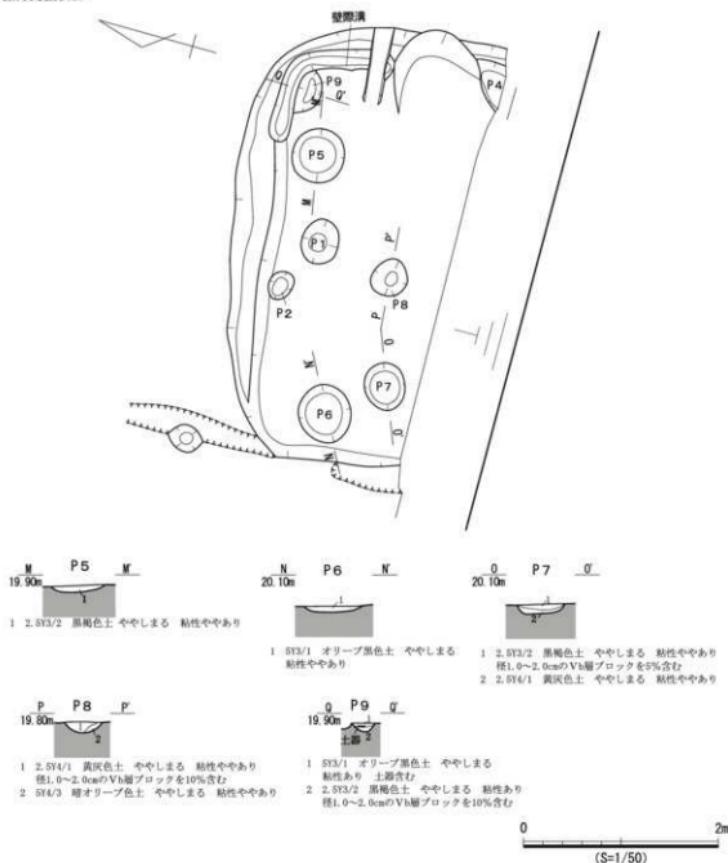


図108 SI18 遺構図(3)

確認するために、埋土掘削時に土層観察用畦に沿ってサブトレンチを掘削し、土層断面で床面と整地層を確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴の可能性のある遺構1基、壁際溝1条、カマド1基、性格不明の土坑3基である。カマドは東壁で検出した。検出時から焼土や炭化物のブロックを含む堆積があり、これらを除去したところ、焼土面やカマド袖部を検出した。煙道部は確認できなかった。P1は北辺近くの中央部に位置することから、柱穴の可能性がある。P2～P4は性格不明の土坑である。また、整地層掘削後にP5～P9を検出したが、性格不明の土坑である。

遺物出土状況 カマド内部から267が外面を上に向けた状態で出土した。また、壁際溝から268が内面を上に向けた状態で出土した。その他、埋土中から土師器48点、カマドから土師器21点、壁際溝から土師器4点、須恵器2点、P 5から土師器2点、P 9から須恵器5点が出土した。

出土遺物 土師器など5点を図示した。265と266は口頸部が外反する甕で、267は甕の胴部片である。268は須恵器壺蓋A類、269は美濃須衛窯産の壺蓋B類で、口縁部内面のかえりは長い。268と269はいずれも美濃須衛窯編年III-1期に比定できる。

所属時期 出土した土器から7世紀中葉と考えられる。

S119（図109～111・113）

検出状況 B017～B018 グリッドのV b層上面で検出した。掘方の北西部は発掘区外に広がる。重複関係は、SD50・SD51・SD52・SK430・SK431よりも古く、SK428よりも新しい。掘方の北東部がSD50・SD51により削平される。重複する遺構の埋土が類似するため、平面形は不明瞭であった。床面で柱穴と壁際溝を検出したことから、竪穴建物と判断した。

規模・形状 長軸方位はN-56°-Wで、平面形は方形である。検出した範囲から、長軸長が5.10m、短軸長が4.96mである。

埋土 埋土は4層に分層したが、ほぼ水平に堆積する。埋土中にブロック土を含むため人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はやや外傾する。しまりのある整地層（5層）を掘方全体で確認した。

付属遺構 床面で検出した遺構は、柱穴2基、壁際溝1条、性格不明の土坑4基である。P 1・P 2は隅部に近い位置にあることから柱穴と考えられる。壁際溝は掘方の南辺、東辺、北辺で部分的に検出した。P 3・P 6～P 8は性格不明の土坑である。また、整地層を除去したところ、掘方の底面からP 4とP 5を検出したが、いずれも性格不明の土坑である。

遺物出土状況 掘方の北東隅部の床面直上から、270は横位、271は内面を上に向けた状態で出土した。他にも、竪穴埋土中から土師器10点、須恵器9点が散在して出土した。

出土遺物 土師器等2点を図示した。270は土師器壺の把手である。271は猿投窯産と思われる須恵器壺で、7世紀前半頃のものと考えられる。

所属時期 床面から出土した須恵器から、7世紀前半と考えられる。

S120（図112・113）

検出状況 B019～BP20グリッドのV b層上面で検出したが、東部は発掘区外に広がる。重複関係は、SK121、SK397、SB 7-P 6、SD51よりも古く、SK400よりも新しい。重複する遺構埋土は色調が異なるため平面形は明瞭であったが、V b層とは類似しており、平面形は不明瞭であった。床面で柱穴と考えられる遺構を確認したことから、竪穴建物の可能性があると判断した。

規模・形状 長軸方位はN-44°-Eである。平面形は、北東隅部が開く不整形である。検出した範囲から、長軸長が4.00m、短軸長が3.71mである。

埋土 埋土は2層に分層した。1層は水平に堆積し、2層は北壁際で部分的に堆積する。1層にはブロック土を含むため人為的堆積の可能性がある。

床面・掘方 床面は平坦で、壁面はわずかに外傾する。ややしまる整地層（3層）を掘方全体で確認

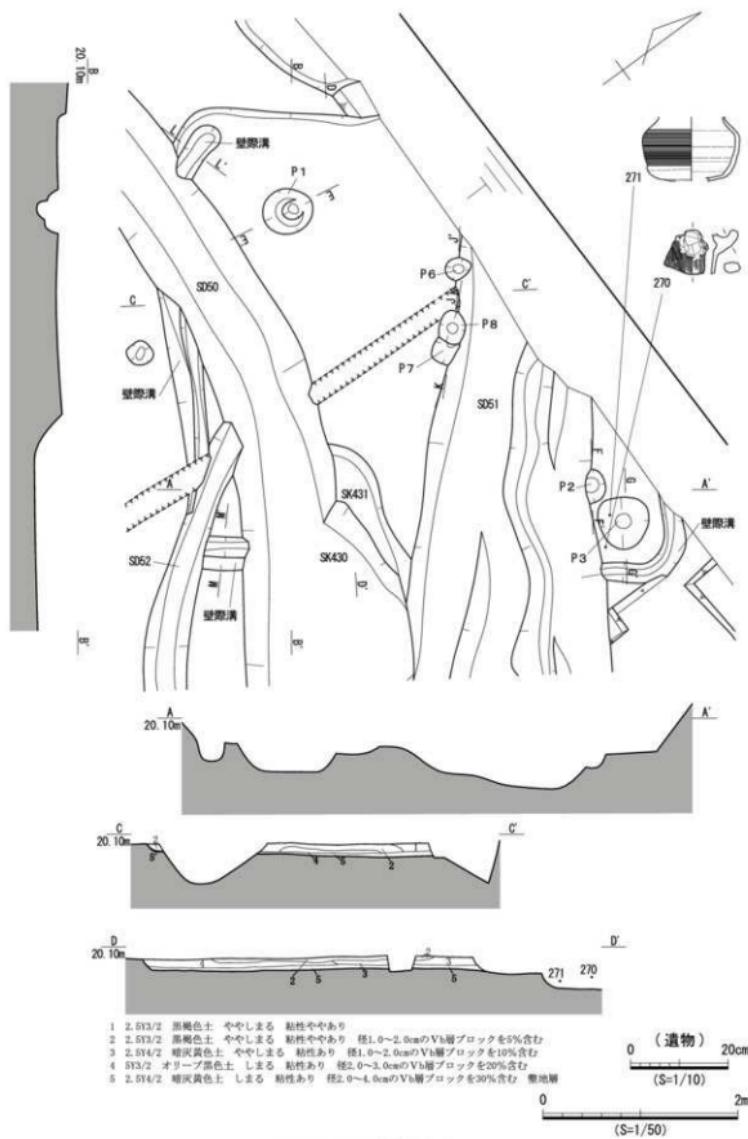


図109 SI19 遺構図(1)



図 110 SI19 遺構図(2)

した。

付属遺構 床面で検出した遺構は柱穴の可能性のある遺構3基、性格不明の土坑2基である。P1～P3は柱痕跡や柱当たりは確認できなかったが、堅穴の隅部に近い位置にあることから、柱穴と考えられる。そのほか、P4・P5を検出したが、いずれも性格不明である。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

時期 重複する7世紀後半の溝であるSD51よりも古いため、7世紀後半以前と考えられる。

(2) 堀立柱建物

SB6(図114)

検出状況 B019～B020グリッドのVb層上面で検出した。L字形に並ぶ6基の柱穴を確認し、発掘区

掘方充堀状況

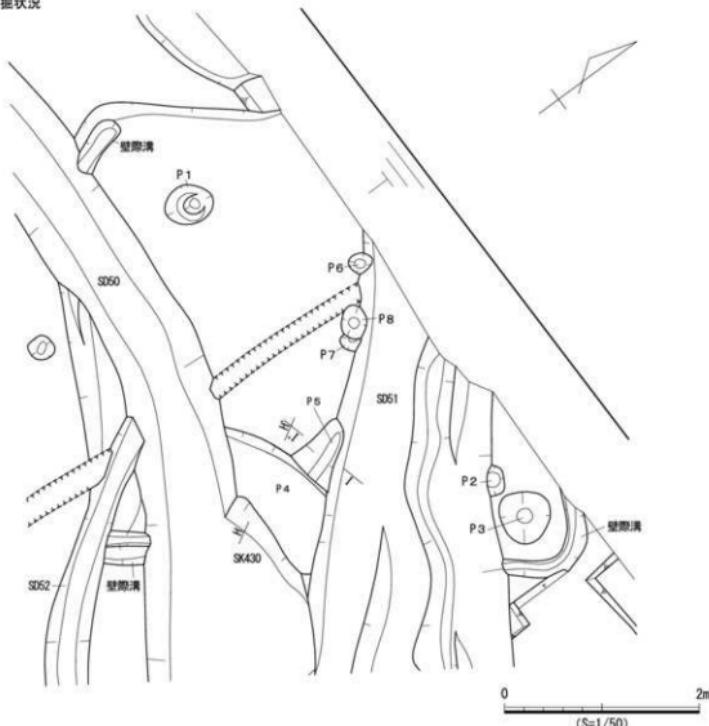


図 111 SI19 遺構図(3)

外に広がる掘立柱建物と判断した。他遺構との重複関係は、SD51よりも古く、SI20・SK396・SK432よりも新しい。各柱穴は比較的明瞭に確認できた。

規模・形状 桁行3間以上(3.56m以上、柱間1.1m~1.2m)、梁行2間以上(4.08m以上、柱間1.8m~1.9m)の側柱建物で、長軸方位はN-33°-Wである。

柱穴 6基の柱穴を検出したが、いずれも平面形は円形であった。各柱穴は、直径0.40m~0.57m、深さ0.50m~0.61mである。全ての柱穴で柱痕跡を確認した。

遺物出土状況 P2から土師器1点、P6から土師器13点が出土した。

出土遺物 小片のため図示しなかった。

所属時期 重複するSD51との先後関係から、7世紀後半以前と考えられる。

(3) 溝

SD49 (図 115・119)

検出状況 B013~B014グリッドのVb層上面で検出した。重複関係は、SK426よりも新しい。重複す

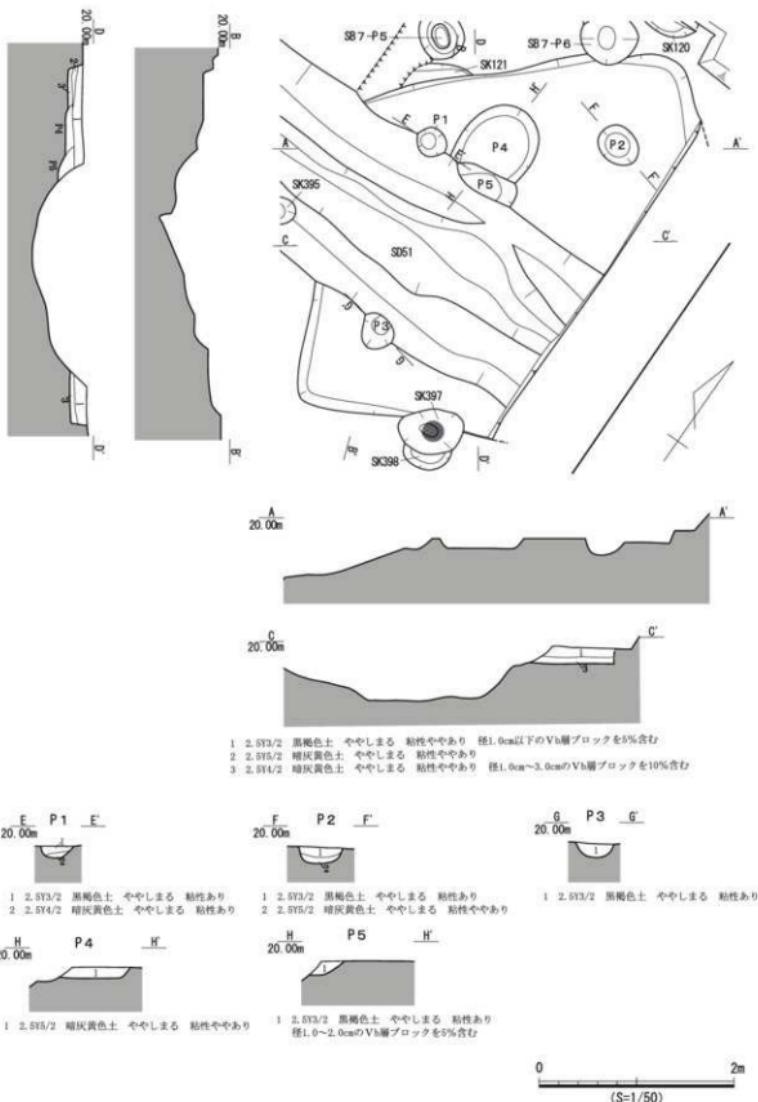


図112 SI20 遺構図

SI17(261)

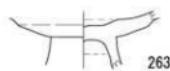


261

SI18(262 ~ 264)



262



263

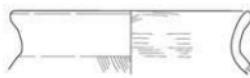


264

SI19(265・266)

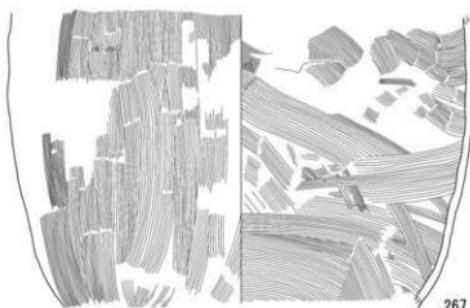


265



266

SI19 カマド(267)・壁際溝(268)・P9(269)



267

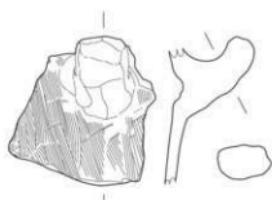


268

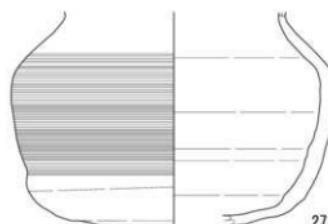


269

SI20(270・271)



270



271

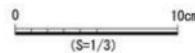


図113 D地点第2調査面遺構出土遺物(2)

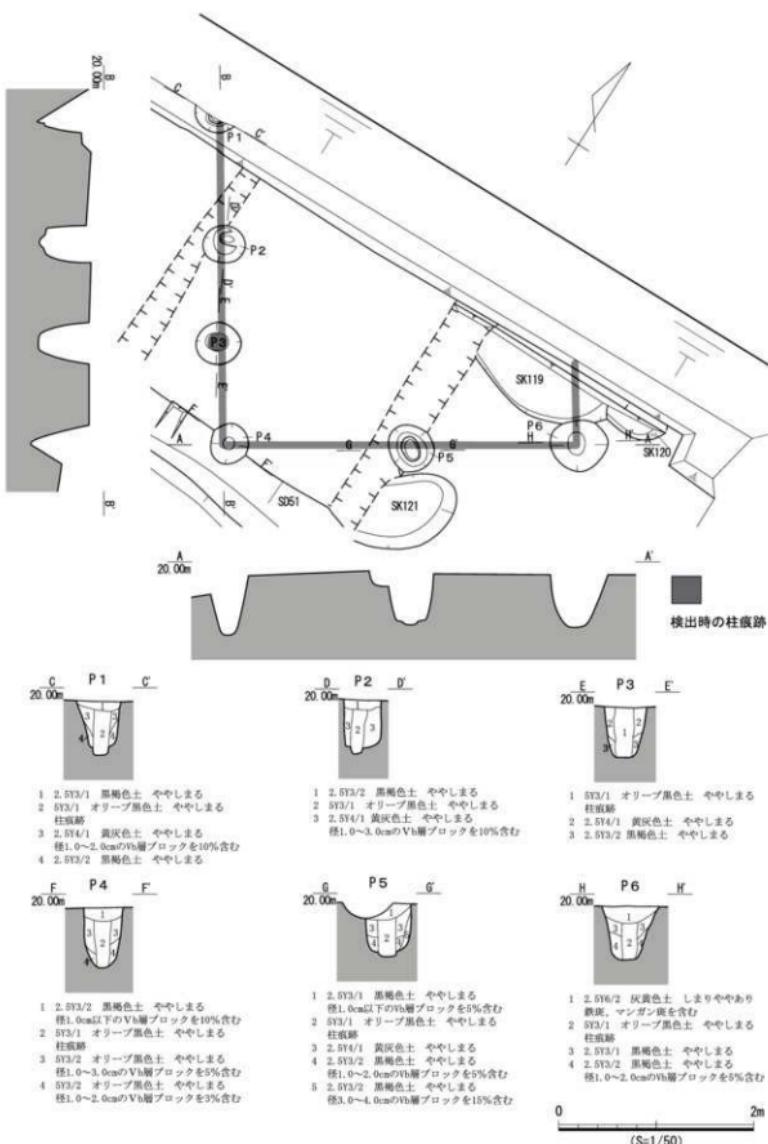
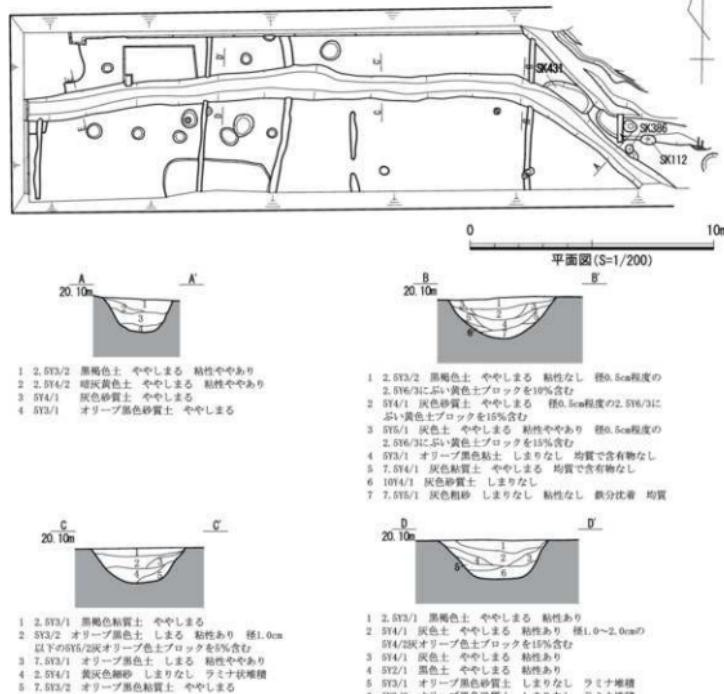


図 114 SB 6 遺構図

SD50



SD49

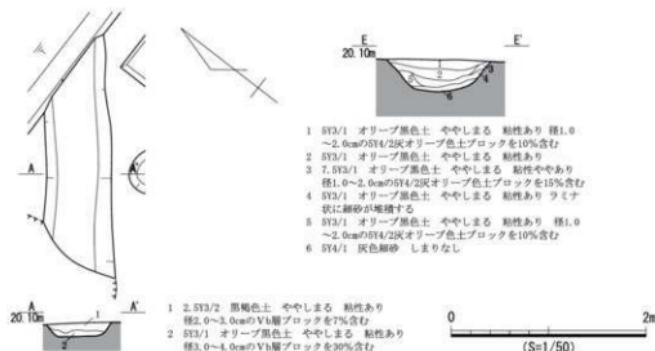


図115 SD49・SD50構造図

る遺構が少なく平面形は明瞭であった。北東部は発掘区外に延びるが、南西部は擾乱坑により削平される。

埋土 2層に分層したが、水平堆積である。1層・2層ともにブロック土を含むため、人為的堆積と考えられる。

掘方 底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 土師器2点が出土した。

出土遺物 272は土師器の甕である。口縁端部は摘み上げ状に調整する。外面はナデ調整、内面は端部がナデ調整、頭部は横方向にハケ目調整する。

所属時期 出土遺物から7世紀代以降と考えられる。

SD50(図115・119)

検出状況 B013～BP18 グリッドのV b層上面で検出した。重複関係は、SK112・SK431よりも古く、SI19やSK431などよりも新しい。平面形は、重複が希薄なB016 グリッド以西では明瞭であるが、SI19やSK431などと重複するB017 グリッド以東では不明瞭であった。発掘区西端部からB016 グリッドまでは直線的で東西方向に掘削されているが、B017 グリッドでSD51 を避けるように南東方向に曲がり発掘区外に延びる。

埋土 上層はブロック土を含む堆積が多いため人為的堆積の可能性があるが、下層はラミナ堆積や砂、粘土の堆積が確認できるため自然堆積と考えた。流水があったと推定される。

掘方 底面は比較的平坦であるが、一部丸みを持つ部分がある。壁面は外傾する。近接するSD51と比較して溝の幅は狭い。

遺物出土状況 埋土中から、土師器195点、須恵器14点が散在して出土した。

出土遺物 土師器の甕など8点を図示した。273～276は宇田型甕と考えられる。口縁部が横方向に引き出される。277・278は坏蓋A類である。277は端部を丸く收める。美濃須恵窯編年のIII-1期に併行すると考えられる。278は畿内系の須恵器で、天井部は回転ヘラケズリ調整する。6世紀末から7世紀初頭と考えられる。279・280は高杯の脚部である。

所属時期 SI19よりも新しいことと出土遺物から、7世紀前半のものと思われる。

SD51・SK445～SK447(図116・117・119・120)

検出状況 B017～B020 グリッドのV b層上面で検出した。ほぼ直線的で東西方向掘削されているが、B018 グリッドでSD50 を避けるように北西方向に曲がり発掘区外に延びる。重複関係は、SK110・SK114・SK121よりも古く、SI19・SI20・SB6・SD54・SK211・SK381～SK395よりも新しい。重複が希薄な箇所の平面形は明瞭であったが、SI19等他の遺構と重複する箇所では不明瞭であった。なお、SD51は平成26年度に当センターが実施した六里遺跡の調査で検出した溝(SD10)の延長線上にあることから、同一の遺構と考えられる¹⁾。

埋土 下部には北側から斜行する堆積があり、最終的には中央から南側が埋没する。下層にはラミナ堆積が確認できることから、流水があったと考えられる。なお、平成26年度調査で検出したSD10は掘り直しの可能性が指摘されている。SD51の土層断面においても、B-B'断面の5層～7層やC-C'断面の5層・6層などが再掘削前の堆積である可能性が考えられる。

掘方 底面には段があり、南側に確認できるテラス状の平坦面は溝の掘り直しに伴い形成されたと考

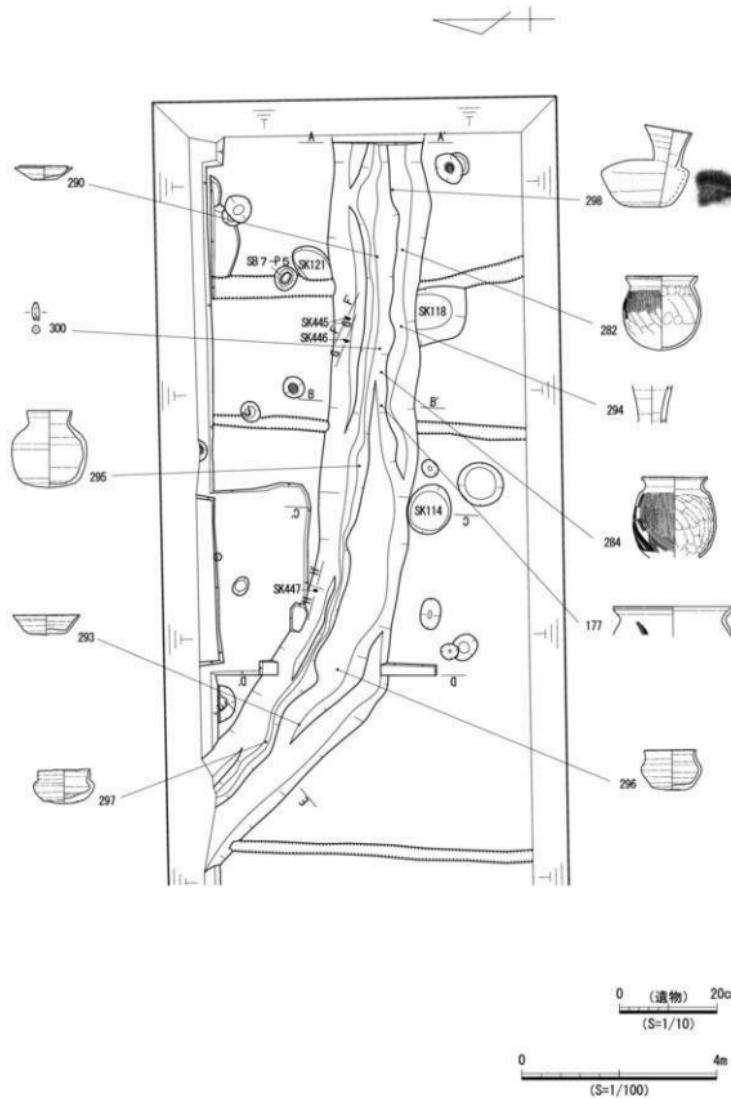


図 116 SD51・SK445～SK447 遺構図(1)

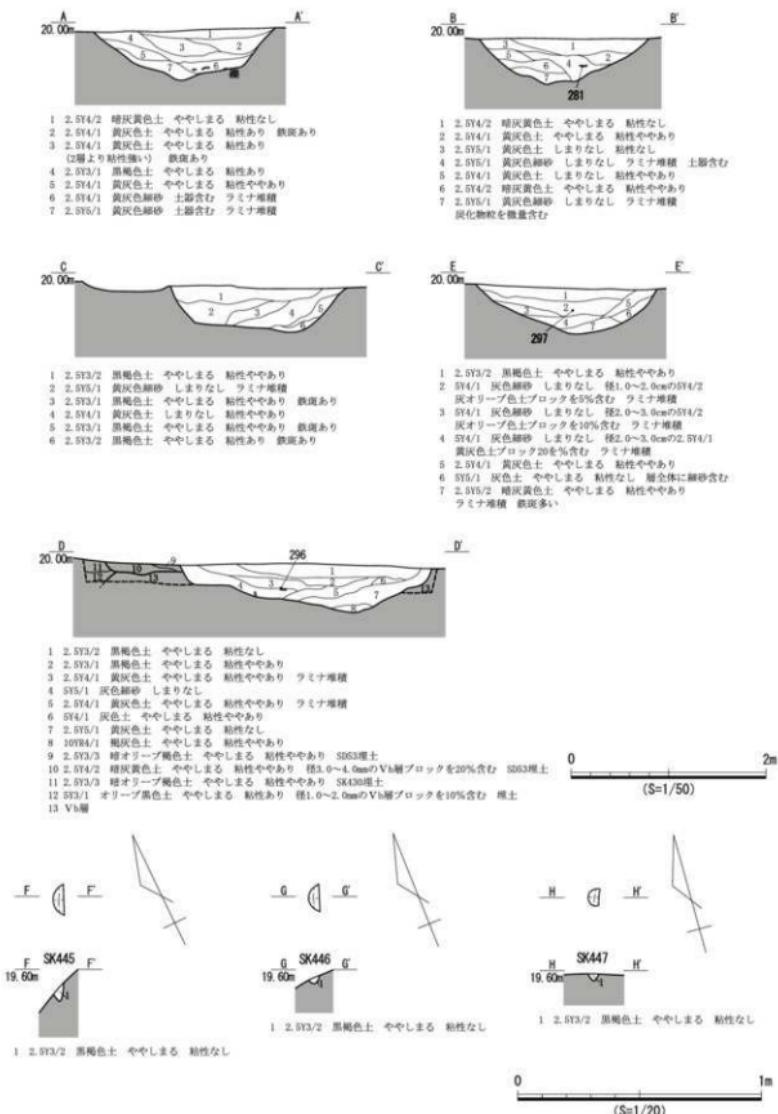


図 117 SD51・SK445～SK447 遺構図(2)

えられる。壁面は外傾する。なお、SD51 完掘後に掘方の壁面から底面にかけて爪痕のような半円形の黒色土のまとまりを複数確認した。溝を掘削した際の掘削具の痕跡と思われる（図 117：SK445～447）。

遺物出土状況 東部の底面付近から完形に近い土器が数点出土した。282 と 296 は横位、290 と 297 は逆位、298 は正位の状態で出土した。他にも、埋土中から土師器 434 点、須恵器 96 点、灰釉陶器 1 点、土製品 1 点が散在して出土した。

出土遺物 土師器の甕等 20 点を図示した。281～284 は土師器である。281・282・284 は土師器の甕で、281・284 は口縁端部を上方に摘み上げる。また、284 は外面上半が縱方向、外面下半が斜め方向にハケ目調整、内面は斜め方向の指ナデ、指オサエにより調整する。282 は頸部が肥厚し、体部外面上半は縱方向のハケ目調整、下半は板ナデ調整する。内面は指ナデ及び指オサエにより調整する。283 は甕の把手である。把手の断面は梢円形に近い。285～298 は須恵器である。285 は猿投窯産の坏蓋 A 類で、天井部と口縁部の境にわずかに稜が残る。7世紀中葉と考えられる。286～288 は坏蓋 B 類で、内面にかえりを有する。286・287 のかえりは明瞭であるが、288 のかえりはわずかに痕跡が残る程度となる。289 は坏蓋 C 類で、端部が折り返される。286～289 はいずれも美濃須衛窯編年のIII-3期と考えられる。290 は坏身 A 類である。底部から口縁部にかけて直線的に開き、底面が平底のようになる特徴的な器形を持つ。美濃須衛窯編年のIII-3期に比定できる。291～293 は坏身 B 類である。291 はやや口径が小さいく、292・293 は口径が大きいという差はあるが、底部から口縁部にかけては直線的に開く。いずれも美濃須衛窯編年のIII-3期と考えられる。294 は長頸壺の頸部である。胎土及び焼成から、畿内系の須恵器と考えられる。295 は短頸壺である。内面及び口縁部から体部にかけての外面はナデ調整、底部外面は回転ヘラケズリ調整を施す。美濃須衛窯編年 II 期後半の可能性がある。296・297 は鉢である。296 は胎土から美濃須衛窯産と考えられ、7世紀後半に比定できる。297 は胎土及び焼成から畿内系の須恵器と考えられる。7世紀前半と考えられる。298 は平瓶である。体部側面には「×」のヘラ記号が刻まれている。美濃須衛窯編年のIII-3期と考えられる。299 は灰釉陶器である。釉薬はハケ塗りで、高台の端部を丸く收める。300 は土錐である。中央部に最大径がある。

所属時期 SI19 よりも新しいことと出土遺物から、7世紀代のものと思われる。

SD52（図 118・120）

検出状況 BO17～BP19 グリッドの V b 層上面で検出した。重複関係は、SD50 よりも古く、SI19・SK388・SK390・SK455 よりも新しい。SD52 埋土と重複する遺構埋土及び V b 層は類似しており、平面形は不明瞭であった。BO18～BO19 グリッドでは直線的でほぼ東西方向に掘削されているが、BO17 グリッドで SD51 に沿うように北西に曲がる。

埋土 A-A' 断面では 2 層以下に砂質土や砂が堆積する。水平堆積や偏った堆積となる部分があり、堆積状況は不明である。

掘方 底面は平坦で、壁面は構の東部は外傾するが西部は直立する。

遺物出土状況 埋土中から、土師器 29 点、須恵器 2 点が散在して出土した。

出土遺物 301 は土師器の甕である。口縁部は短く外反し、端部は鋭く摘み上げたように立ち上がる。302・303 は須恵器の坏蓋 A 類である。302 は天井部を回転ヘラケズリ調整し、口縁部内面は面取り調整する。美濃須衛窯編年のIII-1期に比定される。303 は口縁部と天井部の境に明瞭な稜が残る。口縁部はわずかに外反して下がり、端部は平らとなる。6世紀初頭頃のものと考えられる。

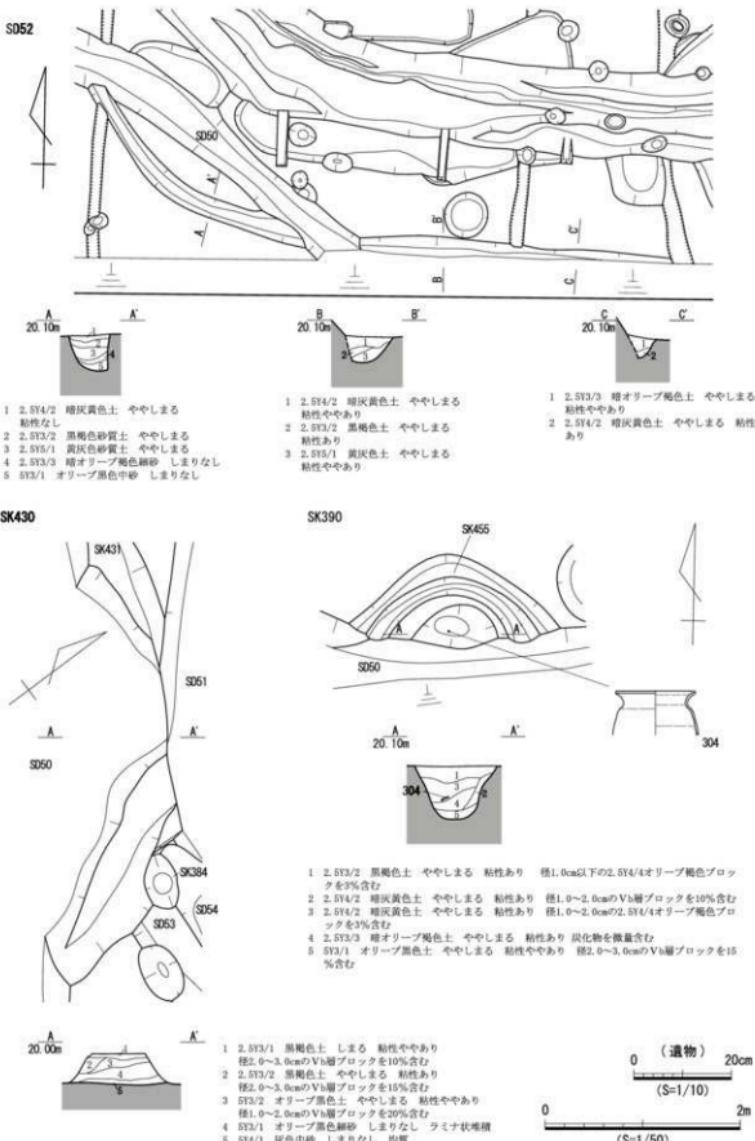
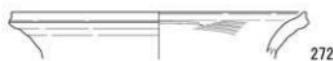


図118 SD52・SK390・SK430遺構図

SD49(272)



272

SD50(273 ~ 280)



273



275



276



277



278



279

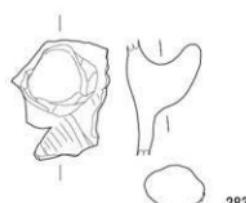


280

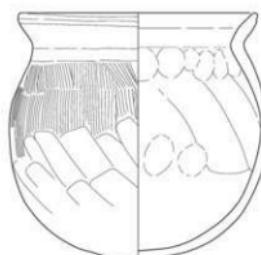
SD51(281 ~ 289)



281



283



282



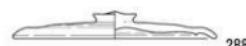
285



286



287



288



289

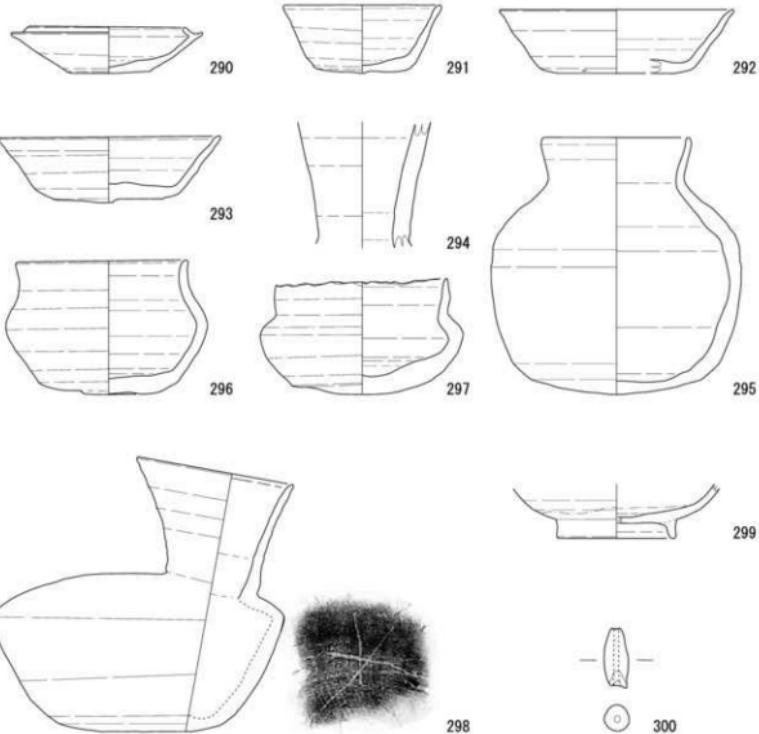


284

0
10cm
(S=1/3)

図119 D地点第2調査面遺構出土遺物（3）

SD51(290～300)



SD52(301～303)

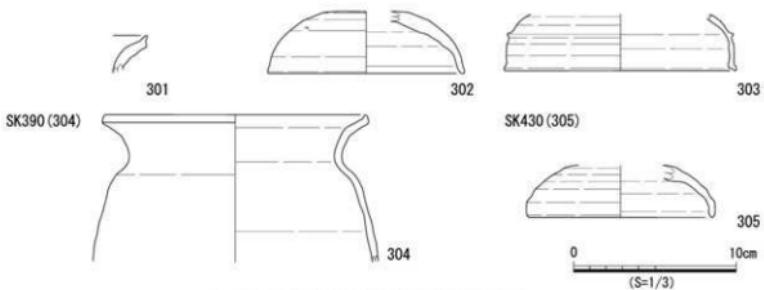


図 120 D 地点第 2 調査面遺構出土遺物 (4)

所属時期 SD50よりも古く、SI19よりも新しいことから、7世紀前半頃と考えられる。

(4) 土坑

SK390（図118・120）

検出状況 BP18 グリッドの SK455 の底面で検出した。重複関係は、SD50・SK455 よりも古く、SK389 よりも新しい。SK390 埋土と重複する遺構埋土は類似していたことから、遺構の平面形は不明瞭であった。

埋土 5層に分層した。2層が壁面際に堆積する他は、レンズ状の堆積である。いずれの層にもブロック土を含む。

掘方 平面形は発掘区外に広がるため不明であるが、底面は平坦で、壁面は外傾する。

遺物出土状況 埋土中から土師器15点、須恵器2点が散在して出土した。

出土遺物 304は土師器の甕である。器壁が薄く、口縁端部は上方に摘み上げられる。また、内外面ともにナデ調整する。

所属時期 SD50よりも古いことから、7世紀前半以前と考えられる。

SK430（図118・120）

検出状況 BO17～BP18 グリッドのV b層上面で検出した。重複関係は、SD50・SD51・SK431 等より古く、SI19・SK381・SK385 よりも新しい。重複が著しいことから、遺構の平面形は不明瞭であった。

埋土 5層に分層した。1～3層はブロック土を多く含むが、4層にはラミナが確認できる。

掘方 平面形は不明で、底面は平坦、壁面は外傾する。なお、完掘時の底面のレベルがSD50と同じであることや、埋土下層には砂の堆積が確認できることから、SD50 の一部を土坑として検出した可能性がある。

遺物出土状況 埋土中から土師器13点、須恵器4点が散在して出土した。

出土遺物 305は坏蓋A類である。天井部は回転ヘラケズリ調整し、口縁端部内面は面取り状にナデ調整させる。畿内系の須恵器で、6世紀末から7世紀初頭頃と考えられる。

所属時期 SD50やSD51よりも古く、SI19よりも新しいことから、7世紀前半と考えられる。

(5) 遺物包含層等出土遺物（図121）

表土及びIIa層・II b層から出土した遺物を一括して説明する。

306・307はI層から出土した。306は灰釉陶器で、丸石2号窯式の皿である。高台が低く、灰釉が漬け掛けにより施釉される。307は龍泉窯系青磁碗で、外面には錦運弁文を施す。

308～315はIIa層・II b層から出土した。308～312は須恵器である。308は坏蓋A類で、天井部と口縁部の境に稜が残り、口縁部内面にナデ調整を施す。309は坏蓋で、天井部に擬宝珠状の摘みがある。310は坏身A類で、美濃須衛窯産と考えられる。311は高杯の脚部である。脚端部がやや外反する。内外面にナデ調整によるロクロ痕が顕著である。312は有蓋高杯と考えられる。坏部の体部外面に回転ナデ調整によるロクロ痕が顕著である。313は尾張型山茶碗で、第6型式に比定される。314は管状土錐である。胴部中央に最大径がある。315は砂岩製の砥石で、2面に砥面が残る。

注

1) 岐阜県文化財保護センター2018『六里遺跡・稻荷遺跡』

I層 (306・307)



306



307

II層 (308～315)



308



309



310



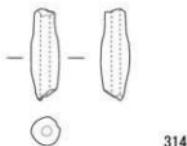
311



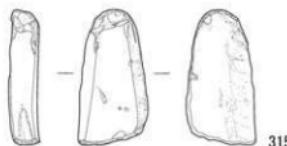
312



313



314



315



図121 D地点遺物包含層等出土遺物

表5 壓穴建物一覧表

遺構名	地区割り			検出面	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物		
	大南北		東西		上端			下端				新	旧			
	長軸長	短軸長	長軸長		長軸長	短軸長	長軸長	短軸長	長軸長	短軸長						
SI1	B C	4 5	Va上	(5.10) (2.68) (4.68) (2.67) 0.20	N 8° E	SK125 SK448	S12	H P								
SI2	B C D	4	Va上	(4.86) (0.98) 4.28 0.98 0.16	N 20° W	S11 SK448	-	H P								
SI3	B D E	4 5	Va上	(3.10) (3.05) 2.80 (2.75) 0.33	N 33° W	S14 SD22 SK453 SD22 SK127 SK128 SK130	SD57 SK143 SK442 SK452	H P								
SI4	B D E	4 5	Va上	4.38 4.12 4.03 3.96 0.14	N 53° W	SD22 SK127 SK128 SK130	S16 SK143 SK442	H P								
SI5	B F G	4 5	Va上	4.76 3.76 4.48 3.60 0.10	N 24° W	S17	S16 SP3 SK133	H P S								
SI6	B G	4 5	Va上	6.51 (5.90) 6.09 (2.80) 3.36	N 57° E	S15 S17 S18 SK133	SK138	H P								
SI7	B G H	4 5	Va上	5.26 (4.41) 5.02 (4.28) 0.22	N 13° W	S18	S15 S16 SK137	H P								
SI8	B G H	4 5	Va上	4.80 4.28 4.45 3.84 0.38	N 8° W	SD24 SD28 SD29 SK141	S16 S17 S19 SK138 SK139 SK140 SK142	H P D S								
SI9	B H	4 5	Va上	4.94 (4.10) 4.68 (3.95) 0.15	N 53° W	S18 SD24 SD25 SD26 SD27 SD28 SD29 SK139 SK140 SK144 SK145 SK146 SK152	SK142	H P								
SI10	B J K	4 5	Va上	(5.14) (4.52) 4.96 4.26 0.10	N 63° E	SD8 SD36 SD37 SD38 SD41 SP4 SP22 SK19 SK159 SK162 SK407 SK408	SK160	H P								
SI11	A O	20	Vb上	(3.53) (0.86) 3.26 (0.66) 0.10	N 24° W	SK302	-	H P								
SI12	A O B	20 1	Vb上	3.94 (1.52) 3.48 (1.18) 0.18	N 76° E	SD45 SK209 SK212	SD42 SD43 SK207	H								
SI13	B O	1 2	Vb上	3.16 3.11 3.00 2.92 0.06	N 52° E	SK219 SK220 SK440	SD42	H P								
SI14	B O	1 2	Vb上	1.15 (0.82) 0.95 0.57 0.24	N 40° W	SK237	SK232 SK256	H P								
SI15	B P Q	4 5	Vb上	4.48 4.38 4.28 4.18 0.20	N 2° E	SD46 SD47 SK58 SK60 SK413	-	H P								
SI16	B P	13 14	Vb上	(2.96) (1.47) (2.25) (1.45) 0.12	N 61° E	-	SK359	H P								
SI17	B P	14 15	Vb上	(4.40) (2.39) (4.40) (2.39) (0.20)	N 62° E	-	S121 SK364 SK365 SK369	H P								
SI18	B O P	16 17	Vb上	4.50 (2.31) 3.90 (1.78) 0.24	N 79° E	-	-	H P								
SI19	B O	17 18	Vb上	5.10 4.96 4.60 4.84 0.12	N 56° W	SD50 SD51 SD52 SK430 SK431	SK428	H P								
SI20	B O P	19 20	Vb上	4.00 3.71 3.88 3.54 0.16	N 44° E	SB6-P6 SD51 SK121 SK397	SK400	-								
SI21	B P	14 15	Vb上	(4.74) (1.41) (3.90) (0.92) (0.19)	N 73° E	S117	SK364 SK365 SK369	H P								

表6 堪穴建物付属遺構一覧表(1)

遺構名	地区別り			検出面	堆積状況	断面形状	底面形状	規模(m)						重複関係		出土遺物		
	大区画		南北					上端		下端		深さ		新				
	北	南	東西					長軸長	短軸長	長軸長	短軸長							
S11-P1	B	C	4	Va上	c	a1	a	b	0.68	0.58	0.43	0.32	0.21	-	-	S11-P4・壁際構 SI2-P2	H	
S11-P2	B	B	4	Va上	c	e1	a	a	0.68	0.57	0.18	0.18	0.16	-	-	-	H	
S11-P3	B	C	5	Va上	c	a1	b	b	0.62	0.48	0.40	0.21	0.20	-	-	-	-	
S11-P4	B	C	4	Va上	a	a1	a	a	(0.43)	0.41	0.21	0.20	0.13	-	-	-	-	
S11-壁際構	B	B	4	Va上	a	a1	e	e	0.42	0.20	-	-	0.24	S11-P1	S11-P4 SI2-P2	-		
S12-P1	B	C	4	Va上	c	a1	a	b	0.60	0.51	0.43	0.32	0.19	-	-	-	-	
S12-P2	B	C	5	Va上	c	a1	a	a	0.55	0.53	0.30	0.28	0.17	S11 S11-P1・ 壁際構	-	-	-	
S12-壁際構	B	C	4	Va上	b	a1	e	e	0.22	0.10	-	-	0.08	S11	SD56 SK448 SK449	-	-	
S13-P1	B	D	4	Va上	b	b1	a	a	0.51	0.45	0.36	0.33	0.10	S14	SD67	-	-	
S13-P2	B	D	5	Va上	c	a1	a	a	0.56	0.52	0.38	0.35	0.12	SD22	-	-	-	
S13-P3	B	D	5	Va上	d	e1	a	b	0.67	0.53	0.09	0.06	0.24	SD22 SK453	-	-	-	
S13-P4	B	D	5	Va上	c	b2	b	b	0.60	0.44	0.44	0.25	0.22	-	-	-	-	
S14-P1	B	D	4	Va上	a	a1	a	a	0.58	0.53	0.42	0.38	0.13	-	-	-	-	
S14-P2	B	D	4	Va上	d	e1	e	b	0.52	0.47	0.33	0.25	0.22	-	-	-	-	
S14-P3	B	E	4	Va上	d	e1	a	a	0.67	0.56	0.18	0.16	0.45	-	-	-	-	
S14-P4	B	E	4	Va上	g	e1	s	s	0.65	0.62	0.34	0.28	0.46	-	SK377	-	-	
S14-P5	B	E	4	Va上	c	b1	a	a	0.61	0.53	0.43	0.40	0.23	-	-	-	-	
S14-壁際構	B	E	5	Va上	a	a1	e	e	0.28	0.12	-	-	0.18	-	-	-	-	
S15-P1	B	F	4	Va上	a	a1	a	a	0.45	0.40	0.27	0.25	0.11	-	SK133	-	-	
S15-P2	B	F	4	Va上	c	b1	s	s	0.53	0.52	0.40	0.33	0.18	-	-	H	-	
S15-P3	B	G	4	Va上	c	b1	b	b	0.48	0.38	0.25	0.17	0.30	-	S16	-	-	
S15-P4	B	G	5	Va上	a	b2	s	a	0.51	0.50	0.35	0.31	0.13	-	S16 S16-P2	-	-	
S15-P5	B	F	4	Va上	c	a1	a	a	0.59	0.54	0.30	0.30	0.39	-	S15-P6	H	-	
S15-P6	B	F	4	Va上	b	b2	a	a	0.55	(0.46)	0.32	0.29	0.47	S15-P5	-	-	-	
S15-カマド	B	F	4	Va上	c	e1	b	b	0.96	0.72	0.45	0.40	0.20	-	-	H	-	
S16-P1	B	G	4	Va上	b	b1	a	a	0.62	0.57	0.46	0.40	0.22	-	-	H P	-	
S16-P2	B	F	5	Va上	g	e1	a	a	0.59	(0.56)	0.28	0.25	0.49	S15 S15-P4	-	H	-	
S16-P3	B	H	4	Va上	a	b1	a	b	0.52	0.46	0.37	0.29	0.06	S18	S18-P6	H	-	
S16-壁際構	B	G	4	Va上	n	a1	b	b	0.36	0.19	-	-	0.08	-	-	-	-	
S17-P1	B	G	4	Va上	g	e1	b	a	0.58	(0.46)	0.12	0.11	0.38	S17-P3	S17-P4	-	-	
S17-P2	B	H	4	Va上	a	b1	a	a	0.65	0.53	0.38	0.35	0.22	-	-	-	-	
S17-P3	B	G	4	Va上	b	b2	b	b	(0.51)	0.31	0.30	0.23	0.30	-	S17-P1	H	-	
S17-P4	B	G	4	Va上	b	b1	a	b	0.34	0.30	0.18	0.14	0.32	S17-P1	S17-P3	-	-	
S17-P5	B	G	4	Va上	a	b1	b	b	0.82	(0.63)	0.62	0.53	0.14	S18	-	-	-	
S17-P6	B	G	4	Va上	a	b1	b	b	(0.61)	0.43	0.40	0.28	0.16	-	-	-	-	
S17-P7	B	G	4	Va上	n	a1	a	a	0.45	0.38	0.28	0.25	0.10	-	-	-	-	
S17-P8	B	G	5	Va上	g	e1	s	s	0.50	0.47	0.17	0.17	0.42	-	-	H	-	
S17-P9	B	G	4	Va上	c	a1	a	a	0.50	0.42	0.32	0.31	0.16	-	-	-	-	
S17-壁際構	B	G	5	Va上	a	a1	d	d	0.32	0.12	-	-	0.10	S18	-	-	-	
S17-カマド	B	G	4	Va上	c	a1	e	e	1.12	0.76	-	-	-	S15 S16 SK137	H P	-	-	
S18-P1	B	G	4	Va上	d	e1	b	b	0.66	0.48	0.44	0.30	0.34	-	S19-P2	-	-	-
S18-P2	B	G	5	Va上	b	a1	a	a	0.54	0.54	0.38	0.32	0.18	-	S18-P5-P6	-	-	-
S18-P3	B	H	5	Va上	c	b1	a	a	0.66	0.60	0.45	0.44	0.14	SD24	S18-P6	-	-	-
S18-P4	B	G	4	Va上	c	a1	a	a	0.52	0.45	0.28	0.24	0.23	-	S19-P2	-	-	-
S18-P5	B	G	5	Va上	a	b1	a	a	0.95	(0.92)	0.80	(0.73)	0.08	S18-P2-P6	-	-	-	
S18-P6	B	G	4	Va上	a	b2	c	c	2.38	2.05	(2.35)	1.97	0.05	S16-P3 S18- P3-P2-P3-カマド SD24	S18-P5	H P	-	
S18-壁際構	B	G	4	Va上	a	a1	d	e	0.18	0.14	-	-	-	S18-P6 S19- P3	H	-	-	
S18-カマド	B	G	4	Va上	c	a1	b	b	1.19	0.62	0.69	0.37	0.09	-	S17 S18-P6	H	-	-

表7 堅穴建物付属遺構一覧表(2)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	平面形状	底面形状	規模(m)				重複関係		出土遺物	
	大区画	南北					上端	下端	長軸長	短軸長	深さ	新	旧	
S19-P1	B	H	4	Va上	f	b2	a	a	0.55	0.50	0.38	0.34	0.54	S19-P5 SD24
S19-P2	B	G	4	Va上	d	b4	b	b	0.56	(0.25)	0.45	(0.25)	0.16	S18 S18-P1-P4
S19-P3	B	H	4	Va上	c	e1	a	a	0.54	0.46	0.28	0.23	0.30	S18 S18-壁際溝
S19-P4	B	H	4	Va上	c	e1	a	b	(0.58)	0.50	0.30	0.24	0.70	S19-P6-P7 SD27
S19-P5	B	H	4	Va上	a	b1	a	a	0.38	0.37	0.23	0.22	0.18	SD24 S19-P1
S19-P6	B	H	4	Va上	a	b1	b	b	0.65	0.46	0.50	0.29	0.09	SD27 S19-P4
S19-P7	B	H	4	Va上	c	a1	b	a	0.58	0.44	0.32	0.26	0.20	SD27 S19-P4+P9
S19-P8	B	H	4	Va上	a	bl	a	b	(1.12)	1.00	(1.00)	0.75	0.07	S18 S19-壁際溝 SD28 SK146 S19-P9
S19-P9	B	H	4	Va上	a	a1	b	b	0.68	(0.30)	0.46	(0.25)	0.15	S19-P4+P7+P8 SD27
S19-壁際溝	B	H	4	Va上	a	a1	e	e	0.42	0.21	-	-	0.11	S18 SK141 SK144 SK145 SK146 SK147 SK152 S19-P8
S19-カマド	B	G	H	Va上	c	f4	e	d	0.88	0.60	-	-	-	S18 SK139 SK140 S19-P8
S110-P1	B	I	J	Va上	c	a1	a	a	0.54	0.52	0.34	0.28	0.18	SD37
S110-P2	B	J	4	Va上	c	e1	a	b	0.52	0.46	0.24	0.16	0.20	SD36 SD38
S110-P3	B	J	4	Va上	c	a1	b	b	0.64	0.46	0.48	0.34	0.16	SD8
S110-P4	B	J	4	Va上	c	a1	a	a	0.32	0.25	0.15	0.15	0.31	-
S110-P5	B	J	4	Va上	c	a1	b	b	0.90	(0.56)	0.60	0.30	0.22	SK162 S110-P19
S110-P6	B	J	4	Va上	a	a1	a	a	0.35	0.31	0.23	0.22	0.08	-
S110-P7	B	J	4	Va上	a	a1	a	a	0.25	0.22	0.18	0.15	0.05	-
S110-P8	B	J	4	Va上	a	a1	a	a	0.38	0.35	0.22	0.21	0.08	-
S110-P9	B	J	4	Va上	a	bl	a	a	0.29	(0.28)	(0.22)	0.18	0.07	- S110-P8
S110-P10	B	I	J	Va上	c	a1	a	b	1.52	0.86	(1.12)	0.52	0.32	S110-P15 SK162 S110-P16
S110-P11	B	J	4	Va上	c	a1	b	b	0.56	0.39	0.30	0.20	0.28	S110-P12+壁際溝 SK160 S110-P21
S110-P12	B	J	4	Va上	a	b2	a	a	0.21	0.18	0.14	0.12	0.16	SD37 S110-P11
S110-P13	B	J	4	Va上	a	f2	a	a	0.29	0.25	0.18	0.16	0.17	-
S110-P14	B	J	4	Va上	a	b1	a	b	0.44	0.37	0.33	0.24	0.08	SD41
S110-P15	B	J	4	Va上	d	a1	b	a	0.60	0.48	0.16	0.16	0.52	SK162 S110-P10
S110-P16	B	J	4	Va上	d	f4	b	b	(0.60)	0.44	0.25	0.15	0.33	SK162
S110-P17	B	J	4	Va上	d	a1	b	a	0.62	0.44	0.12	0.12	0.58	SD36
S110-P18	B	J	4	Va上	d	e1	a	a	0.37	0.37	0.17	0.17	0.18	-
S110-P19	B	J	4	Va上	d	e1	a	a	0.54	0.45	0.22	0.21	0.46	S110-P5 SK162
S110-P20	B	J	4	Va上	g	a1	a	a	0.35	0.32	0.18	0.17	0.29	SD36
S110-P21	B	J	4	Va上	g	a2	a	a	0.46	(0.37)	0.25	0.22	0.59	S110-P11+壁際溝 SD38 SK160 SK160 -
S110-壁際溝	B	I	J	Va上	a	a1	d	d	0.18	0.11	-	-	-	SD8 SP4 SK159 SK160 SK163 S110-P11+P21
S111-P1	A	O	20	Vb上	c	bl	b	b	0.38	(0.16)	0.22	(0.08)	0.12	-
S111-壁際溝	A	O	20	Vb上	a	a1	e	e	0.23	0.13	-	-	0.06	- H P
S112-P1	B	O	1	Vb上	a	b1	a	a	0.54	0.48	0.43	0.40	0.04	-
S112-P2	B	O	1	Vb上	c	a1	a	a	(0.35)	(0.32)	0.16	0.14	0.05	- S112-カマド H
S112-P3	A	O	20	Vb上	d	e2	b	a	0.50	(0.36)	0.12	0.11	0.21	- S112-P4 SK207
S112-P4	A	P	20	Vb上	b	b2	b	b	(0.76)	(0.26)	(0.66)	(0.18)	0.14	S112-P3 SK207 SK208
S112-P5	A	O	20	Vb上	c	a1	b	a	0.71	(0.50)	(0.30)	0.25	0.31	-
S112-壁際溝	B	O	1	Vb上	a	a1	e	e	0.25	0.16	-	-	0.10	-
S112-カマド	B	O	1	Vb上	c	b4	d	e	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	S112-P2 SK209 SK212 SD43 H P S

表8 壁穴建物付属遺構一覧表(3)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	断面形状	底面形状	規模(m)					重複関係		出土遺物					
							上端		下端		深さ	新							
	南北	東西					長軸長	短軸長	長軸長	短軸長									
S113-P1	B 0	2	Vb上	c al	b	a	0.42	0.28	0.18	0.16	0.19	-	SD42	-					
S113-P2	B 0	2	Vb上	c ai	a	a	0.42	0.42	0.30	0.27	0.13	SD16	-	-					
S113-P3	B 0	2	Vb上	a al	b	b	0.38	0.26	0.27	0.17	0.04	-	-	H					
S113-P4	B 0	2	Vb上	g el	a	a	0.46	0.43	0.18	0.18	0.29	-	SD42	-					
S113-P5	B 0	2	Vb上	b bl	b	b	(0.49)	(0.31)	0.35	0.17	0.14	SK219	-	-					
S113-P6	B 0	2	Vb上	b al	a	a	0.32	0.30	0.23	0.22	0.05	SK219	-	-					
S113-P7	B 0	2	Vb上	a al	b	b	0.50	0.35	0.39	0.25	0.05	-	-	-					
S113-P8	B 0	2	Vb上	c al	a	a	0.30	0.28	0.21	0.18	0.11	-	SD42	-					
S113-P9	B 0	2	Vb上	c b2	a	a	0.35	0.34	0.24	0.24	0.06	-	-	-					
S113-P10	B 0	2	Vb上	c ai	b	b	0.43	0.32	0.18	0.13	0.18	-	-	-					
S113-P11	B 0	2	Vb上	b al	a	b	0.37	0.30	0.22	0.17	0.11	-	-	-					
S113-P12	B 0	2	Vb上	n al	a	a	0.36	0.28	0.20	0.18	0.10	-	-	-					
S114-P1	B P	2	Vb上	a al	a	a	0.29	0.29	0.18	0.17	0.04	SK237	-	-					
S114-P2	B P	2	Vb上	a al	a	a	0.36	0.32	0.24	0.22	0.07	-	-	-					
S114-P3	B P	2	Vb上	c al	a	a	0.79	0.69	(0.67)	0.47	0.16	SK237	S114-P4	-					
S114-P4	B P	2	Vb上	c al	b	b	0.71	0.55	0.51	0.32	0.18	S114-P3・P10 SK237	-	-					
S114-P5	B P	2	Vb上	a b1	a	a	0.40	0.37	0.29	0.24	0.14	-	-	-					
S114-P6	B P	3	Vb上	c el	b	a	1.14	0.95	0.56	0.55	0.43	-	-	H					
S114-P7	B Q	3	Vb上	c ai	a	b	0.44	0.40	0.34	0.27	0.12	-	-	-					
S114-P8	B Q	2	Vb上	b a2	a	a	0.48	0.46	0.37	0.34	0.14	-	S114-P9	H					
S114-P9	B Q	2	Vb上	c ai	b	b	0.43	(0.20)	0.28	(0.20)	0.10	S114-P8	-	H					
S114-P10	B P	2	Vb上	c b1	a	a	0.30	(0.27)	(0.20)	0.20	0.11	SK237	S114-P4	-					
S115-P1	B P	4	Vb上	g el	a	a	0.65	0.55	0.26	0.26	0.35	-	-	-					
S115-P2	B P	4	Vb上	c b2	a	a	0.50	0.39	0.27	0.22	0.36	-	-	-					
S115-P3	B Q	4	Vb上	c a2	a	a	0.43	0.37	0.32	0.26	0.33	-	-	-					
S115-P4	B Q	4	Vb上	c al	a	a	0.50	0.48	0.25	0.21	0.30	SK412	-	-					
S115-P5	B P	4	Vb上	c ai	a	a	0.45	0.37	0.28	0.23	0.23	-	-	-					
S115-P6	B P	5	Vb上	h b1	a	a	0.60	0.54	0.34	0.28	0.48	-	S115-壁際構	-					
S115-P7	B Q	5	Vb上	b al	a	a	0.40	0.35	0.16	0.14	0.21	-	S115-壁際構	-					
S115-P8	B Q	4	Vb上	a al	a	a	0.33	0.30	0.20	0.18	0.07	-	-	-					
S115-P9	B Q	4	Vb上	a al	a	a	0.27	0.25	0.16	0.13	0.06	-	-	-					
S115-P10	B Q	4	Vb上	a b1	a	a	0.31	0.31	0.20	0.19	0.06	-	-	-					
S115-P11	B Q	4	Vb上	a al	b	b	0.48	0.36	0.35	0.20	0.08	-	-	-					
S115-壁際構	B P	4	Vb上	n b1	e	e	0.18	0.08	-	-	0.06	S115-P6・P7 SK60 SK413 SK415 SK416	-	-					
S115-カマド	B P	4	Vb上	j f4	e	e	1.61	1.04	-	-	-	SD46 SD47	-	H					
S116-P1	B P	13	Vb上	a b1	a	a	0.38	0.36	0.29	0.24	0.05	-	S116-壁際構	-					
S116-P2	B P	13	Vb上	c f1	b	b	0.42	(0.40)	0.18	(0.14)	0.21	-	-	-					
S116-P3	B P	13	Vb上	a b1	a	a	0.27	0.27	0.18	0.17	0.04	-	-	-					
S116-P4	B P	13	Vb上	a b1	a	a	0.44	0.40	0.21	0.21	0.05	-	-	-					
S116-P5	B P	13	Vb上	a b1	a	a	0.41	0.34	0.26	0.25	0.07	-	-	-					
S116-P6	B P	13	Vb上	a b1	b	b	0.75	0.60	0.68	0.49	0.07	-	-	-					
S116-P7	B P	13	Vb上	b b1	b	b	0.86	(0.27)	0.75	(0.22)	0.04	-	-	-					
S116-壁際構	B P	13	Vb上	a al	e	e	0.14	0.07	-	-	0.07	S116-P1	-	-					
S116-ガマド	B P	14	Vb上	c b4	e	e	0.95	0.85	-	-	0.06	-	-	H					
S117-P1	B P	15	Vb上	g b1	a	a	0.56	0.55	0.30	0.26	0.28	-	S121	-					
S117-P2	B P	15	Vb上	c b1	a	a	0.54	0.50	0.34	0.32	0.07	-	S121	-					
S118-P1	B P	16	Vb上	c al	a	a	0.52	0.43	0.18	0.17	0.16	-	-	-					
S118-P2	B P	16	Vb上	c al	b	b	0.35	0.27	0.19	0.14	0.11	-	-	-					
S118-P3	B P	16	Vb上	a al	a	a	0.54	0.55	0.37	0.36	0.07	-	-	-					
S118-P4	B P	16	Vb上	a b1	b	b	(0.30)	(0.17)	(0.18)	(0.14)	0.06	S118-壁際構	-	-					
S118-P5	B P	15	Vb上	a b1	a	a	0.45	(0.39)	(0.26)	0.24	0.11	-	-	H					
S118-P6	B P	16	Vb上	a b1	a	a	0.61	0.54	0.42	0.37	0.06	-	-	-					
S118-P7	B P	16	Vb上	c b1	a	a	0.49	0.41	0.34	0.30	0.09	-	-	-					
S118-P8	B P	16	Vb上	c l1	a	a	0.40	0.37	0.35	0.12	0.11	-	-	-					
S118-P9	B 0	16	Vb上	c al	b	b	0.46	(0.25)	0.26	0.08	0.08	S118-壁際構	-	P					
S118-壁際構	B P	16	Vb上	c al	e	e	0.22	0.06	1.77	-	0.09	-	S118-ガマド	H P					
S118-カマド	B 0	16	Vb上	d f4	e	e	1.09	0.86	-	-	0.15	S118-壁際構	-	H					

表9 堅穴建物付属遺構一覧表(4)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	平面形状	底面形状	規模(m)				重複関係		出土遺物		
	大区画	南北					上端	下端	深さ	新	旧				
S119-P1	B	0	17	Vb上	c al	a	a	0.52	0.47	0.11	0.10	0.20	-	SK428	-
S119-P2	B	0	18	Vb上	b al	b	a	0.32	(0.20)	0.16	(0.14)	0.16	SD51	-	-
S119-P3	B	0	18	Vb上	b al	a	a	0.53	0.52	0.08	0.07	0.16	SK110	-	-
S119-P4	B	0	17	Vb上	c bl	e	e	(1.06)	(0.75)	(1.02)	(0.67)	0.14	SK430 SK431	S119-P5	H
S119-P5	B	0	17	Vb上	c al	b	b	(0.60)	(0.34)	(0.55)	0.11	0.08	S119-P4	-	-
S119-P6	B	0	17	Vb上	a bl	a	b	(0.27)	0.23	0.11	0.08	0.22	SD51	-	-
S119-P7	B	0	17	Vb上	a al	b	b	0.30	(0.24)	0.08	0.05	0.09	SD51	S119-P8	-
S119-P8	B	0	17	Vb上	c al	b	a	(0.34)	(0.27)	0.11	0.11	0.16	S119-P7 SD51	-	-
S119-壁際構	B	0	18	Vb上	a al	e	e	0.14	0.06	-	-	0.07	SD50 SD51	-	-
S119-壁際構	B	0	17	Vb上	a al	a	a	0.24	0.11	-	-	0.06	SD50 SD62	-	H
S120-P1	B	0	20	Vb上	b bl	a	a	0.33	(0.30)	0.16	0.16	0.13	SD51	-	-
S120-P2	B	0	20	Vb上	c bl	b	a	0.44	0.35	0.25	0.22	0.16	-	-	-
S120-P3	B	0	20	Vb上	a al	a	a	(0.35)	0.34	0.18	(0.16)	0.14	SD51	-	-
S120-P4	B	0	20	Vb上	a bl	a	a	(0.72)	0.68	(0.60)	0.60	0.11	S120-P5 SD51	-	-
S120-P5	B	0	20	Vb上	n al	b	b	0.70	(0.36)	(0.30)	(0.24)	0.14	SD51	S120-P4	-
S121-P1	B	P	14	Vb上	g bl	b	b	0.44	(0.34)	0.22	(0.15)	0.27	S117	-	-
S121-P2	B	P	14	Vb上	a al	a	a	0.55	0.47	0.28	0.26	0.10	S117	-	-

表10 捩立柱建物付属遺構一覧表

遺構名	地区割り		検出面	柱間		規模(m)		長軸方位		重複関係		出土遺物
	大区画	南北		東西	断行	累行	断行	累行	長軸方位	新	旧	
SB1	B	I	4	Va上	2間以上	×1間以上	(4.20)	(2.29)	N 36° W	SD31 SD32 SD37	SD34	H P
SB2	B	K	2	Va上	2間以上	×2間以上	(2.50)	(1.80)	N 13° E	-	SP6 SK180 SK186	H P
SB3	B	K	3	Va上	2間以上	×1間	(2.80)	1.70	N 11° E	-	SB3-P1・P2・P3・P5・P6	H
SB4	B	K	3	Va上	2間以上	×1間	(3.15)	1.90	N 2° W	SB3-P1・P2・P3・P5・P6	-	-
SB5	B	S	5	Vb上	2間以上	×1間以上	(2.66)	(1.40)	N 27° W	-	SK306	H
SB6	B	O	19	Vb上	3間以上	×2間以上	(3.56)	(4.08)	N 33° W	SD51 SK119	S120 SK396 SK432	H

表11 捩立柱建物付属遺構一覧表

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	平面形状	底面形状	規模(m)				重複関係		出土遺物		
	大区画	南北					上端	下端	深さ	新	旧				
SB1-P1	B	I	4	Va上	e al	b	b	0.72	(0.15)	(0.23)	0.38	SD34	-	-	
SB1-P2	B	I	4	Va上	g bl	a	b	0.80	0.65	0.58	0.46	0.40	SD32 SD33	SB3-P1	
SB1-P3	B	I	4	Va上	d b2	a	a	0.63	0.58	0.48	0.46	0.60	SD37	-	
SB1-P4	B	I	4	Va上	c e2	a	b	0.86	0.84	0.58	0.43	0.53	SD31 SK162	-	
SB2-P1	B	K	3	Va上	f fl	a	a	0.37	(0.31)	(0.22)	0.20	0.18	-	SP6	-
SB2-P2	B	K	3	Va上	a al	a	a	0.33	0.28	0.20	0.20	0.11	-	-	-
SB2-P3	B	K	3	Va上	b bl	a	a	0.26	0.26	0.17	0.16	0.14	-	SK186	H P
SB2-P4	B	K	3	Va上	c al	b	a	0.32	0.25	0.17	0.16	0.12	-	-	-
SB2-P5	B	K	2	Va上	e al	b	a	0.66	(0.36)	(0.35)	0.33	0.21	-	SK180	-
SB3-P1	B	K	3	Va上	f al	a	a	0.50	0.44	0.31	0.26	0.20	SB4-P1	-	-
SB3-P2	B	K	3	Va上	c al	a	a	0.52	0.42	0.32	0.29	0.15	-	SB4-P2	-
SB3-P3	B	K	3	Va上	d al	a	b	0.41	0.49	0.25	0.18	0.20	-	SB4-P6	-
SB3-P4	B	K	3	Va上	g bl	a	a	0.38	0.35	0.22	0.18	0.15	-	-	H
SB3-P5	B	K	3	Va上	c al	a	a	0.41	0.38	0.27	0.24	0.15	-	SB4-P4	-
SB3-P6	B	K	3	Va上	d al	a	a	0.42	0.40	0.39	0.39	0.16	-	SB4-P5	-
SB4-P1	B	K	3	Va上	d al	a	a	0.31	0.28	0.19	0.16	0.17	-	SB3-P1	-
SB4-P2	B	K	3	Va上	b cl	a	b	(0.31)	0.30	0.19	0.10	0.28	SB3-P2	-	-
SB4-P3	B	K	3	Va上	a al	a	a	0.27	0.23	0.16	0.15	0.04	-	-	-
SB4-P4	B	K	3	Va上	b bl	a	a	0.25	(0.24)	0.16	0.15	0.12	SB3-P5	-	-
SB4-P5	B	K	3	Va上	e h2	a	a	0.26	(0.23)	0.15	0.15	0.14	SB3-P6	-	-
SB4-P6	B	K	3	Va上	b h2	a	a	0.25	(0.29)	(0.14)	0.14	0.15	SB3-P3	-	-
SB5-P1	B	S	5	Vb上	g e2	a	b	0.44	0.41	0.09	0.07	0.45	-	SK306	-
SB5-P2	B	S	5	Vb上	h a2	a	b	0.40	0.37	0.32	0.25	0.39	-	-	-
SB5-P3	B	S	5	Vb上	g e2	a	b	0.40	0.37	0.19	0.12	0.42	-	-	-
SB5-P4	B	S	5	Vb上	g b2	a	b	0.42	0.27	0.20	0.18	0.31	-	-	H
SB6-P1	B	N	19	Vb上	e al	b	a	(0.44)	(0.14)	(0.10)	(0.03)	0.54	-	-	-
SB6-P2	B	O	19	Vb上	e e2	a	b	(0.40)	0.40	0.37	0.12	0.07	0.54	-	H
SB6-P3	B	O	19	Vb上	d bl	a	b	0.45	0.42	0.23	0.16	0.50	-	SK432	-
SB6-P4	B	O	19	Vb上	g a2	a	b	0.40	0.40	0.12	0.11	0.61	SD51	-	-
SB6-P5	B	O	19	Vb上	g e2	a	b	(0.48)	0.44	0.19	0.12	0.53	-	-	-
SB6-P6	B	O	20	Vb上	g bl	a	b	0.57	(0.51)	0.23	0.18	0.53	S1119	S120 SK396	H

表12 土坑列一覧表

新遺構名	地区割り			検出面	土坑数	規模(m)	長軸方位	重複関係		出土遺物
	大区	南北	東西					長軸長	新	
SA1	B	H	4 I 5	IIb上	9基以上	(5.58)	N 62° E	-	-	H P
SA2	B	I	4	IIb上	7基以上	(4.25)	N 75° E	-	-	H P Y
SA3	B	J	4 5	IIb上	5基	2.68	N 89° E	-	-	H
SA4	B	J	4 5	IIb上	5基	2.58	N 88° E	-	-	H
SA5	B	R	3 4	IIb上	6基	3.45	N 81° W	-	SK76 SK81	-

表13 土坑列付属遺構一覧表

遺構名	地区割り			検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	規模(m)			重複関係		出土遺物		
	大区	南北	東西					上端	下端	深さ	新	旧			
SA1-P1	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.32	0.31	0.21	0.20	0.05	-	-	P
SA1-P2	B	I	4	IIb上	a a1	b	a	0.36	0.32	0.25	0.20	0.05	-	-	H
SA1-P3	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.33	0.27	0.21	0.17	0.05	-	-	-
SA1-P4	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.35	0.33	0.25	0.23	0.04	-	-	-
SA1-P5	B	I	4	IIb上	a a1	a b	a	0.41	0.37	0.31	0.24	0.06	-	-	H
SA1-P6	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.30	0.27	0.21	0.18	0.05	-	-	P
SA1-P7	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.28	0.25	0.14	0.14	0.11	-	-	H
SA1-P8	B	H	4 5	IIb上	a a1	a b	a	0.24	0.22	0.12	0.09	0.10	-	-	P
SA1-P9	B	H	5	IIb上	a a1	a	a	0.35	0.29	0.18	0.17	0.10	-	-	-
SA2-P1	B	I	4	IIb上	a a1	a	b	0.30	0.28	0.20	0.16	0.06	-	-	P Y
SA2-P2	B	I	4	IIb上	a a1	a	b	0.32	0.26	0.22	0.16	0.06	-	-	H
SA2-P3	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.34	0.32	0.22	0.22	0.06	-	-	-
SA2-P4	B	I	4	IIb上	a a1	a	b	0.26	0.24	0.16	0.12	0.07	-	-	H
SA2-P5	B	I	4	IIb上	a a1	a	a	0.23	0.22	0.13	0.12	0.07	-	-	H
SA2-P6	B	I	4	IIb上	a a1	a	s	0.46	0.41	0.29	0.25	0.02	-	-	-
SA2-P7	B	I	4 5	IIb上	a a1	a b	a	0.25	0.22	0.15	0.12	0.06	-	-	H
SA3-P1	B	J	4	IIb上	a a1	a	a	0.24	0.22	0.15	0.15	0.03	-	-	H
SA3-P2	B	J	4	IIb上	a a1	a	a	0.32	0.26	0.20	0.18	0.06	-	-	-
SA3-P3	B	J	4	IIb上	a a1	a	a	0.28	0.24	0.18	0.16	0.05	-	-	-
SA3-P4	B	J	4	IIb上	a a1	a	a	0.34	0.32	0.22	0.21	0.12	-	-	-
SA3-P5	B	J	4 5	IIb上	a a1	a	a	0.36	0.32	0.22	0.20	0.06	-	-	-
SA4-P1	B	J	4	IIb上	a a1	a b	a	0.32	0.26	0.22	0.16	0.08	-	-	-
SA4-P2	B	J	4	IIb上	a a1	a	s	0.34	0.32	0.22	0.20	0.08	-	-	H
SA4-P3	B	J	4	IIb上	a a1	a	b	0.34	0.28	0.18	0.14	0.08	-	-	H
SA4-P4	B	J	4	IIb上	a a1	a	b	0.32	0.26	0.22	0.14	0.08	-	-	H
SA4-P5	B	J	5	IIb上	a a1	b	a	0.30	0.22	0.18	0.14	0.05	-	-	-
SA5-P1	B	R	3	IIb上	a b2	a	b	0.32	0.23	0.20	0.16	0.10	-	-	-
SA5-P2	B	R	4	IIb上	a a1	b	b	0.28	0.20	0.20	0.10	0.02	-	SK76	-
SA5-P3	B	R	4	IIb上	a a1	b	b	0.40	0.28	0.35	0.20	0.08	-	SK76	-
SA5-P4	B	R	4	IIb上	a b1	b	b	0.42	0.32	0.32	0.25	0.05	-	-	-
SA5-P5	B	R	4	IIb上	a a1	b	b	0.35	0.20	0.27	0.14	0.05	-	SK81	-
SA5-P6	B	R	4	IIb上	a a1	b	b	0.30	0.23	0.21	0.15	0.05	-	SK81	-

表14 溝状遺構一覧表(1)

遺構名	地区割り			検出面	堆積状況	断面形状	規模(m)			重複関係		出土遺物	
	大区	南北	東西				上端幅	下端幅	全長	深さ	新	旧	
SD1	B	C	5	IIb上	a a1	a	0.10	0.05	0.66	0.03	-	-	P
SD2	B	C	4	IIb上	a a1	a	0.17	0.11	(1.10)	0.03	-	-	H
SD3	B	D	5	IIb上	a a1	a	0.28	0.15	3.05	0.07	-	-	H P
SD4	B	F	4	IIb上	a a1	a	0.12	0.05	1.65	0.04	-	-	H P
SD5	B	F	4	IIb上	a a1	a	0.16	0.05	2.78	0.06	-	-	H P
SD6	B	H	4 5	IIb上	a a1	a	0.65	0.49	(5.88)	0.05	-	-	H
SD7	B	I	5	IIb上	a b1	a	0.42	0.29	2.64	0.05	-	-	H
SD8	B	J	3 4 5	IIb上	c a1	c	1.00	0.47	(4.27)	0.29	SK18 SK19 SK20 SK23	S110 S110-P3-壁際溝 SD36 SP22 SK164 SK166 SK407	H P R

表15 溝状造構一覧表（2）

造構名	地区別り		検出面	堆積状況	規模(m)				重複関係		出土遺物
	南北	東西			上端幅	下端幅	全長	深さ	新	旧	
SD9	B J K	3 4 5	IIb上	a c al	0.21 0.27 0.14	0.15 0.18 -	7.06 (2.55) -	0.12 0.06 0.12	SK24	SD10 SK38	H P
SD10	B J K	5	IIb上	a b al	0.40 0.68 1.44	0.18 0.52 1.08	(12.50) -	0.06 0.07 0.10	SD9 SD12 SK39	-	H P T D
SD11	B K	3 4	IIb上	a b al	0.68 0.91 1.44	0.52 0.68 1.08	(12.50) 10.15 -	0.06 0.08 0.08	SD12	SD55 SK27	H P Y
SD12	B K	4 5	IIb上	e b el	0.91 1.20	0.68 0.51	10.15 -	0.08 0.17	SK37	SD11 SD55 SK35 SK38	H P Y
SD13	B O	1	IIb上	a b al	0.37 1.00	0.26 0.88	- (4.92)	0.09 0.12	-	-	H
SD14	B O	1	IIb上	a b al	0.46 1.10	0.29 0.88	- (4.92)	0.06 0.12	-	-	H
SD15	A O	20	IIb上	a b al	0.35 0.68	0.20 0.18	- 2.70	0.06 0.10	-	-	H P
SD16	B O	2	IIb上	a b al	0.38 0.68	0.18 0.18	2.70 -	0.08 0.08	-	SI13 SI13-P2 SK440	H P
SD17	B R	4 5	IIb上	a b al	0.51 1.20	0.37 0.51	6.97 -	0.06 0.17	SP1	SK295 SK298	H
SD18	B T	5	IIb上	a b al	0.24 1.10	0.15 0.88	1.53 (4.92)	0.05 0.12	SK404	SK336	-
SD19	C A	3 4	IIb上	a b al	1.14 1.44	0.98 0.98	- 0.08	0.08 0.08	SK94	SK95 SK101	H
SD20	B O	17 18 19 20	IIb上	b b al	1.17 1.84 1.46	0.98 0.90 1.19	11.89 -	0.04 0.07	-	SK121 SK118	H P R
SD21	B P	20	IIb上	a b al	0.16 0.16	0.10 2.37	2.37	0.07	-	-	-
SD22	B D E	5	Va上	u a al	(4.30) (1.28)	0.48 0.26	(4.10) (1.38)	0.10 0.06	SK130	S13 S13-P2-P3 S14	H
SD23	B G	4	Va上	a al	(1.28)	0.26	(1.38)	0.06	-	-	H
SD24	B H	4 5	Va上	a al	0.50	0.33	(6.44)	0.07	-	S18 S18-P3-P6-壁際構 S19 S19-P1-P5 SD29	H P
SD25	B H	4 I	Va上	a al	0.52	0.37	(1.57)	0.07	-	S19	H
SD26	B H	4 I	Va上	a al	0.35	0.22	(3.18)	0.04	-	S19 S19-壁際構 SK144 SK145	H
SD27	B H	4	Va上	a b al	0.57	0.41	3.57	0.10	-	S19 S19-P4-P6-P7+ P9-壁際構	H
SD28	B H	4	Va上	a al	0.32	0.23	2.48	0.05	-	S18 S19 S19-P8	-
SD29	B H	4	Va上	a b al	0.60	0.48	4.21	0.07	SD24	S18-S8-壁際構 S19 S19-P8-壁際構	H P
SD30	B H I	4 5	Va上	a b al	0.52 (0.38)	0.52 (3.43)	0.05	SK157	SK153	-	
SD31	B I	4	Va上	a al	0.33	0.20	2.48	0.06	-	SB1-P4	H
SD32	B I	4	Va上	a al	0.34	0.23	2.58	0.04	-	SB1-P2 SD34	H
SD33	B I	4	Va上	a al	0.25	0.17	2.53	0.03	SK155	SB1-P2 SD34	-
SD34	B H I	4	Va上	c a al	(3.43)	0.76	(3.34)	0.09	SB1-P2 SD33 SK155 SK156	SB1-P1	H P R
SD35	B I	4 5	Va上	a al	0.23	0.13	3.12	0.04	-	-	-
SD36	B I J	4 5	Va上	a al	0.45	0.30	(5.30)	0.05	SD8 SK23 SK162	S110 S110-P2-P13+ P17-P20 SK164	H P
SD37	B J	4	Va上	a al	0.50	0.36	(3.35)	0.07	SD38	S110 S110-P1-P11+ P12 SB1-P3 SK159	H P
SD38	B J I	4 5	Va上	a al	0.40	0.24	4.11	0.12	-	S110 S110-P2-P11+ P12-P21 SD37 SK160 SK163	H P
SD39	B J	4	Va上	a al	0.25	0.16	5.02	0.05	SK155	SK160 SK161 SK163	H
SD40	B J	4 5	Va上	a al	0.43	0.26	4.06	0.08	SK409	SP23	H
SD41	B J K	3 4 5	Va上	a al	0.26	0.15	7.84	0.11	-	S110 S110-P14	H P
SD42	A B	0 1 P 2	Vb上	c a al	0.44	0.16	(9.85)	0.25	SI12 SI13 SI13-P4+ P8	-	-
SD43	B O	1	Vb上	c a al	0.41	0.27	(1.70)	0.19	SI12 SI12-カマド	-	-
SD44	B P	0 2 3	Vb上	a al	0.66	0.52	3.06	0.05	SD45 SK232	-	H
SD45	A B	0 1 P 2 3 4	Vb上	b a al	1.45 2.42	0.52 0.86	17.80 -	0.61 0.35	SK43 SK264 SK401 SK402	SI12 SK211 SK213 SK261 SK411	H P Y R
SD46	B P	0 4 5	Vb上	a a al	0.57 0.46 0.58	0.38 0.24 0.38	4.83 -	0.10 0.08 0.11	SD45	S115-カマド SD47 SP18 SK260 SK261 SK262	H P

表16 溝状遺構一覧表（3）

遺構名	地区割り				検出面	堆積状況	断面形状	規模(m)				重複関係		出土遺物
	大区	南北	東西	画				上端幅	下端幅	全長	深さ	新	旧	
SD47	B	O	4	Vb上	a	a1	0.73	0.53	6.41	0.04	SD46 SK264	SI15 SI15-カマク SK261 SK262	H P	
SD48	B C	S T A	3 4 5	Vb上	c	e1	2.04	0.30	11.80	0.64	SK91 SK97 SK337	SK322 SK323 SK333 SK342 SK422	H P W	
SD49	B	O	13 14	Vb上	c	b1	(2.40)	0.65	(2.40)	0.14		SK426	H	
SD50	B	O	13 14 15 16 17 18	Vb上	c	a1	0.70	0.27	26.60	0.34		SI19 SI19-P4・煙露 溝 SD52 SK356 SK373 SK374 SK385 SK388 SK389 SK390 SK427 SK430 SK455	H P	
SD51	B	O	17 18 19 20	Vb上	c	a1	1.12	0.34	-	0.42		SI19 SI19-P2-P4 P5-P6-P7-P8・壁際溝 S120 S120-P1-P3 P4-P5 SB6-P4 S054 SK381 SK392 SK393 SK394 SK395 SK430 SK431 SK432 SK445 SK446 SK447	H P K Y T D R S	
SD52	B	O	17 18 19	Vb上	c	a1	1.88	0.11	(14.20)	0.50		SI19 SI19-P2-P4 SK388 SK390 SK455	H P S	
SD53	B	O	18 19	Vb上	c	a1	1.76	0.08	-	0.47		SD54 SK381 SK384 SK385 SK391 SK392 SK430	H P	
SD54	B	O	18 19	Vb上	c	a1	1.83	0.15	-	0.44	SK121 SK118 SK114			
SD55	B	K	17 18 19	Vb上	c	a1	2.60	0.10	-	0.49				
SD56	B	C	17 18 19	Vb上	c	a1	1.86	0.10	-	0.47				
SD57	B	D	4	Va上	a	a1	0.41	0.18	(10.56)	0.36	SD50	SI19 SI19-壁際溝 SK388 SK390 SK455	H P S	
SD58	B	D	5	Va上	a	b1	(0.42)	(0.18)	-	0.27				
SD59	B	E	4	Va上	a	a1	0.42	0.18	(7.46)	0.06	SD11 SD12			
SD60	B	F	4	Va上	a	a1	0.46	0.26	(3.09)	0.12	SD53 SK114 SK384	SD53 SK114 SK384	H P	
SD61	B	G	4	Va上	a	a1	0.46	0.26	(1.68)	0.06	SK392	SK392	H P	
SD62	B	H	4	Va上	a	a1	0.30	0.21	(2.50)	0.09	SK127 SK128 SK132	SK435	H P	

表17 土坑一覧表（1）

遺構名	地区割り				検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	規模(m)				重複関係		出土遺物	
	大区	南北	東西	画					上端	下端	長軸長	短軸長	長軸方位	新	旧	
SK1	B	C	5	IIb上	c	a1	a	a	0.42	(0.40)	0.22	0.22	0.15	-	-	-
SK2	B	C	5	IIb上	c	c1	a	b	0.39	0.38	0.10	0.05	0.18	-	-	P
SK3	B	D	4	IIb上	a	a1	b	b	0.61	0.30	0.50	0.20	0.04	N 3° W	-	P
SK4	B	D	4	IIb上	a	b1	a	a	0.35	0.32	0.26	0.22	0.04	-	-	P
SK5	B	D	4	IIb上	a	a1	a	a	0.48	(0.46)	0.36	0.31	0.08	-	-	H
SK6	B	D	4	IIb上	a	a1	a	a	0.46	0.41	0.28	0.26	0.10	-	-	H
SK7	B	E	4	IIb上	a	a1	a	a	0.44	0.43	0.31	0.30	0.06	-	-	H P
SK8	B	F	5	IIb上	a	a1	a	a	0.31	0.30	0.21	0.20	0.03	-	-	H
SK9	B	G	4	IIb上	a	a1	a	a	1.00	(0.76)	0.90	(0.71)	0.05	-	-	H
SK10	B	G	4	IIb上	a	a1	b	b	0.59	0.12	0.50	0.08	0.04	N 1° W	-	H
SK11	B	G	4	IIb上	a	a1	b	b	2.29	0.71	2.18	0.56	0.06	N 3° E	-	H P
SK12	B	G	4	IIb上	a	a1	a	a	0.25	0.22	0.16	0.16	0.04	-	-	-
SK13	B	G	4	IIb上	a	a1	b	b	0.51	0.13	0.45	0.08	0.03	N 82° E	-	H
SK14	B	K	5	IIb上	a	a1	a	a	0.23	0.20	0.15	0.13	0.04	-	-	-
SK15	B	I	4	IIb上	a	a1	a	b	0.50	0.31	0.42	0.21	0.03	N 66° W	-	H
SK16	B	J	4	IIb上	a	a1	a	a	0.48	0.42	0.30	0.26	0.08	-	-	P
SK17	B	J	5	IIb上	c	a1	e	e	1.88	0.56	1.68	0.26	0.14	-	-	SK23
SK18	B	J	4	IIb上	b	a1	a	a	0.43	0.40	0.32	0.29	0.14	-	SK19	SB8
SK19	B	J	4	IIb上	c	a1	a	a	0.50	0.45	0.32	0.32	0.12	-	-	S110 SD8 SK18
SK20	B	J	4	IIb上	c	a1	a	a	0.36	0.32	0.26	0.22	0.12	-	-	S08
SK21	B	J	5	IIb上	b	a1	a	a	0.36	0.34	0.24	0.20	0.14	-	-	SK23
SK22	B	J	5	IIb上	b	a2	a	a	0.40	0.38	0.28	0.26	0.20	-	-	SK23

表18 土坑一覧表(2)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	底面形状	規模(m)				長軸方位	重複関係		出土遺物							
	大区	南北						上端		下端			新	既								
								長軸長	短軸長	長軸長	短軸長											
SK23	B	J	5	IIb上	e	a1	b	b	1.96	1.34	(1.70)	0.88	0.20	N 89° E	SK17 SK21 SK164 SK165 SK22 SK409	H P						
SK24	B	J	3	IIb上	a	a1	b	b	0.90	0.48	(0.84)	0.36	0.06	N 76° W	-	SD9	H					
SK25	B	K	4	IIb上	a	a1	a	a	0.36	0.36	0.24	0.22	0.06	-	-	-	H P R					
SK26	B	K	4	IIb上	c	a1	a	a	0.40	0.40	0.24	0.22	0.14	-	-	-	S					
SK27	B	K	4	IIb上	a	a1	a	a	0.54	0.49	0.41	0.36	0.06	-	SD11	H P						
SK28	B	K	4	IIb上	a	a1	a	a	0.29	0.29	0.16	0.16	0.07	-	-	-	H P					
SK29	B	K	4	IIb上	a	a1	b	b	0.60	0.48	0.45	0.35	0.07	N 81° W	-	SK30 SK31	H P R					
SK30	B	K	4	IIb上	a	a1	a	a	0.32	(0.28)	0.24	0.20	0.06	-	SK29	SK32	H					
SK31	B	K	4	IIb上	b	f4	b	b	0.62	(0.40)	0.46	0.28	0.12	N 54° W	SK29	-	H					
SK32	B	K	4	IIb上	a	a1	e	e	(1.30)	0.52	(1.25)	0.36	0.10	-	SK29 SK30 SK33	SK35	H P					
SK33	B	K	4	IIb上	c	c1	b	b	0.46	(0.34)	0.26	(0.22)	0.18	N 66° E	SK34	SK32	P					
SK34	B	K	4	IIb上	a	a1	a	a	0.64	0.58	0.46	0.41	0.10	-	-	SK33	H P					
SK35	B	K	4	IIb上	a	a1	e	e	(0.88)	0.30	(0.88)	0.18	0.06	-	SD12 SK32	SK36	H P					
SK36	B	K	4	IIb上	a	c1	a	a	0.19	0.16	0.10	0.07	0.10	-	SK35	-	-					
SK37	B	K	4	IIb上	c	e1	b	b	0.45	0.36	0.26	0.16	0.14	N 9° E	-	SD12	H P					
SK38	B	K	5	IIb上	a	e	e	e	(0.63)	(0.55)	(3.63)	-	-	-	SD9 SD12	-	H P D					
SK39	B	K	5	IIb上	a	b1	a	a	0.42	(0.40)	(0.32)	0.32	0.04	-	-	SD10	H P					
SK40	B	K	3	IIb上	a	a1	a	a	0.30	0.28	0.18	0.16	0.07	-	-	-	H P					
SK41	B	O	1	IIb上	a	a1	b	b	0.78	(0.30)	(0.61)	(0.21)	0.11	N 89° E	-	SP11	H P					
SK42	B	O	1	IIb上	a	a1	a	a	0.53	0.53	0.28	0.27	0.12	-	-	-	H					
SK43	B	P	1	IIb上	a	a1	a	a	0.45	0.41	0.32	0.28	0.06	-	-	SD45	-					
SK44	B	P	1	IIb上	a	a1	b	b	0.42	0.30	0.30	0.20	0.05	N 6° W	-	-	-					
SK45	B	P	2	IIb上	a	c1	a	a	0.50	0.40	0.32	0.30	0.10	N 73° E	-	SK46	-					
SK46	B	P	2	IIb上	a	b1	e	e	(0.72)	0.22	(0.66)	0.12	0.10	-	SK45	-	-					
SK47	B	O	3	IIb上	b	a1	b	a	(0.50)	0.50	(0.40)	0.30	0.20	-	-	SK248	-					
SK48	B	O	4	IIb上	b	a1	a	b	0.74	(0.65)	(0.58)	0.37	0.19	-	-	-	H P					
SK49	B	O	4	IIb上	a	a1	b	a	0.41	0.32	0.22	0.19	0.15	N 3° W	-	-	H					
SK50	B	O	4	IIb上	a	a1	b	a	0.49	0.30	0.20	0.20	0.10	N 83° E	-	-	H					
SK51	B	O	4	IIb上	b	a1	b	b	1.20	0.90	0.90	0.72	0.21	N 54° W	-	-	H					
SK52	B	O	4	IIb上	c	b1	a	a	0.90	0.90	(0.80)	0.80	0.20	-	-	-	-					
SK53	B	P	4	IIb上	e	b1	c	c	(0.95)	0.90	(0.83)	0.70	0.22	-	-	SK273	H P					
SK54	B	P	5	IIb上	c	a1	b	b	(1.40)	0.90	(1.02)	0.78	0.18	N 3° W	-	SK55	-					
SK55	B	P	5	IIb上	b	a1	a	a	1.21	(1.16)	1.02	0.88	0.16	-	SK54	-	-					
SK56	B	Q	3	IIb上	a	a1	a	a	0.43	0.40	0.35	0.30	0.09	-	-	SK57	-					
SK57	B	Q	3	IIb上	c	a1	a	a	(0.24)	0.24	0.06	0.05	0.12	-	-	SK56	-					
SK58	B	Q	4	IIb上	b	b1	b	b	(0.57)	0.45	(0.50)	0.35	0.08	N 52° W	-	SI15	-					
SK59	B	Q	4	IIb上	a	b1	a	a	0.48	0.42	0.36	0.32	0.08	-	-	SK63	-					
SK60	B	Q	4	IIb上	a	a1	a	b	0.50	(0.43)	0.10	0.05	0.12	-	-	SK413	S115 S115-壁際溝					
SK61	B	Q	4	IIb上	b	a1	a	a	0.48	0.45	0.35	0.31	0.11	-	-	-	-					
SK62	B	Q	4	IIb上	a	a1	b	a	0.33	0.30	0.31	0.22	0.04	-	-	-	-					
SK63	B	Q	4	IIb上	b	b1	b	b	0.67	0.23	0.53	0.25	0.10	N 9° E	-	SK59	H					
SK64	B	Q	4	IIb上	a	a1	b	b	0.48	0.20	0.40	0.18	0.05	N 6° W	-	-	-					
SK65	B	Q	4	IIb上	a	a1	b	b	0.29	0.23	0.24	0.17	0.05	N 27° W	-	-	-					
SK66	B	Q	4	IIb上	a	b1	a	a	0.37	0.31	0.28	0.20	0.03	-	-	-	-					
SK67	B	Q	4	IIb上	a	a1	a	a	0.46	0.37	0.40	0.25	0.05	-	-	-	H					
SK68	B	Q	5	IIb上	a	b1	a	a	0.27	(0.20)	(0.15)	0.13	0.07	N 24° W	-	-	-					
SK69	B	Q	4	IIb上	a	a1	a	a	0.38	0.35	0.25	0.23	0.06	-	-	-	-					
SK70	B	Q	4	IIb上	a	a1	a	a	0.40	0.37	0.29	0.27	0.06	-	-	-	-					
SK71	B	Q	4	IIb上	a	a1	b	b	0.76	0.55	0.66	0.40	0.10	N 78° E	-	-	-					
SK72	B	Q	4	IIb上	a	b1	a	a	0.66	0.59	0.55	0.44	0.08	-	-	-	-					
SK73	B	Q	5	IIb上	a	a1	a	a	0.77	(0.70)	(0.60)	0.57	0.08	-	-	-	-					
SK74	B	R	4	IIb上	a	a1	a	a	0.34	0.30	0.24	0.22	0.10	-	-	-	-					
SK75	B	R	5	IIb上	a	a1	a	a	0.37	0.35	0.30	0.30	0.05	-	-	-	-					
SK76	B	R	4	IIb上	c	a1	b	b	0.79	0.60	0.58	0.31	0.10	N 98° W	SA5-P2・P3	-						
SK77	B	R	4	IIb上	a	b1	b	b	0.52	0.40	0.38	0.27	0.05	N 62° E	-	-	-					
SK78	B	R	5	IIb上	a	a1	a	a	0.42	0.40	0.32	0.31	0.07	-	-	-	-					
SK79	B	R	4	IIb上	b	a1	a	a	0.50	0.43	0.24	0.24	0.14	-	-	-	-					
SK80	B	R	4	IIb上	a	a1	a	a	0.44	0.43	0.30	0.26	0.06	-	-	-	-					
SK81	B	R	4	IIb上	a	a1	b	b	(0.65)	0.45	0.45	0.33	0.10	N 58° E	SA5-P5・P6	-						
SK82	B	R	4	IIb上	a	a1	a	a	0.45	0.40	0.45	0.39	0.10	-	-	-	-					

表19 土坑一覧表（3）

遺構名	地区割り			検出面	堆積状況	断面形状	底面形状	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物			
	南北		東西					上端			下端				新	旧				
	大	小	中					長軸長	短軸長	長軸長	短軸長									
SK83	B	R	4	IIb上	b	a1	a	0.65	0.63	0.51	0.48	0.13	-	-	-	-	-			
SK84	B	R	4	IIb上	a	b1	a	0.50	0.50	0.40	0.37	0.05	-	-	-	-	-			
SK85	B	R	5	IIb上	b	a1	b	0.70	(0.53)	0.46	0.30	0.11	N 12° W	SK297	-	-	-			
SK86	B	R	5	IIb上	a	a1	b	0.62	(0.30)	0.45	0.28	0.10	N 23° W	-	-	-	-			
SK87	B	S	3	IIb上	a	a1	a	0.62	0.60	0.48	0.41	0.10	-	-	-	-	-			
SK88	B	T	4	IIb上	a	a1	a	0.90	0.90	0.79	0.74	0.05	-	-	-	-	-			
SK89	B	T	4	IIb上	a	b2	b	0.42	0.37	0.36	0.25	0.05	-	-	-	-	-			
SK90	B	T	4	IIb上	a	a1	a	0.46	0.45	0.32	0.32	0.05	-	-	-	-	-			
SK91	B	T	4	IIb上	a	a1	b	2.36	1.00	1.87	0.78	0.05	N 17° W	-	SD48 SK318	H				
SK92	B	T	5	IIb上	a	a1	b	0.60	0.48	0.45	0.40	0.05	N 80° W	-	-	-	-	-		
SK93	C	A	4	IIb上	c	a1	a	1.03	0.96	0.79	0.56	0.15	-	-	SK95 SK338	-	-			
SK94	C	A	4	IIb上	a	b1	a	0.40	0.40	0.24	0.20	0.10	-	-	SK339 SK340	-	-			
SK95	C	A	4	Vb上	b	b1	e	1.45	(1.05)	(1.27)	(1.05)	0.10	-	SD19 SK93	-	-	-			
SK96	C	A	4	IIb上	a	a1	a	0.26	0.22	0.17	0.14	0.08	-	-	SK94	-	-			
SK97	C	A	5	IIb上	c	b1	b	0.48	0.37	0.30	0.24	0.15	N 45° W	-	SD48	-	-			
SK98	C	A	5	IIb上	c	a1	b	0.43	0.32	0.26	0.25	0.12	N 39° W	-	-	-	-	-		
SK99	C	A	5	IIb上	a	a1	b	0.37	0.37	0.25	0.20	0.10	-	-	-	-	-			
SK100	C	A	5	IIb上	a	a1	a	0.35	0.31	0.19	0.16	0.13	-	-	-	-	-			
SK101	C	A	4	IIb上	c	b1	b	0.97	(0.64)	0.83	(0.56)	0.09	N 82° W	SD19	-	H	-			
SK102	C	B	5	IIb上	b	d1	a	0.45	0.42	0.31	0.25	0.08	-	-	-	-	-			
SK103	C	B	5	IIb上	a	a1	a	0.81	0.74	0.65	0.65	0.07	-	-	SK104 SK105	-	-			
SK104	C	B	5	IIb上	c	a1	a	0.37	(0.35)	0.15	0.14	0.12	-	SK104 SK405	-	H	-			
SK105	C	B	5	IIb上	a	a1	a	0.75	(0.72)	(0.61)	0.58	0.10	-	SK103	-	H	-			
SK106	C	C	4	IIb上	a	a1	b	11.70	0.60	(1.60)	0.48	0.07	N 4° E	-	-	-	-	-		
SK107	C	D	4	IIb上	a	a1	a	0.41	0.40	0.30	0.27	0.14	-	-	-	-	-			
SK108	C	D	4	IIb上	a	a1	a	0.55	0.53	0.38	0.38	0.10	-	-	-	-	-			
SK109	C	D	5	IIb上	b	b1	b	1.30	(0.54)	0.75	(0.30)	0.16	N 1° E	-	-	H	-	-		
SK110	B	O	18	IIb上	b	a1	b	0.71	(0.35)	0.27	(0.15)	0.20	N 74° W	-	-	H	-	-		
SK111	B	O	18	IIb上	a	c2	a	0.16	0.15	0.03	0.03	0.27	-	-	-	-	-			
SK112	B	P	18	IIb上	a	a1	b	0.57	0.46	0.23	0.21	0.14	N 42° W	-	SK386 SK430	-	-			
SK113	B	P	18	IIb上	a	a1	b	0.89	0.47	0.70	0.25	0.07	N 55° W	-	-	-	-	-		
SK114	B	O	18	IIb上	b	b1	a	1.16	1.01	0.80	0.76	0.15	-	-	SD53 SD54	-	-			
SK115	B	O	19	IIb上	a	a1	a	0.35	0.32	0.10	0.08	0.11	-	-	SK391	-	-			
SK116	B	P	19	IIb上	a	b1	a	0.91	0.86	0.64	0.60	0.11	-	-	-	-	-			
SK117	B	O	19	IIb上	a	a1	a	0.58	(0.56)	(0.40)	0.36	0.08	-	-	-	-	-			
SK118	B	P	19	IIb上	c	a1	b	1.95	(1.52)	1.19	0.70	0.16	N 26° W	SD20	-	H	-	-		
SK119	B	N	20	IIb上	a	b1	b	1.55	(0.69)	(1.33)	(0.46)	0.16	N 71° E	-	SB6-P6	-	-			
SK120	B	O	20	IIb上	c	b1	b	0.64	(0.33)	(0.50)	(0.12)	0.14	N 80° E	SK119	-	-	SK120 SK396	-		
SK121	B	O	20	IIb上	b	b1	b	0.90	0.72	(0.77)	0.52	0.14	N 38° E	SD20	SI20 SD51	-	-	-		
SK122	B	O	20	IIb上	a	a1	a	0.35	0.35	0.25	0.25	0.07	-	-	-	-	-			
SK123	B	O	20	IIb上	a	b1	a	0.42	0.35	0.30	0.24	0.08	-	-	-	-	-			
SK124	B	I	4	Va上	c	a1	e	0.84	(0.42)	(0.44)	(0.20)	0.32	-	SK162	-	-	-	-	-	
SK125	B	B	4	Va上	c	b1	b	0.85	0.50	0.50	0.37	0.20	N 82° E	-	SI11	-	-	-		
SK126	B	D	5	Va上	a	a1	b	0.62	(0.47)	0.36	(0.28)	0.25	N 1° W	-	SI11-壁際溝	-	-	-		
SK127	B	E	4	Va上	a	b1	d	5.40	(3.22)	5.08	3.14	0.14	N 17° W	SK128	S14 S14-壁際溝	H P	-	-		
SK128	B	E	4	Va上	c	b1	b	2.56	(1.64)	2.32	(1.36)	0.20	N 6° W	-	SK127	H P	-	-	-	
SK129	B	E	4	Va上	a	a1	b	2.12	1.62	1.80	1.16	0.18	N 80° E	-	SK130	H S	-	-	-	
SK130	B	E	5	Va上	c	b1	e	2.95	(2.63)	2.62	2.24	0.21	-	SK129	SI22 SK131	H	-	-	-	
SK131	B	E	5	Va上	a	b1	a	0.76	0.70	0.57	0.50	0.11	-	SK130	-	H P	-	-	-	
SK132	B	F	4	Va上	c	e1	a	1.22	1.08	0.70	0.62	0.50	-	SK127	SK435 SK436	H P	-	-	-	
SK133	B	F	4	Va上	c	b1	b	3.82	(2.60)	3.11	(1.82)	0.16	N 34° W	S15 S15-P1	SP3 SK134	S16 SP2	H P	-		
SK134	B	F	4	Va上	a	a1	b	0.36	(0.30)	0.18	(0.14)	0.14	-	-	SK133	H	-	-	-	-

表20 土坑一覧表(4)

遺構名	地区割り				検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	底面形状	規模(m)				長軸方位	重複関係		出土遺物								
	大区画		南北							上端		下端			新										
	東	西	a	b						c	d	e	f		i	j									
SK135	B	G	4	Va上	a	a	c1	a	b	0.38	0.32	0.18	0.10	0.27	-	-	Sk136	H							
SK136	B	G	4	Va上	a	a	a1	a	a	0.40	0.35	0.19	0.19	0.16	-	-	Sk135	H							
SK137	B	G	4	Va上	b	b1	a	a	a	0.77	0.73	0.60	0.56	0.18	-	S16 S17 S17-カマド	-	H							
SK138	B	G	4	Va上	c	c1	b	b	(0.61)	0.39	0.28	0.15	0.16	N 42° W	S16 S18	-	-								
SK139	B	H	4	Va上	a	a1	e	e	e	0.76	(0.28)	(0.60)	(0.18)	0.17	-	S18	S19-カマド	-							
SK140	B	G	4	Va上	a	a1	e	e	e	0.95	(0.26)	0.50	(0.08)	0.14	-	S18 SK139	S19-カマド	H							
SK141	B	H	5	Va上	a	a1	b	b	b	0.84	0.61	0.69	0.46	0.08	N 59° E	-	S18 S19	S19-壁際構							
SK142	B	H	4	Va上	c	b2	a	a	(0.57)	0.55	0.45	0.38	0.32	-	S18 S19	-	H								
SK143	B	D	4	Va上	b	b1	d	d	(3.22)	(1.70)	(2.81)	(1.28)	(0.24)	-	S13 S14	SD66 SD67 SK383 SK448 SK442	-	-							
SK144	B	H	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.45	0.44	0.28	0.26	0.10	-	SD26	S19 S19-壁 壁構 SK145	-	-						
SK145	B	H	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.30	(0.28)	(0.24)	0.24	0.06	-	SD26 SK144	S19 S19-壁 壁構	-	-						
SK146	B	H	4	Va上	a	a1	e	e	e	0.45	0.33	1.05	-	0.06	-	-	S19 S19-P8- 壁構	-	-						
SK147	B	H	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.51	0.49	0.34	0.31	0.06	-	-	S19 S19-壁 壁構	-	-						
SK148	B	I	4	Va上	a	a1	b	b	b	0.38	0.30	0.20	0.15	0.12	N 2° E	-	-	-	-						
SK149	B	H	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.45	0.43	0.37	0.30	0.06	-	-	-	-	-						
SK150	B	H	4	Va上	a	a1	b	b	b	0.71	0.58	0.55	0.40	0.07	-	-	-	-	H						
SK151	B	I	4	Va上	c	a1	b	b	b	0.45	0.35	0.30	0.22	0.12	N 89° W	-	-	-	H						
SK152	B	H	4	Va上	a	b1	b	b	b	0.65	0.50	0.48	0.32	0.08	N 9° E	-	S19 S19-壁 壁構	H	-						
SK153	B	H	5	Va上	a	b1	a	b	b	0.57	(0.46)	0.43	0.33	0.09	-	SD30	-	-	-	-					
SK154	B	H	5	Va上	c	c1	a	a	(0.38)	0.32	0.08	0.08	0.22	-	-	-	-	H	-						
SK155	B	I	4	Va上	a	a1	e	e	e	(1.75)	1.25	(1.20)	1.10	0.06	-	-	SD1-P1 SD33 SD34 SD39 SK156	-	-	-					
SK156	B	I	4	Va上	a	b1	a	a	a	0.62	0.62	0.50	0.48	0.06	-	SK155	SD34	H	-						
SK157	B	I	5	Va上	a	b1	a	a	a	0.72	(0.63)	0.56	(0.52)	0.08	-	-	SD30	H P	-	-					
SK158	B	I	5	Va上	a	a1	a	a	a	0.65	0.57	0.46	0.38	0.12	-	-	-	-	H	-					
SK159	B	I	4	Va上	c	a2	a	a	a	0.55	(0.49)	0.32	0.26	0.29	-	SD37	S110 S110- 壁構	-	-	-					
SK160	B	J	4	Va上	c	a1	a	b	b	1.22	1.06	0.68	0.45	0.66	-	S110 SD38 SD39 SK161	S110-P11- P21-壁構 SK163	H P	-						
SK161	B	J	5	Va上	a	a1	a	a	a	0.34	0.33	0.22	0.18	0.05	-	SD39	SK160	-	-	-					
SK162	B	I	4	Va上	a	a1	e	e	e	3.40	3.39	1.61	1.40	0.11	-	-	S110 S110- P5-P10-P15- P16-P19 SB1-P4 SD36 SK124	H P	-	-					
SK163	B	J	5	Va上	a	a1	a	b	b	(0.73)	0.62	(0.63)	0.47	0.09	-	S110 SD38 SD39 SK160	-	-	-	-					
SK164	B	J	4	Va上	a	b1	b	b	b	(0.84)	(0.59)	(0.63)	(0.47)	0.13	N 52° W	SD36 SK23 SK166	-	-	-	-					
SK165	B	J	5	Va上	c	b1	a	b	b	0.68	0.55	0.54	0.40	0.12	-	SK23 SK409	-	-	-	-					
SK166	B	J	5	Va上	e	a1	b	b	b	0.59	0.45	0.40	0.31	0.18	N 72° E	SD8 SK23 SK164	-	-	-	-					
SK167	B	K	3	Va上	c	a1	a	a	a	0.40	(0.40)	0.26	(0.24)	0.13	-	-	-	-	-	-					
SK168	B	K	4	Va上	c	a2	a	a	a	0.33	0.30	0.21	0.20	0.16	-	-	-	-	-	-					
SK169	B	K	4	Va上	a	b1	b	b	b	0.52	0.21	0.40	0.18	0.04	N 9° W	-	-	-	H P	-					
SK170	B	K	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.31	0.28	0.06	0.06	0.12	-	-	-	-	P	-					
SK171	B	K	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.30	0.25	0.16	0.15	0.07	-	-	-	-	-	-					
SK172	B	K	4	Va上	c	a1	a	a	a	0.25	0.23	0.13	0.12	0.11	-	-	-	-	-	-					
SK173	B	K	4	Va上	b	a2	a	a	a	0.33	0.30	0.18	0.18	0.17	-	-	-	-	-	-					
SK174	B	K	4	Va上	c	a1	c	a	a	0.38	0.37	0.24	0.22	0.25	-	-	-	-	-	-					
SK175	B	K	4	Va上	a	a1	a	a	a	0.33	0.30	0.18	0.17	0.11	-	-	-	-	-	-					
SK176	B	K	4	Va上	c	a1	a	a	a	0.32	0.30	0.21	0.21	0.11	-	-	-	-	-	-					
SK177	B	K	4	Va上	a	a1	b	b	b	0.74	0.36	0.61	0.25	0.07	N 20° E	-	-	-	-	-	-				
SK178	B	K	5	Va上	a	a1	b	b	b	0.56	(0.31)	0.45	(0.25)	0.07	N 16° E	-	-	-	H P	-	-				
SK179	B	K	4	Va上	c	a1	b	b	b	0.45	0.36	0.24	0.24	0.19	N 59° W	-	-	-	-	-	-				

表21 土坑一覧表(5)

遺構名	地区割り			検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	底面形状	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物
	南北		東西						上端			下端				新	旧	
	大	小	中						長軸長	短軸長	長軸長	短軸長	長軸長	短軸長	深さ	新	旧	
SK180	B	K	2 3	Va上	c	a1	a	a	0.72	(0.64)	(0.57)	(0.47)	0.20	-	SB2-P5 SK181	-	-	
SK181	B	K	2 3	Va上	c	a1	b	b	0.60	(0.41)	0.45	0.30	0.30	N 39° W	-	SK180	H	
SK182	B	L	2	Va上	a	b1	b	b	0.30	(0.15)	(0.20)	(0.10)	0.10	N 80° E	-	-		
SK183	B	K	3 4	Va上	b	a1	a	a	0.32	0.33	0.19	0.16	0.14	-	-	-	-	
SK184	B	K	3	Va上	c	a1	a	a	0.50	0.47	0.25	0.25	0.20	-	-	-	-	
SK185	B	L	3	Va上	b	b1	b	b	0.35	(0.12)	0.25	(0.08)	0.10	N 81° E	-	-		
SK186	B	K	3	Va上	c	a1	b	b	0.28	(0.20)	0.23	(0.14)	0.13	N 60° W	SB2-P3	-	-	
SK187	B	K	3	Va上	c	a1	a	b	0.43	0.36	(0.31)	0.22	0.21	-	SP6	-	-	
SK188	B	K	3	Va上	c	c1	a	a	0.28	(0.25)	0.16	0.16	0.13	-	SK190	SK189		
SK189	B	K	3	Va上	c	a1	b	b	0.33	(0.22)	0.20	(0.16)	0.12	N 45° W	SK188 SK190	SK191	-	
SK190	B	K	3	Va上	c	c1	a	b	0.55	(0.50)	0.05	0.05	0.29	-	-	SK188 SK189 SK191	-	
SK191	B	K	3	Va上	c	a1	b	b	0.40	(0.22)	0.17	0.12	0.16	N 75° W	SK189 SK190	-	P	
SK192	B	K	3	Va上	c	a1	a	a	0.37	0.36	0.21	0.18	0.17	-	-	-	P	
SK193	B	K	3	Va上	c	a1	b	b	0.30	0.30	0.20	0.16	0.14	-	-	-	-	
SK194	B	K	3	Va上	c	a1	a	a	0.30	0.29	0.21	0.18	0.09	-	-	-	-	
SK195	B	K	3	Va上	c	e1	e	e	0.34	(0.29)	(0.29)	(0.23)	0.12	-	-	-	-	
SK196	B	K	4	Va上	c	b1	b	b	1.88	1.10	(1.80)	1.00	0.09	N 10° E	-	-	-	
SK197	B	K	4	Va上	c	a1	b	b	1.37	0.98	1.12	0.80	0.17	N 11° W	-	SP7 SP8	-	
SK198	A	O	20	Vb上	c	b1	a	a	0.35	(0.34)	(0.28)	(0.26)	0.12	-	SK433	-	-	
SK199	B	O	1	Vb上	b	a1	a	a	0.74	0.70	0.56	0.48	0.19	-	-	-	-	
SK200	B	O	1	Vb上	a	a1	a	a	0.74	0.70	0.44	0.40	0.13	-	-	-	-	
SK201	B	N	1	Vb上	a	a1	a	b	0.40	(0.38)	(0.32)	0.18	0.11	-	-	-	-	
SK202	A	O	20	Vb上	c	a1	a	a	0.40	0.39	0.23	0.21	0.14	-	-	SII1	-	
SK203	A	B	20 1	Vb上	a	b1	a	b	(1.04)	0.88	(0.83)	0.64	0.20	-	-	-	SK204	-
SK204	A	B	0 1	Vb上	a	a1	b	b	0.76	(0.50)	0.61	(0.44)	0.40	N 54° E	SK203	-	-	
SK205	B	O	1	Vb上	b	a1	a	a	0.61	0.59	0.42	0.42	0.21	-	-	-	SK206	-
SK206	B	O	1	Vb上	c	a1	a	a	0.63	(0.55)	0.22	0.18	0.34	-	-	-	-	SK205
SK207	A	P	20	Vb上	c	a1	e	e	(1.13)	(0.65)	0.95	(0.65)	0.43	-	SII12 SII12- P3-P4 SB42 SK208	-	H	
SK208	A	P	20	Vb上	a	a1	b	b	0.35	0.27	0.22	0.14	0.08	N 14° W	SII12-P3-P4	SK207	-	
SK209	B	O	1	Vb上	b	a1	a	a	0.53	0.52	0.41	0.38	0.06	-	-	SII12 SII12- カマド SK212	H	
SK210	B	O	1	Vb上	b	a1	b	b	0.68	0.25	0.15	0.10	0.12	N 11° W	-	-		
SK211	B	O	1	Vb上	c	a2	a	a	(0.38)	0.36	0.26	0.25	0.19	-	SD45	-	-	
SK212	B	P	1	Vb上	c	c1	b	b	0.45	0.26	0.15	0.10	0.42	N 48° E	SD45 SK209	SII12 SII12- カマド	-	
SK213	B	P	1	Vb上	c	e1	e	e	0.76	(0.28)	0.50	(0.18)	0.20	-	SD45 SK214 SK411	-	H	
SK214	B	P	1	Vb上	c	b1	a	a	0.43	0.42	0.35	0.30	0.04	-	SK411	-		
SK215	B	P	1	Vb上	c	a1	b	b	0.88	(0.58)	0.73	(0.50)	0.10	-	-	-		
SK216	B	P	1	Vb上	c	b1	d1	b	(0.76)	(0.17)	(0.20)	(0.03)	0.16	N 1° W	-	-		
SK217	B	P	1	Vb上	c	b1	a	a	0.70	0.68	0.58	0.51	0.06	-	-	-		
SK218	B	P	2	Vb上	c	b1	a	b	0.98	0.81	0.81	0.58	0.06	-	-	-		
SK219	B	O	2	Vb上	a	a1	e	e	0.57	(0.40)	(0.50)	(0.33)	0.08	-	-	SII13 SII13- P5-P6	-	
SK220	B	O	2	Vb上	c	a1	a	b	0.33	0.30	0.24	0.17	0.14	-	-	SII13	-	
SK221	B	O	2	Vb上	c	a1	b	a	0.80	(0.60)	(0.50)	0.50	0.30	N 11° E	-	SK223 SK241	-	
SK222	B	O	2	Vb上	c	c1	b	b	0.76	0.52	0.14	0.08	0.24	N 80° E	SK224	SK223	-	
SK223	B	O	2	Vb上	c	a1	a	a	0.45	0.38	0.27	0.25	0.19	-	SK221 SK222 SK224	-	-	
SK224	B	O	2	Vb上	b	a1	a	b	0.63	0.52	0.40	0.32	0.10	-	-	SK222 SK223	H	
SK225	B	O	2	Vb上	a	a1	a	a	0.93	0.93	0.75	0.70	0.08	-	SD45	-		
SK226	B	O	2	Vb上	c	a1	b	a	0.82	(0.60)	0.55	0.48	0.18	N 80° E	SD45 SK227	-		
SK227	B	O	2	Vb上	c	a1	a	b	0.28	0.25	0.20	0.15	0.05	-	SD45	-	SK226	
SK228	B	O	2	Vb上	c	a1	a	a	0.50	(0.36)	0.38	0.27	0.08	N 78° E	SD45	-		
SK229	B	P	2	Vb上	a	a1	b	a	0.65	(0.50)	0.48	(0.40)	0.06	N 74° E	SD45	SK230	-	
SK230	B	P	2	Vb上	c	a1	b	b	0.66	0.45	0.42	0.30	0.10	N 75° E	SD45 SK229	SK231	-	
SK231	B	P	2	Vb上	a	b1	b	b	0.56	0.39	0.45	0.24	0.11	N 71° E	SD45 SK230	-	-	
SK232	B	P	2	Vb上	c	a1	b	b	1.27	0.95	(1.05)	0.70	0.19	N 36° E	SII14	SD44 SK233	-	
SK233	B	P	2	Vb上	a	c1	b	b	0.40	0.24	0.22	0.15	0.20	N 41° E	SK232 SK234	-	-	

表22 土坑一覧表(6)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	規模(m)				長軸方位	重複関係		出土遺物						
							上端		下端			新	旧							
	大南北	東西					長軸長	短軸長	長軸長	短軸長										
SK234	B	P	2	Vb上	a	b1	a	b	0.43	0.38	0.30	0.24	0.03	-	SK232	-	-			
SK235	B	P	2	Vb上	c	b1	b	a	0.50	0.40	0.30	0.30	0.20	N 3° W	-	SK237 SK114	H P			
SK236	B	P	2	Vb上	c	a2	b	a	0.40	0.30	0.20	0.20	0.20	N 14° E	-	SK237 SK114	H P			
SK237	B	P	2	Vb上	e	b1	b	b	(3.01)	(1.41)	(1.34)	(0.92)	0.54	N 30° W	SK235 SK236	S114 S114- P1-P3-P4- P10	H P R W C A			
SK238	B	Q	3	Vb上	c	b1	b	b	0.44	0.32	0.30	0.21	0.12	N 65° E	-	-	H			
SK239	B	Q	3	Vb上	c	a1	a	a	0.41	0.38	0.26	0.22	0.18	-	-	SK240 SK256	-			
SK240	B	Q	3	Vb上	c	b1	b	a	0.35	(0.25)	(0.21)	0.20	0.09	N 43° E	SK239	SK256	-			
SK241	B	0	3	Vb上	c	a1	b	b	0.88	(0.42)	(0.42)	(0.26)	0.16	N 70° E	SK221 SK242	SK243	-			
SK242	B	0	3	Vb上	b	a1	a	a	0.58	0.55	0.44	0.39	0.12	-	-	SK241 SK243	H P			
SK243	B	0	3	Vb上	a	b2	e	e	1.16	(0.57)	0.98	0.17	0.19	-	-	SK241 SK242	-			
SK244	B	0	3	Vb上	c	a1	b	0.69	(0.35)	0.45	(0.28)	0.14	N 80° W	-	SK241 SK243	-				
SK245	B	0	3	Vb上	c	a1	b	b	1.50	1.10	0.90	0.60	0.30	N 68° E	-	SK243	H			
SK246	B	0	3	Vb上	a	a1	a	a	0.47	0.42	0.40	(0.25)	0.09	-	-	-	-			
SK247	B	0	3	Vb上	a	c1	b	b	0.24	(0.17)	0.09	0.07	0.11	N 39° W	SK47 SK248	-	-			
SK248	B	0	3	Vb上	b	b1	b	a	1.00	0.80	0.52	0.43	0.41	N 38° W	SK47 SK249	-	H P R			
SK249	B	0	3	Vb上	b	b1	a	b	0.40	(0.38)	(0.30)	0.21	0.21	-	-	SK248	-			
SK250	B	0	3	Vb上	c	a1	b	a	0.52	(0.40)	(0.30)	0.30	0.20	N 7° W	-	-	-			
SK251	B	0	3	Vb上	a	a1	b	a	0.38	0.30	0.15	0.14	0.08	N 43° W	-	SK252	-			
SK252	B	0	3	Vb上	a	a1	e	e	0.92	(0.33)	(0.83)	(0.27)	0.12	-	-	SD45 SK248	-	-		
SK253	B	0	3	Vb上	c	a1	a	b	0.98	(0.90)	(0.50)	0.34	0.53	-	-	SD45 SK248	SK252 SK254	P		
SK254	B	0	3	Vb上	a	a1	e	e	0.18	(0.11)	(0.13)	0.05	0.04	-	-	SD45 SK253	-	-		
SK255	B	0	4	Vb上	a	a1	a	a	0.50	(0.44)	(0.23)	0.22	0.16	-	-	SD45	-	H P		
SK256	B	Q	2	Vb上	a	a1	e	e	1.05	(1.01)	(0.89)	(0.88)	0.12	-	-	S114 SK239	SK240	-		
SK257	B	0	3	Vb上	b	c1	a	b	0.40	(0.30)	(0.20)	0.20	0.20	N 14° E	-	-	-			
SK258	B	0	3	Vb上	a	a1	a	a	0.32	0.30	0.17	0.14	0.11	-	-	SD45 SK402	-	-		
SK259	B	P	3	Vb上	a	a1	a	a	0.35	0.33	0.25	0.22	0.07	-	-	-	-	-		
SK260	B	0	4	Vb上	c	a1	b	b	3.14	1.99	2.69	1.45	0.32	N 31° W	SD45 SD46 SP12 SK261	SK262	H P R			
SK261	B	0	4	Vb上	b	b1	b	b	(1.08)	(0.85)	(0.95)	0.62	0.25	N 8° E	SD45 SD46 SD47 SK264	SK260	H P			
SK262	B	0	4	Vb上	c	a1	a	a	0.60	(0.57)	(0.43)	0.36	0.19	-	-	SD45 SD47 SK260	-	-		
SK263	B	P	4	Vb上	c	b1	a	a	0.48	0.46	0.35	0.34	0.12	-	-	-	-	-		
SK264	B	0	4	Vb上	a	b1	a	a	0.66	0.60	0.48	0.44	0.14	-	-	SD45 SD47 SK261	-	P		
SK265	B	0	4	Vb上	a	a1	b	b	0.79	(0.55)	0.67	0.45	0.10	N 9° E	SD45	SK266	-			
SK266	B	0	4	Vb上	c	a1	a	a	0.43	(0.40)	0.33	0.27	0.10	-	-	SK265	SK267	-		
SK267	B	0	4	Vb上	a	a1	a	a	0.41	0.41	0.40	0.30	0.08	-	-	SK266	-	-		
SK268	B	0	4	Vb上	a	a1	a	b	0.47	0.45	0.40	0.32	0.05	-	-	-	-	-		
SK269	B	0	5	Vb上	c	a1	b	b	1.01	0.53	0.72	0.40	0.11	N 37° E	SK270	-	H			
SK270	B	0	4	Vb上	a	a1	a	a	0.46	0.44	0.38	0.31	0.06	-	-	SK269 SK271	-	-		
SK271	B	0	4	Vb上	a	b1	a	b	0.41	0.35	0.27	0.21	0.10	-	-	SK270	SK272	-		
SK272	B	P	4	Vb上	a	a1	a	a	0.51	0.50	0.35	0.33	0.08	-	-	SK271	SK273	-		
SK273	B	P	5	Vb上	a	a1	e	e	1.08	0.63	0.80	0.50	0.11	-	-	SK53 SK272	-	-		
SK274	B	0	5	Vb上	a	a1	a	a	0.57	0.53	0.45	0.42	0.08	-	-	SK275	-	-		
SK275	B	0	5	Vb上	a	a1	b	b	0.80	0.60	0.50	0.40	0.20	N 25° E	-	SK274	-	-		
SK276	B	0	5	Vb上	a	b1	b	b	0.37	(0.25)	0.22	0.15	0.11	N 21° W	-	-	-	-		
SK277	B	0	5	Vb上	c	a1	a	a	0.80	0.70	0.50	0.50	0.20	-	-	-	-	-		
SK278	B	P	5	Vb上	a	a1	a	a	0.43	0.42	0.30	0.28	0.08	-	-	-	-	-		
SK279	B	Q	3	Vb上	c	a1	b	b	0.35	0.25	0.21	0.16	0.10	N 12° W	-	-	-	-	-	
SK280	B	Q	3	Vb上	c	b2	b	b	0.36	0.25	0.25	0.18	0.07	N 25° W	-	-	-	-	-	
SK281	B	Q	3	Vb上	a	a1	a	a	0.36	0.32	0.23	0.19	0.10	-	-	-	-	-		
SK282	B	Q	5	Vb上	a	a1	a	a	0.41	0.39	0.32	0.30	0.08	-	-	-	-	-		
SK283	B	R	3	Vb上	b	c1	b	b	0.47	0.28	0.15	0.07	0.13	N 4° W	-	-	-	-	-	
SK284	B	P	4	Vb上	c	a1	a	a	0.29	0.26	0.18	0.15	0.14	-	-	-	-	-		
SK285	B	Q	4	Vb上	c	a1	b	b	1.59	0.68	0.96	0.39	0.18	N 50° W	SK414	-	-	-	-	
SK286	B	S	3	Vb上	c	a1	e	e	1.12	(0.45)	(0.98)	(0.35)	0.08	-	-	SK287 SK288	SK289	-		

表23 土坑一覧表(7)

遺構名	地区割り				検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	底面形状	規模(m)				長軸方位	重複関係		出土遺物	
	大区	南北	東西	面						上端	下端	深さ	新		旧			
SK287	B	S	3	Vb _上	a	c1	a	a	0.23	0.20	0.11	0.10	0.07	-	SK286	-	-	
SK288	B	S	3	Vb _上	a	b1	b	a	0.39	(0.29)	0.25	0.23	0.05	N 7° E	SK286	SK289	-	
SK289	B	S	3	Vb _上	a	b1	a	a	0.41	(0.36)	(0.30)	0.30	0.05	-	SK286	SK288	-	
SK290	B	S	3	Vb _上	a	a1	e	e	0.52	(0.35)	(0.40)	0.38	0.07	-	SK291	SK289	-	
SK291	B	S	3	Vb _上	a	a1	b	b	1.33	0.83	1.09	0.64	0.08	N 52° W	-	SK290	-	
SK292	B	R	4	Vb _上	c	b1	a	a	0.28	0.26	0.18	0.16	0.15	-	SK441	-	-	
SK293	B	R	4	Vb _上	b	b1	a	a	0.95	0.84	0.70	0.63	0.16	-	-	-	-	
SK294	B	R	4	Vb _上	b	b1	a	a	0.52	0.43	0.36	0.31	0.12	-	-	-	-	
SK295	B	R	5	Vb _上	a	a1	a	a	0.65	0.55	0.47	0.42	0.16	-	SD17	-	-	
SK296	B	R	4	Vb _上	a	a1	b	b	0.39	0.36	0.22	0.17	0.10	-	-	-	-	
SK297	B	R	4	Vb _上	c	a1	a	a	0.45	0.45	0.30	0.29	0.13	-	SK85	-	-	
SK298	B	R	5	Vb _上	b	b1	b	b	0.68	(0.53)	0.52	0.50	0.12	N 29° E	SD17	SK299	-	
SK299	B	R	5	Vb _上	b	c1	b	b	0.55	(0.34)	(0.43)	(0.25)	0.10	N 13° E	SP24	SK298	-	
SK300	B	R	5	Vb _上	a	a1	b	a	0.45	0.35	0.30	0.25	0.08	N 16° W	-	-	-	
SK301	B	S	4	Vb _上	c	e2	a	b	0.33	0.29	0.10	0.08	0.19	-	-	-	-	
SK302	B	S	4	Vb _上	a	b1	a	b	0.45	0.37	0.31	0.24	0.05	-	SK303	-	-	
SK303	B	S	4	Vb _上	b	a1	a	a	0.36	0.35	0.25	0.22	0.15	-	-	SK302	-	
SK304	B	S	4	Vb _上	a	a1	a	a	0.35	0.34	0.22	0.20	0.06	-	-	-	-	
SK305	B	S	5	Vb _上	d	c1	b	b	0.45	(0.25)	0.06	0.04	0.17	N 4° W	-	-	-	
SK306	B	S	5	Vb _上	c	a1	a	a	0.33	(0.28)	0.20	0.18	0.15	-	SB5-P1	-	-	
SK307	B	S	4	Vb _上	a	a1	a	b	(0.62)	0.61	0.32	0.24	0.11	-	-	-	-	
SK308	B	S	4	Vb _上	c	a1	a	b	0.45	0.41	0.25	0.18	0.15	-	-	-	-	
SK309	B	S	4	Vb _上	a	b1	a	a	0.86	0.85	0.78	0.74	0.07	-	-	-	-	
SK310	B	S	4	Vb _上	a	a1	a	a	0.30	0.26	0.19	0.17	0.07	-	-	-	-	
SK311	B	S	4	Vb _上	a	a1	a	a	0.36	0.30	0.21	0.18	-	-	-	-	-	
SK312	B	S	4	Vb _上	a	a1	a	a	0.35	0.30	0.22	0.18	0.07	-	-	-	-	
SK313	B	S	5	Vb _上	a	a1	a	a	0.30	0.28	0.18	0.18	0.07	-	-	-	-	
SK314	B	S	5	Vb _上	a	a1	a	b	0.26	0.25	0.15	0.11	0.06	-	-	-	-	
SK315	B	S	3	Vb _上	T	a1	a	a	0.46	0.44	0.28	0.25	0.11	-	-	-	-	
SK316	B	T	3	Vb _上	a	c1	b	b	0.33	0.25	0.13	0.10	0.12	N 4° E	-	-	-	
SK317	B	T	4	Vb _上	a	a1	a	b	0.49	(0.21)	(0.26)	(0.04)	0.14	N 43° W	SD48	-	-	
SK318	B	T	4	Vb _上	a	a1	b	b	0.30	(0.23)	0.30	0.22	0.10	N 58° E	SK91	-	-	
SK319	B	T	4	Vb _上	a	a1	a	a	0.48	(0.41)	0.26	(0.23)	0.16	-	SD48	SK424	-	
SK320	B	T	4	Vb _上	a	a1	b	a	0.45	0.40	0.37	0.25	0.08	-	SK424	-	-	
SK321	B	T	4	Vb _上	a	a1	a	b	0.66	(0.36)	(0.45)	(0.14)	0.10	-	SD48	SK424	-	
SK322	B	T	4	Vb _上	c	e1	b	b	0.40	0.31	(0.13)	0.05	0.18	N 37° E	SD48	SK323	H	
SK323	B	T	4	Vb _上	c	a1	b	a	0.55	(0.50)	(0.40)	0.32	0.10	-	SD48	SK322	-	
SK324	B	S	5	Vb _上	a	a1	b	b	0.43	(0.28)	0.30	(0.21)	0.08	N 73° E	-	-	-	
SK325	B	T	5	Vb _上	a	c1	a	a	0.23	0.22	0.15	0.15	0.08	-	-	-	-	
SK326	B	T	5	Vb _上	a	a1	b	a	0.34	(0.26)	0.15	0.14	0.14	N 73° E	SK327	-	-	
SK327	B	T	5	Vb _上	b	a1	a	a	0.45	0.40	0.30	0.27	0.15	-	-	SK326	SK328	H
SK328	B	T	5	Vb _上	c	a1	a	a	0.40	(0.34)	0.23	(0.19)	0.10	-	SK327	-	-	
SK329	B	T	5	Vb _上	a	a1	a	a	0.35	(0.34)	(0.26)	(0.22)	0.05	-	SK330	-	-	
SK330	B	T	5	Vb _上	a	c1	b	b	0.55	0.31	0.39	0.12	0.19	N 87° E	-	SK329	-	
SK331	B	T	5	Vb _上	a	a1	b	b	0.36	(0.27)	0.20	(0.15)	0.15	N 11° W	-	-	-	
SK332	B	T	5	Vb _上	a	a1	a	a	0.40	(0.38)	(0.30)	0.25	0.10	-	-	-	-	
SK333	B	T	4	Vb _上	c	e1	b	b	1.00	(0.55)	0.80	(0.40)	0.20	N 44° W	SD48	-	-	
SK334	B	T	4	Vb _上	c	a1	b	b	0.78	(0.36)	(0.65)	(0.27)	0.12	N 40° W	SD48	SK333	-	
SK335	B	Q	3	Vb _上	c	b1	b	b	0.70	0.42	0.46	0.35	0.11	N 69° E	-	-	H	
SK336	C	A	5	Vb _上	c	a1	b	b	1.07	(0.75)	0.59	0.45	0.38	N 51° W	SD18	SK337	H	
SK337	C	A	5	Vb _上	b	a1	a	b	0.80	0.80	(0.74)	0.55	0.15	-	-	SD48	SK336	H
SK338	C	A	4	Vb _上	a	a1	a	a	0.35	0.30	0.20	0.18	0.07	-	SK93	-	-	
SK339	C	A	4	Vb _上	a	a1	b	a	0.41	0.41	0.31	0.21	0.11	-	SK93	-	-	
SK340	C	A	4	Vb _上	c	a1	a	a	0.63	(0.60)	(0.55)	0.46	0.10	-	SK93	-	-	
SK341	C	A	4	Vb _上	a	b1	a	a	0.40	0.33	0.20	0.20	0.15	-	-	-	-	
SK342	C	A	4	Vb _上	c	e1	b	a	0.40	(0.27)	(0.20)	0.20	0.14	N 52° W	SD48	-	-	
SK343	C	A	4	Vb _上	a	a2	b	b	0.35	(0.18)	(0.25)	(0.08)	0.16	N 41° W	-	-	-	
SK344	C	A	5	Vb _上	c	b1	a	a	0.44	0.42	0.40	0.37	0.11	-	-	-	-	

表24 土坑一覧表(8)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物					
							上端			下端				新	旧						
	大区画	南北					長軸長	短軸長	長軸長	短軸長	長軸長	短軸長									
SK345	C	A	4	Vb上	a	a1	b	b	0.34	0.26	0.24	0.13	0.07	N 2° W	-	-	-				
SK346	C	A	4	Vb上	c	a1	e	b	0.76	(0.41)	(0.55)	(0.27)	0.14	-	-	-	-				
SK347	C	B	5	Vb上	d	a1	a	b	0.57	0.51	0.40	0.32	0.12	-	-	-	H				
SK348	C	B	5	Vb上	c	b2	b	a	0.47	0.37	0.30	0.28	0.10	N 76° W	SK347	-	-				
SK349	C	B	5	Vb上	a	a1	a	b	0.50	0.50	0.36	0.32	0.10	-	-	-	SK421				
SK350	C	B	4	Vb上	b	a1	a	b	0.43	0.41	0.30	0.28	0.13	-	-	-	-				
SK351	C	B	4	Vb上	b2	b	b	a	0.60	0.43	0.38	0.26	0.26	N 77° W	-	-	H P				
SK352	C	B	4	Vb上	a	b1	a	b	0.53	0.48	0.30	0.28	0.12	-	-	-	P				
SK353	C	D	5	Vb上	a	a1	a	b	0.37	0.37	0.25	0.22	0.17	-	-	-	-				
SK354	C	D	9	Vb上	a	a1	a	b	0.39	0.36	0.28	0.25	0.23	-	-	-	-				
SK355	B	P	13	Vb上	c	b1	a	a	0.85	(0.80)	0.73	(0.65)	0.10	-	-	-	-				
SK356	B	O	13	Vb上	a	b1	b	b	0.61	(0.34)	0.40	(0.27)	0.07	N 78° E	SD50	-	-				
SK357	B	O	14	Vb上	a	b1	a	a	0.46	0.37	0.29	0.24	0.05	-	-	-	-				
SK358	B	O	13	Vb上	a	b1	a	a	0.63	0.62	0.48	0.47	0.06	-	-	-	-				
SK359	B	F	14	Vb上	c	b1	a	b	(0.63)	(0.55)	(0.50)	(0.30)	0.10	-	S116	-	-				
SK360	B	O	14	Vb上	c	b1	a	a	0.50	0.50	0.36	0.33	0.07	-	-	-	SK427				
SK361	B	O	14	Vb上	g	b1	a	a	0.55	0.49	0.34	0.34	0.10	-	-	-	-				
SK362	B	O	14	Vb上	g	e1	a	a	0.76	0.64	0.12	0.11	0.19	-	-	-	-				
SK363	B	O	14	Vb上	a	a1	b	a	0.40	(0.24)	(0.16)	0.11	0.10	N 4° E	-	-	-				
SK364	B	P	14	Vb上	a	a1	b	a	(0.70)	0.22	0.12	0.11	0.07	N 42° W	SI21	SK365	-				
SK365	B	P	14	Vb上	a	b1	b	a	(0.49)	(0.37)	0.35	0.24	0.11	N 57° E	SI21	SK364	-				
SK366	B	P	14	Vb上	a	b1	a	b	0.49	0.45	0.72	0.29	0.05	-	-	-	-				
SK367	B	O	15	Vb上	a	b1	a	b	0.71	0.68	0.65	0.48	0.07	-	-	-	H S				
SK368	B	O	15	Vb上	a	a1	a	a	(0.92)	0.81	0.64	0.57	0.10	-	SK367	-	-				
SK369	B	P	15	Vb上	c	a1	b	a	0.49	(0.36)	0.28	(0.26)	0.17	N 45° E	SI21	-	-				
SK370	B	O	15	Vb上	a	a1	a	a	0.42	0.39	0.27	0.27	0.06	-	-	-	-				
SK371	B	O	15	Vb上	a	b1	a	a	0.46	0.44	0.32	0.30	0.08	-	-	-	-				
SK372	B	O	15	Vb上	a	b1	b	a	(0.50)	(0.22)	(0.42)	(0.16)	0.06	N 89° W	-	-	-				
SK373	B	O	15	Vb上	c	b1	b	b	1.06	(0.54)	0.75	(0.32)	0.34	N 89° W	SD50	SK374	-				
SK374	B	O	16	Vb上	a	b1	e	a	1.71	(0.46)	1.53	(0.37)	0.06	-	SD50	SK417	SK373				
SK375	B	O	16	Vb上	c	a1	a	a	0.36	0.35	0.12	0.11	0.13	-	-	-	-				
SK376	B	O	16	Vb上	b	b1	b	b	0.36	(0.27)	0.14	0.12	0.26	N 4° W	-	-	-				
SK377	B	E	4	Va上	a	b2	b	b	0.45	(0.28)	0.31	(0.22)	0.17	N 23° W	S14	S14-P4	-				
SK378	B	O	17	Vb上	a	b1	a	b	0.25	0.25	0.14	0.08	0.38	-	-	-	-				
SK379	B	P	17	Vb上	c	b1	b	a	(0.40)	0.32	0.27	0.14	0.37	N 76° E	-	SK380	-				
SK380	B	P	17	Vb上	c	b2	b	b	(0.37)	(0.26)	0.21	0.14	0.28	N 40° E	SK379	-	-				
SK381	B	O	18	Vb上	c	a1	b	a	0.34	0.27	0.07	0.06	0.11	N 80° E	SD51	SD53	-				
SK382	B	O	18	Vb上	a	a1	b	a	0.39	0.29	0.23	0.21	0.06	N 58° W	-	-	-				
SK383	B	D	4	Va上	c	f1	a	b	0.61	0.44	0.43	0.27	0.39	N 63° E	S14	SK143	-				
SK384	B	O	18	Vb上	c	a1	a	a	0.53	0.46	0.21	0.20	0.21	-	SD53	SD54	SK385				
SK385	B	O	18	Vb上	c	a1	b	b	(1.00)	0.34	(1.00)	0.20	0.13	N 34° E	SD50	SD53	H				
SK386	B	O	18	Vb上	a	c1	a	a	(0.36)	0.33	0.06	0.05	0.16	-	SK112	SK430	-				
SK387	B	O	18	Vb上	a	a1	b	b	0.63	0.40	0.15	0.07	0.15	N 80° W	-	SD53	-				
SK388	B	P	18	Vb上	b	a1	e	e	0.18	0.06	(2.00)	-	0.09	-	SD50	SD52	SK389				
SK389	B	P	18	Vb上	c	a1	b	b	0.70	(0.16)	-	-	0.11	N 55° W	SD50	SK388	-				
SK390	B	P	18	Vb上	c	a1	b	b	(0.88)	(0.45)	0.35	0.20	0.54	N 82° W	SD52	SK455	SK389				
SK391	B	O	19	Vb上	c	b1	b	a	0.80	(0.57)	0.53	(0.52)	0.18	N 76° W	SD53	SD54	SK114				
SK392	B	O	19	Vb上	b	b1	a	b	0.38	(0.35)	0.24	0.18	0.14	-	SD51	SD53	SD54				
SK393	B	O	19	Vb上	a	a1	b	a	0.40	0.32	0.11	0.09	0.07	N 73° W	SD51	-	-				
SK394	B	O	19	Vb上	d	a1	b	a	0.41	0.30	0.29	0.22	0.07	N 83° E	SD51	-	-				
SK395	B	O	19	Vb上	a	a1	b	a	0.56	0.28	0.21	0.17	0.09	N 70° E	SD51	-	-				
SK396	B	O	20	Vb上	a	a1	b	b	0.42	(0.16)	0.17	(0.05)	0.16	N 49° E	SB6-P6	-	-				
SK397	B	P	20	Vb上	f	a1	b	b	0.66	0.52	0.17	0.11	0.32	N 66° E	SK398	S120 SK399	-				
SK398	B	P	20	Vb上	a	b1	b	a	0.47	0.34	0.30	0.25	0.04	N 62° E	-	SK397	SK399				
															SK400	-	-				

表25 土坑一覧表（9）

遺構名	地区割り				検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物						
	南北		東西						上端			下端			深さ		新							
	大区	南北	東西	南北					長軸共	短軸共	長軸共	短軸共	長軸共	短軸共	深さ	新	旧							
SK399	B	P	20	Vb上	a	b1	b	b	(0.91)	(0.57)	(0.77)	(0.40)	0.20	N 53° W	SK397 SK398 SK400	-	P							
SK400	B	P	20	Vb上	c	b1	b	b	(0.82)	(0.58)	(0.58)	(0.45)	0.26	N 47° W	SK397 SK398 S120	SK399	-							
SK401	B	O	3	IIb上	b	a1	b	b	0.70	(0.45)	0.42	(0.31)	0.20	-	-	-	SD45	H P						
SK402	B	O	3	IIb上	b	b1	b	b	1.23	(0.96)	0.90	(0.70)	0.20	-	-	-	SD45	H						
SK403	B	R	3	Vb上	a	b1	e	e	3.42	(1.10)	3.38	(1.00)	0.11	-	-	-	SK441	H P						
SK404	B	T	5	IIb上	a	a1	a	a	0.20	0.20	0.12	0.12	0.04	-	-	-	SD18	-						
SK405	C	A	5	IIb上	c	b1	e	e	2.42	(1.62)	(1.14)	(0.60)	0.36	-	-	-	SK104	H P R						
SK406	C	B	5	IIb上	b	a1	a	b	0.45	0.40	0.30	0.22	0.09	-	-	-	SK421	-						
SK407	B	J	4	Va上	c	a1	b	b	0.42	(0.26)	0.20	0.17	0.22	-	-	-	S110	-						
SK408	B	J	4	Va上	b	a1	a	a	0.43	0.37	0.30	0.28	0.13	-	-	-	S110	H						
SK409	B	J	5	Va上	a	a1	e	e	(1.78)	(1.78)	0.83	0.54	0.08	-	-	-	SD40 SK23	SK165						
SK410	B	J	5	Va上	c	a1	b	b	1.42	(0.68)	1.05	(0.45)	0.15	-	-	-	-	H P						
SK411	B	P	1	Vb上	c	b1	e	e	0.36	0.25	0.33	0.21	0.15	-	-	-	SD45	SK213 SK214						
SK412	B	Q	4	Vb上	d	b1	a	a	0.80	0.74	0.55	0.54	0.15	-	-	-	S115 S115-P4	H						
SK413	B	Q	4	Vb上	c	a1	a	a	0.75	0.72	0.40	0.38	0.25	-	-	-	S115 S115-壁際構	SK60						
SK414	B	Q	5	Vb上	b	e1	a	a	(1.18)	1.10	(0.72)	0.60	0.18	-	-	-	SK285	-						
SK415	B	Q	5	IIb上	g	a1	a	a	0.60	(0.54)	0.37	0.30	0.22	-	-	-	S115 S115-壁際構	SK416						
SK416	B	Q	4	Vb上	c	a1	b	b	0.57	(0.38)	(0.46)	(0.25)	0.13	-	-	-	S115 S115-壁際構	-						
SK417	B	O	15	Vb上	b	b1	a	a	0.82	0.78	0.69	0.60	0.10	-	-	-	SK374	-						
SK418	B	R	4	Vb上	c	a1	a	a	0.33	0.30	0.20	0.18	0.10	-	-	-	SK441	-						
SK419	B	R	4	Vb上	a	b1	a	a	0.33	0.30	0.21	0.20	0.05	-	-	-	SK441	-						
SK420	B	R	4	Vb上	a	a1	a	a	0.30	0.30	0.20	0.19	0.07	-	-	-	SK441	-						
SK421	C	B	5	Vb上	c	a1	b	a	0.90	0.71	0.65	0.50	0.12	-	-	-	SK449 SK406	H						
SK422	B	S	3	Vb上	a	b1	b	b	1.08	0.47	0.96	0.34	0.08	-	-	-	SD48	-						
SK423	B	T	4	Vb上	a	b1	b	b	1.66	0.76	1.47	0.58	0.07	-	-	-	-	-						
SK424	B	T	4	Vb上	c	a1	b	b	(1.04)	(0.74)	0.62	(0.42)	0.24	-	-	-	SD48 SK319	SK320						
SK425	C	B	4	Vb上	a	a1	e	e	3.35	(1.21)	3.13	(0.97)	0.14	-	-	-	-	P						
SK426	B	O	13	Vb上	a	a1	e	e	(0.80)	0.28	(0.66)	0.12	0.07	-	-	-	SD49	-						
SK427	B	O	14	Vb上	a	b1	b	b	(1.62)	0.69	(1.52)	0.51	0.09	N 5° W	SD50 SK360	-	-							
SK428	B	O	17	Vb上	c	b1	a	a	0.46	(0.45)	0.31	0.26	0.26	-	-	-	S119 S119-P1	-						
SK429	B	O	16	Vb上	c	b1	b	b	(1.83)	(0.50)	(1.64)	(0.40)	0.09	N 79° W	-	-	-	-						
SK430	B	O	17	Vb上	c	b4	e	e	(4.30)	(1.05)	(3.55)	(1.05)	0.31	-	-	-	SD50 SD51 SD53 SK112 SK384 SK386 SK431	S119 S119-P4 SK381 SK385						
SK431	B	O	17	Vb上	b	b1	b	b	2.21	1.40	1.86	1.05	0.14	N 59° W	SD51	S119 S119-P4 SD50 SK430	H P Y R							
SK432	B	O	19	Vb上	a	b1	e	e	(2.45)	(1.21)	(2.30)	(1.13)	0.06	-	-	-	SB6-P3 SD51	-						
SK433	A	N	20	Vb上	a	b1	a	a	(0.52)	0.52	0.38	0.35	0.19	-	-	-	SK198	-						
SK434	B	S	5	IIb上	a	b1	b	b	2.00	(1.47)	1.84	(1.42)	0.10	-	-	-	-	-						
SK435	B	E	4	Va上	c	b1	c	c	(3.60)	(3.22)	(3.51)	(2.80)	(0.10)	-	-	-	SK127 SK128 SK436 SK437 SK132 SK439 SD59	SK436 SK437 H						
SK436	B	E	4	Va上	b	a1	b	b	0.93	(0.39)	0.40	(0.15)	0.40	-	-	-	SK127 SK128 SK435	H P						
SK437	B	E	4	Va上	a	a1	a	a	0.50	0.45	0.33	0.30	0.35	-	-	-	SK127 SK128 SK435	-						
SK438	B	E	4	Va上	a	a1	e	e	0.36	0.21	-	-	0.09	-	-	SK127 SK128 SK435	-							
SK439	B	E	4	Va上	b	a1	b	b	0.90	0.64	(0.32)	0.27	0.37	-	-	-	SK435 SK127	-						
SK440	B	O	2	Vb上	c	a1	b	b	0.47	0.40	0.30	0.22	0.12	-	-	-	SD16	S113						
SK441	B	R	3	Vb上	a	b1	c	c	3.04	2.64	2.87	2.50	0.05	-	-	-	SK292 SK403 SK418 SK419 SK420	-						
SK442	B	O	4	Va上	c	b2	e	e	(2.50)	(0.88)	(2.50)	(0.69)	0.29	N 62° E	SD67 SK143 SK453	SD68 SK448	-							
SK443	B	O	14	Vb上	-	-	-	-	0.39	-	0.16	-	0.11	-	-	-	-	-						
SK444	B	O	14	Vb上	-	-	-	-	0.31	-	0.07	-	0.15	-	-	-	-	-						
SK445	B	O	19	Vb上	a	b1	b	b	0.11	0.04	-	-	0.05	N 20° E	SD51	-	-							

表26 土坑一覧表(10)

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	底面形状	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物						
								上端			下端				新								
	南北	東西						a	a1	b	-	0.11	0.05	-	-	0.03	N 20° E	SD51	-				
SK446	B	O	19	Vb上	a	a1	b	-	0.11	0.05	-	-	-	-	0.03	N 20° E	SD51	-					
SK447	B	O	18	Vb上	a	c1	b	-	0.07	0.04	-	-	-	-	0.03	N 22° E	SD51	-					
SK448	B	C	4	Va上	b	b1	d	e	(2.95)	(2.24)	(2.90)	(2.24)	0.10	-	-	SK143	SK442	S11 S12 S12-壁脚溝 SD56 SK449 SK450 SK451					
SK449	B	C	4	Va上	c	c1	b	a	(0.32)	(0.26)	0.15	0.14	0.19	-	-	S12 S12-壁 面溝 SK448	-	-					
SK450	B	C	5	Va上	c	a1	a	a	0.56	0.53	0.36	0.35	0.16	-	-	S11	SK448	-					
SK451	B	C	4	Va上	b	b1	b	b	1.07	0.79	0.78	0.54	0.15	-	-	SK448	-	H					
SK452	B	B	5	Va上	a	a1	b	a	0.48	(0.35)	0.26	(0.24)	0.13	N 56° E	S13	SK442	-	-					
SK453	B	D	5	Va上	b	b1	e	e	(1.60)	(1.12)	(1.41)	(0.98)	-	-	-	S13 S13-P3 SK442	-	H					
SK454	-	-	-	欠番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
SK455	B	P	18	Vb上	c	b1	e	e	(1.90)	(1.00)	(1.72)	(0.90)	0.23	N 48° W	SD50	SD52	SK388 SK389 SK390	H					
SK456	B	K	3	Va上	c	a1	a	b	0.77	0.62	0.45	0.32	0.21	-	-	-	-	-	-				
SK457	B	K	3	Va上	a	b1	b	a	0.75	(0.57)	0.60	(0.39)	0.15	-	-	-	-	-	-				
SK458	B	K	3	Va上	a	b1	b	b	0.60	(0.37)	(0.52)	0.31	0.05	-	-	-	-	-	-				

表27 柱穴一覧表

遺構名	地区割り		検出面	堆積状況	断面形状	平面形状	底面形状	規模(m)						長軸方位	重複関係		出土遺物							
								上端			下端				新									
	南北	東西						a	a1	b	b	c	d		長軸長	短軸長	長軸長	短軸長						
SP1	B	R	5	Vb上	a	a1	b	b	0.51	0.38	0.38	0.29	0.10	N 28° W	-	SD17	-							
SP2	B	F	4	Va上	f	a2	a	a	0.78	0.75	0.66	0.58	0.46	-	-	SK133	-	H						
SP3	B	F	4	Va上	g	c1	a	a	0.60	0.58	0.30	0.25	0.59	-	-	S15	SK133	-						
SP4	B	J	5	Va上	e	b1	a	a	0.58	0.48	0.19	0.16	0.74	-	-	S110	S110	H W						
SP5	B	K	3	Va上	c	b1	b	b	0.44	(0.28)	(0.32)	(0.18)	0.27	N 38° E	-	-	-	-	-					
SP6	B	K	3	Va上	c	a1	b	a	(0.50)	(0.39)	0.08	0.07	0.27	N 10° E	SB2-P1	SK187	-	-						
SP7	B	K	4	Va上	g	a1	a	b	0.42	0.40	0.25	0.24	0.26	-	-	SK197	SP8	-						
SP8	B	K	4	Va上	c	a2	a	a	(0.35)	(0.34)	0.20	0.20	0.33	-	-	SP7	SK197	-						
SP9	B	O	2	Vb上	d	a1	a	b	0.49	(0.42)	0.22	0.17	0.36	-	-	SP10	-	-						
SP10	B	O	2	Vb上	g	c1	a	a	0.45	0.43	0.10	0.10	0.40	-	-	-	SP9	H	-					
SP11	B	N	1	Vb上	d	a1	b	a	0.70	(0.38)	(0.17)	0.16	0.42	N 58° W	SK41	-	-	-	-					
SP12	B	O	3	Vb上	d	c2	b	a	0.46	0.28	0.03	0.03	0.45	N 34° E	-	SK260	-	-						
SP13	B	N	3	Vb上	d	b2	a	a	(0.42)	0.40	0.33	0.32	0.24	-	-	SD45	-	-						
SP14	B	O	4	Vb上	c	c1	b	a	0.43	0.34	0.12	0.11	0.45	N 48° E	SD45	-	-	-	-					
SP15	B	O	5	Vb上	c	a1	a	a	0.61	0.50	0.12	0.11	0.54	-	-	-	-	-	-					
SP16	B	O	4	Vb上	g	c1	a	a	0.43	0.37	0.15	0.15	0.45	-	-	-	-	-	-					
SP17	B	P	5	Vb上	d	c1	a	a	0.51	0.49	0.16	0.13	0.51	-	-	-	-	-	-					
SP18	B	P	5	Vb上	d	a2	a	a	0.46	0.46	0.20	0.20	0.60	-	-	SD46	-	-	-					
SP19	B	R	4	Vb上	g	c1	a	b	0.68	0.56	0.24	0.19	0.72	-	-	-	-	-	-					
SP20	B	R	4	Vb上	g	b1	b	b	0.53	0.41	0.25	0.15	0.44	N 50° E	-	-	-	-	-					
SP21	B	O	16	Vb上	g	b2	a	a	0.41	0.40	0.23	0.19	0.31	-	-	-	-	-	-					
SP22	B	J	4	Va上	d	c1	b	b	0.56	0.43	0.10	0.07	0.55	N 58° E	SD8	S110	-	-	-					
SP23	B	J	5	Va上	c	c1	a	b	0.66	0.57	0.23	0.18	0.89	N 34° W	SD40	-	-	-	-					
SP24	B	R	5	Vb上	c	c1	b	a	0.57	(0.45)	0.18	0.17	0.55	N 1° W	-	SK299	-	-	-					
SP25	-	-	-	欠番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
SP26	B	K	3	Va上	d	a1	a	a	0.66	0.60	0.37	0.34	0.27	-	-	-	-	-	-					

表28 出土土器観察表（1）

出 土 遺 構 名 グリッ プ 番 号	層 位	種 別	器種	產地	分類 時期等	口徑 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	燒 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調整・文様 内面/外面	補 因 考 説	圖 版 番 号
1 SD8	a	土師器	甕	-	-	-	-	(4.0)	やや粗(径2.0mm以下 の長石・石英を多く含む)	普通	7.SYM/4 10YR 6/3 10YR 6/3	内外面ともに磨滅	19	28
2 SD8	f	須恵器	环身A	美濃須 衛	III-3期	(9.0)	-	(1.4)	直(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	7.SYT/1 7.SYT/1 7.SYT/1	回転ナデ/回転ナデ	19	28
3 SD8	a	須恵器	环身C	美濃須 衛	V-2期	-	6.0	(1.8)	直(径1.0mm以下の長 石を多く含む。径0.1mm 以下の石英・雲母をわ ずかに含む)	良好	S 7/ S 7/ S 7/	回転ナデ/回転ナデ・ 回転カケズリ跡 外面に「吉富」の墨 書き	19	28
4 SD8	a	須恵器	盤	美濃須 衛	III-3期	-	(11.2)	(1.9)	直(径0.5mm以下の長 石を多く含む)	良好	S 7/ S 6/ S 7/	回転ナデ/回転ナデ・ 貼付高台	19	28
5 SD10	a	縁鉢陶 器	碗	猪股	9世紀 後半	-	(6.4)	(1.85)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	錆跡-N 8/ 錆跡-N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ・ 貼付高台/内面と ともに錆跡が施され ているが部分的に剥 落	19	28
7 SD12	a	土師器	甕	-	-	(15.4)	-	(3.6)	やや粗(径2.0mm以下 の長石・石英を多く含む)	普通	10YR 8/3 7.SYM 7/3 SYM 6/4	焼ナデ/横ナデ・ハ ケ痕既外面に段あり	19	28
8 SD12	b	須恵器	鉢	美濃須 衛	7世紀代	-	(7.0)	(1.9)	やや粗(径0.5mm以下 の長石を多く含む)	良好	S 7/ S 7/ S 7/	回転ナデ/切切り回転ナデ	19	28
9 SK33	a	須恵器	鉢	猪股	-	-	(9.0)	4.6	直(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	S 7/ S 6/ S 8/	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ケズリ	19	28
10 A地点	I	須恵器	高杯	-	-	(11.0)	-	(2.7)	直(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	ST 5/2 ST 7/1 ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ 内外面ともに磨滅	20	28
11 模乱	-	須恵器	盤	-	-	-	-	(1.2)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	S 7/ S 7/ 7.SYM 7/1	回転ナデ/回転ナデ・ 貼付高台	20	28
12 A地点	I	陶磁器	擂钵	湘戸・ 美濃	笠置 第3小期	-	-	(3.2)	やや粗(径1.0mm以下 の長石をわずかに含 む)	良好	7.SYM 4/3 10YR 4/4 2.SYR 8/1	回転ナデ/回転ナデ・ 内外面ともに鉄錆斑 跡	20	28
13 A地点	I	陶磁器	擂钵	湘戸・ 美濃	笠置 第5小期	-	-	(2.6)	直(—)	良好	7.SYM 3/2 7.SYM 3/2 2.SYR 8/1	回転ナデ/回転ナデ・ 内外面ともに鉄錆斑 跡	20	28
14 BB5	IIa	土師器	甕	-	-	(13.2)	-	(4.3)	直(径1.0mm以下の長 石を含む)	普通	10YR 8/3 7.SYM 8/4 SYM 8/4	横ナデ/ヘラナデ/横 ナデ/横ナデ/斜めハ ケ	20	28
15 BF4	IIa	土師器	甕	-	-	(18.2)	-	(5.2)	直(径0.5mm以下の長 石・石英をわずかに含 む)	良好	10YR 8/2 10YR 8/3 10YR 8/3	横ナデ/横・斜めハ ケ/横・斜めハケ	20	28
16 BF5	IIa	土師器	甕	-	-	(12.7)	-	(7.3)	やや粗(径0.5mm以下 の長石・石英・雲母をわ ずかに含む)	普通	7.SYM 8/4 10YR 8/4 10YR 8/4	横ナデ/横・斜めハ ケ/横ナデ/斜めハ ケ	20	28
17 BK3	IIa	土師器	甕	-	-	-	-	(6.75)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英・雲母をわ ずかに含む)	普通	10YR 7/3 10YR 7/3 10YR 7/3	横ハケ/横ナデ/横ハ ケ	20	28
18 BK3	IIa	土師器	伊勢型 鍋	-	-	-	-	(2.0)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英をわず かに含む)	良好	10YR 5/4 10YR 7/4 10YR 7/3	横ナデ/不明	20	28
19 BK4	IIa	土師器	須恵型 鍋	-	-	-	-	(3.4)	やや粗(径0.5mm以下 の長石を多く含む)	良好	7.SY 4/3 7.SY 4/3 7.SY 6/4	回転ナデ/回転ナデ	20	28
20 BF5	IIa	須恵器	环身A	美濃須 衛	藤原 6号室	(12.3)	-	(3.3)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普通	10YR 7/1 10YR 8/1 10YR 8/1	回転ナデ/回転ナデ・ へラ切り	20	28
21 BK3	IIa・ IIb	須恵器	环身C	美濃須 衛	III-3期	-	-	(4.5)	直(径1.0mm以下の長 石を含む)	普通	N 8/ SY 7/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ	20	28
22 BI4	IIa	須恵器	环身B	美濃須 衛	III-3期	-	-	(2.1)	やや粗(径1.0mm以下 の長石を含む)	良好	SY 7/ SY 7/ SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ	20	28
23 BK4	IIa・ IIb	須恵器	环身B	美濃須 衛	III-3期	-	(7.4)	(3.6)	直(径0.5mm以下の長 石を多く含む)	良好	S 7/ S 7/ S 7/	回転ナデ/回転ナデ・ へラ切り	20	28

表29 出土土器観察表（2）

番 号	遺構名 グリフ	層位	種別	器種	产地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面開窓・文様 内面/外面	押 出 番 号
24	BK3	II-a- II-b	灰窓器	鉢	美濃須 衛	-	(13.8)	-	(3.0)	やや粗(径1.0mm以下 の良石を多く含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	21 28
25	BF4	II-a	灰窓器	盤	美濃須 衛	Ⅲ-3期	-	(2.6)	直(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	不良	2. SY 8/1 N 4/ 2. SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ	21 28	
26	BG5	II-a	灰窓器	甌	美濃須 衛	-	-	(6.3)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	不良	2. SY 8/1 2. SY 8/1 2. SY 8/1	当て具根/タキ日	21 28	
27	BK4	II-a	灰窓器	盤	美濃須 衛	V-1期	-	(8.8)	(1.4)	直(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2. SY 7/1 2. SY 7/1 2. SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ 貼付高台	21 28
28	BK3	II-a	灰陶陶 器	碗	東濃	光ヶ丘1 号	-	(5.4)	(2.1)	直(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2. SY 8/1 2. SY 8/1 2. SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ/ 貼付高台に墨塗 り	21 28
29	BF4	II-a	山茶碗	小碗	尾張	第4型式	-	(4.3)	(1.5)	直(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	普通	10Y 7/1 2. SY 8/1 2. SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ/ 貼付高台(瓶底痕 あり)	21 29
30	BC4	II-a	山茶碗	小豆	東濃	大畠大 洞4号	(8.9)	(2.6)	(1.1)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ/ 回転丸切り 外面に 重ね焼きの痕跡あり	21 29
31	BK5	II-a	山茶碗	碗	尾張	第5型式	-	(7.2)	(2.8)	やや粗(径0.5mm以下 の良石を多く含む)	良好	2. SY 7/3 ST 7/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ 回転丸切り/貼付高 台内面にタール状の 付着物	21 28
32	BI4	II-a	山茶碗	片口鉢	尾張	第7型式	-	-	(7.5)	直(径2.0mm以下 の長石・石英を含む)	普通	7. SY 6/2 ST 8/1 ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ	21 29
33	BJ5	II-a	山茶碗	片口鉢	尾張	第9型式	-	-	(4.6)	直(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	良好	ST 8/1 2. SY 7/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ	21 29
34	BK3	II-a	陶磁器	擂钵	蘆戸・ 美濃	大窟 第1段階	-	-	(3.9)	直(—)	良好	10Y 3/ 10Y 2/ 7. SY 8/3	回転ナデ/回転ナデ/ 内外面とともに精磨	21 29
35	BK5	II-b	陶磁器	擂钵	蘆戸・ 美濃	登原 第6小期	-	-	(2.5)	やや粗(径0.1mm以下 の石英・チャートを わずかに含む)	普通	10Y 3/4 10Y 5/4 2. SY 8/2	回転ナデ/回転ナデ/ 内外面とともに精磨	21 29
36	BI4	II-a	陶磁器	天目茶 碗	中国	-	(12.6)	-	5.4	直(—)	良好	鐵輪・10Y 8/1 7. SY 7/1	不明 / 回転ナデ	21 29
37	BI4	II-a	陶磁器	鉢皿	-	古窯I 後Ⅱ期	-	(7.6)	(1.6)	直(—)	良好	ST 8/1 ST 8/1 ST 8/1	鉢目(糊引き)/回転 ナデ	21 29
38	BI5	II-a	陶磁器	箱型湯 呑	-	第9小期 か	-	-	(3.5)	直(—)	良好	ST 7/2 ST 7/1 ST 8/1	不明	21 29
39	S11	b	土師器	甌	-	-	(17.6)	-	(4.3)	直(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	普通	7. SYR 8/4 7. SYR 8/4 7. SYR 8/4	横ナデ・横ハケ/横ナ デ・斜めハケ	32 29
40	S11	a	土師器	甌	-	-	-	-	(4.5)	粗(径0.5mm以下の長 石・石英を多く含む)	良好	SYR 7/4 2. SYR 6/6 2. SYR 6/6	横ナデ・横ハケ/横ナ デ・斜めハケ	32 29
41	S12	b	土師器	甌	-	-	(20.6)	-	(4.4)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10Y 6/3 10Y 8/3 7. SYR 8/2	横ナデ・ハケ/横ナ デ・斜めハケ	32 29
42	S12	b	土師器	甌	-	-	(13.4)	-	(2.85)	やや粗(径1.0mm以下 の良石・石英を多く 含む)	良好	SY 5/3 SY 7/3 SY 2/1	横ハケ後横ナデ・横 ナデ/横ナデ・横ハケ	32 29
43	S12	a	土師器	甌	-	-	-	-	(7.5)	やや粗(径1.0mm以下 の良石を多く含む)	普通	2. SY 8/2 2. SY 8/2 2. SY 8/2	不明/横ナデ内外面 の磨滅が著しく	32 29
44	S11	b	灰窓器	灰窓A	美濃須 衛	Ⅱ期後 半	13.1	-	4.0	直(径2.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 7/ N 8/	回転ナデ/回転ヘラ 切り/回転ナデ	32 29
45	S12	a	灰窓器	灰身A	美濃須 衛	Ⅲ期後 半	(12.7)	-	(3.5)	直(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ/ ヘラ切り底部外側に ヘラ切り痕2条あり	32 29

表30 出土土器観察表（3）

馬場番号	遺構名 グリップ	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調整・文様 内面/外面	捕獲番号	回収番号
46	S12	a	土師器	甕	-	-	(30.0)	-	(5.5)	滑(径1.0mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	7.STR 7/4 7.STR 8/4 10YR 6/4	横ナデ・横ハケ/横ナデ・縦ハケ	32	29
47	S13	b	土師器	甕	-	-	-	-	(5.0)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	2.STR 7/4 7.STR 7/4 STR 7/6	ハケ/ナデ・指オサエ・シボリ把手	32	29
48	S14	c	須恵器	壺A	-	鹿内系 T世紀 前半	-	-	(2.7)	滑(径1.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	2.5Y 4/2 2.5Y 5/1 SRP 4/1	回転ナデ/回転ヘラケヅリ・回転ナデ	32	29
49	S15	1	土師器	甕	-	-	(16.9)	-	(3.7)	粗(径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	普通	10YR 7/3 10YR 7/3 10YR 4/1	横ナデ/横ナデ	32	29
50	S15	1	土師器	甕	-	-	(26.6)	-	(4.6)	滑(径1.0mm以下の長石をわざかに含む)	良好	STR 7/8 7.STR 8/6 7.STR 8/3	横ナデ・斜めハケ/横ナデ・斜めハメ頭部 端み上げはわざかに残る・頭部外面に段 あり	32	29
51	S15	1	土師器	甕	-	-	14.6	-	(5.3)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英をわざかに含む)	普通	10YR 7/3 10YR 7/3 10YR 7/3	横ナデ・板ナデ/横ナデ・縦ハケ	32	29
52	S15	1	土師器	甕	-	-	(16.4)	-	(3.8)	滑(径1.0mm以下の長石・石英をわざかに含む)	良好	STR 6/6 STR 6/6 STR 5/1	不明/横ナデ・縦ハケ 内外面ともに摩耗	32	29
53	S15	1	須恵器	壺A	旗投	H-50号 裏	(9.2)	-	3.6	滑(径1.0mm以下の長石をわざかに含む)	良好	N 8/ 2.5Y 4/ N 8/	回転ナデ/回転ヘラケヅリ・回転ナデ	32	29
55	S17	d	土師器	甕	-	-	(13.8)	-	(6.0)	滑(径1.0mm以下の長石・石英をわざかに含む)	普通	7.STR 7/6 7.STR 6/6 10YR 8/2	ハケと横ナデ/横ナデ・斜めハメ・頭部 内外面ともにハケのあと横ナデ	56	29
56	S17	d	土師器	甕	-	-	(14.6)	-	(4.3)	滑(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 7/3 10YR 6/3 10YR 7/3	横ナデ・横ハケ後横 ナデ・横ナデ・斜めハケ	56	29
57	S17	d	土師器	甕	-	-	-	-	(4.2)	滑(径1.0mm以下の長石をわざかに含む)	普通	10YR 7/3 7.STR 7/3 10YR 5/1	横ナデ・横ハケ/横ナデ ・縦ハケ・体部外面 横方向のハケ 内面 横方向のハケ	56	29
58	S17	a	須恵器	壺B	美濃領 術	III-1期	-	-	(1.4)	滑(径1.0mm以下の長石をわざかに含む)	良好	N 7/ N 6/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ 茎付長頸壺の蓋 降 灰ややカリ	56	29
59	S17	b	須恵器	壺B	美濃領 術	III-1期	(12.4)	-	(1.7)	滑(径0.5mm以下の長石を多く含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	56	29
60	S17	d	須恵器	高杯	-	-	(12.4)	-	(1.4)	滑(径0.5mm以下の長石をわざかに含む)	良好	N 7/ N 7/ 2.5Y 8/2	回転ナデ/回転ナデ 脚部	56	29
61	S17	e	須恵器	甕	-	-	(13.2)	-	(3.1)	滑(径1.0mm以下の長石をわざかに含む)	良好	N 7/ N 6/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	56	29
62	S17- カマF	23	土師器	甕	-	-	(16.5)	-	(6.8)	やや粗(径3.0mm以下の長石・石英・雲母を多く含む)	普通	10YR 4/2 10YR 6/2 10YR 6/2	横ナデ・横ハケ/横ナデ ・外表面明瞭不規 則方向のハケ	56	30
63	S17- カマF	6	土師器	甕	-	-	(26.0)	-	(1.9)	滑(径1.0mm以下の長石・石英をわざかに含む)	良好	2.5Y 8/2 10YR 8/3 7.STR 8/2	横ナデ/横ナデ	56	30
64	S17- カマF	6	土師器	甕	-	-	-	-	(8.7)	やや粗(径1.0mm以下の長石をわざかに含む)	良好	10YR 7/4 7.STR 7/4 7.STR 7/4	ハケ後横ナデ・横ハ ケ/横ナデ・縦ハケ	56	30
65	S17- カマF	8	土師器	甕	-	-	(21.0)	-	(7.3)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 8/3 7.STR 7/8 10YR 8/4	横ナデ・横ハケ/横ナ デ・頭部内面は横 ハケ後に横ナデ	56	30
66	S17- カマF	8	須恵器	甕	畿内か 旗投	-	(18.0)	-	(3.1)	滑(径0.5mm以下の長石をわざかに含む)	不良	10YR 8/1 SI 8/2 SI 8/2	回転ナデ/回転ナデ	56	30
67	S18	d	土師器	甕	-	-	-	-	(4.1)	滑(径1.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	2.5Y 7/1 7.STR 8/4 2.5Y 6/4	横ハケ後横ナデ/横 ナデ・頭部内面は横 ハケ後に横ナデ	56	30
68	S18	16	土師器	甕	-	-	-	-	(7.3)	粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	7.STR 7/3 10YR 3/1 10YR 8/3	横ハケ・指オサエ/横 めハケ外面に煤付革	56	30

表31 出土土器観察表（4）

出 土 番 号	遺 跡 名 グリフ	層位	種別	器種	产地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面開窓・文様 内面/外面	押 出 番 号
69	SE8	e	土師器	瓶	-	-	-	-	(3.2)	赤(径2.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	— 10YR 7/3 10YR 8/1	不明/指ナデ/指オサ エ把手	56 30
70	SE8	d	土師器	埴文土器 身	-	-	-	-	(2.3)	赤(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SYR 6/6 SYR 6/6 SYR 6/4	横ナデ/ミガキ/横ナ デ内面に斜位の埴文 窓内窓か	56 30
71	SE8	g	須恵器	环身A	美濃須 御	Ⅲ-1期	(12.9)	-	(3.5)	やや粗(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 6/ N 7/1	回転ナデ/回転ナデ	56 30
72	SE8	19	須恵器	环身A	-	畿内系 7世紀前 期	-	-	(2.8)	赤(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 8/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	56 30
73	SE8	c	須恵器	壺	美濃須 御	-	-	(4.9)	(2.9)	赤(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 6/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ・ ヘラ切り	56 30
76	SI8- カマド	b	土師器	壺	-	-	(22.4)	-	(7.2)	赤(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	2.SYR 7/3 2.SYR 7/3 2.SYR 7/3	横ナデ/横カケ/ハケ 後横ナデ/横カケ 窓外側はハケ後に横 ナデ	57 30
77	SI8-P6	a	須恵器	壺	-	畿内系 7世紀前 期	-	-	(2.7)	やや粗(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 6/ N 3/ 2.SYR 4/2	回転ナデ/回転ナデ・ 縦合波状・沈法 施加	57 30
78	SI9	a	須恵器	环身A	美濃須 御	Ⅲ-後 半	(11.4)	-	(2.9)	赤(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 7/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ	57 30
79	SI9- 便脚底	d	土師器	壺	-	-	-	-	(1.3)	やや粗(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	普通	10YR 8/1 10YR 6/3 10YR 6/1	ハケ後横ナデ/横ナ デ	57 30
80	SI9- 便脚底	i	土師器	瓶	-	-	(23.6)	-	(7.6)	粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 8/3 10YR 8/4 10YR 8/4	横ナデ/横ハケ/延 カズリ/横ナデ	57 30
81	SI10	b	須恵器	环身A	美濃須 御	-	-	-	(2.3)	赤(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 7/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ	57 31
82	SI10	a	須恵器	环身B	美濃須 御	Ⅲ-3期	(10.4)	-	(1.6)	赤(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ	57 31
83	SI10	b	須恵器	环身B	美濃須 御	Ⅲ-3期	12.1	6.9	4.2	赤(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	7.TSY 7/1 7.TSY 7/1 7.TSY 7/2	回転ナデ/回転ナデ・ 回転・ヘラ切り	57 30
84	SI10- P6	1	土師器	瓶	-	-	-	-	(4.5)	やや粗(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	10YR 8/2 10YR 8/2 10YR 6/1	ハケ/指オサエ・ハ ケ・ナデ	57 31
85	SI10- P5	b	土師器	製塗土器	-	-	-	-	-	やや粗(径0.5mm以下の長石を多く含む)	良好	— SYR 8/2 2.SYR 7/4	不明	57 31
86	SI10- P10	d	土師器	高杯	-	-	-	-	(3.4)	赤(径0.5mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	7.SYR 8/3 SYR 7/8 SYR 2/1	指オサエ・伸状刺突 模・横ナデ/横ナデ	57 31
87	SI10- P15	i	土師器	壺	-	-	(16.6)	-	(5.5)	赤(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	7.TSY 7/2 7.TSY 7/2 7.TSY 7/2	ハケ後横ナデ/横ナ デ・ハケ	57 31
88	SI10- P17	1	須恵器	环身B	美濃須 御	Ⅲ-3期	(10.6)	-	3.7	赤(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	7.TSY 7/1 N 7/ 7.TSY 7/1	回転ナデ/回転ナデ	57 30
89	SB1- P2	1	須恵器	环身B	美濃須 御	7世紀後 半～ 8世紀前 半	-	-	(1.2)	赤(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ・ 回転・ヘラ切り後ナデ	57 31
90	SB2- P3	1	土師器	壺	-	-	-	-	(2.6)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	普通	7.SYR 6/6 10YR 6/4 10YR 6/4	横ナデ/横ナデ	57 31
91	SD27	a	土師器	壺	-	-	-	-	(2.3)	粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	10YR 7/3 10YR 6/3 10YR 7/3	横ナデ/横ナデ	59 31
92	SD27	1	土師器	製塗土器	-	-	-	-	-	やや粗(径0.1mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	— 2.SYR 4/8 2.SYR 4/8	不明	59 31

表32 出土土器観察表（5）

馬場番号	遺構名 グリッド	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調整・文様 内面/外面	補図番号	図 版番号
93	SD29	1	須恵器	平蓋A	美濃須 衛	III-3期	(15.3)	-	(2.2)	やや粗(径1.5mm以下 の長石を多く含む)	良好	X 7/ X 7/ X 7/	回転ナダ/回転ナダ	59	31
94	SD38	a	須恵器	高身	美濃須 衛	-	-	(6.1)	(0.9)	密(径0.1ミリ以下の 長石をわずかに含む)	良好	X 8/ X 8/ X 8/	回転ナダ/回転ナダ	59	31
95	SK127	1	土師器	甕	-	-	-	-	(3.5)	密(径1.0mm以下の 長石をわずかに含む)	良好	10Y 7/3 7.SYR 8/4 7.SYR 8/6	横ナダ/横ハケ/横ナ ダ/横ハケ後横ナダ	63	31
96	SK127	1	土師器	甕	-	-	(18.0)	-	(3.9)	密(径1.0mm以下の 長石をわずかに含む)	良好	SYR 8/6 STYR 8/4 2.SYR 7/6	横ナダ/横ナダ	63	31
97	SK127	1	須恵器	平蓋C	美濃須 衛	III-3期	(18.6)	-	4.1	密(径1.0mm以下の 長石・石英をわずかに 含む)	普通	SY 8/1 X 8/ SY 8/1	回転ナダ/回転ナダ	63	31
98	SK127	1	須恵器	平身B	美濃須 衛	III-3期	(12.8)	(6.8)	3.5	密(径0.5mm以下の 長石を多く含む)	良好	N 7/ N 7/ 10Y 7/1	回転ナダ/回転ナダ・ 無調整	63	31
99	SK127	1	須恵器	平身B	美濃須 衛	III-3期	12.6	5.5	4.3	密(径7.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2.5Y 8/ SY 7/1/ 2.5Y 8/	回転ナダ/回転ナダ・ 回転ヘア切り	63	31
100	SK128	b	土師器	甕	-	-	(19.0)	-	(7.2)	密(径1.0mm以下の 長石をわずかに含む)	良好	7.SYR 8/3 7.SYR 8/4 7.SYR 8/3	横ナダ/横ハケ/横ナ ダ/斜めハケ	63	31
101	SK131	1	須恵器	短取紐 旗投	H-44号 窯跡群	(5.8)	-	12.1	密(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	X 7/ 7.SYR 5/1 X 7/	回転ナダ/回転ナダ	63	31	
102	SK132	3	須恵器	平蓋A	美濃須 衛	III-3期 以前	(11.0)	-	(3.8)	やや粗(径1.0mm以下の 長石を含む)	普通	X 8/ X 7/ X 8/	回転ナダ/回転ナダ	63	31
103	SK143	b	土師器	甕	-	-	(16.2)	-	(2.2)	やや粗(径2.0mm以下の 長石・石英を多く 含む)	普通	7.SYR 6/6 10Y 7/3 10Y 7/3	ハケ・ナダ/横ナダ	63	31
104	SK143	b	須恵器	平蓋A	-	畿内系 6世紀中 葉	(13.8)	-	(2.6)	密(径1.0mm以下の長 石を含む)	良好	X 6/ X 6/ X 6/	回転ナダ/回転ナダ	63	31
105	SK157	a	須恵器	平身A	美濃須 衛	-	(9.6)	-	(2.5)	密(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	X 7/ X 8/ X 7/	回転ナダ/回転ナダ	63	32
106	SK162	a	須恵器	平身A	-	畿内系 7世紀前 半	-	-	(2.7)	密(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10Y 7/1 SP 4/1 10R 5/3	回転ナダ/回転ナダ	63	32
107	SK162	a	須恵器	平身A	-	畿内系 7世紀前 半	-	-	(3.1)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英を含む)	普通	10Y 7/1 N 6/ 10Y 7/1	回転ナダ/回転ナダ	63	32
108	SK448	a	土師器	甕	-	-	(14.6)	-	(2.1)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英を多く 含む)	普通	7.SYR 8/2 SYR 7/4 2.SYR 6/3	ハケ/横ナダ/横/ハケ	63	31
109	SK448	a	須恵器	平蓋	美濃須 衛	III-3期	-	-	(2.6)	密(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	X 7/ X 7/ X 7/	回転ナダ/回転ナダ	63	31
110	SK448	a	須恵器	平蓋	美濃須 衛	III-3期	-	-	(1.0)	密(径0.5mm以下の長 石を含む)	良好	SY 7/1 SY 7/1/ SY 7/1	回転ナダ/回転ナダ	63	31
111	SK448	2	須恵器	平身B	美濃須 衛	III-3期	11.8	5.4	3.8	やや粗(径0.5mm以下 の長石を含む)	不良	10Y 8/1 10Y 6/3 10Y 8/1	回転ナダ/回転ナダ・ 回転ヘア切り後ナダ	63	31
112	SK448	a	須恵器	平身B	美濃須 衛	III-3期	-	(7.1)	(2.1)	密(径1.0mm以下の長 石を含む)	不良	10Y 8/1 10Y 7/1 10Y 8/1	回転ナダ/回転ナダ・ 回転ヘア切り後ナダ	63	31
113	SK448	a	須恵器	平身C	美濃須 衛	III-3期	(17.3)	(6.0)	3.6	密(径1.0mm以下の長 石を含む)	良好	SPB 7/1 SPB 7/1 SPB 7/1	回転ナダ/回転ナダ・ 回転ケズリ・貼付高 台	63	31
114	SP2	d	土師器	甕	-	-	(17.7)	-	(5.6)	やや粗(径1.0mm以下の の長石・石英を多く 含む)	良好	10Y 7/3 10Y 8/4 10Y 1.7/1	横ナダ/板ナダ/横ナ ダ/横/ハケ	63	32
115	SP4	a	土師器	甕	-	-	-	-	(4.0)	やや粗(径2.0mm以下の の石英を含む)	普通	10Y 6/3 10Y 5/3 10Y 8/2	ナダ/横ナダ/ハケ後 横ナダ	63	32

表33 出土土器観察表(6)

番 号	遺 跡 名 グリッ フ	層位	種別	器種	產地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面 外面 削面)	器面圖案・文様 内面/外面	拂 拭 印 番 号
117	SP22	I	須恵器	环身B	旗投	-	-	-	(0.9)	燒 (径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 6/ N 8/ SYR 4/2 SYR 6/3	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ヘラ切り	67 32
118	BG4	II b	土師器	甕	-	-	(20.3)	-	(6.6)	燒 (径1.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	SYR 7/4 IOYR 7/4 SYR 7/4	横ナデ/横ヘケ/横ナ デ・斜めヘケ	67 32
119	BC5	II b	土師器	甕	-	-	(17.6)	-	(4.3)	燒 (径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SYR 8/3 SYR 8/3 SYR 8/3	横ナデ/横ナデ	67 32
120	BK2	II a	土師器	甕	-	-	-	-	(4.7)	やや粗 (径1.0mm以下の長石・石英・雲母を多く含む)	良好	IOYR 7/3 IOYR 6/5 IOYR 7/3	横ヘケ後横ナデ・横 ヘケ/横ナデ・横ヘケ	67 32
121	BG4	II b	土師器	甕	-	-	-	-	(4.1)	燒 (径0.5mm以下の長石・石英・雲母をわずかに含む)	普通	SY 8/3 IOYR 8/4 IOYR 6/1	横ヘケ/横ナデ	67 32
122	BC5	II b	土師器	把手付 鍋	-	-	-	-	(6.7)	燒 (径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	普通	IOYR 6/1 IOYR 8/2 IOYR 6/1	指オサエ/指オサエ・ 横ヘケ	67 32
123	BI4	II b	土師器	製塙土 器	-	-	幅 (1.3)	厚さ 1.25	(2.6)	やや粗 (径1.0mm以下の長石・石英・雲母をわずかに含む)	普通	SYR 5/6 SYR 5/6 SYR 5/6	不明	67 32
124	BD5	II b	土師器	豆	-	中世前 期か	(10.4)	-	(2.9)	燒 (径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	普通	SY 8/1 SY 8/1 SY 8/1	1段ナデ/ナデ	67 32
125	BJ4	II b	須恵器	环腹A	美濃須 衛	日期後 半	(11.2)	-	3.0	燒 (径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ヘラ 切り/回転ナデ	67 32
126	BF4	II b	須恵器	环腹A	美濃須 衛	III-3期	(11.8)	-	(3.1)	燒 (径0.5mm以下の長石を多く含む)	良好	N 8/ N 7/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ヘラ切り	67 32
127	BK4	II b	須恵器	环腹C	美濃須 衛	III-3期	(15.8)	-	(3.1)	燒 (径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SY 7/2 SY 8/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ	67 32
128	BG4	II b	須恵器	环身A	美濃須 衛	III-3期	(8.6)	-	(3.25)	燒 (径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SY 8/1 N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ヘラケズリ	67 32
129	BC5	II b	須恵器	环身A	美濃須 衛	藤原 6号窯	(12.2)	-	(3.6)	燒 (径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	不良	SY 7/1 SY 7/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ ヘラ切り	67 32
130	BK4	II b	須恵器	环身A	美濃須 衛	-	(10.4)	-	(2.6)	燒 (径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 7/ IOY 8/1	回転ナデ/回転ナデ	67 32
131	BF4	II b	須恵器	环身A	-	體内系 6型式	(10.5)	-	(4.1)	やや粗 (径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SY 6/1 N 6/ SY 6/1	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ヘラ切り	67 32
132	BH4	II b	須恵器	环身A	-	體内系 6型式	(10.2)	-	(2.6)	燒 (径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	67 32
133	BD4	II b	須恵器	环身B	美濃須 衛	III-3期	(12.4)	6.0	4.1	燒 (径1.0mm以下の長石を多く含む)	良好	SY 7/1 SY 7/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ ヘラ切り	67 32
134	BC4	II b	須恵器	环身B	美濃須 衛	III-3期	(12.9)	-	(4.2)	燒 (径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ	67 32
135	BK3	II b	須恵器	高坏	-	體内系	-	-	(2.35)	やや粗 (径1.0mm以下の長石を多く含む)	普通	SYR 4/2 SYR 5/3 SYR 5/3	回転ナデ/指オサエ/ 回転ナデ	67 32
136	BK4	II b	須恵器	高坏	-	-	-	(9.0)	(3.0)	やや粗 (径1.0mm以下の長石・石英・チャートを多く含む)	不良	IOYR 8/4 IOYR 8/3 IOYR 8/3	回転ナデ/回転ナデ	67 32
137	BK4	II b	須恵器	短瓶壺	旗投	-	(8.0)	-	(4.1)	燒 (径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	S 7/ S 7/1 SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ	67 32
138	BJ5	II b	須恵器	甕	美濃須 衛	III-3期	(18.8)	-	(2.1)	燒 (径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	不良	SY 8/1 N 8/ SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ	67 32
139	BI4	II b	須恵器	甕	-	-	-	-	(2.0)	燒 (径2.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	N 7/ N 5/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	67 32

表34 出土土器観察表(7)

馬 鹿 番 号	遺 構名 グリッ ド	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外泊) (断面)	器面調整・文様 内面・外面	捕 団 番 号
140	SII2- カマド	4	須恵器	环壹A	-	-	-	-	(2. 3)	密(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	X 7/ X 6/ X 8/	回転ナデ/回転ナデ	85 33
141	SII2- カマド	3	須恵器	环壹A	-	畿内系 6型式	(11. 1)	4. 9	(3. 1)	やや粗(径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	X 7/ X 6/ X 7/	回転ナデ/回転ナデ- 輪転ヘタ切り後ナデ	85 33
142	SII3	1	須恵器	鉢	美濃須 衛	8世紀代	-	-	(7. 1)	やや粗(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	7. SY 6/1 N 7/ 2. SY 6/1	回転ナデ/回転ナデ	85 33
143	SII4	1	土師器	瓶	-	-	-	-	(4. 6)	密(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	普通	10YR 8/3 10W 8/3 10YR 8/3	指オサエ/指オサエ	85 33
144	SII4	17	須恵器	环壹A	美濃須 衛	II期後 半	(10. 4)	-	(3. 65)	密(径0.5mm以下の長石を多く-徑3.0mm程度の長石をわずかに含む)	良好	X 7/ X 7/ X 7/	回転ナデ/回転ナデ- 輪転ヘタ切り	85 33
145	SII4	a	須恵器	高环	-	-	-	-	(2. 75)	密(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	X 7/ X 7/ X 7/	回転ナデ/回転ナデ	85 33
146	SII5	b	土師器	甕	-	-	-	-	(4. 1)	粗(径3.0mm以下の長石・石英・雲母を多く含む)	普通	10YR 8/3 10YR 8/4 10YR 8/3	不明	85 33
147	SII5	a	須恵器	环壹A	美濃須 衛	II期後 半	-	-	(2. 9)	密(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 6/1 10YR 6/1 10YR 6/1	回転ナデ/回転ナデ- ケツリ/回転ナデ	85 33
148	SII5	b	土師器	甕	-	-	(32. 4)	-	(8. 0)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	10YR 7/3 10YR 7/3 10YR 7/3	横ハケ・横ナデ/横ナ デ・斜めハケ	85 33
149	SII5	b	土師器	瓶	-	-	-	-	(15. 15)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 8/3 10YR 8/3 10YR 8/3	横ハケ後ナデ・ケツ リ/横ハケ・指オサエ	85 33
150	SII5- カマド	26	土師器	甕	-	-	-	-	(18. 0)	粗(径3.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 8/3 10YR 8/3 10YR 8/3	指ナデ/横ハケ	86 33
151	SII5- カマド	20	土師器	瓶	-	-	(24. 8)	-	(15. 7)	粗(径3.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 8/3 10YR 8/4 10YR 7/4	横ナデ・横ハケ/横ナ デ・斜めハケ	86 33
152	SD45	b	土師器	甕	-	-	(20. 8)	-	(7. 16)	密(径1.0mm以下の長石を多く含む)	良好	10YR 6/2 10YR 7/3 10YR 7/3	横ナデ・横ハケ/横ナ デ・斜めハケ	90 33
153	SD45	n	土師器	甕	-	-	(20. 4)	-	(7. 2)	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	10YR 7/4 10YR 7/3 10YR 7/3	横ナデ・横ハケ/横ナ デ・斜めハケ	90 33
154	SD45	c	土師器	甕	-	-	(18. 0)	-	(5. 8)	密(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	2. STY 8/1 10YR 7/3 7. STY 8/3	ハケ後横ナデ・横ハ ケ/横ナデ・斜めハケ	90 33
155	SD45	c	土師器	甕	-	-	(17. 2)	-	(11. 3)	やや粗(径1.0mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	2. STY 6/5 STY 7/6 2. STY 6/6	横ハケ・横ナデ/横ナ デ・斜めハケ	90 33
156	SD45	n	土師器	甕	-	-	15. 6	-	17. 65	密(径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	10YR 7/2 10YR 7/2 10YR 4/1	横ナデ・横ハケ・板ナ デ・指ナデ・横ナデ- 輪転ハケ・斜めハケ	90 33
157	SD45	ii	土師器	甕	-	-	-	-	(19. 5)	やや粗(径3.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	2. STY 6/1 2. STY 2/1 7. SYR 7/4	横ハケ・ヘタケズリ- 指ナデ・横ハケ・ハケ	90 33
158	SD45	c	土師器	瓶	-	-	-	-	(4. 8)	密(径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	良好	10YR 8/4 10YR 8/4 2. SYR 7/3	指オサエ・横ハケ/指 オサエ・横ハケ	91 33
159	SD45	c	土師器	甕	-	-	-	-	(6. 7)	やや粗(径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	普通	10YR 8/3 10YR 8/1 10YR 8/1	指オサエ/指オサエ	91 33
160	SD45	10	須恵器	环壹A	-	畿内系 6世紀末-7世紀 初頭	(13. 2)	-	(2. 5)	密(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	X 7/ X 6/ X 7/	回転ナデ/回転ナデ	91 34
161	SD45	n	須恵器	环壹C	美濃須 衛	III-3期	(16. 0)	-	(3. 4)	密(径2.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	普通	N 6/ N 7/ 7. SYR 8/1	回転ナデ/回転ナデ	91 34

表35 出土土器観察表（8）

掲 番 号	遺 跡 名 グリッ フ	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面劃・文様 内面/外面	掲 番 号	国 版 番 号
162	SD45	c-d	須恵器	环身A	-	畿内系 6世紀末 ~7世紀 初頭	11.8	5.5	3.6	赤(径1.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	良 好	N 6/ 7. SY 6/1 7. SY 7/2	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	91	34
163	SD45	a	須恵器	环身A	-	畿内系 6世紀末 ~7世紀 初頭	(11.4)	(6.0)	4.2	赤(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	SY 6/1 SY 6/1 SY 6/1	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	91	34
164	SD45	a-b	須恵器	环身A	-	-	(10.2)	(6.0)	2.8	赤(径1.5mm以下の長 石をわずかに含む)	普 通	N 8/ N 8/ 7. SY 8/2	回転ナデ/回転ナデ	91	34
165	SD45	a-b	須恵器	环身B	-	7世紀末 ~8世紀 初頭	-	5.2	(1.4)	赤(径0.5mm以下の長 石を多く含む)	普 通	7. SY 7/1 7. SY 7/1 7. SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	91	34
166	SD45	c	須恵器	提瓶	-	畿内系 6世紀末 ~7世紀 初頭	-	-	(18.05)	赤(径1.0mm以下の長 石を多く含む)	普 通	N 8/ N 4/ SY 6/1	回転ナデ/回転ナデ	91	34
167	SD45	a	須恵器	横瓶	-	-	6.2	-	(4.9)	赤(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普 通	N 6/ 7. SY 6/1 7. SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ	91	34
168	SD45	c	須恵器	甕	-	-	-	-	(12.5)	赤(径2.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	良 好	N 7/ N 7/ N 7/	当て具痕/タタキ目	91	34
169	SD45	c	須恵器	鉢	美濃須 前	-	-	(6.6)	(2.6)	やや粗(径0.5mm以下の 長石・石英を多く含む)	不 良	7. SYR 7/4 7. SYR 7/1 7. SYR 7/4	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	91	34
170	SD45	a	山茶碗	小輪	尾張	第6型式	-	5.2	(2.1)	赤(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	2. SY 8/1 2. SY 8/1 2. SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	91	34
171	SD46	a	須恵器	盤	美濃須 前	8世紀代	-	-	(1.3)	やや粗(径0.5mm以下 の長石をわずかに含む)	良 好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ	93	34
172	SD46	a	須恵器	盤	美濃須 前	8世紀代	-	(10.6)	(2.0)	赤(径0.5mm以下の長 石・石英をわずかに含む)	良 好	N 8/ N 8/ N 8/	回転ナデ/回転ナデ・ 貼付高台	93	34
173	SD48	4	土師器	甕	-	-	(19.4)	-	(5.4)	やや粗(径1.0mm以下の 長石・石英を多く含む)	良 好	10YR 7/4 10YR 8/3 10YR 5/1	横ナデ/ハケ/横ナ デ・ハケ	93	34
174	SD48	2	土師器	甕	-	-	(15.0)	-	(5.4)	やや粗(径1.0mm以下の 長石・石英を多く含む)	良 好	7. SYR 7/4 7. SYR 7/6 7. SYR 7/6	横ナデ/横ヘケ/横ナ デ・斜めハケ	93	34
175	SD48	f	土師器	甕	-	-	(16.8)	-	(4.2)	赤(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに含む)	良 好	10YR 8/4 10YR 8/4 10YR 8/4	ハケ/横ナデ/斜めハ ケ	93	34
176	SD48	4	土師器	甕	-	-	(15.0)	-	(3.4)	やや粗(径1.0mm以下の 長石・石英・雲母を多く 含む)	良 好	7. SYR 7/4 7. SYR 6/6 7. SYR 7/4	横ナデ/横ナデ/横ナ デ・ハケ	93	34
177	SD48	4	土師器	甕	-	-	-	-	(4.2)	やや粗(径0.5mm以下の 長石をわずかに含む)	普 通	2. SYR 7/3 10YR 8/4 10YR 4/1	横ナデ/ハケ/横ナデ	93	34
178	SD48	5	土師器	甕	-	-	-	-	(5.3)	やや粗(径0.5mm以下の 長石をわずかに含む)	普 通	10YR 7/3 10YR 8/3 10YR 6/6	指オサエ・横ハケ/指 オサエ・横ナデ	93	34
179	SD48	g	須恵器	环蓋A	美濃須 前	III-1期	(12.8)	-	(3.6)	赤(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	N 7/ N 7/ N 6/	回転ナデ/回転ナデ	93	34
180	SD48	z	須恵器	环蓋A	美濃須 前	III-1期	(11.3)	-	4.3	やや粗(径2.0mm以下の 長石・石英を多く含む)	普 通	2. SY 8/1 2. SY 8/1 2. SY 8/1	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	93	34
181	SD48	d-e	須恵器	环蓋B	美濃須 前	III-1期	(11.6)	-	(3.0)	赤(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普 通	N 8/ SY 8/1 10YR 7/1	回転ナデ/回転ナデ	93	34
182	SD48	e	須恵器	环身A	美濃須 前	III-1期	10.2	-	3.5	赤(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普 通	SY 7/1 SY 7/1 7. SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ・ 回転ヘラ切り	93	34

表36 出土土器観察表(9)

発 見 場 所 番 号	遺構名 グリッ ド	層位	種別	器種	產地	分類 時 期等	口徑 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調査・文様 内面/外面	排 出 場 所 番 号	
183	SD48	x	須恵器	环身A	美濃須 衛	III-1期	10.8	3.9	3.8	やや粗。(径2.0mm以下 の長石・石英を多く 含む)	不良	2.5Y 8/1 2.5Y 8/1 2.5Y 8/1	回転ナダ/回転ナダ/ 回転ヘラ切り後ナダ	93	34
184	SD48	e	須恵器	环身A	美濃須 衛	-	(10.1)	-	3.5	粗(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	不良	2.5Y 8/1 7.5Y 7/1 7.5Y 7/1	回転ナダ/回転ナダ/ 回転ヘラ切り	93	34
185	SD48	n	須恵器	环身A	旗投	H-44号 窯跡群	(10.0)	-	(3.6)	やや粗。(径0.5mm以下 の長石・石英を多く 含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナダ/回転ナダ	93	34
186	SD48	h	須恵器	环身A	旗投	H-44号 窯跡群	(10.2)	-	(2.7)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普通	7.5Y 7/1 10Y 6/1 7.5Y 7/1	回転ナダ/回転ナダ	93	34
187	SD48	4	須恵器	环身A	-	畿内系 6世紀末 ~7世紀 初期	(10.0)	(6.0)	(3.45)	粗(径0.5mm以下の長 石を多く含む)	良好	N 5/ N 6/ N 7/	回転ナダ/回転ナダ/ 回転ヘラ切り	93	34
188	SD48	i	須恵器	环身B	-	-	(11.8)	-	3.2	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	N 5/ SB 5/1 SB 6/1	回転ナダ/回転ナダ/ 回転ヘラケズリ	93	34
189	SK209	2	土師器	甌	-	-	-	(12.5)	(16.6)	やや粗。(径2.0mm以下 の長石・石英を多く 含む)	良好	7.5YR 8/4 7.5YR 8/4 7.5YR 8/4	横ハケ/板ハゼ/縦ハ ケ/横ナダ/ナダ	96	35
190	SK213	b	土師器	甌	-	-	-	-	(8.8)	粗(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	普通	10YR 8/3 7.5YR 8/3 10YR 8/2	横ハケ/横ナダ/斜 めハケ	96	35
191	SK237	14	土師器	甌	-	-	(14.3)	-	(5.5)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普通	10YR 8/2 10YR 6/4 10YR 8/2	横ナダ/横ハケ/斜 めハケ/横ナダ/横ハ ケ	96	35
192	SK237	14	土師器	甌	-	-	(13.8)	-	(5.1)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	普通	10YR 7/3 SYR 7/3 SYR 8/3	横ナダ/横ハケ/横ナ ダ/斜めハケ	96	35
193	SK237	a	土師器	甌	-	-	(18.0)	-	(4.7)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	SYR 7/6 SYR 5/2 SYR 8/4	横ナダ/横ハケ/横ナ ダ/斜めハケ	96	35
194	SK237	14	土師器	甌	-	-	(34.0)	-	(9.1)	粗(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	良好	10YR 7/4 10YR 8/4 10YR 7/3	横ナダ/横ハケ/横ナ ダ/斜めハケ/横ハ ケ	96	35
195	SK237	d	須恵器	鉢	-	7世紀 後半	-	-	(1.9)	粗(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	普通	SY 7/1 SY 7/1 2.5Y 7/1	回転ナダ/回転ナダ/ 回転ヘラ切り後ナダ	96	35
196	SK242	5	土師器	甌	-	-	(15.0)	-	(2.9)	粗(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10YR 8/3 10YR 6/3 10YR 5/1	横ナダ/横ナダ	96	35
197	SK260	1	須恵器	环身A	美濃須 衛	III-1期	(9.6)	(5.1)	(3.4)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	N 7/ N 6/ N 7/	回転ナダ/回転ナダ/ 回転ヘラ切り後ナダ	96	35
198	SK411	a	土師器	高坏	-	-	-	-	(6.4)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	7.5YR 8/3 7.5YR 8/3 7.5YR 8/3	指ナダ/指オサエ/ミ ガキ	96	35
199	B-C地点	I	灰釉陶 器	甌	旗投	黑塙90 号	-	(8.6)	(2.4)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	SY 6/1 2.5Y 7/2 2.5Y 7/2	回転ナダ/回転ナダ/ 貼付高台	97	35
200	B-C地点	I	灰釉陶 器	甌	東濃	丸石2号	-	(6.7)	(1.4)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10YR 8/2 10YR 8/2 10YR 7/2	回転ナダ/回転ナダ/ 回転糸切り・貼付高 台	97	35
201	複乱	2	灰釉陶 器	甌	旗投	新町53 号	-	(6.3)	(3.9)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	ST 8/1 ST 8/1 ST 8/1	回転ナダ/回転ナダ	97	35
202	B-C地点	I	灰釉陶 器	甌	東濃	西坂1号	-	(8.2)	(1.2)	粗(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	SY 8/1 2.5Y 8/1 SY 8/1	回転ナダ/回転ナダ/ 回転糸切り・貼付高 台	97	35
203	B-C地点	I	山茶碗	小豆	尾張	第5型式	-	(4.0)	(1.4)	粗(径1.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	普通	2.5Y 8/1 2.5Y 8/1 2.5Y 8/1	回転ナダ/回転ナダ/ 回転糸切り	97	35

表37 出土土器観察表（10）

南 北 数 量 番 号	遺構名 グリフ	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調査・文様 内面/外面	辨 別 番 号	国 版 番 号
204	B-C地点	I	陶磁器	折縁深皿	-	古瀬戸 後期	-	-	(1.4)	赤(—)	良好	10YR 8/1 10YR 8/1 10YR 8/1	回転ナデ/回転ナデ	97	35
205	B-C地点	I	陶磁器	細目付 大皿	-	古瀬戸 後IV期	-	-	(2.0)	赤(径0.1mm以下 の長石をわずかに含む)	良好	10YR 8/1 10YR 8/1 10YR 8/1	回転ナデ/回転ナデ	97	35
206	複乱	-	陶磁器	盤型香 炉	瀬戸、 美濃	豊原 第7小期	(11.5)	-	(4.5)	赤(径1.0mm以下 の長石をわずかに含む)	普通	2.SY 8/1 10YR 2/3 10YR 8/1	回転ナデ/鉄輪/回転 ナデ/鉄輪	97	35
207	複乱	a·b	陶磁器	灯明皿	-	-	(9.6)	(4.5)	1.75	赤(—)	良好	7.SYR 4/3 10YR 8/1 2.SY 7/1	鉄輪/回転ナデ/鉄 輪	97	35
208	複乱	2	陶磁器	輪光皿	瀬戸、 美濃	豊原 第5小期	(13.8)	-	(3.0)	赤(径0.1mm以下 の長石をわずかに含む)	良好	2.SY 8/1 2.SY 8/1 ST 8/2	回転ナデ/回転ナデ	97	35
209	CH5	II a	土師器	壺	-	-	(17.4)	-	(4.7)	赤(径1.0mm以下 の長石をわずかに含む)	良好	7.SYR 8/3 7.SYR 7/3 7.SYR 8/4	横ナデ/横ヘケ/横ナ デ	97	35
210	BP5	II a	土師器	壺	-	-	-	-	(4.0)	赤(径1.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	普通	10YR 7/4 2.SY 7/4 2.SY 7/4	横ナデ/横ナデ	97	35
211	BN3 BN3	II a	土師器	清瀬型 鍋	-	-	-	-	(3.0)	やや粗(径3.0mm以下 の長石・石英を多く 含む)	良好	SYR 6/6 SYR 6/6 SYR 6/6	回転ナデ/回転ナデ	97	35
212	BT4	II a	土師器	羽釜	-	-	-	-	(4.9)	赤(径1.0mm以下 の長石をわずかに含む)	普通	10YR 7/3 ST 3/1 10YR 8/3	回転ナデ/回転ナデ	97	35
213	BD4	II a	土師器	羽釜	-	-	-	-	(2.3)	赤(径1.0mm以下 の長石・石英・チャートを わずかに含む)	普通	2.SY 8/1 2.SY 8/1 2.SY 8/1	横ナデ/横ナデ	97	35
214	BP1	II a	土師器	皿	-	8I類	-	-	(2.4)	赤(径1.0mm以下 の石 英をわずかに含む)	普通	10YR 7/2 10YR 5/2 10YR 7/2	ナデ/ナデ/指オサエ	97	35
215	BN4 BO4	II a	土師器	皿	-	-	(13.8)	-	(2.4)	赤(径0.1mm以下 の長 石をわずかに含む)	普通	10YR 8/2 10YR 8/2 10YR 8/2	ナデ/ナデ	97	35
216	BR3	II a	土師器	皿	-	-	-	-	(5.2)	(2.1) 赤(径0.1mm以下 の長 石をわずかに含む)	良好	7.SYR 8/3 2.SYR 7/4 7.SYR 8/3	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナデ	97	35
217	BN3 BO3	II a	土師器	皿	-	-	-	-	(4.6)	(0.7) 赤(径1.0mm以下 の長 石をわずかに含む)	普通	10YR 8/2 10YR 7/3 10YR 7/2	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナデ	97	35
218	CE4	II a	須恵器	坪壠A	-	-	(12.7)	-	(4.9)	赤(径0.1mm以下 の長 石・石英をわずかに 含む)	良好	2.SY 6/1 2.SY 6/1 2.SY 6/1	回転ナデ/回転ナデ	97	36
219	BP2	II a	須恵器	坪壠B 夷邊須 壠	III-3期	(11.6)	-	(2.0)	赤(径0.5mm以下 の長 石をわずかに含む)	良好	SY 7/1 SY 7/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ	97	36	
220	BN3 BO3	II a	須恵器	坪壠B	-	-	(9.6)	-	(3.0)	赤(径0.1mm以下 の長 石をわずかに含む)	不良	10YR 8/1 10YR 8/1 10YR 8/1	回転ナデ/回転ナデ	97	36
221	BQ3	II a	須恵器	坪壠C	夷邊 須 壠	IV期以 降	-	(9.2)	(1.5)	赤(径1.0mm以下 の長 石をわずかに含む)	良好	SY 7/1 SY 7/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナデ/鉄輪 高台	97	36
222	BN4 BO4	II a	須恵器	豆耳环	夷邊須 壠	-	-	-	(2.5)	赤(径1.0mm以下 の長 石をわずかに含む)	普通	SY 7/1 SY 7/1 SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ ナデ	97	36
223	CD4	II b	須恵器	高坏	-	-	-	-	(2.4)	やや粗(径1.0mm以下 の長 石をわずかに含む)	不良	2.SYR 6/4 2.SYR 6/4 2.SYR 6/4	回転ナデ/回転ナデ	97	36
224	BN5 BN5	II a	須恵器	盤	夷邊須 壠	V-1期	-	(10.2)	(2.3)	赤(径1.0mm以下 の長 石をわずかに含む)	良好	2.SY 7/1 10YR 7/1 2.SY 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ 貼付高台	98	36

表38 出土土器観察表 (11)

馬場番号	遺構名 グリップ	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調整・文様 内面/外面	捕獲番号	
225	CD4	II b	須恵器	罐	-	7世紀 前半	-	-	(4.65)	焼(径0.5mm以下の長 石・石英をわずかに含む)	良好	N T/ N T/ N R/	回転ナデ/回転ナデ	98	36
226	CE5	II a	須恵器	器台	-	-	-	-	(6.3)	焼(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	ST 7/1 ST 7/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 削突文	98	36
227	BP3	II a	灰釉陶器	碗	東濃	虎渕山 1号	(15.0)	(7.0)	5.2	焼(径1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2. ST 7/1 2. ST 7/1 2. ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台	98	36
228	CF5	II a	山茶碗	碗	東濃	浅間窯 下1号～ 窑洞1号	-	(6.3)	(2.5)	焼(径1mm以下の長 石・チャートをわず かに含む)	良好	7. ST 8/1 7. ST 8/1 7. ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ- 貼付高台	98	36
229	BR3	II b	灰釉陶器	碗	東濃	丸石2号	-	(6.4)	(1.9)	焼(径1mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	良好	2. ST 7/2 2. ST 7/2 2. ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台	98	36
230	BQ3	II b	灰釉陶器	碗	東濃	虎渕山 1号	-	(7.4)	(2.4)	焼(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10YR 7/1 10YR 7/1 10YR 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台	98	36
231	B-C地点	II a- II b	灰釉陶器	碗	東濃	丸石2号	-	(6.8)	(1.4)	焼(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2. ST 8/1 2. ST 8/1 2. ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤ケラズ・貼 付高台	98	36
232	BR3	II a	灰釉陶器	碗	東濃	丸石2号	-	(6.0)	(1.3)	焼(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2. ST 8/1 2. ST 8/1 2. ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ	98	36
233	CF5	II a	灰釉陶器	皿	東濃	丸石2号	(12.4)	(6.7)	2.8	焼(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	ST 7/1 2. ST 8/1 2. ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台	98	36
234	BR3	II a	山茶碗	碗	東濃	第3型式	-	(7.0)	(2.9)	焼(径1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	2. ST 7/1 2. ST 7/1 2. ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台	98	36
235	CC5	II a	山茶碗	碗	東濃	浅間窯 下1号～ 窑洞1号	-	(7.4)	(2.0)	焼(径1mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	普通	ST 7/1 ST 7/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 貼付高台	98	36
236	BN5 BO5	II a	山茶碗	碗	尾張	第6型式	-	(7.0)	(2.1)	焼(径1.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	良好	N R/ N R/ N R/	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台(鉛鉱脈あり)	98	36
237	BS5	II a	山茶碗	碗	尾張	第6型式	-	(8.7)	(4.1)	やや粗(径0.1mm以下 の長石をわずかに含 む)	良好	ST 7/1 ST 7/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台(鉛鉱脈あり)	98	36
238	BO2	II a	山茶碗	碗	東濃	浅間窯 下1号～ 窑洞1号	-	(7.0)	(2.1)	焼(径1.5mm以下の長 石・石英をわずかに 含む)	普通	2. ST 7/1 2. ST 7/1 2. ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台(鉛鉱脈あり)	98	36
239	BN4 BO4	II a	山茶碗	碗	尾張	第6型式	-	(6.2)	(2.05)	やや粗(径1.0mm以下 の長石を多く含む)	良好	2. ST 7/1 2. ST 7/1 2. ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台(鉛鉱脈あり)	98	36
240	BS5	II a	山茶碗	碗	尾張	第7型式	-	(5.2)	(2.1)	焼(径2.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	普通	2. ST 8/1 2. ST 8/1 2. ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り	98	36
241	CF5	II a	山茶碗	碗	東濃	浅間窯 下1号～ 窑洞1号	-	(6.6)	(1.7)	やや粗(径0.5mm以下 の長石を多く含む)	良好	ST 7/2 ST 8/1 ST 8/1	回転ナデ(不明) ST 7/2 ST 8/1 ST 8/1	98	36
242	BO1	II a	山茶碗	小皿	尾張	第6型式	8.2	5.5	2.1	焼(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	ST 8/1 ST 8/1 —	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り	98	36
243	BP3	II a	山茶碗	小皿	東濃	大瀬大 窯4号	-	(4.0)	(1.5)	焼(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	ST 8/1 ST 8/1 ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ- 回転赤切り・貼付高 台(鉛鉱脈あり)	98	36
244	BT5	II a	陶磁器	天日茶 碗	-	古窯戸 後Ⅱ期	(13.0)	-	(5.7)	焼(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10YR 2/1 10YR 5/2 2. ST 8/1	回転ナデ/回転ナデ	98	36
245	BP3	II a	陶磁器	縁輪小 皿	-	古窯戸 後Ⅱ期	(10.4)	-	(2.1)	焼(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良好	10YR 8/1 10YR 8/1 10YR 8/1	回転ナデ/回転ナデ	98	36
246	BS4	II a	陶磁器	盤鉢	-	古窯戸 後Ⅳ期	-	-	(3.4)	焼(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	普通	2. ST 8/2 2. ST 3/4 10YR 8/1	回転ナデ/回転ナデ	98	36
247	BP4	II a	陶磁器	盤鉢	-	大瀬 第1段階	-	-	(2.5)	やや粗(径1.0mm以下の の長石をわずかに含 む)	不良	10YR 3/1 10YR 3/3 2. ST 7/1	不明/回転ナデ	98	36

表39 出土土器観察表 (12)

揭露番号	遺物名 グリフ	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面彫刻・文様 内面/外面	博物館番号
248	CFS	H2a	陶磁器	白磁碗	-	-	-	-	(2.0)	素(一)	良好	ST 7/2 ST 7/2 2.5Y 7/1	不明	98 36
249	BQ5	-	陶磁器	青磁 花皿	-	-	(11.8)	-	(2.3)	素(一)	良好	ST 6/2 ST 6/2 2.5Y 7/1	回転ナデ/回転ナデ	98 36
255	SD20	a	須恵器	环身A	美濃領 南	III-1期	9.2	4.2	3.9	素(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	良好	2.5Y 7/1 2.5Y 7/1 2.5Y 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナラ切り	101 37
256	SD20	a	須恵器	平瓶	猿投	-	-	-	(7.25)	素(径1.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	良好	ST 7/1 7.5Y 4/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナラケズリ	101 37
257	SI16- カマド	1	土師器	甕	-	-	(14.0)	-	(14.3)	素(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	普通	10YR 8/1 10YR 7/2 10YR 8/1	横ハケ/横ハケ後板ナ デ/横ハケ後板ナデ/横 ナラ/横ハケ/斜めハ ケ	104 37
258	SI16- カマド	1	土師器	把手付 瓶	-	-	(29.4)	-	(18.5)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	良好	10YR 8/4 10YR 8/3 10YR 8/3	横ハケ/横ハケ後板ナ デ/横ナデ/斜めハ ケ/落ナデ/指オサ エ/横ハケ	104 37
259	SI16- カマド	1	土師器	把手付 瓶	-	-	-	-	(12.8)	(8.8)	良好	10YR 8/3 10YR 7/3 10YR 8/	横ハケ/指ナデ/ハケ	104 37
260	SI16	a	須恵器	台付碗	美濃領 南	III-1期	(19.0)	-	(5.4)	素(径2.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	良好	N 6/ N 6/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	104 37
261	SI17	8	須恵器	环身A	-	畿内系 7世紀前半	(15.8)	-	(1.4)	素(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ	113 37
262	SI21	a	須恵器	环蓋A	-	畿内系 か	-	-	(1.55)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	良好	N 7/ N 6/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナラ切り後回転 ナデ	113 37
263	SI21	c	須恵器	高坏	-	畿内系 7世紀前半	-	-	(3.5)	粗(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	良好	N 7/ N 6/ N 7/	指ナデ/回転ナデ/回 転ナデ	113 37
264	SI21	c	須恵器	高坏	-	畿内系 7世紀前半	(11.8)	-	(1.05)	素(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	良好	10Y 7/1 10Y 3/1 10Y 7/1	回転ナデ/回転ナデ	113 37
265	SI18	a	土師器	甕	-	-	(14.4)	-	(5.75)	粗(径3.0mm以下の長 石・石英・雲母を多く 含む)	普通	8YR 7/4 7.5YR 8/2 7.5YR 8/2	横ハケ/横ナデ/斜 ハケ	113 37
266	SI18	b	土師器	甕	-	-	(14.4)	-	(3.8)	粗(径3.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	普通	7.5YR 8/1 7.5YR 8/2 7.5YR 7/4	横ハケ後ナデ/横ナ デ/斜ハケ	113 37
267	SI18- カマド	3	土師器	甕	-	-	-	-	(18.1)	やや粗(径2.0mm以下 の長石・石英を多く 含む)	良好	10YR 8/3 10YR 8/2 10YR 8/3	横ハケ/斜めハケ/鏡 ハケ	113 37
268	SI18- カマド	1	須恵器	环蓋A	美濃領 南	III-1期	12.8	-	3.45	素(径2.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	良好	2.5Y 8/ 2.5Y 7/1 2.5Y 8/1	回転ナデ/回転ナ ラ切り/回転ナデ	113 38
269	SI18-P9	1	須恵器	环蓋B	美濃領 南	III-1期	(9.6)	-	(2.15)	素(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	良好	N 7/ N 7/ N 7/	回転ナデ/回転ナデ/ 回転ナラ切り	113 37
270	SI19	1	土師器	瓶	-	-	-	-	(9.1)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	普通	10YR 7/4 10YR 7/4 10YR 8/4	横ハケ/指オサエ/鏡 ハケ/指オサエ	113 37
271	SI19	1	須恵器	壺	猿投	7世紀前 半	-	(12.7)	(13.1)	素(径1.0mm以下 の長石をわずかに 含む)	普通	ST 7/1 ST 6/1 ST 7/1	回転ナデ/回転ナデ/ カキ目/回転ヘラケ ギズリ/回転ナラ切り	113 37
272	SD49	a	土師器	甕	-	-	(17.9)	-	(2.9)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英をわずかに 含む)	良好	10YR 5/3 10YR 3/1 10YR 2/1	横ナデ/横ハケ/横ナ デ	119 38
273	SD50	d	土師器	宇田型 甕	-	-	-	-	(2.5)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英を多く 含む)	普通	10YR 8/1 10YR 8/2 10YR 5/1	横ナデ/横ナデ	119 38
274	SD50	i	土師器	宇田型 甕	-	-	-	-	(2.4)	やや粗(径3.0mm以下 の長石・石英・雲母を 多く含む)	良好	7.5YR 7/4 7.5YR 7/6 7.5YR 7/6	横ナデ/横ナデ/鏡ハ ケ	119 38
275	SD50	e	土師器	宇田型 甕	-	-	(17.8)	-	(2.85)	やや粗(径1.0mm以下 の長石・石英・雲母を わずかに含む)	普通	7.5YR 8/2 7.5YR 8/2 7.5YR 5/2	横ナデ/横ナデ/鏡ハ ケ	119 38

表40 出土土器観察表 (13)

掲載番号	遺構名 グリップ	層位	種別	器種	産地	分類 時期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調整・文様 内面/外面	補図 番号
276	SD50	b	土師器	平底壺	-	-	(14.0)	-	(2.3)	やや粗(径1.5mm以下の長石・石英・雲母を多く含む)	普通	IOWR 8/3 IOWR 8/3 IOWR 5/1	横ナブ/横ナブ	119 38
277	SD50	g	須恵器	坪壺A	美濃須 衛	Ⅲ-1期 併行	(13.8)	-	(3.2)	粗(径1.0mm以下の長石を多く含む)	良好	N T/ N S/ N T/	回転ナブ/回転ナブ	119 38
278	SD50	i	須恵器	坪壺A	-	畿内系 6世紀末～7世紀 初頭	(12.2)	-	(3.5)	粗(径1.0mm以下の長石を多く含む)	良好	2. SYR 7/1 2. SYR 7/1 2. SYR 7/1	回転ナブ/回転ヘラ 切り・回転ナブ	119 38
279	SD50	e	土師器	高杯	-	-	-	(19.4)	(4.25)	やや粗(径1.0mm以下の長石・石英をわずかに含む)	普通	2. SYR 5/6 SYR 5/4 SYR 5/4	指ナブ/横ナブ/横ナ ブ	119 38
280	SD50	d	土師器	高杯	-	-	-	(9.6)	(3.2)	粗(径1.0mm以下の長石・石英を多く含む)	良好	SYR 6/4 2. SYR 6/6 SYR 5/4	横ナブ/横ナブ	119 38
281	SD51	f	土師器	甕	-	-	(24.2)	-	(6.1)	粗(径1.0mm以下の長石・石英・雲母を多く含む)	良好	7. SYR 7/6 SYR 7/6 7. SYR 7/6	横ナブ/横ナブ/斜 へケ	119 38
282	SD51	e	土師器	甕	-	-	14.6	-	15.2	やや粗(径2.0mm以下の長石・石英を多く含む)	普通	IOWR 8/3 7. SYR 6/3 2. SYR 6/6	横ナブ/指オサエ・板 ナブ/横ナブ/傾・斜 へケ・鉛め板ナブ	119 38
283	SD51	e	土師器	甕	-	-	-	-	(7.0)	粗(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	普通	2. SYR 8/2 2. SYR 8/2 2. SYR 8/2	指ナブ/指オサエ・指 ナブ/斜めハケ	119 38
284	SD51	g	土師器	甕	-	-	(13.2)	-	(16.6)	粗(径1.0mm以下の長石・石英・雲母を多く含む)	良好	IOWR 8/1 IOWR 8/1 IOWR 8/1	横ハケ後模ナブ/横 ナブ/斜め指ナブ/指 オサエ/横ナブ/傾・難 へケ・鉛めハケ	119 38
285	SD51	4	須恵器	坪壺A	旅投	H-50号 窯	(10.2)	-	3.0	粗(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SY 8/1 SY 7/2 SY 7/2	回転ナブ/回転ヘラ ケツリ/回転ナブ	119 38
286	SD51	d	須恵器	坪壺B	美濃須 衛	Ⅲ-3期	(8.2)	-	(1.6)	粗(径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SY 8/1 SY 7/1 SY 8/1	回転ナブ/回転ナブ	119 38
287	SD51	b	須恵器	坪壺B	美濃須 衛	Ⅲ-3期	-	-	(1.65)	粗(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N T/ SY 7/1 SY 7/1	回転ナブ/回転ナブ	119 38
288	SD51	d	須恵器	坪壺B	美濃須 衛	Ⅲ-3期	(12.5)	-	1.6	粗(径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	2. SY 7/1 2. SY 7/1 —	回転ナブ/回転ナブ	119 38
289	SD51	f	須恵器	坪壺C	美濃須 衛	Ⅲ-3期	(14.0)	-	(1.9)	粗(径0.5mm以下の長石をわずかに含む)	良好	N T/ N T/ N T/	回転ナブ/回転ナブ	119 38
290	SD51	g	須恵器	坪壺A	美濃須 衛	Ⅲ-3期	9.5	5.2	2.8	粗(径1.0mm以下の長石・チャートをわずかに含む)	良好	7. SY 7/1 7. SY 7/1 7. SY 7/1	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタ切り	120 38
291	SD51	f	須恵器	坪壺B	美濃須 衛	Ⅲ-3期	-	6.0	4.2	粗(径2.0mm以下の長石・チャートをわずかに含む)	良好	N T/ N T/ N T/	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタ切り	120 38
292	SD51	f	須恵器	坪壺B	美濃須 衛	Ⅲ-3期	(14.4)	(7.2)	3.9	粗(径1.0mm以下の長石を多く含む)	良好	N T/ N T/ N T/	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタケツリ	120 38
293	SD51	d	須恵器	坪壺B	美濃須 衛	Ⅲ-3期	13.75	6.7	4.15	粗(径2.0mm以下の長石をわずかに含む)	不良	7. SYR 8/3 7. SYR 8/3 7. SYR 8/3	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタ切り	120 38
294	SD51	d	須恵器	長頸壺	-	畿内系	-	-	(7.8)	やや粗(径2.0mm以下の長石を多く含む)	良好	N S/ 7. SY 8/1 2. SY 7/1	回転ナブ/回転ナブ	120 38
295	SD51	e	須恵器	短頸壺	美濃須 衛	Ⅱ期後 半	(4.9)	(10.4)	15.8	粗(径1.0mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SPB 5/1 SPB 5/1 SPB 4/1	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタケツリ・指 ナブ	120 39
296	SD51	4	須恵器	鉢	美濃須 衛	7世紀後 半	10.4	8.6	8.3	粗(径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	SY 7/1 SY 7/1 SY 7/1	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタ切り	120 38
297	SD51	c	須恵器	鉢	美濃須 衛	畿内系 7世紀前 半	10.5	8.6	7.1	粗(径0.1mm以下の長石をわずかに含む)	良好	2. SY 7/1 2. SY 7/1 2. SY 7/1	回転ナブ/回転ナブ/ 回転ヘタ切り	120 38

表41 出土土器観察表（14）

南 北 叢 番 号	遺構名 グリフ	層位	種別	器種	產地	分類時 期等	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼 成	色調 (内面) (外面) (断面)	器面調査・文様 内面/外面	持 国 番 号	
298	SD61	d	須恵器	平瓶	美濃須 街	Ⅲ-3期	(9.65)	10.1	(16.85)	壺(径2.0mm以下の長 石・石英をわずかに含む)	良 好	N 7/ N 8/ N 8/	回転ナゲ/回転ナゲ・ 横ナゲ・回転ヘラ切 り	120	39
299	SD61	a	灰釉陶 器	碗	東濃	虎尾山 1号	-	(7.6)	(3.35)	壺(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	10W 8/1 10W 8/1 10W 8/1	回転ナゲ/回転ナゲ・ 貼付高台	120	38
301	SD62	g	土師器	甕	-	-	-	(2.3)	-	やや粗(径2.0mm以下 の長石・石英をわずかに含む)	普 通	10W 8/2 10W 6/3 10W 4/1	横ナゲ・横ハケ/横ナ ゲ	120	39
302	SD62	f	須恵器	坪蓋A	美濃須 街	Ⅲ-1期	(12.0)	-	(3.8)	やや粗(径1.5mm以下 の長石を多く含む)	不 良	2.5Y 8/1 2.5Y 8/1 2.5Y 8/2	回転ナゲ/回転ヘラ ケズリ・回転ナゲ	120	39
303	SD62	i	須恵器	坪蓋Aか	-	6世紀初 頭か	(14.2)	-	(3.5)	やや粗(径0.5mm以下 の長石をわずかに含む)	良 好	N 6/ N 5/ 7.5Y 7/1	回転ナゲ/回転ナゲ	120	39
304	SK390	3	土師器	甕	-	-	(16.0)	-	(9.1)	粗(径3.0mm以下の長 石・石英を多く含む)	普 通	10W 8/2 10W 8/4 10W 2/1	横ナゲ/横ナゲ・捺ナ ゲ	120	39
305	SK340	f	須恵器	坪蓋A	-	畿内系 6世紀末 ~7世紀 初頭	(11.4)	-	(3.2)	壺(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	2.5Y 7/1 2.5Y 7/1 2.5Y 7/1	回転ナゲ/回転ヘラ 切り・回転ナゲ	120	39
306	B地点	I	灰釉陶 器	小豆	東濃	丸石2号	(9.7)	(6.1)	(2.3)	壺(径0.5mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	ST 8/1 ST 8/1 ST 8/1	回転ナゲ/回転ナゲ・ 貼付高台	121	39
307	B地点	I	陶器	青磁碗	飛鳥室 系	-	(17.6)	-	(1.7)	壺(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	2.5W 6/2(施 墨) 2.5W 2/2(施 墨) 2.5Y 7/1	回転ナゲ/回転ナゲ	121	39
308	BP15	IIa	須恵器	坪蓋A	-	-	(10.2)	-	(2.9)	壺(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	2.5Y 7/2 2.5Y 6/1 2.5Y 7/1	回転ナゲ/回転ナゲ	121	39
309	BP20	IIa	須恵器	坪蓋	美濃須 街	-	-	-	(1.6)	壺(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	2.5Y 8/1 2.5Y 8/1 2.5Y 8/1	回転ナゲ/回転ナゲ	121	39
310	BP20	IIa	須恵器	坪身A	美濃須 街	-	13.2	-	(2.7)	壺(径1.0mm以下の長 石・石英をわずかに含む)	普 通	ST 8/1 ST 8/1 10W 8/1	回転ナゲ/回転ナゲ	121	39
311	BP14	IIa	須恵器	高杯	-	-	-	(9.3)	(4.65)	壺(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	2.5Y 6/1 7.5Y 5/1 7.5Y 6/1	回転ナゲ/回転ナゲ	121	39
312	BP17	IIa	須恵器	有蓋高 杯	-	-	-	-	(3.8)	壺(径1.0mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	ST 7/1 ST 7/1 ST 7/1	回転ナゲ/回転ナゲ・ 回転ナゲスリ	121	39
313	BP15	IIa	山茶碗	碗	尾張	箇6型式	-	(9.2)	(2.5)	壺(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	良 好	ST 8/1 ST 8/1 ST 8/1	回転ナゲ/回転ナゲ・ 回転ヘラ切り・貼付高 台(板設置あり)	121	39

表42 出土土製品観察表（1）

南 北 叢 番 号	遺構名 グリフ	層位	器種	產地	分類時 期等	長さ (cm)	幅 (cm)	厚S (cm)	重量 (g)	胎土	焼 成	色調 (外面) (断面)	器面調査・文様 (外面)	持 国 番 号	
6	SD10	a	凸面布 目平瓦	-	-	(9.0)	(8.0)	1.9	212.7	壺(径0.1mm以下の長 石をわずかに含む)	普 通	N 4/ N 7/	布目	19	28
74	S18	a	土鍋	-	-	2.95	(2.1)	(1.1)	6.3	壺(径0.1mm以下の長 石をチャートをわ ずかに含む)	普 通	10W 8/3 10W 8/2	-	57	30
250	BS4	IIa	軒丸瓦	-	-	(7.6)	(9.7)	(3.1)	183.3	やや粗(径1.0mm以 下の長石をわずかに 含む)	普 通	2.5Y 6/1 2.5Y 6/1	-	99	37
251	CF4	IIa	平瓦	-	-	(8.5)	(10.0)	2.0	199.3	やや粗(径1.0mm以 下の長石をわずかに 含む)	不 良	7.5Y 8/2 7.5Y 8/2	織叩き(内面)/布 目(外面)	99	37

表43 出土土製品観察表（2）

揭露番号	遺構名 グリップ	層位	器種	産地	分類時 用等	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	胎土	焼成	色調 (外面) (断面)	器面調整・文様 (外面)	博団 番号	国 版 番 号
252	BP4	IIa	土錐	-	-	(3.5)	1.0	1.0	2.8	褐(径1.0mm以下の 長石・石英をわずかに 含む)	普通	7.STR 8/4 7.STR 8/4	-	99	36
253	BP2	IIa	土錐	-	-	4.5	1.1	1.1	5.7	褐(径1.0mm以下の 長石・石英・チャートを 多く含む)	普通	10YR 8/3 10YR 8/3	-	99	36
300	SDS1	8	土錐	-	-	(3.7)	1.5	1.6	7.8	褐(径1.0mm以下の 長石をわずかに含む)	良好	10YR 8/2 10YR 8/2	-	120	38
314	BO14	IIa	土錐	-	-	(5.6)	1.8	1.75	17.0	褐(径1.0mm以下の 長石・チャートをわ ずかに含む)	普通	10YR 8/3 10YR 8/6	-	121	39

表44 出土石器観察表

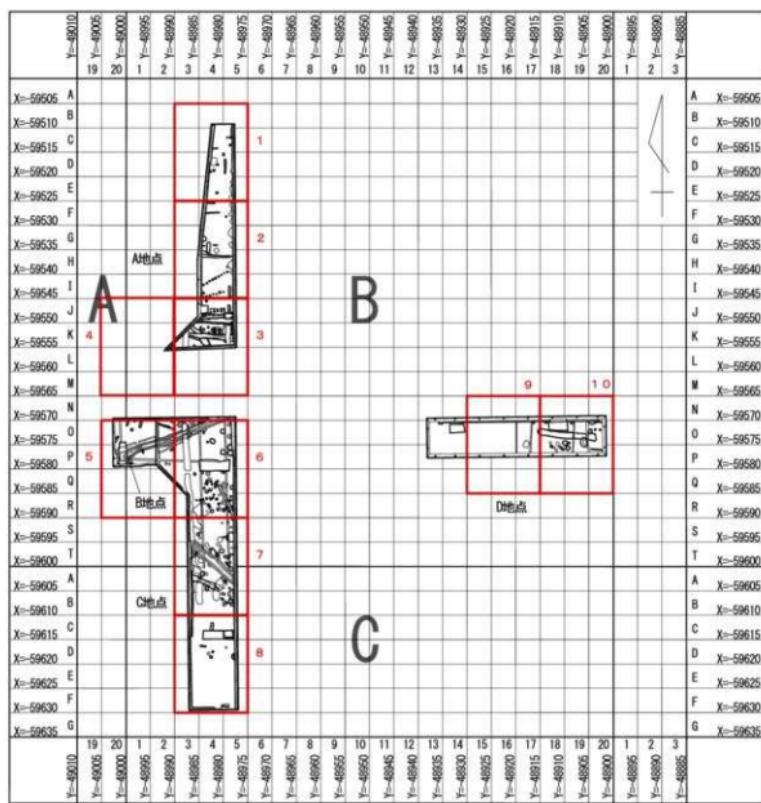
揭露番号	遺構名 グリップ	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	博団 番号	国 版 番 号
54	SI5	1	砾石	白色 砂灰岩	(5.4)	7.1	1.7	32.2	長辺4面に研磨あり 下部破損	32	30
75	SI8	6	砾石	砂岩	(6.2)	(3.3)	2.9	97.5		57	30
315	BP20	IIb	砾石	砂岩	8.3	4.3	1.7	101.2		121	39

表45 出土木製品観察表

揭露番号	遺構名 グリップ	層位	器種	木材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	木取り	備考	博団 番号	国 版 番 号
116	SP4	-	柱材	カヤ	711	172.9	116.1	芯持丸木		66	32

表46 出土金属製品観察表

揭露番号	遺構名 グリップ	層位	器種	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	博団 番号	国 版 番 号
254	BO2	IIa	錢貨	銅	2	2.3	0.1	1.1	元祐通宝	99	37



※B-C 地点では、第2調査面の道構を灰色で図示している。

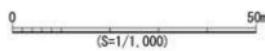


図 122 発掘区全域圖割付図（第1調査面）

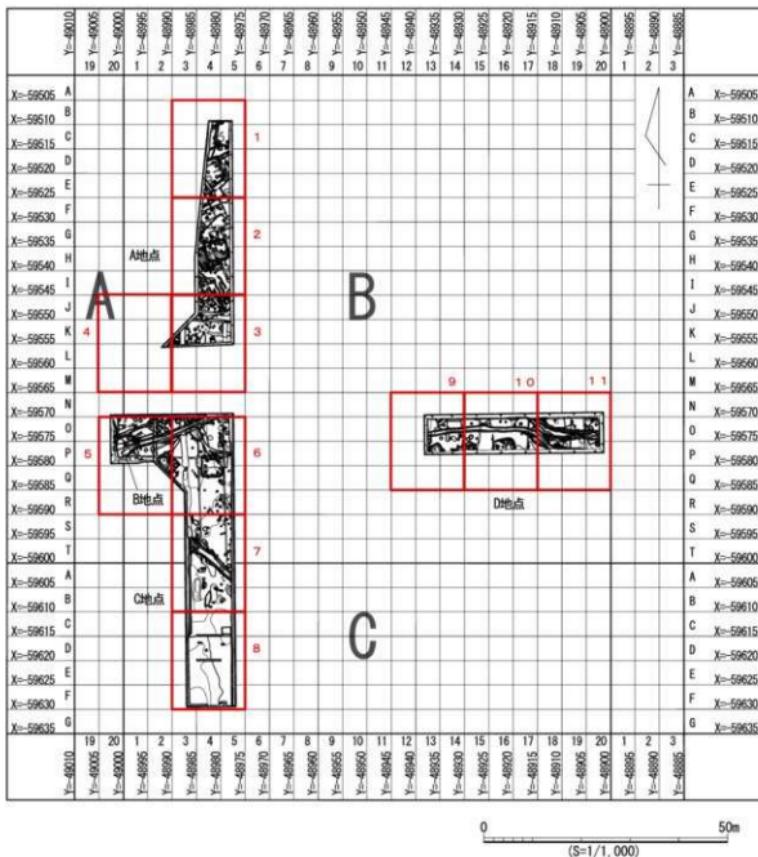


図 123 発掘区全域図割付図（第2調査面）

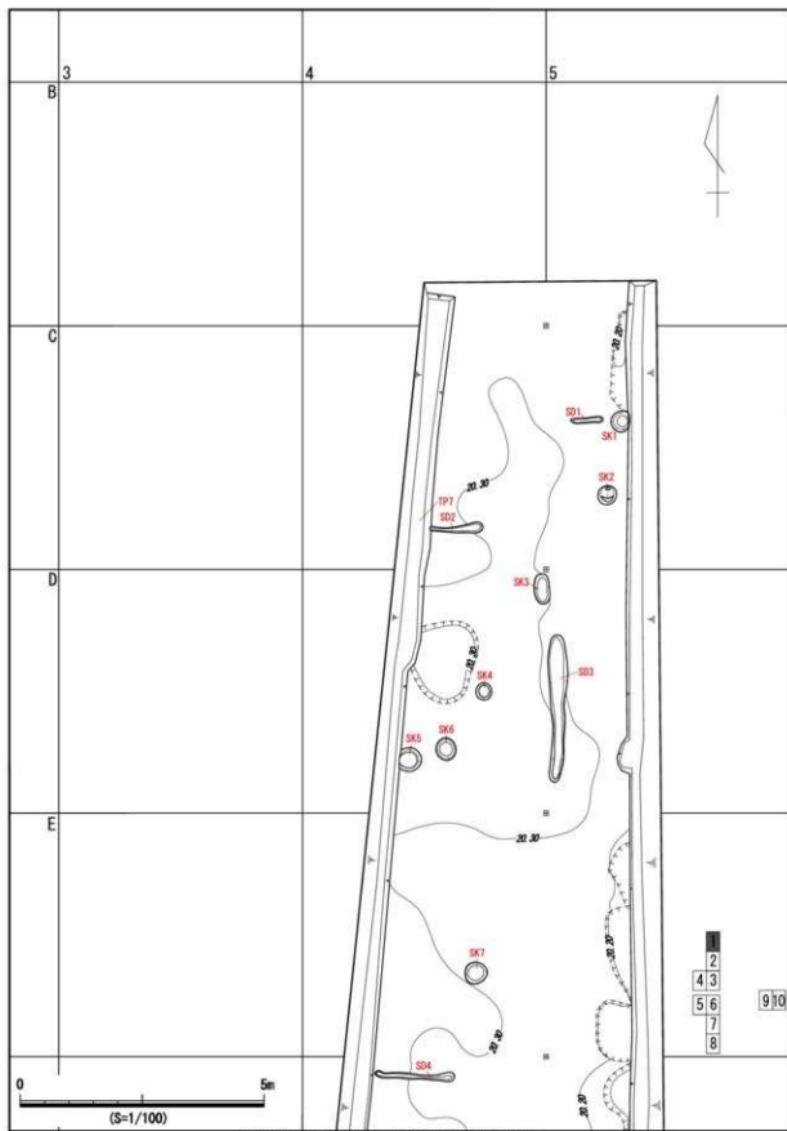


図 124 第1調査面 発掘区全域図分割図 1

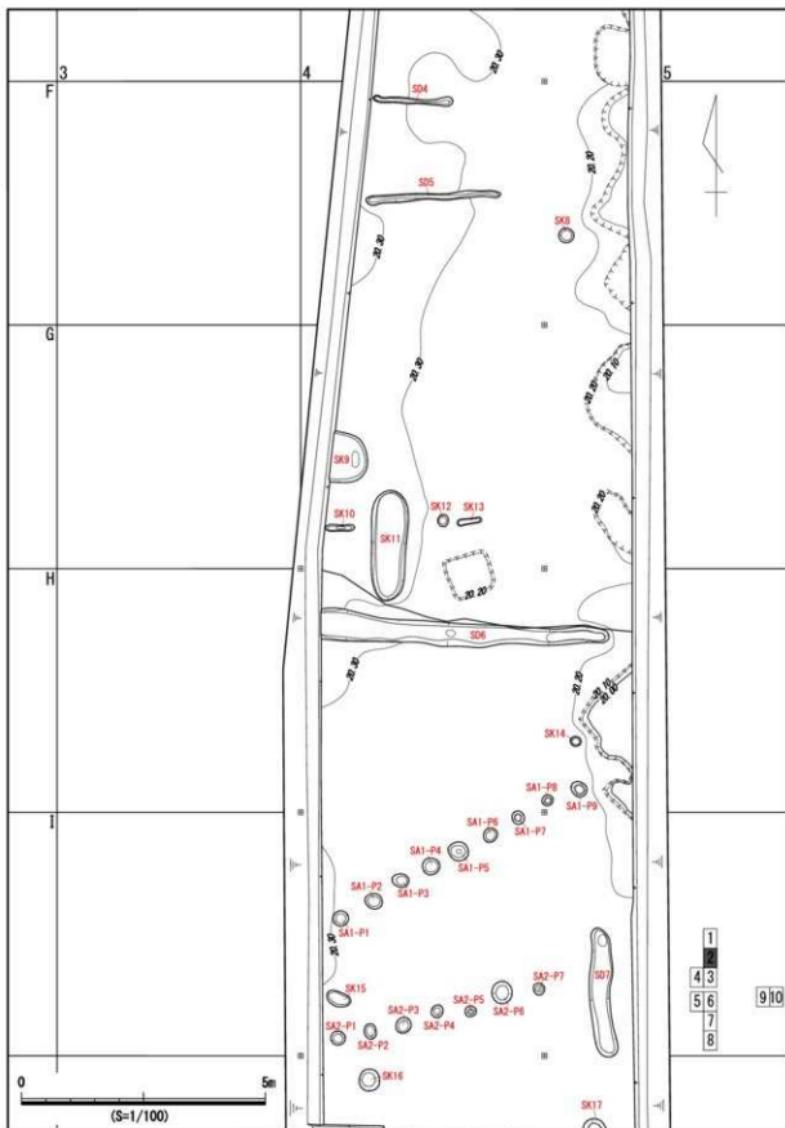


図 125 第 1 調査面 発掘区全域図分割図 2

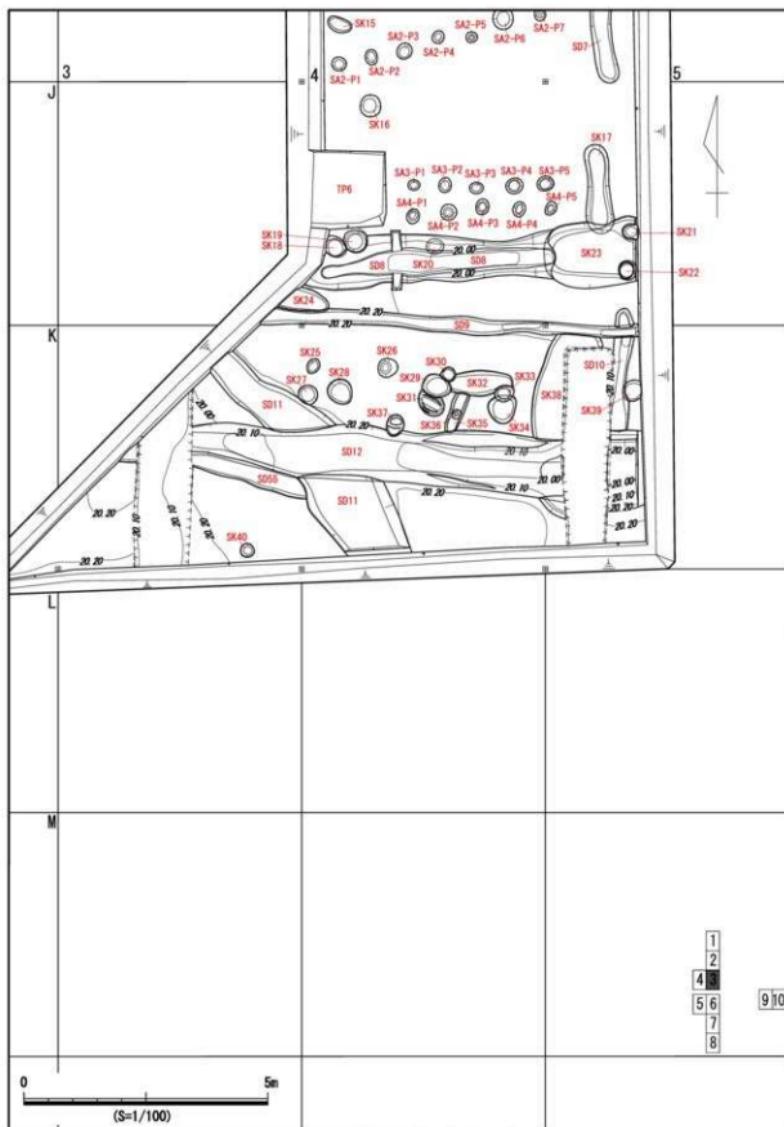


図 126 第1調査面 発掘区全域図分割図 3

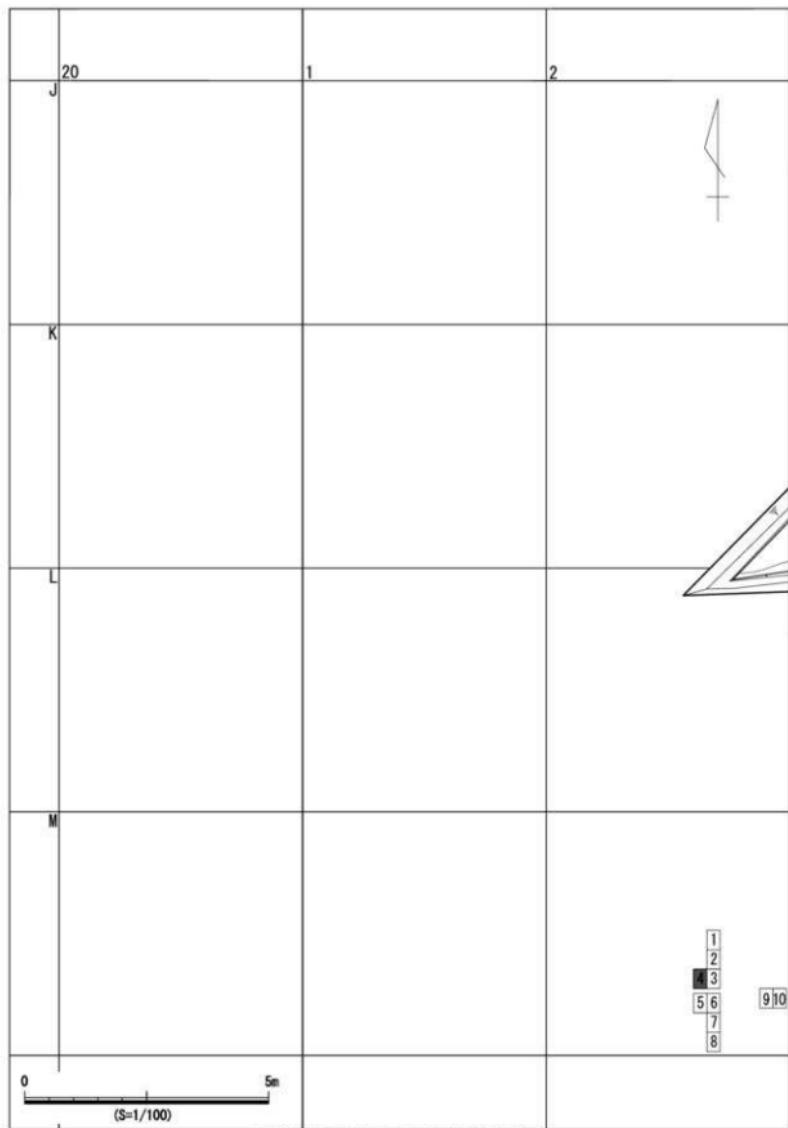


図 127 第 1 調査面 発掘区全域図分割図 4

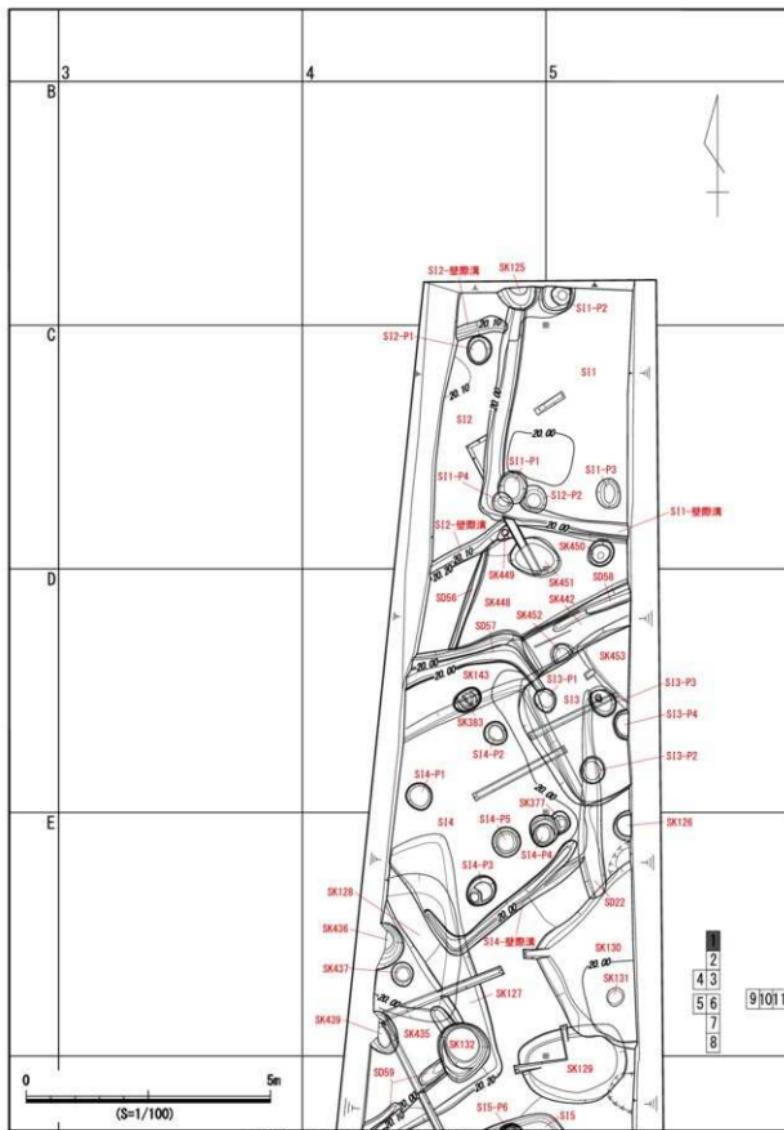


図 128 第2調査面 免掘区全域図分割図

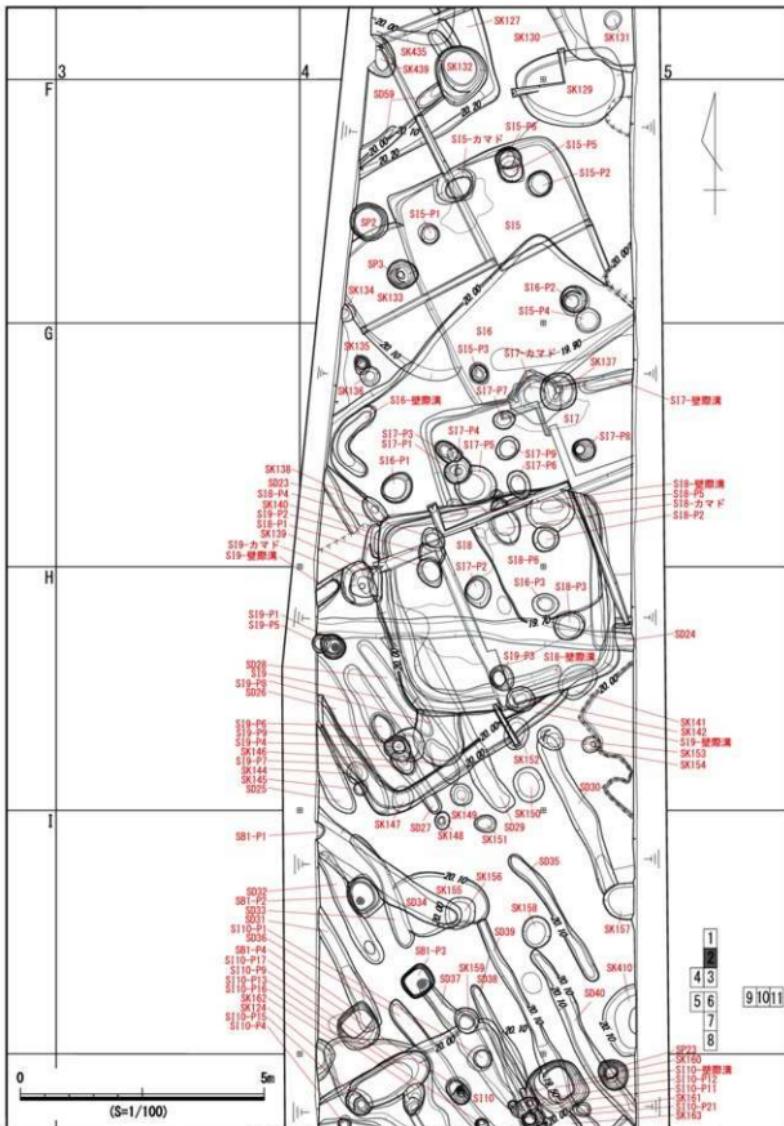


図 129 第2調査面 発掘区全域図分割図

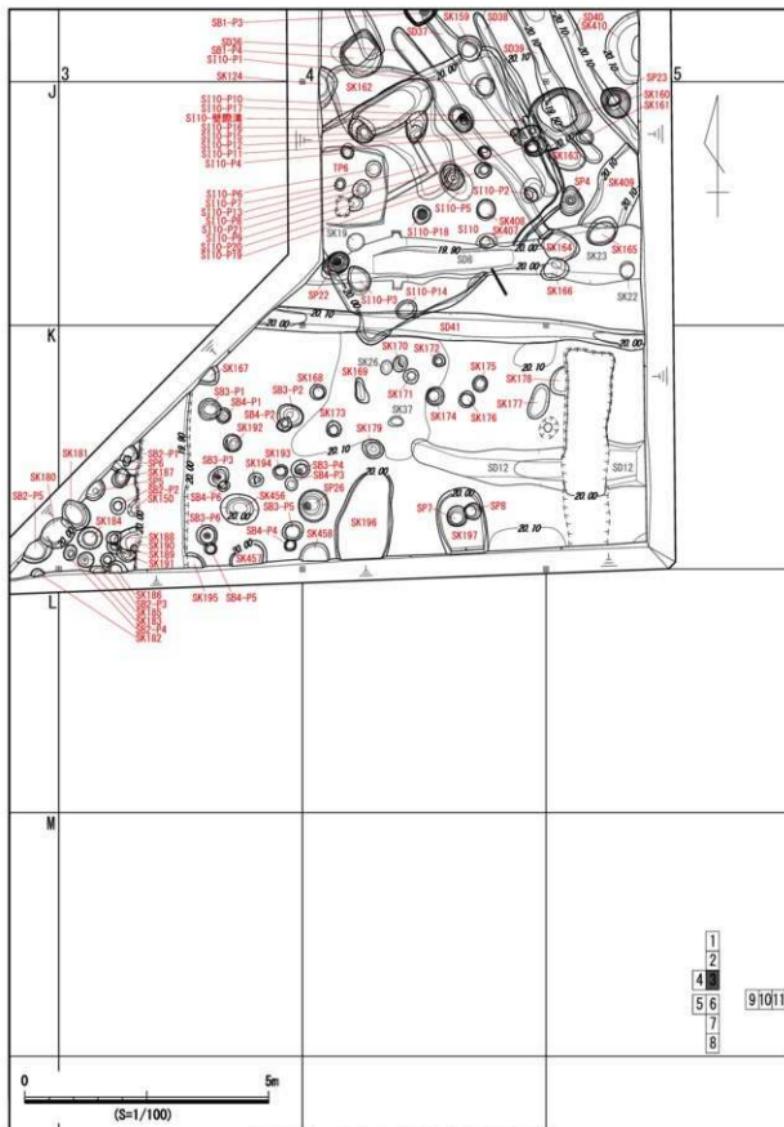


図 130 第2調査面 発掘区全域図分割図 3

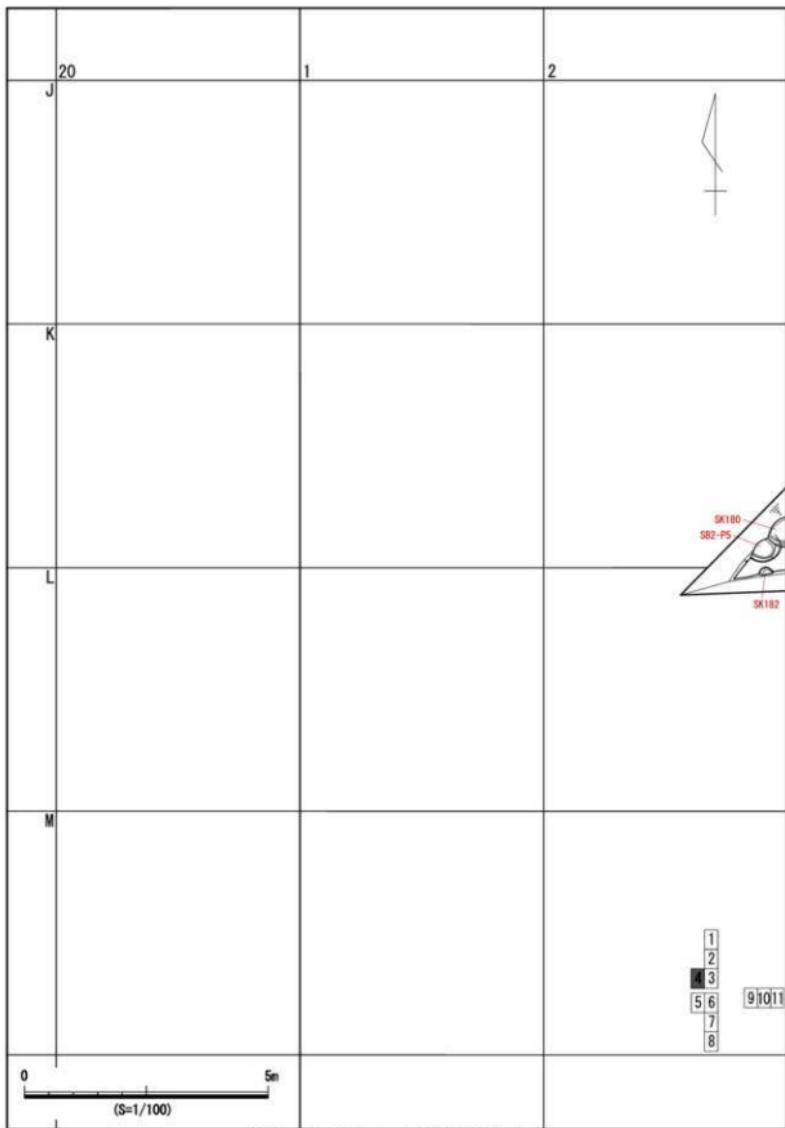


図 131 第2調査面 発掘区全域図分割図 4

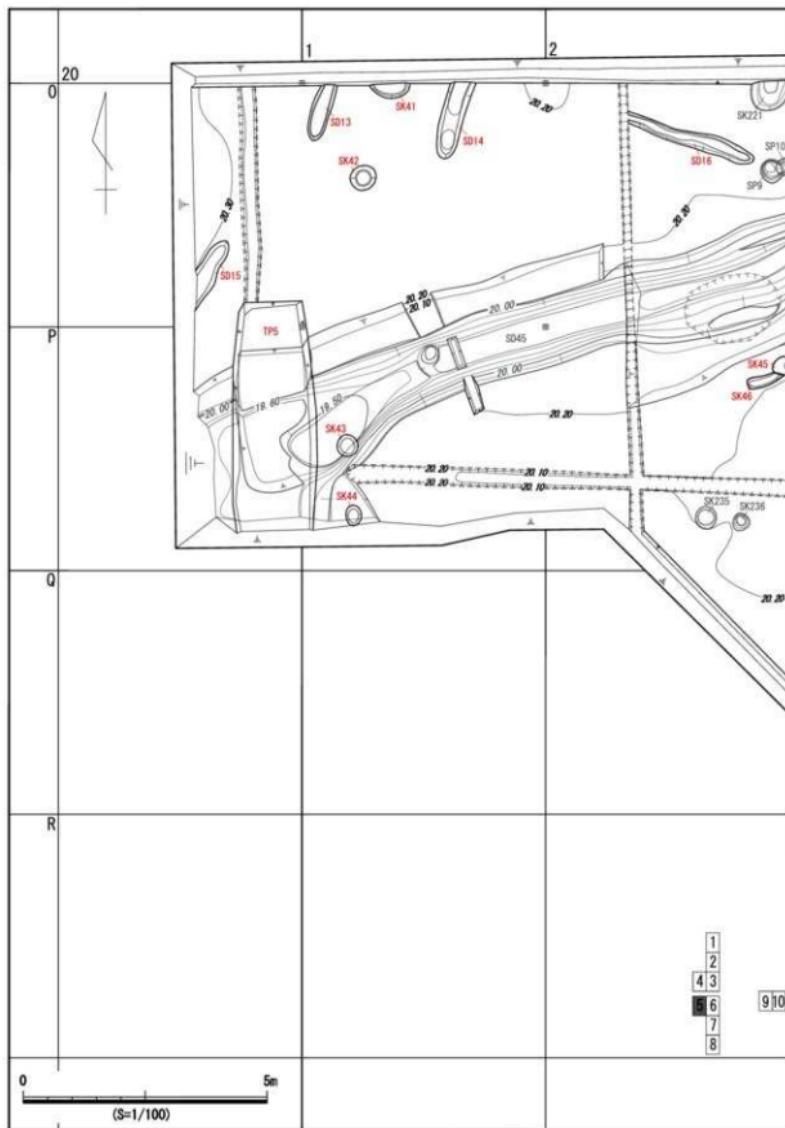


図 132 第1調査面 発掘区全域図分割図 5

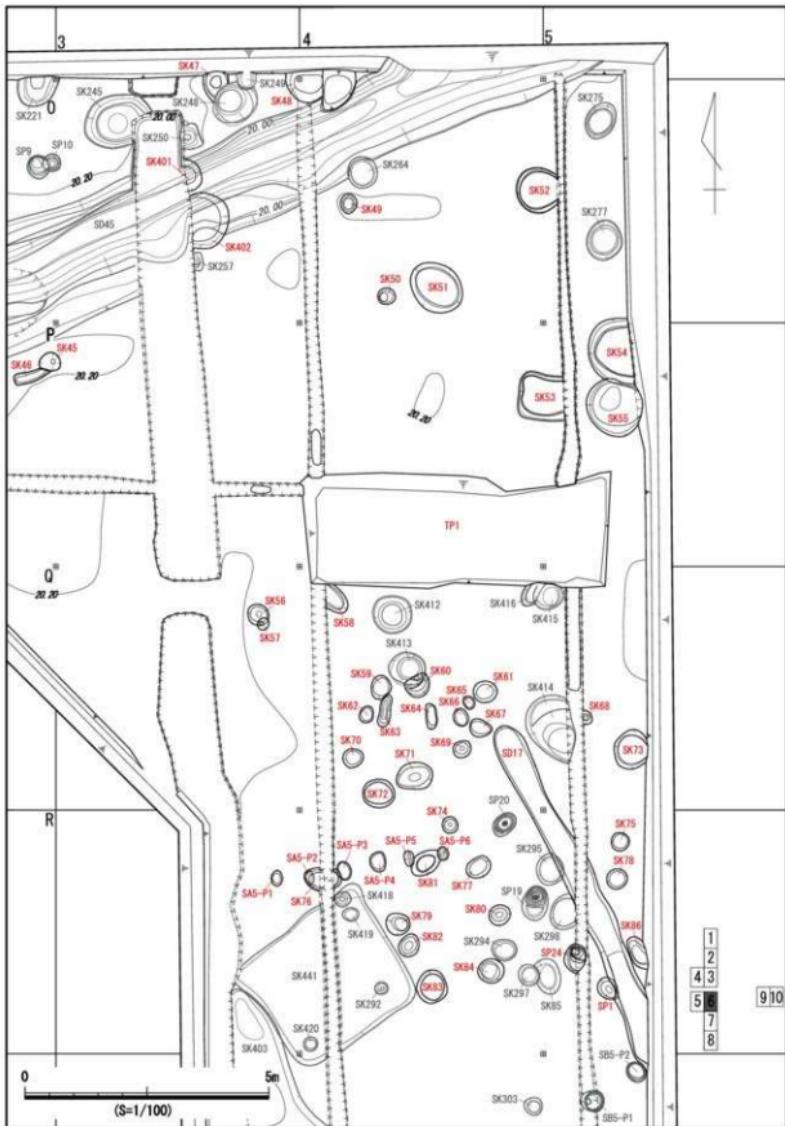


図 133 第 1 調査面 発掘区全域図分割図 6



図 134 第1調査面 発掘区全域図分割図 7

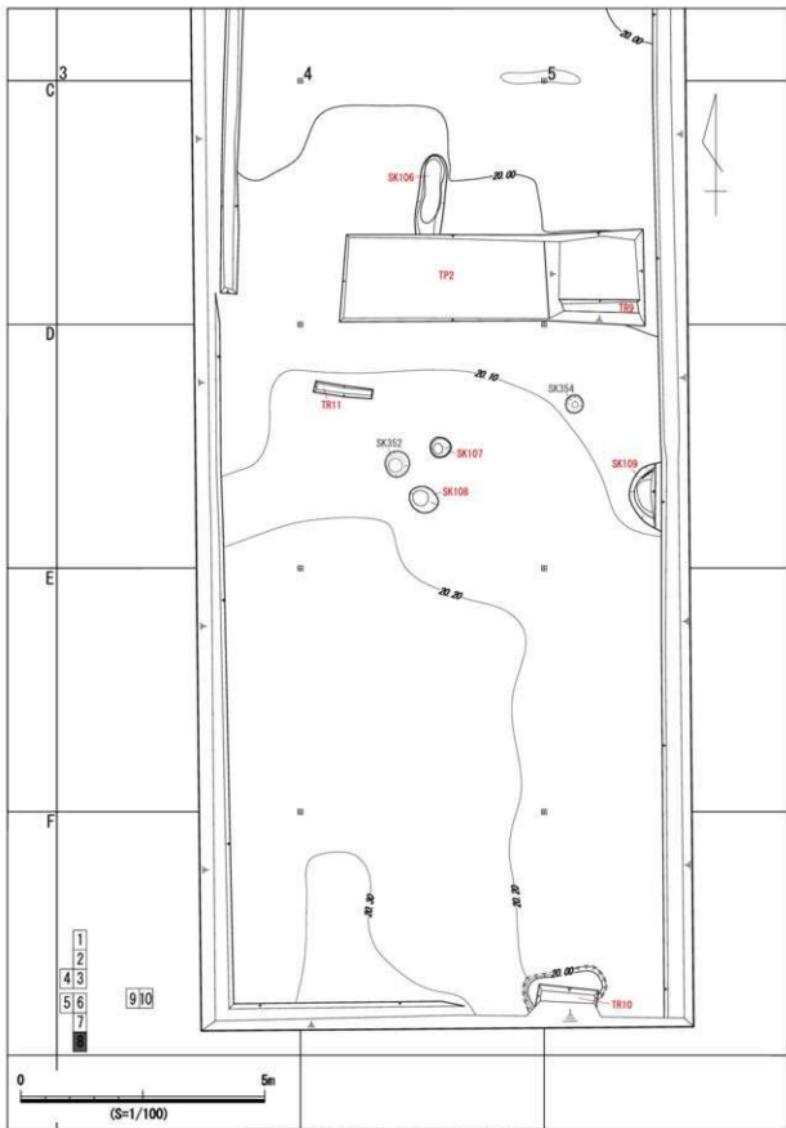


図 135 第 1 調査面 発掘区全域図分割図 8

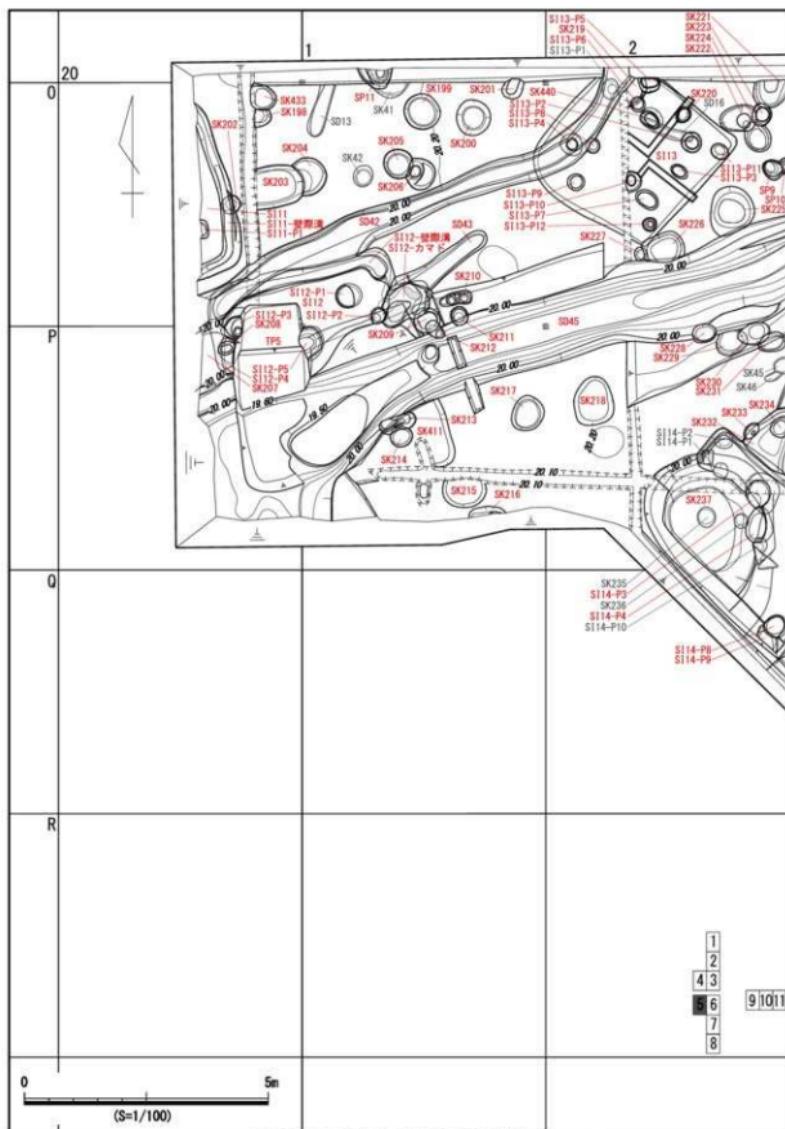


図 136 第2調査面 発掘区全域図分割図 5

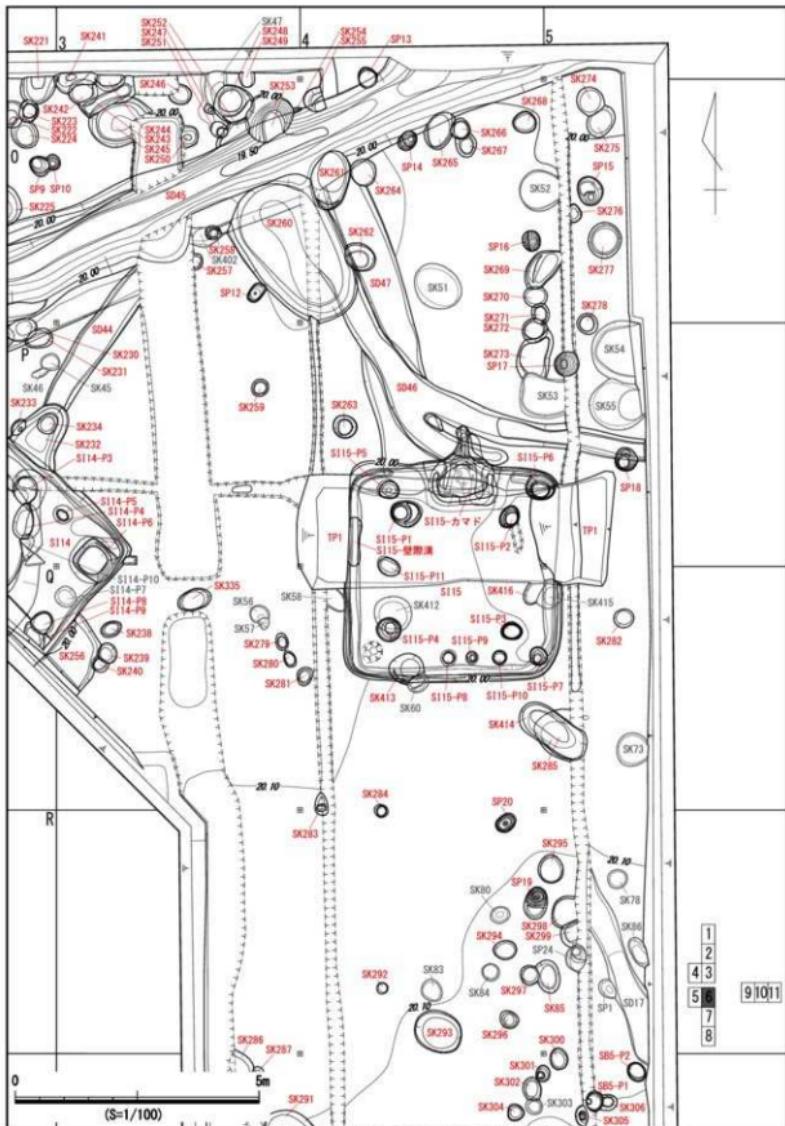


図 137 第2調査面 発掘区全域図分割図 6

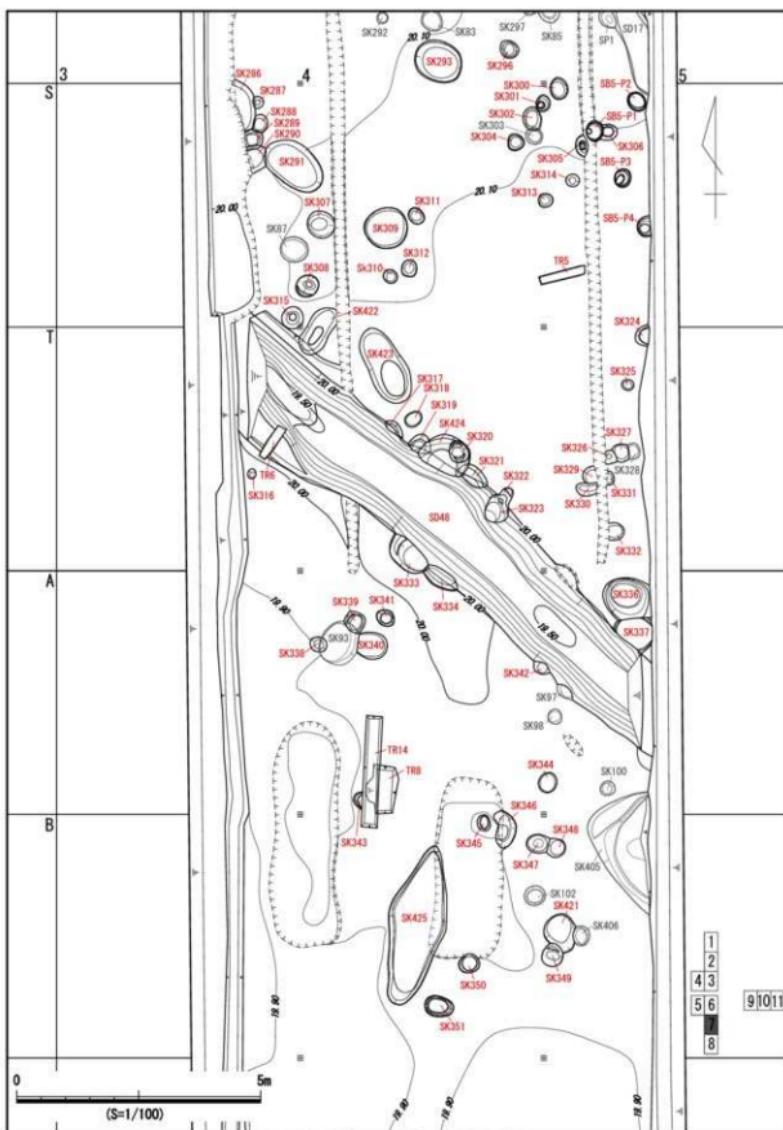


図 138 第2調査面 発掘区全域図分割図 7

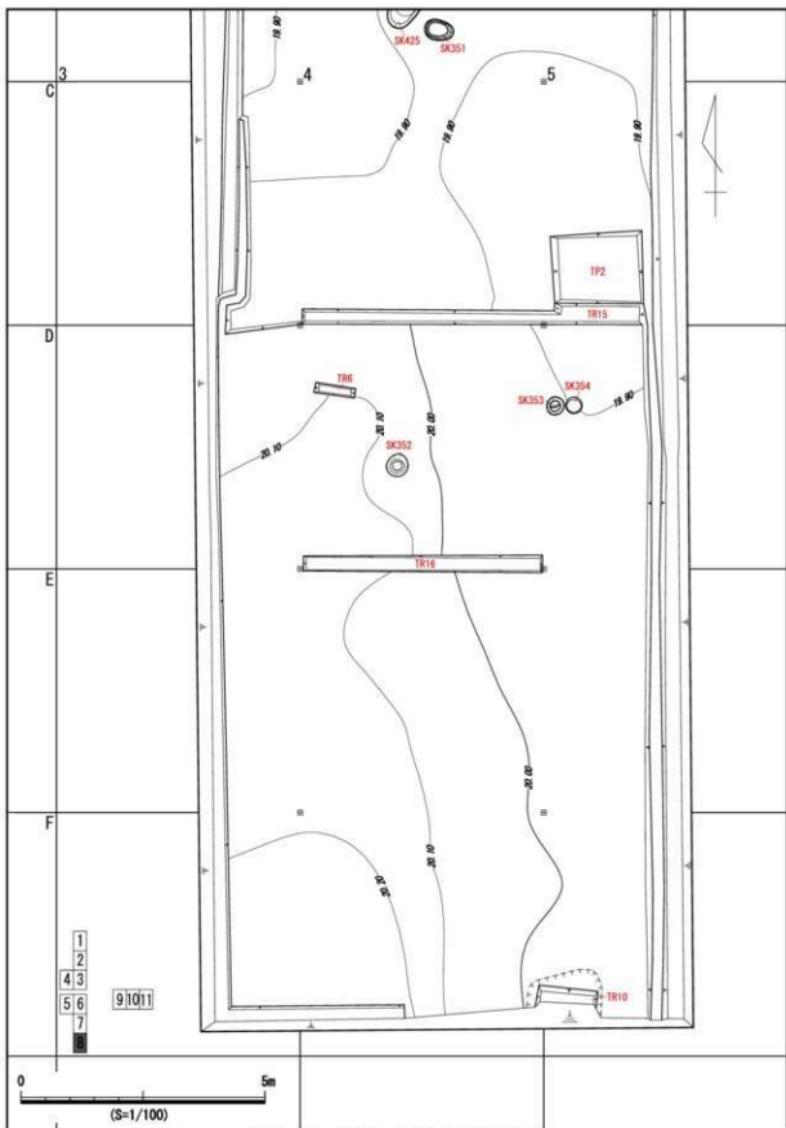


図 139 第2調査面 発掘区全域図分割図 8

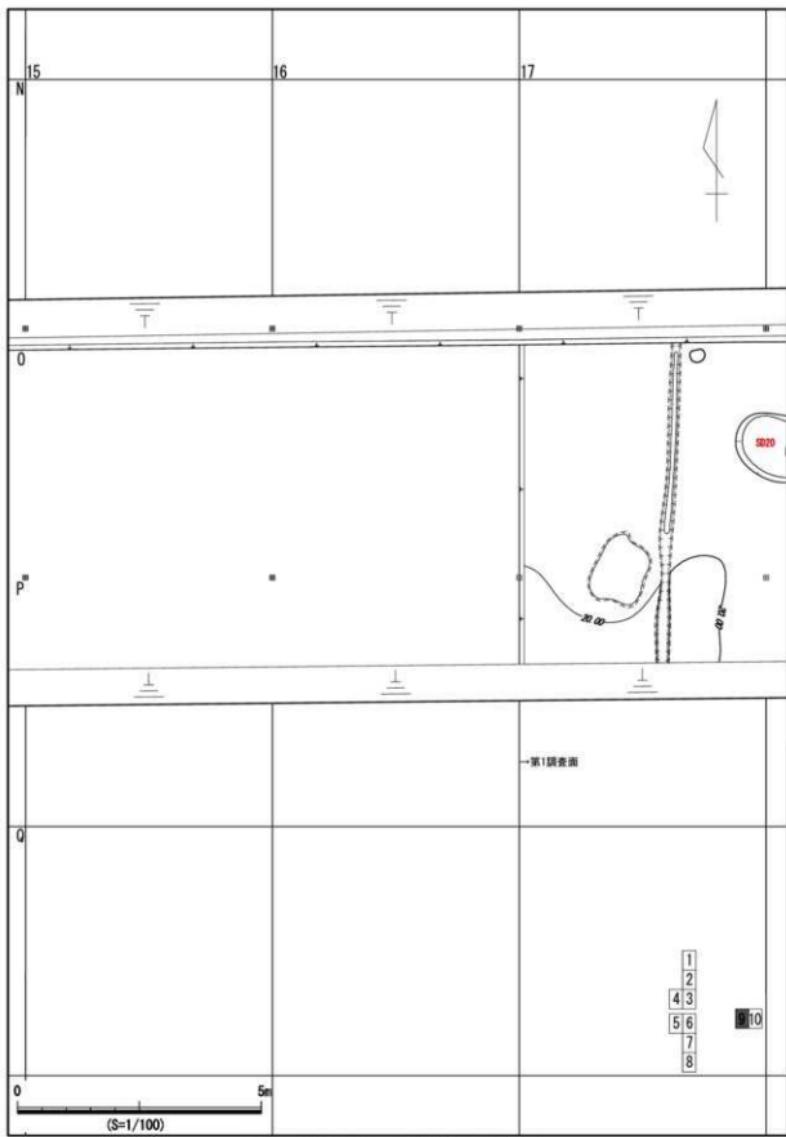


図 140 第1調査面 発掘区全域図分割図 9

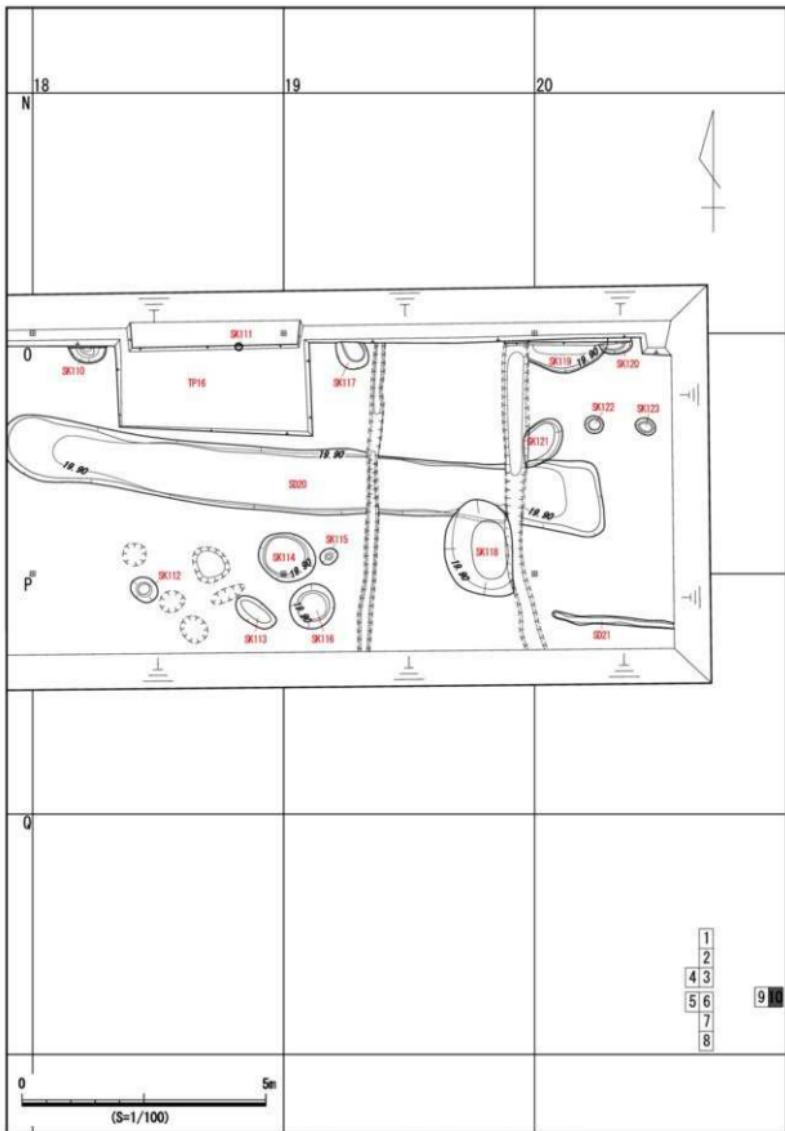


図 141 第 1 調査面 発掘区全域図分割図 10

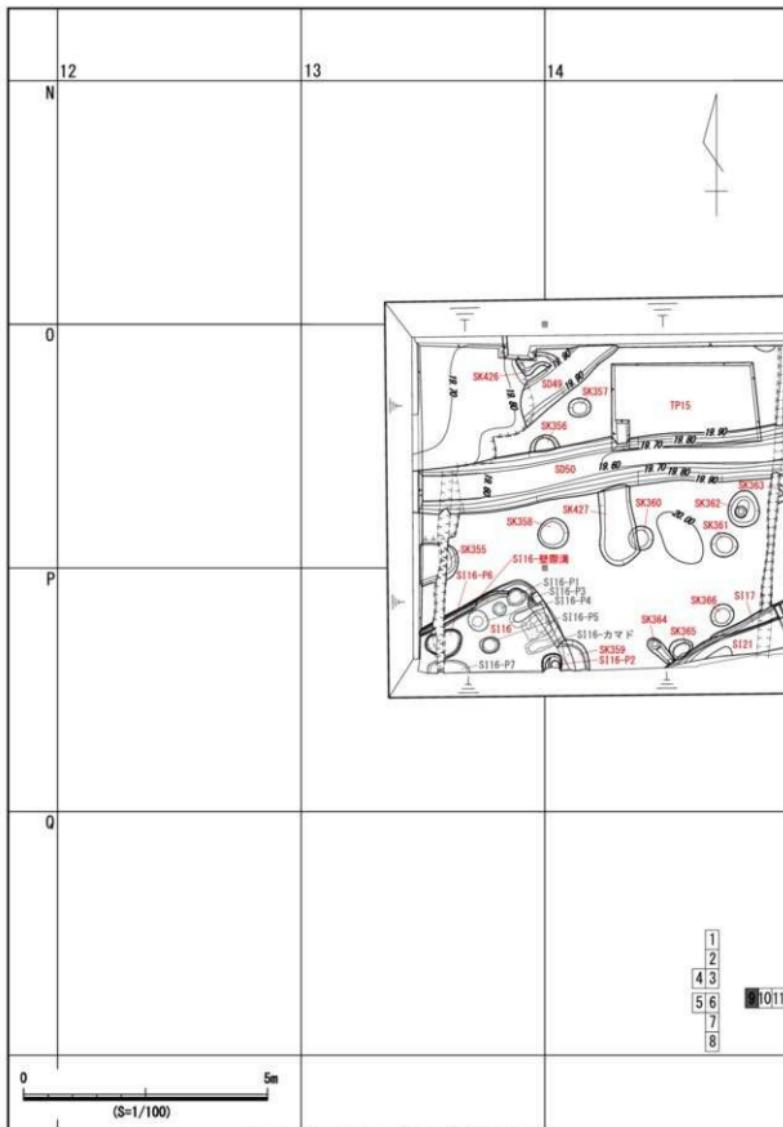


図 142 第2調査面 発掘区全域図分割図 9

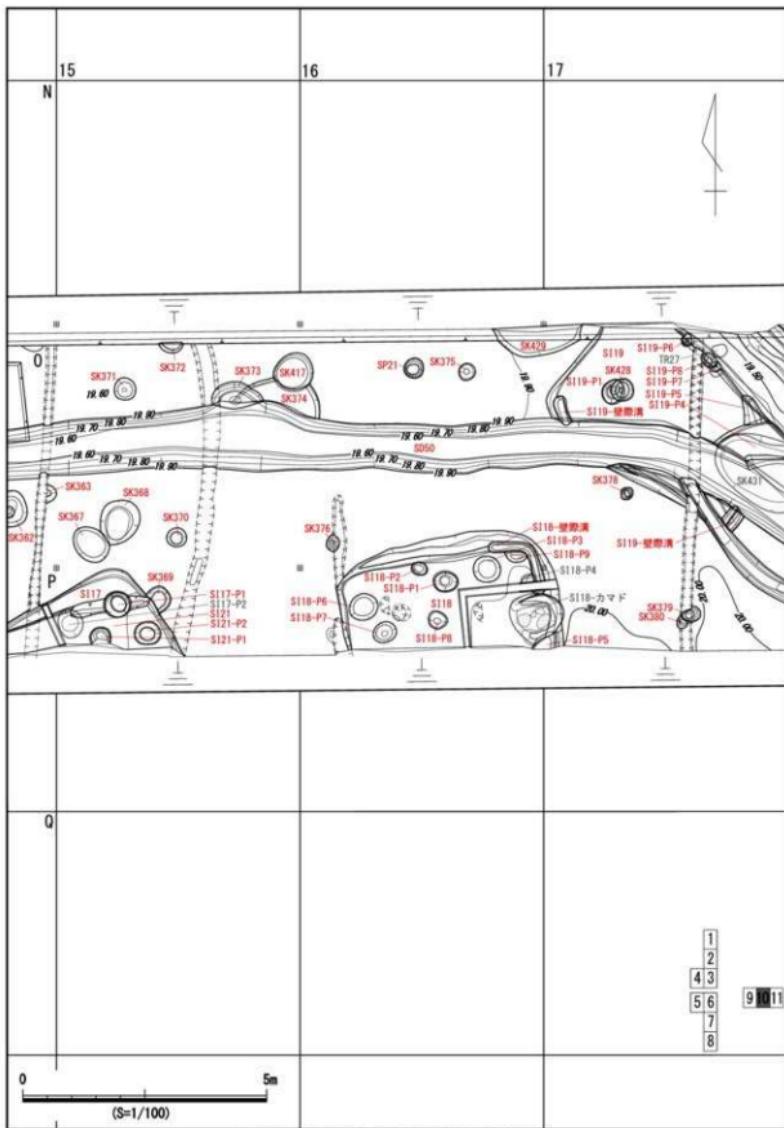


図 143 第2調査面 発掘区全域図分割図 10

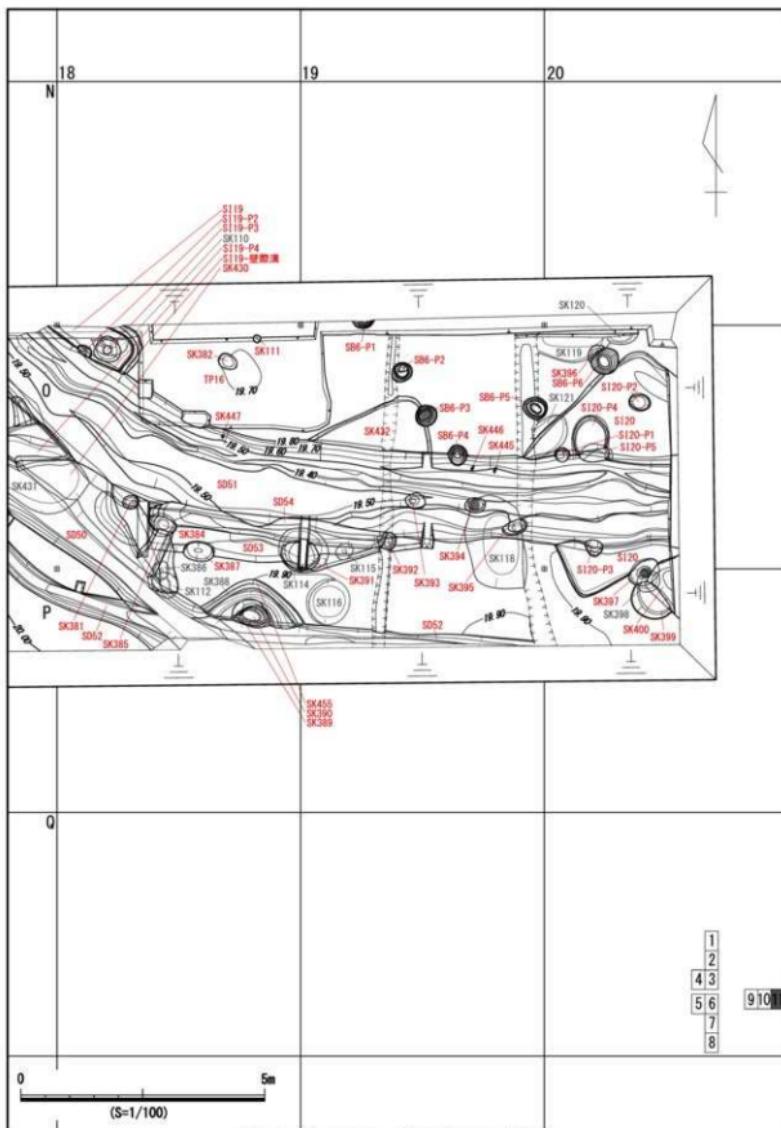


図 144 第2調査面 発掘区全域図分割図 11